

取扱説明書



JANOME

安全上のご注意

- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、お使いになる人やほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる人がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

危害・損害の程度を表わす表示	 警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	 注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
-----------------------	---	---

本文中の図記号の意味		△ 記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意)
		⊘ 記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止)
		● 記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制)

	警告 感電・火災の原因となります。
	禁止 ストップ、アイロンの近くなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は 5℃～35℃です。
	禁止 スプレー製品などを使用した部屋や、引火しやすい物の近くでは使用しないでください。
	禁止 電源コードやフットコントローラーのコードについて、以下の行為は行わないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 傷つける ・ 加工する ・ はさみ込む ・ たばねる ・ 引っ張る ・ 無理に曲げたり、ねじったりする ・ 重い物をのせる ・ 高温部に近づける 電源コード、フットコントローラーのコードおよびプラグが破損した場合は、使用しないでください。
	必ず実行 一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。
	必ず実行 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
	必ず電源プラグを抜く 以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ミシンのそばを離れるとき ・ ミシンを使用したあと ・ ミシン使用中に停電したとき

	注意 感電・火災・けがの原因となります。
	禁止 めい途中に布を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。
	禁止 このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。付属の専用電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。
	禁止 フットコントローラーの上に物をのせないでください。また、ご使用の際は、周辺に糸くずやほこりがないことを確認してください。
	注意 お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。
	注意 直線めい用針板が取り付けられている場合、および取り付けられている押さえの種類によっては、電源スイッチを切った状態ではすみ車をまわすと、針が針板や押さえに当たる場合がありますので、注意してください。
	必ず実行 ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手でミシンをささえてください。
	必ず実行 プラグ受けに、糸くずやほこりがたまらないようにしてください。
	必ず実行 針および押さえは、確実に固定してください。また、押さえは、めいに合ったものをご使用ください。
	必ず実行 電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜いてください。
	必ず実行 以下のことを行うときは、ロックキーを押してミシンをロック状態にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 押さえ、アタッチメントを交換するとき ・ 上糸、下糸をセットするとき ・ 針、針板を交換するとき
	必ず電源プラグを抜く ミシンのお手入れを行うときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
	必ず電源プラグを抜く ミシンに以下の異常があるときは速やかに使用を停止し、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 正常に作動しないとき ・ 水にぬれたとき ・ 落下などにより破損したとき ・ 異常な臭い・音がするとき ・ 電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき

	注意 感電・火災・けがの原因となります。
	分解禁止 分解はしないでください。
	接触禁止 ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はすみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
	禁止 曲がった針や先のつぶれた針は、ご使用にならないでください。
	禁止 ミシンの通風口はふさがらないでください。

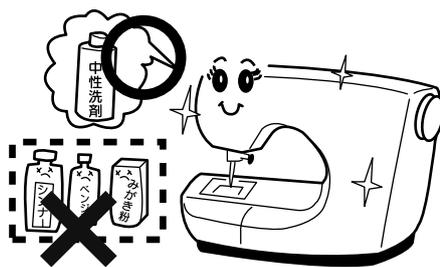
目次

◎ お取り扱いについてのお願い.....	4	● じつようぬいの調整画面.....	46
◎ 各部のなまえ.....	5	● 自動止めぬいのステッチ数.....	49
◎ 標準付属品と収納場所.....	6	● ピボットぬい設定.....	49
● 標準付属品.....	6	● ステッチの調整値を保存する.....	50
● 標準付属品収納場所.....	9	● 直線ぬい.....	51
● 補助テーブル.....	9	★ 直線ぬい（中針位置）でぬう場合.....	51
★ フリーアームの使い方.....	9	● 針板ガイド.....	53
● フットコントローラーと糸切りフットスイッチ....	10	● コーナーリングガイド.....	53
★ フットコントローラーと糸切りフットスイッチ		● 直線ぬい用針板の使い方.....	54
の取り付け位置変更.....	10	● 直線ぬいの種類.....	55
★ 糸切りフットスイッチの位置調整.....	11	★ じつようぬい 1：直線ぬい（中針位置）.....	55
● ワイドクリアテーブルの組み立て方と使い方.....	12	★ じつようぬい 2：自動返しぬい.....	55
		★ じつようぬい 3：自動止めぬい.....	55
		★ じつようぬい 4：直線ぬい（左針位置）.....	56
		★ じつようぬい 5：三重ぬい.....	56
		★ じつようぬい 6、7：伸縮ぬい	
		（ニットステッチ）.....	56
		★ じつようぬい 8：しつけぬい.....	57
◎ 操作方法.....	13	● 上送り押さえの使い方.....	57
● 電源のつなぎ方.....	13	★ プロフェッショナル上送り押さえ HP2	
★ スタート/ストップボタンを使用する場合.....	13	の使い方.....	59
★ フットコントローラーを使用する場合.....	13	● プロフェッショナル直線押さえ HP・プロフェッショ	
		ナル直線ぬい用針板（左針位置専用）の使い方....	60
● 糸切りフットスイッチのつなぎ方.....	14	● フロートモード.....	61
● 速さの調整.....	15	● ジグザグぬい.....	62
★ スピードコントロールつまみ.....	15	★ じつようぬい 9、10：ジグザグぬい.....	62
★ フットコントローラー.....	15	★ じつようぬい 11：つくろいぬい.....	62
● 操作ボタン.....	16	● ふちかがりぬい.....	63
● 画面（タッチパネル）と調整ダイヤル.....	18	★ じつようぬい 11：トリコットぬい.....	63
● AcuSpark2（モバイルアプリケーション）.....	20	★ じつようぬい 12：かがりぬい 1.....	63
● 押さえ上げ.....	21	★ じつようぬい 13：ニットステッチ 1.....	63
● 内蔵早見表.....	22	★ じつようぬい 14：かがりぬい 2.....	64
● 模様グループ選択キー.....	23	★ じつようぬい 15：かがりぬい 3.....	64
● 押さえの外し方、付け方.....	27	● そのほかのじつようぬい.....	64
● 押さえホルダーの外し方・付け方.....	28	◎ ボタンホール・特殊模様.....	67
● 上送り押さえの付け方、外し方.....	29	● ボタンホール・特殊模様の画面.....	67
● そのほかの押さえの交換.....	30	● ボタンホールの種類と用途.....	67
★ フリーキルト押さえ PD-H / フリーキルト		● ボタンホール 1：スクエアボタンホール.....	69
押さえ PD-H（前あき）.....	30	★ ボタンホールの調整画面.....	72
★ プロフェッショナル直線押さえ HP.....	31	● ボタンホール安定板の使い方.....	73
★ ルーラーワーク押さえ QR.....	32	● ボタンホール 2：メモリーボタンホール	
		（スクエアボタンホール）.....	74
● 針板の外し方、付け方.....	33	● そのほかのボタンホール.....	76
● 針の取りかえ方.....	34	★ ボタンホール 3、4：片ラウンド、	
● 布に適した糸や針を選ぶ目安.....	34	両ラウンドボタンホール.....	76
● ニーリフト.....	35	★ ボタンホール 5～7：キーホールボタンホール..	76
● 布ガイドの使い方.....	35	★ ボタンホール 8、10：ニットボタンホール.....	76
● 送り歯ドロップつまみ.....	36	★ ボタンホール 9：ニットボタンホール.....	76
● 格納式手元照明.....	36	● ボタンホール 11：たまぶちボタンホール.....	77
		● 芯入りボタンホール.....	79
◎ めう前の準備.....	37	● 特殊ぬい.....	79
● 下糸の準備.....	37	★ ボタンホール 12：ボタン付け.....	79
★ ボビンの取り出し.....	37	★ ボタンホール 13：つくろいぬい（ダーニング）..	80
★ 糸こまのセット.....	37	★ ボタンホール 14：かんぬき止め.....	82
★ 補助糸立て棒の使い方.....	37	★ ボタンホール 15：フライステッチ	
★ 下糸巻き.....	38	（かんぬき止め）.....	82
★ ボビンのセット.....	39	★ ボタンホール 16～18：アイレット.....	82
● 上糸かけ.....	40		
★ 上糸かけ用ガイドステッカー.....	41		
● 糸通し.....	42		
● 下糸を針板の上に引き出す場合.....	43		
◎ じつようぬい.....	44		
● じつようぬいの画面.....	44		
★ ファンクションキー.....	44		

◎ かざりぬい.....	83	◎ 用途ぬい.....	127
● かざりぬいの画面.....	83	● 用途ぬいの模様選択画面.....	127
● かざりもよう 1 グループ.....	92	● ソーイング.....	129
★ スモッキング.....	92	★ 地ぬい (伸びない布地).....	129
★ ファゴティング.....	92	★ 地ぬい (伸びる布地).....	130
★ スカラップ.....	92	★ 円弧ぬい.....	130
● キルトグループ.....	93	★ トップステッチ.....	130
★ キルトイングガイドの使い方.....	93	★ 三つ巻き.....	131
★ キルト模様 1～3.....	93	★ ふちかがり (伸びない布地).....	132
★ 針板角度目盛りの使い方.....	93	★ ふちかがり (伸びる布地).....	132
★ キルト模様 76～79: 手ぬい風キルトステッチ.....	94	★ ふちかがり (厚地).....	133
● サテングループ.....	94	★ まつりぬい.....	134
★ 模様の長さ調整機能 (エロンゲーション).....	94	★ シェルタック.....	136
● ミラーージュぬい.....	95	★ ファスナー付け.....	137
● 模様の先端を細くする (テーパリング).....	96	★ ファスナー付け (小物).....	140
★ テーパリングの自動止めぬい機能.....	97	★ ギャザー.....	142
★ テーパリング模様の左右反転 1.....	97	★ いせ込み.....	142
★ テーパリング模様の調整.....	98	★ しつけ.....	143
★ テーパリング模様の左右反転 2.....	100	★ ボタン付け.....	144
★ テーパリング模様の保存.....	100	★ かんぬぎ.....	147
★ テーパリングでフレームの角を作成する.....	101	★ アイレット.....	148
● ユーザー作成模様グループ.....	103	★ スモッキング.....	149
◎ 模様組み合わせモード.....	104	★ ファゴティング.....	150
● 模様組み合わせモードの画面.....	104	● キルト.....	151
● 模様組み合わせぬいの例.....	105	★ パッチワークピーシング.....	151
● 反転キーの使い方.....	106	★ フリーモーション.....	153
★ 左右・上下反転のぬい方 (組み合わせモード時).....	106	★ A.S.R. 押さえでフリーモーションをぬう.....	158
★ 左右・上下反転のぬい方 (通常モード時).....	107	★ ルーラーワーク.....	161
● つなぎもようグループの使い方.....	108	★ バリアブル ZZ (可変ジグザグ).....	162
● 模様の編集機能.....	109	★ アプリケ.....	164
● 模様頭出しキーの使い方.....	111	★ 直線ぬい.....	166
● プレビュー機能.....	112	★ キルトかざりステッチ.....	166
● 組み合わせ模様の長さの確認.....	113	★ とじぬい.....	167
◎ 文字ぬい.....	115	★ 刺し子風ステッチ.....	167
● 文字ぬいの画面.....	115	★ 手ぬい風キルトステッチ.....	168
★ 模様選択画面.....	116	● コンシール® ファスナー付け (オプション).....	169
● 文字ぬいの例.....	117	◎ 2本針ぬい.....	172
● 文字ぬい時の糸調子調整.....	119	◎ ミシンの設定.....	174
★ 文字ごとに糸調子調整を行う.....	119	● ミシン設定モード.....	174
★ 全ての文字に同じ糸調子の値を適応する (統一糸調子調整).....	119	● ミシン設定.....	174
● 文字高さの縮小.....	120	● ぬい設定.....	178
● スペース模様.....	120	● 言語設定.....	182
◎ 模様データの保存・呼び出し.....	121	◎ ミシンのお手入れ.....	183
● 模様データの保存.....	121	● かまと送り歯、糸切り部の掃除.....	183
★ ミシンの内蔵メモリに保存する.....	121	● 糸ガイド内側の掃除.....	184
★ USBメモリに保存する.....	122	◎ メッセージ画面一覧.....	185
★ 新規フォルダーの作成.....	123	◎ ミシンの調子が悪いときの直し方.....	186
★ ファイル・フォルダーの削除.....	124	● 模様の形の調整 (送り調整ねじ).....	190
★ 名称変更キーの使い方.....	124	● USBメモリをフォーマットする.....	191
● 模様データの呼び出し.....	125	◎ 模様一覧表.....	193
★ ミシンの内蔵メモリから呼び出す.....	125	● 文字ぬい.....	195
★ USBメモリから呼び出す場合.....	126		

◎ お取り扱いについてのお願い

◇ ご使用前に

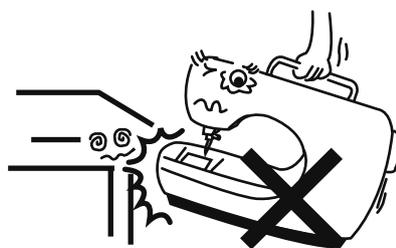


- (1) めう布を汚さないようにするため、針板付近の油やほこりなどの汚れを、乾いたやわらかい布で十分にふき取ってください。
試しぬいをして、布が汚れないことを確認してから使用してください。
- (2) シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

◇ いつまでもご愛用いただくために



- (1) 長時間日光に当てないでください。
- (2) 湿気やほこりの多いところは避けてください。



- (3) 落としたり、ぶついたりするなど衝撃を与えないでください。
ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手でミシンをささえてください。

◇ 修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障が生じたりしたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」(186～189ページ)によって、点検・調整を行ってください。

◎ 各部のなまえ

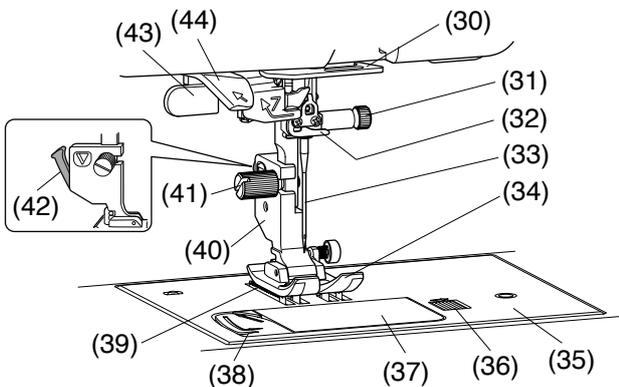
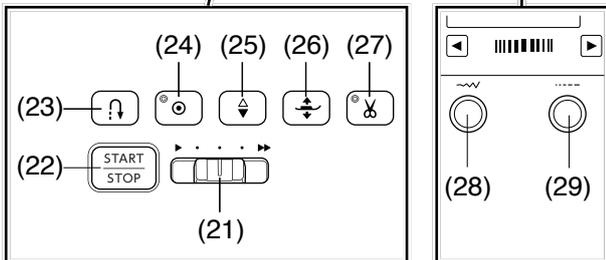
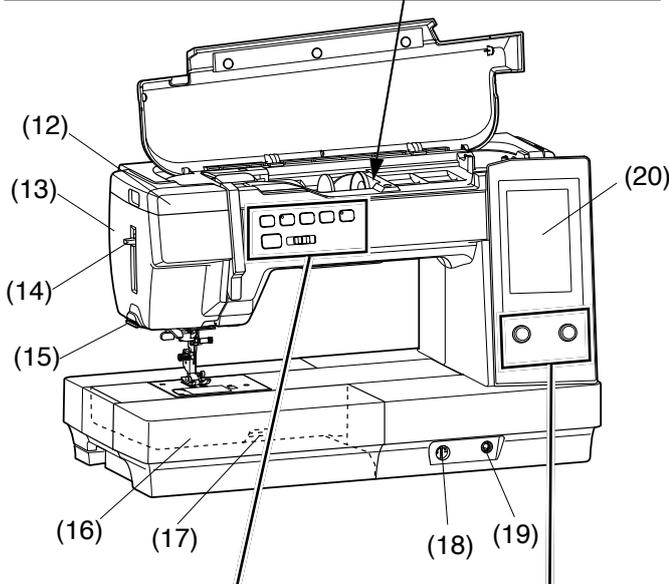
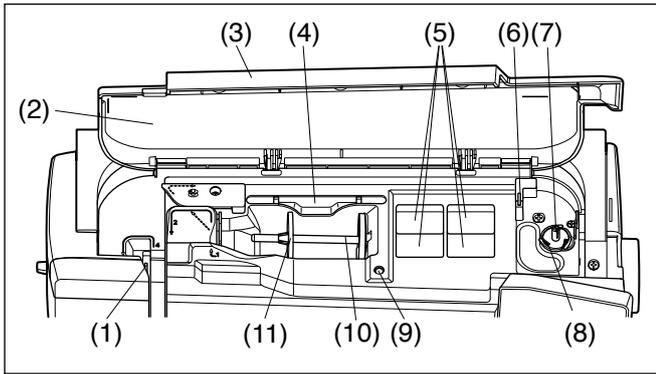
- (1) 天びん
- (2) 早見板
- (3) 天板
- (4) タッチペンホルダー
- (5) 小物収納場所
- (6) 糸切り（下糸巻き用）
- (7) 糸巻き軸
- (8) 糸切りホルダー
- (9) 補助糸立て棒取り付け穴
- (10) 糸立て棒
- (11) 糸こま押さえ（大）

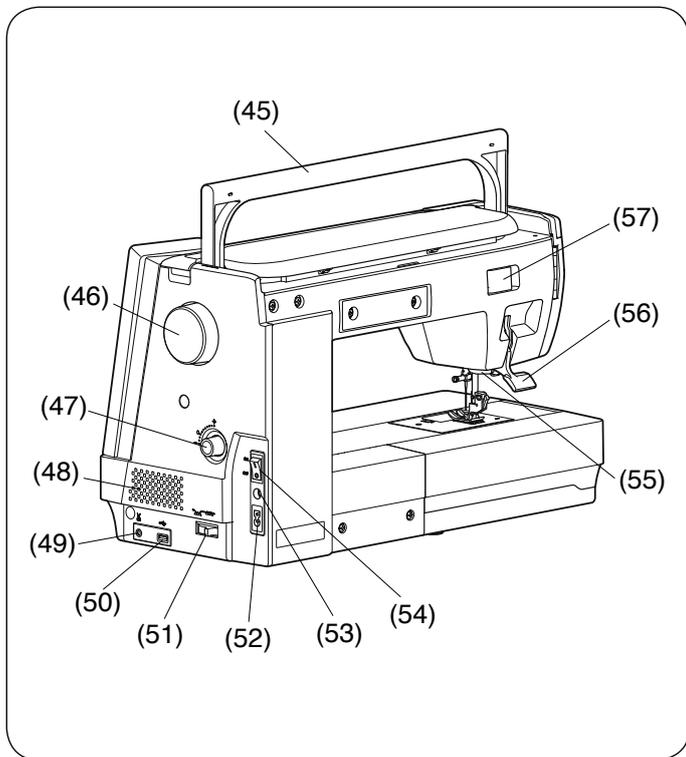
- (12) 格納式手元照明
- (13) 面板
- (14) 糸通しレバー
- (15) 糸切り / 糸押さえ
- (16) 補助テーブル（アクセサリ入れ）
- (17) 針板開放レバー
- (18) 送り調整ねじ
- (19) ニーリフト取り付け穴
- (20) 画面（タッチパネル）

- (21) スピードコントロールつまみ
- (22) スタート/ストップボタン
- (23) 返しぬいボタン
- (24) 止めぬいボタン
- (25) 上下停針ボタン
- (26) 押さえ上下移動ボタン
- (27) 糸切りボタン

- (28) ぬい目の幅調整ダイヤル
- (29) ぬい目のあかさ調整ダイヤル

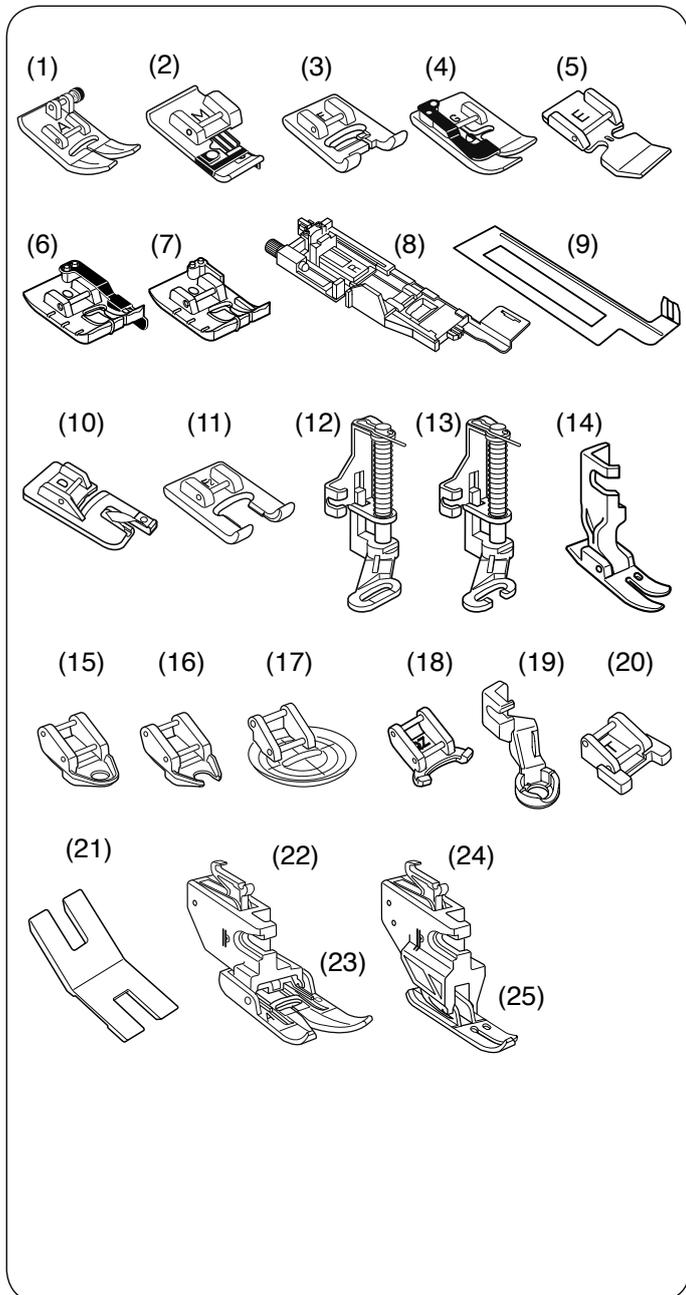
- (30) アーム糸案内
- (31) 針止めねじ
- (32) 針棒糸かけ
- (33) 針（14番）
- (34) 基本押さえ A
- (35) 針板
- (36) 角板開放ボタン
- (37) 角板
- (38) カッター（下糸切り用）
- (39) 送り歯
- (40) 押さえホルダー
- (41) 押さえホルダー止めねじ
- (42) レバー
- (43) ボタンホール切りかえレバー
- (44) 糸通しガイド





- (45) 手さげハンドル
- (46) はずみ車
- (47) 上送り調節ダイヤル
- (48) 通風口
- (49) 糸切りフットスイッチ端子
- (50) USB 差し込み口 (タイプ A)
- (51) 送り歯ドロップつまみ
- (52) プラグ受け
- (53) フットコントローラープラグ受け
- (54) 電源スイッチ
- (55) 上送り装置
- (56) 押さえ上げ
- (57) A.S.R. USB ポート端子カバー

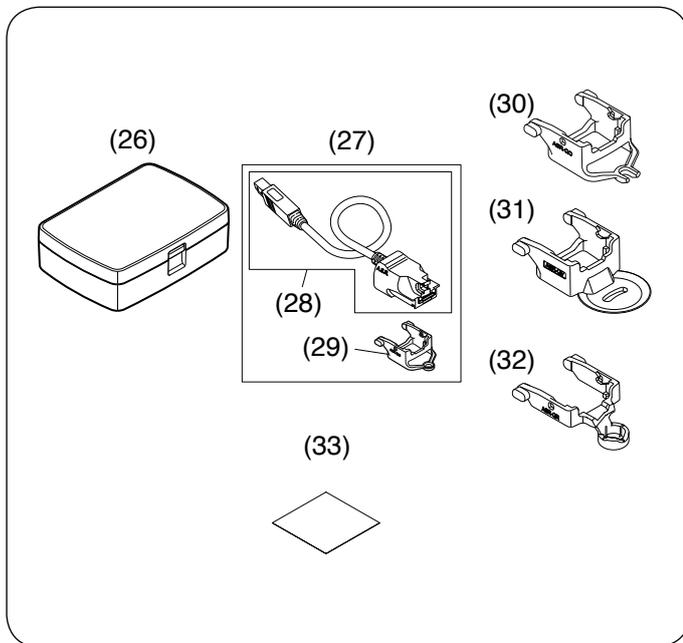
- ※ ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手でミシンをささえてください。
- ※ 仕様や形状を予告なく変更する場合があります。



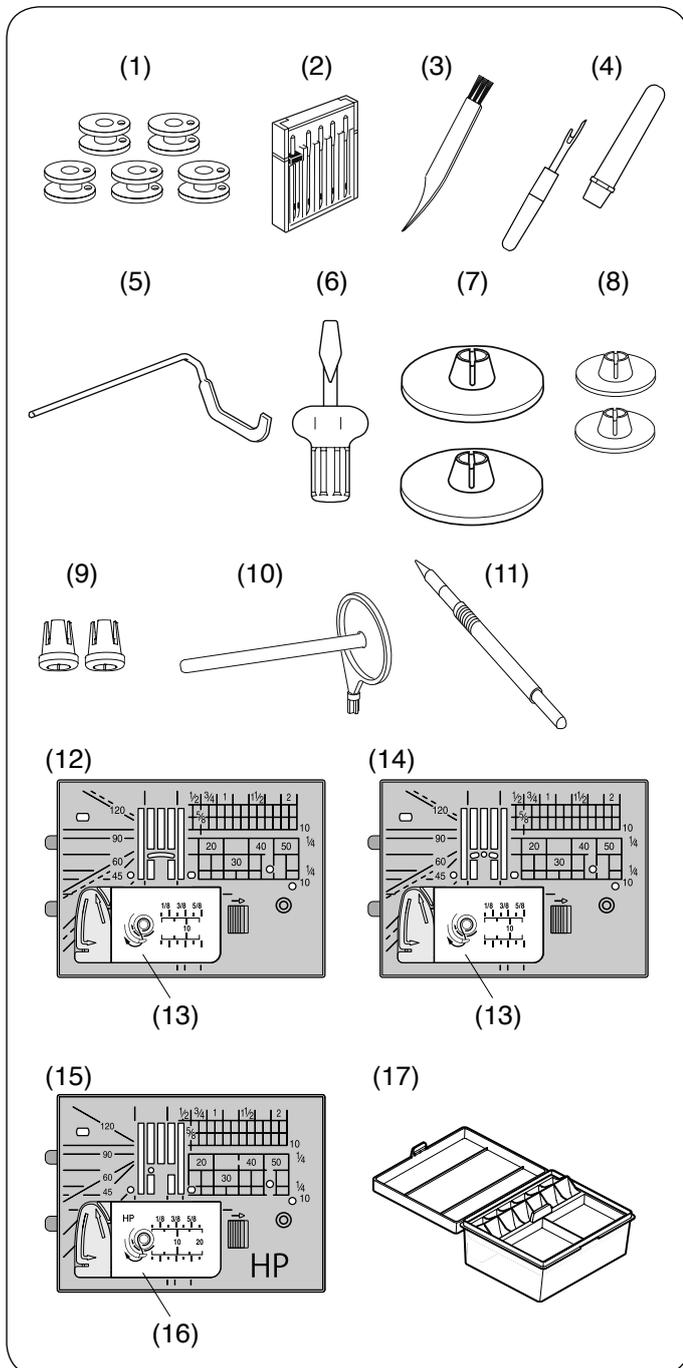
◎ 標準付属品と収納場所

● 標準付属品

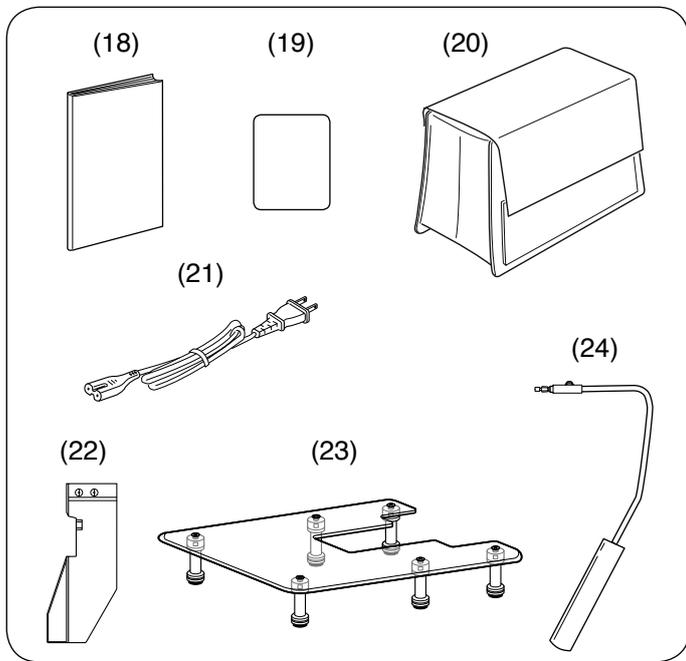
- (1) 基本押さえ A
※ ミシンの押さえホルダーに付いています。
- (2) ふちかがり押さえ M
- (3) サテン押さえ F
- (4) まつりぬい押さえ G
- (5) ファスナー押さえ E
- (6) パッチワーク押さえ O
- (7) パッチワーク押さえ O (ガイドなし)
- (8) ボタンホール押さえ R
- (9) ボタンホール安定板
※ (8)、(9) は補助テーブルに収納されています。
- (10) 三つ巻き押さえ D
- (11) クラフト押さえ F2
- (12) フリーキルト押さえ PD-H
- (13) フリーキルト押さえ PD-H (前あき)
- (14) プロフェッショナル直線押さえ HP
- (15) フリーキルト押さえ QC (丸穴)
- (16) フリーキルト押さえ QO (前あき)
- (17) フリーキルト押さえ QV (透明)
- (18) バリアブルジグザグ押さえ QZ (前あき)
- (19) ルーラーワーク押さえ QR
- (20) ボタン付け押さえ T
- (21) ボタン付けプレート
- (22) 上送り押さえホルダー (標準)
- (23) 上送り押さえ AD (標準)
- (24) プロフェッショナル上送り押さえホルダー
- (25) プロフェッショナル上送り押さえ HP2
※ (22)、(23) は補助テーブルに収納されています。



- (26) A.S.R. ケース
- (27) A.S.R. フリーキルト押さえ (丸穴) ASR-QC 付き A.S.R.
- (28) A.S.R. (ステッチレギュレーター)
- (29) A.S.R. フリーキルト押さえ (丸穴) ASR-QC
- (30) A.S.R. フリーキルト押さえ (前あき) ASR-QO
- (31) A.S.R. フリーキルト押さえ (透明) ASR-QV
- (32) A.S.R. ルーラーワーク押さえ ASR-QR
- (33) A.S.R. 説明カード

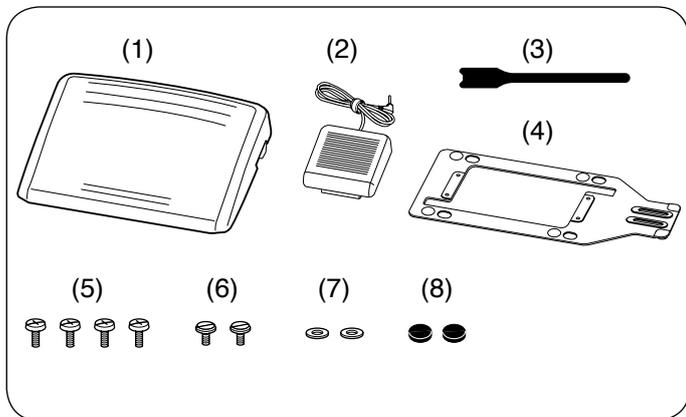


- (1) ボビン (5 個)
※ 1つは、ミシンの内がまに入っています。
- (2) 針ケース (針: HA × 1)
• ブルー針 [11 番] (2 本)
• レッド針 [14 番] (1 本)
• パープル針 [14 番] (1 本)
• 2 本針 (1 本)
- (3) ミシンブラシ
- (4) シームリッパー
- (5) キルティングガイド
- (6) ドライバー
- (7) 糸こま押さえ (大) (2 個)
※ 1つはミシンの糸立て棒に付いています。
- (8) 糸こま押さえ (小) (2 個)
- (9) 糸こま押さえ (特殊) (2 個)
- (10) 補助糸立て棒
- (11) タッチペン
- (12) 針板
※ ミシンに付いています。
- (13) 角板
- (14) 直線ぬい用針板
- (15) プロフェッショナル直線ぬい用針板 (左針位置専用) HP
- (16) 角板 HP
- (17) アクセサリーケース



● 標準付属品

- (18) 取扱説明書
- (19) 上糸かけ用ガイドステッカー
- (20) ミシンカバー
- (21) 電源コード
- (22) 布ガイド
- (23) ワイドクリアテーブル
- (24) ニーリフト



【フットコントローラー/糸切りフットスイッチセット】

※ モデルによってオプションになります。

- (1) フットコントローラー
- (2) 糸切りフットスイッチ
- (3) ケーブルタイ
- (4) ベース
 - ※ ゴム座 (6 個) がベースの裏側に付いています。
- (5) フットコントローラー取り付けねじ (4 個)
- (6) 糸切りフットスイッチ取り付けねじ (2 個)
- (7) ワッシャー (2 個)
- (8) ゴム座 (2 個)

ミシンの使い方については、以下の QR コードもしくは URL から説明動画をご覧いただけます。



説明動画

https://www.youtube.com/playlist?list=PLs7aOpMYh2ZdGEmHJrP7phbOR_DsIMU2t

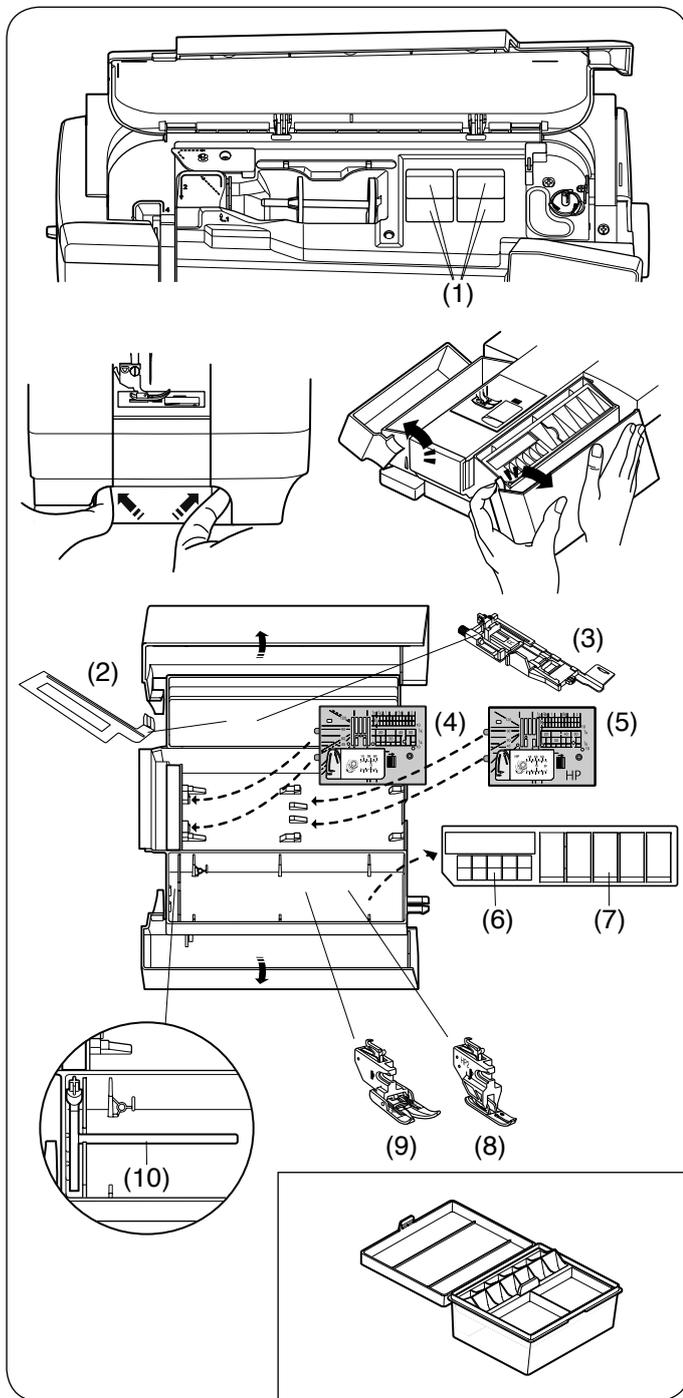
PC 専用ダウンロードアプリケーション
「StitchComposer」を使い、オリジナルの模様をデザインできます。



StitchComposer

https://www7.janome.co.jp/sewing_machine/soft/stitchcomposer

※ このアプリケーションは PC 用です。



● 標準付属品収納場所

押さえや付属品は、天板内の小物収納場所、補助テーブルの中やアクセサリケースに収納できます。

補助テーブル内のアクセサリ入れを使用する場合、補助テーブルの左側のくぼみに指をかけ、もう片方の手で補助テーブルを押さえながら、矢印の方向に引いて開けます。

- (1) 小物収納場所
- (2) ボタンホール安定板
- (3) ボタンホール押さえ R
- (4) 直線ぬい用針板
- (5) プロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）HP
- (6) ボビン収納場所
- (7) 押さえ収納場所
- (8) プロフェッショナル上送り押さえ HP2
- (9) 上送り押さえ AD（標準）
- (10) 補助糸立て棒

※ ほかのアクセサリは補助テーブルの中や、アクセサリケースに収納できます。

【アクセサリケース】

そのほかの付属品を保管する場合は、付属のアクセサリケースの適切な場所に保管してください。

別売の小物なども保管できます。

● 補助テーブル

フリーアームを使うときは、補助テーブルを左に引き簡単に取り外すことができます。

補助テーブルの外し方：

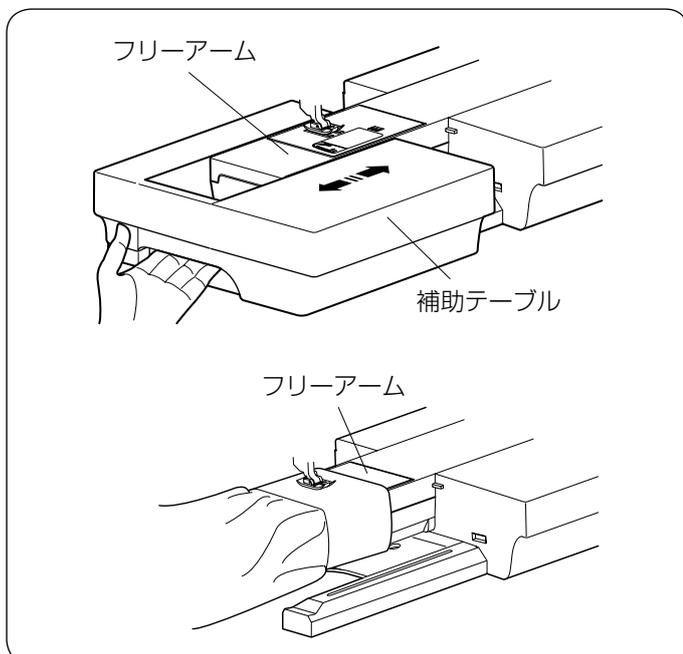
補助テーブルの下側に手をかけ、左に引いて外します。

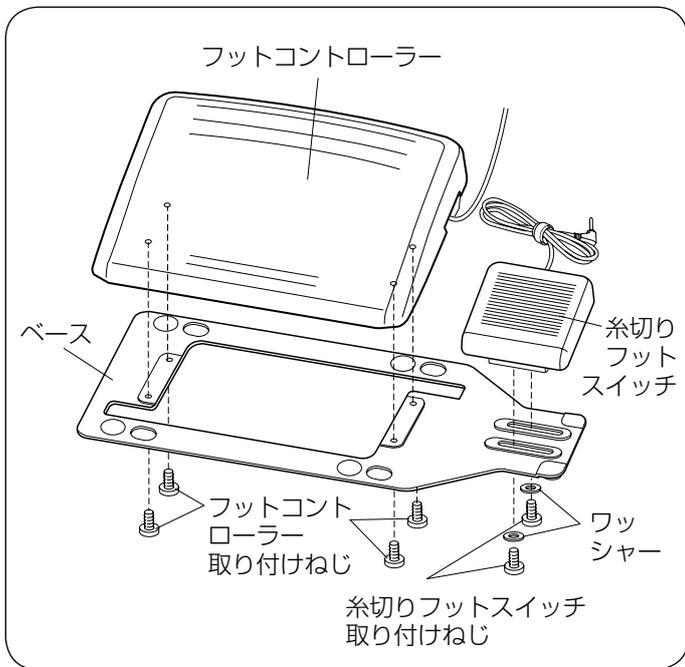
補助テーブルの取り付け方：

フリーアームに沿わせて、補助テーブルを右に押し込んで取り付けます。

★ フリーアームの使い方

補助テーブルを外すと、フリーアームになります。そで口やすそなどをぬう場合や、ふくろ物の口端の始末に利用できます。





● フットコントローラーと糸切りフットスイッチ

※ フットコントローラーの取り付けには、付属のドライバーを使用します。

図のようにフットコントローラーと糸切りフットスイッチをベースに取り付けます。

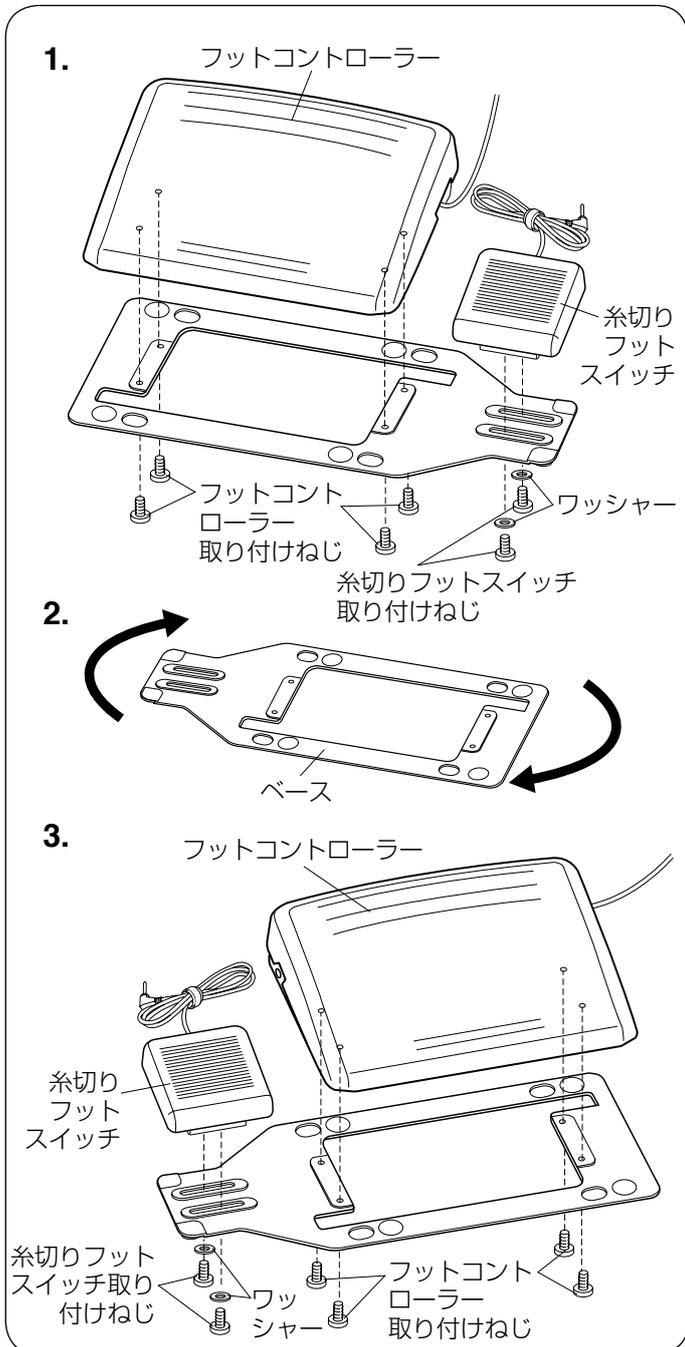
糸切りフットスイッチは、使用状況に合わせて、フットコントローラーの左右どちらにも取り付けられます。

フットコントローラーの取り付け

フットコントローラー取り付けねじ（4 個）でフットコントローラーをベースに取り付けます。

糸切りフットスイッチの取り付け

糸切りフットスイッチ取り付けねじ（2 個）とワッシャー（2 個）で糸切りフットスイッチをベースに取り付けます。



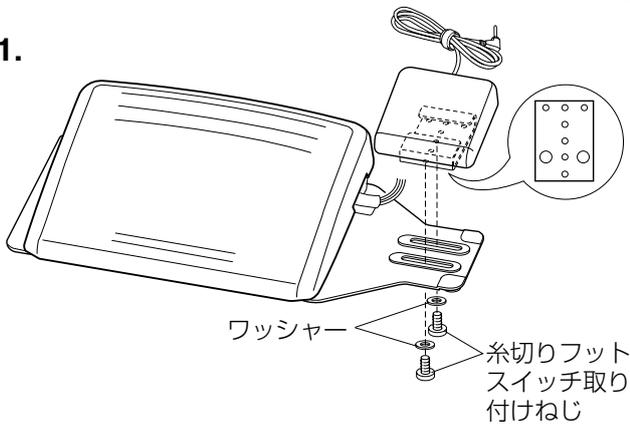
★ フットコントローラーと糸切りフットスイッチの取り付け位置変更

【糸切りフットスイッチを左に取り付ける】

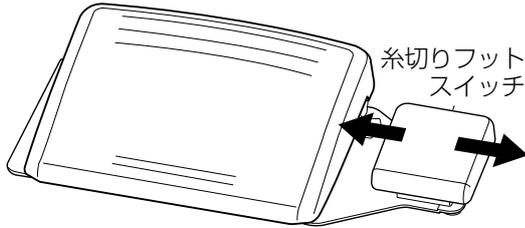
糸切りフットスイッチは、使用状況に合わせて、フットコントローラーの左右どちらにも取り付けられます。

1. フットコントローラー取り付けねじ（4 個）、糸切りフットスイッチ取り付けねじ（2 個）とワッシャー（2 個）をドライバーで外します。
2. ベースを 180 度回転させます。
3. フットコントローラー取り付けねじ（4 個）でフットコントローラーを取り付けます。
糸切りフットスイッチを糸切りフットスイッチ取り付けねじ（2 個）とワッシャー（2 個）でベースの左側に取り付けます。

1.



2.



★ 糸切りフットスイッチの位置調整

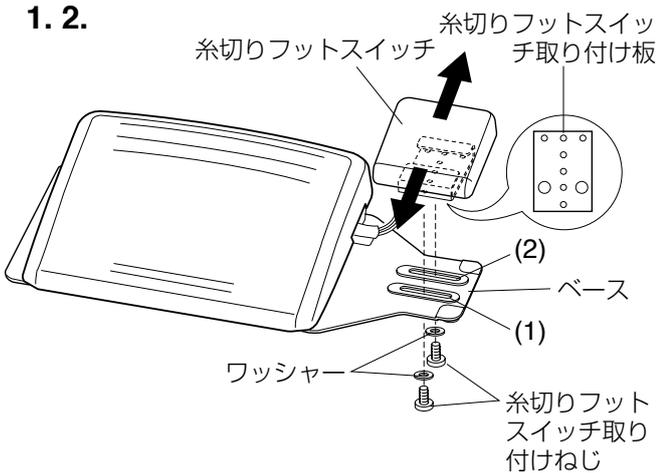
【糸切りフットスイッチの水平位置の調整】

糸切りフットスイッチを左右に移動させたい場合、下記手順で調整します。

1. 糸切りフットスイッチ取り付けねじ（2個）をゆるめます。

2. 糸切りフットスイッチをお好みの位置に移動させ、糸切りフットスイッチ取り付けねじ（2個）をドライバーでしめて、希望の位置に固定します。

1. 2.



【糸切りフットスイッチの上下位置の調整】

糸切りフットスイッチを上下に移動させたい場合、下記手順で調整します。

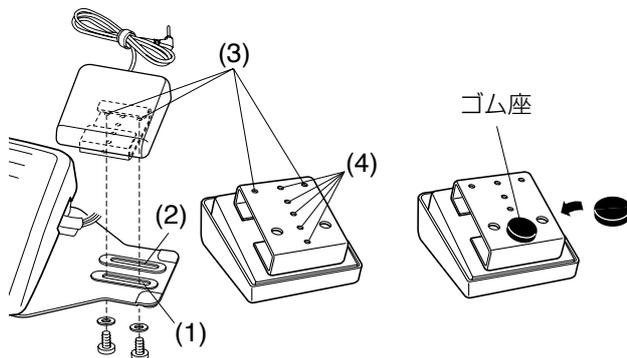
1. 糸切りフットスイッチ取り付けねじ（2個）とワッシャー（2個）を外します。

2. 糸切りフットスイッチ取り付け板のねじ穴をずらしてベースの取り付け穴(1)、(2)に取り付けます。

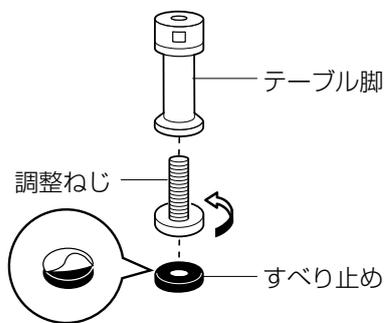
- 糸切りフットスイッチ取り付け板のねじ穴(4)をベースの取り付け穴(2)と(1)のねじ穴の2か所を合わせ取り付けます。

- 最も手前（下）の位置に取り付けたい場合、糸切りフットスイッチ取り付け板のねじ穴(3)の2か所を使い、ベースの取り付け穴(1)に取り付けます。

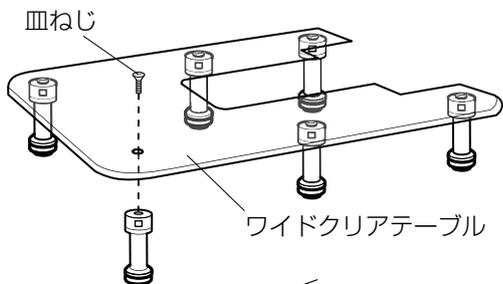
※ ねじ穴(3)とベースの取り付け穴(1)を使って糸切りフットスイッチを取り付けた場合、左図の位置にゴム座を貼ってください。ガタつき防止効果があります。糸切りフットスイッチの位置を変更する場合はゴム座は取り外してください。



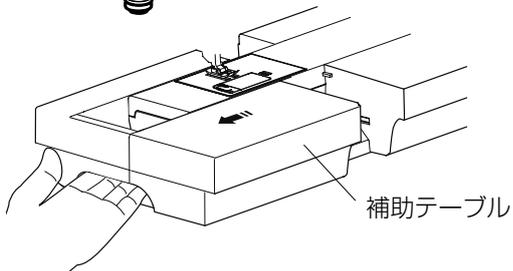
1. 2.



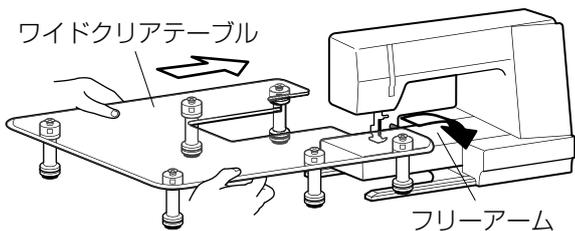
3.



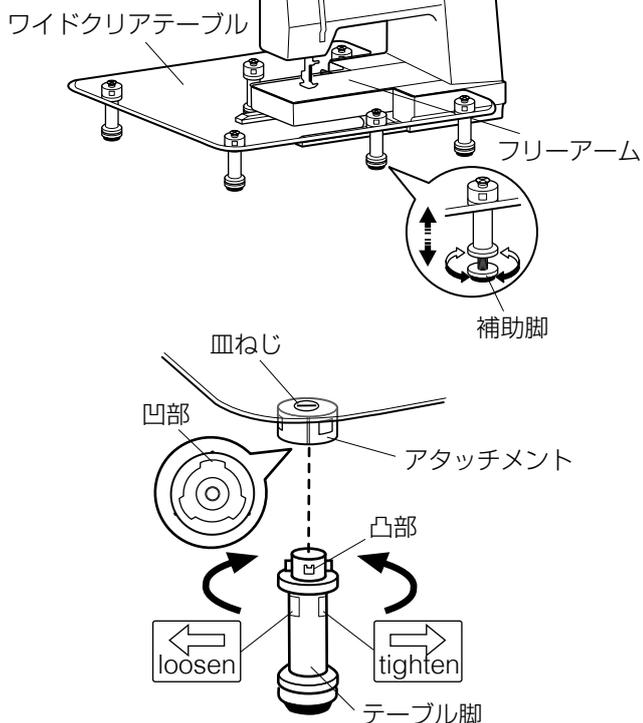
4.



5.



6.



● ワイドクリアテーブルの組み立て方と使い方

⚠ 注意

ワイドクリアテーブルをアイロン台などほかの目的に使用しないでください。けがの原因となります。

ワイドクリアテーブルはカーテンやテーブルクロスなど大きな布地をぬうときに使用すると、布が安定して真っ直ぐぬえるので便利です。

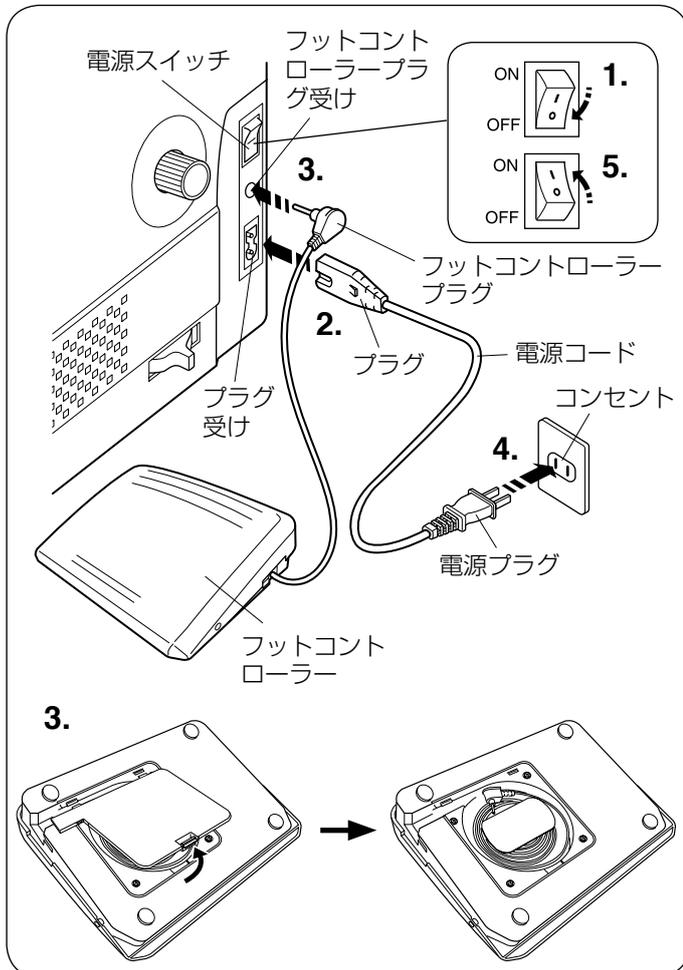
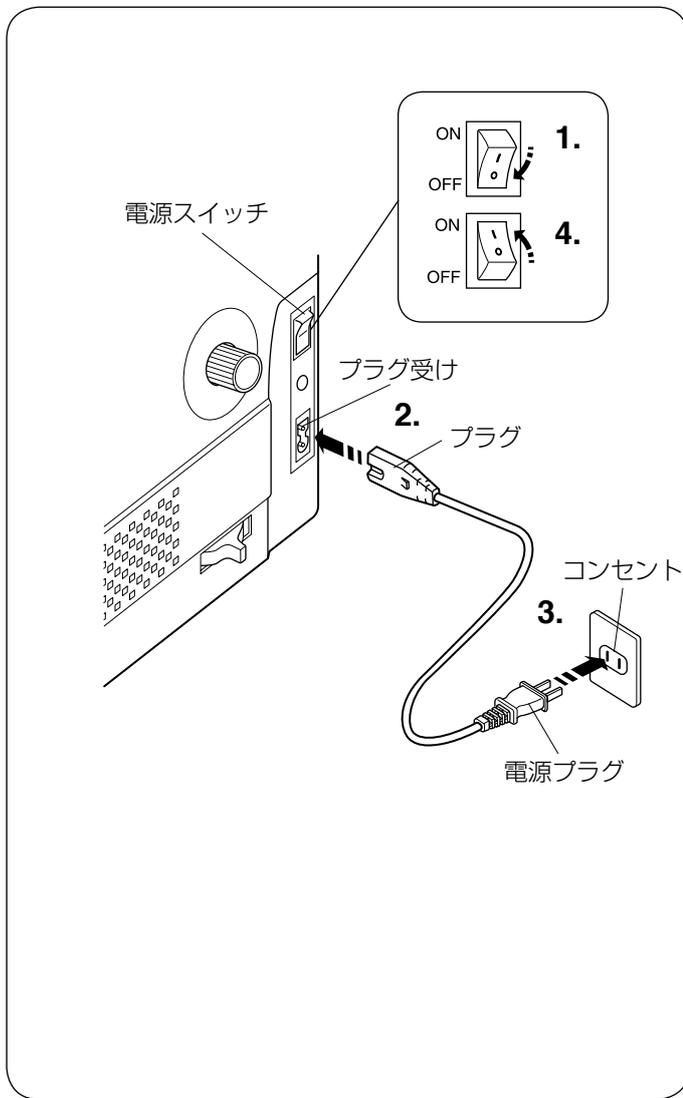
1. 調整ねじをテーブル脚にねじ込みます。
2. すべり止めからはく離紙をはがし、テーブル脚の底に貼り付けます。
3. ワイドクリアテーブルの6か所の取り付け穴に、テーブル脚を皿ねじで取り付けます。
4. ミシンから補助テーブルを外します。
5. 組み立てたワイドクリアテーブルを両手で持ち、ミシンのフリーアームにはめ込むように上からセットします。
6. ワイドクリアテーブルの高さがフリーアームの高さと同じになるように、6か所の補助脚をまわして高さを調整します。

取り外す場合：

ワイドクリアテーブルから脚を取り外すには、皿ねじをゆるめる必要はありません。

テーブル脚を左 (loosen の矢印の方向) にまわして脚をテーブルから外します。

テーブル脚を再び取り付ける場合、アタッチメントの凹部とテーブル脚の凸部を合わせて取り付け、右 (tighten の矢印の方向) に止まるまでまわします。



◎ 操作方法

● 電源のつなぎ方



- 電源は、一般家庭用交流電源 100 V で使用してください。
ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災の原因となります。
- 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
ほこりなどが付着していると湿気などによって絶縁不良となり火災の原因となります。

★ スタート/ストップボタンを使用する場合

1. 電源スイッチを「OFF」(切) にします。
2. 電源コードのプラグをプラグ受けに差し込みます。
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
4. 電源スイッチを「ON」(入) にします。

※ 電源スイッチを入れると、ミシンの準備のための初期設定が数秒間行われます。初期設定中は針などが動きますので、ミシンに触れないでください。

※ 必ず付属の電源コードを使用してください。

※ 電源スイッチの「ON」(入)、「OFF」(切) の操作は 5 秒以上間かくをあけてください。

★ フットコントローラーを使用する場合

フットコントローラーを使用するときは、フットコントローラーからコードを引き出し、フットコントローラープラグをミシンのフットコントローラープラグ受けに差し込みます。

1. 電源スイッチを「OFF」(切) にします。
2. 電源コードのプラグをプラグ受けに差し込みます。
3. フットコントローラーからコードを引き出し、フットコントローラープラグをフットコントローラープラグ受けに差し込みます。
4. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
5. 電源スイッチを「ON」(入) にします。

※ フットコントローラーのコードの取り出し方と収納方法は 15 ページをごらんください。

※ フットコントローラーを接続している場合、スタート/ストップボタンは使用できません。

※ フットコントローラーは、モデルによってオプションになります。

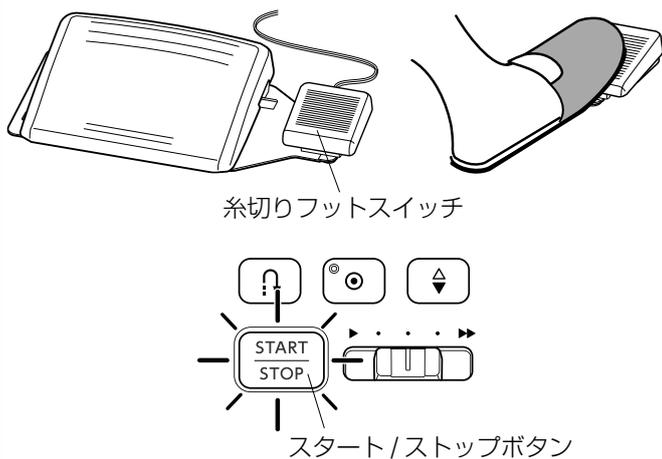
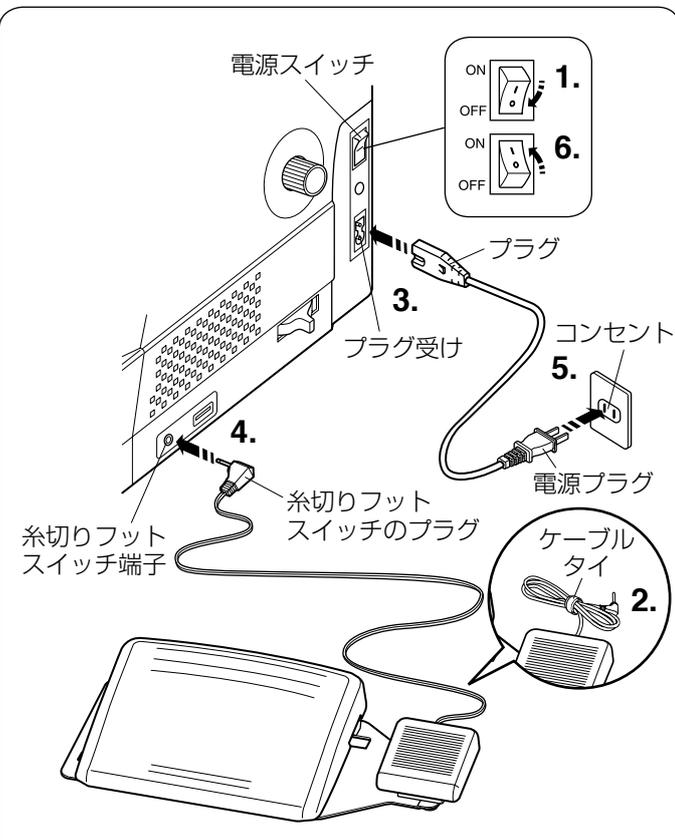
● 糸切りフットスイッチのつなぎ方

糸切りフットスイッチを使用する場合、ミシンの糸切りフットスイッチ端子にプラグを差し込みます。

⚠ 注意

糸切りフットスイッチのプラグを糸切りフットスイッチ端子に差し込むときには、必ず電源スイッチを「OFF」(切)にしてから、プラグを差し込んでください。けがの原因となります。

1. 電源スイッチを「OFF」(切) にします。
2. ケーブルタイをケーブルから取り外します。
3. 電源コードのプラグをプラグ受けに差し込みます。
4. 糸切りフットスイッチのプラグを糸切りフットスイッチ端子に差し込みます。
5. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
6. 電源スイッチを「ON」(入) にします。



ぬい終わってから糸切りフットスイッチを0.5秒以上ふむと、上糸と下糸が切られます。

スタート/ストップボタンが青色に変わるまで糸切りフットスイッチをふまないでください。

糸切り後、針は上位置に移動します。

次にぬうとき下糸を引きあげなくても続けてぬうことができます。

- ※ 必要に応じて、ケーブルタイを使ってケーブルを束ねます。
- ※ 糸切り中と糸切り直後には、フットコントローラーや針上下移動ボタンの操作はできません。

糸切りの注意事項：

- 以下の場合、糸切りフットスイッチは機能しません。
 - － 電源をつけた直後。
 - － 押さえを押さえ上げであげたとき。
 - － 糸切りフットスイッチを3回連続でふんだとき。
- 30番および30番より太い糸や特殊な糸を切る場合や、2本針ぬいで糸を切る場合は、ミシンの面板に付いている糸切りを使用してください。(52ページ「面板の糸切りの使い方」参照)
- 糸残りが少ない糸こまは使用しないでください。糸がらみの原因となります。
- 糸切り部の掃除をとときどき行ってください。糸切り部に糸くずがたまると故障の原因となります。(183ページ参照)
- 糸が切れず糸がからんでしまった場合は、ロックキーでミシンをロックしてから針板を外し、からんでいる糸を取り除いてください。(183ページ参照)

● 速さの調整

ぬう速さは、スピードコントロールつまみやフットコントローラーで調整します。

★ スピードコントロールつまみ

スピードコントロールつまみは、スタート/ストップボタン使用時のぬう速さを調整できます。

つまみの位置が右側になるほど速くなり、ぬいながら速度を変更できます。

※ フットコントローラー使用時は、フットコントローラーをいっぱいにふみ込んだときの最高速度を調整できます。

※ 最高速度は、模様のぬい目のあかさ、および模様の種類によって変化します。

★ フットコントローラー

※ フットコントローラーは、モデルによってオプションになります。

フットコントローラーのふみかげんで、ミシンの速さを調整します。フットコントローラーを深くふむほど、ぬいの速度が速くなります。

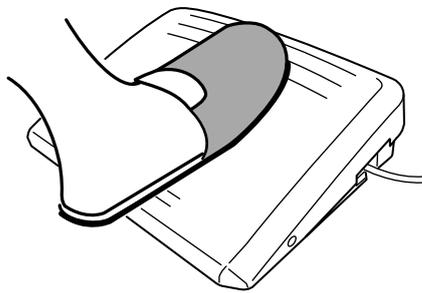
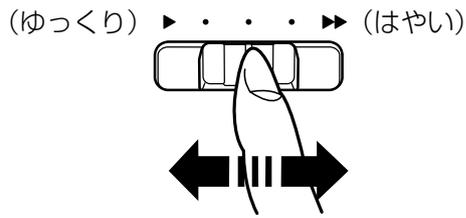
※ フットコントローラーをいちばん深くふみこんだときのミシンの最高速度は、スピードコントロールつまみで調整します。

※ スピードコントロールつまみは、通常、いちばん右側の位置（最高速）にして、ふみかげんで速さを調整してください。

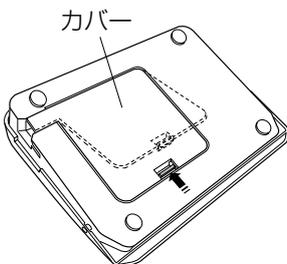
※ 細かいものをぬうときなどは、スピードコントロールつまみを低速側にしておくと、フットコントローラーをいっぱいにふみ込んででもスピードが出ないので使いやすくなります。

※ ミシンに大きな負荷がかかった場合、安全装置が働き自動的に停止するしくみになっています。画面に表示されるメッセージにしたがってください。

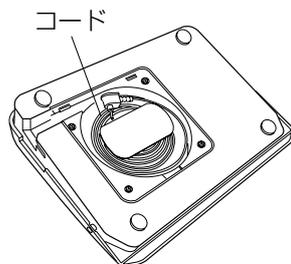
(185 ページ参照)



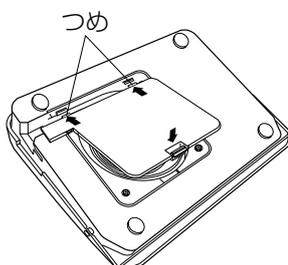
1.



2.



3.

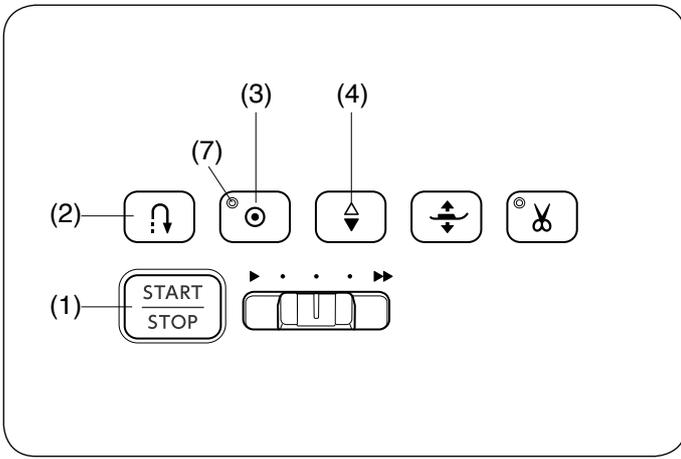


⚠ 注意

- フットコントローラーの上に物を置かないようにしてください。けがや故障の原因となります。
- フットコントローラーを使用する場合、周辺に糸くずやほこりがないことを確認してください。動作不良を起こし、けがや故障の原因となります。

【コードの取り出し方と収納方法】

1. 底のカバーを外してコードを取り出します。
2. コードを収納する場合、底のカバーを外してコードを巻き付けて収納します。
3. カバーは、先に2カ所のつめを押し込んでから取り付けます。



● 操作ボタン

(1) スタート/ストップボタン

スタート/ストップボタンを押すと、ミシンはゆっくり動き始めてからスピードコントロールつまみでセットした速さになります。(スロースタート機能)

もう一度押すとミシンは停止します。通常は針が下の位置で停止します。

- ※ ぬい途中でこのボタンを長押しするとミシンは低速になり、ボタンを離すと止まります。
- ※ ボタンの色は、ミシン停止中は青、運転中は赤になります。
- ※ ボタンを押してスタートさせるときおよび停止させるとき、指をはなさないで押し続けているあいだは低速で動きます。
- ※ フットコントローラーを接続している場合、スタート/ストップボタンは使用できません。
- ※ 動き始めの速度(スロースタート機能)は、かえることができます。(179 ページ「スロースタート調節」参照)
- ※ ミシンを停止したとき、通常は針が下の位置で停止しますが、上の位置で停止にも設定できます。(178 ページ「針停止位置」参照)

(2) 返しぬいボタン

- 以下の模様が選択されている場合(直線ぬい用針板模様含む)：

じつようぬい	アップリケ	キルト	つなぎもよう	かざりもよう 2

《ミシン停止中》(フットコントローラーを接続していないときのみ)

ボタンを押しているあいだは低速で返しぬいを行い、指をはなすとミシンは停止します。

《ミシン運転中》

ボタンを押しているあいだは返しぬいを行い、指をはなすと前進ぬいにもどります。

- そのほかの模様が選択されている場合：

ぬい途中で返しぬいボタンを押すと、その位置でほつれ止めの止めぬいを行い、自動的にミシンが停止します。

ミシンが停止しているときに押すと、運転再開後、その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ じつようぬい 、ボタンホール を選

択した場合、返しぬいボタンは特殊な使い方になります。(55、74、80、147 各ページを参照)

(3) 止めぬいボタン

- 以下の模様が選択されている場合(直線ぬい用針板模様含む)

じつようぬい	アップリケ	キルト	つなぎもよう	かざりもよう 2

ぬい途中でボタンを押すと、その位置でほつれ止めの止めぬいをしてミシンが自動的に停止します。

ミシンが停止しているときに押すと、LED (7) が点滅します。ミシンをスタートさせると、その場でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。LED (7) が点灯しているときは使用できません。

- そのほかの模様が選択されている場合：

ぬい途中でボタンを押すと、模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

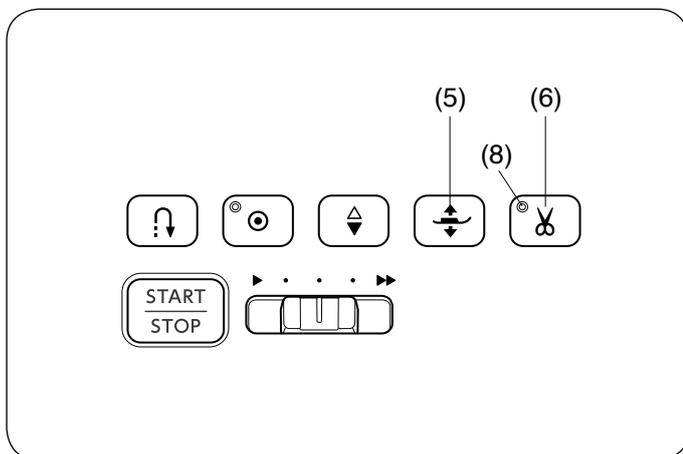
ミシンが停止しているときに押すと、LED (7) が点滅します。ミシンをスタートさせると、模様を完成させたあと、止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

- ※ ぬう前にボタンを押しておく、模様を1つだけぬったあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。LED (7) が点滅します。
- ※ 「通常ぬいオートストップ時の糸切り」を「ON」に設定すると、ほつれ止めの止めぬいをしたあと、自動的に糸を切ります。(178 ページ参照)

(4) 上下停針ボタン

ミシンが停止しているときにボタンを押すと針の位置が上にあるときは下へ、下にあるときは上へ移動させることができます。

- ※ ミシンを停止したときの針位置の設定は、178 ページ「針停止位置」をごらんください。



(5) 押さえ上下移動ボタン

ミシンが停止しているときに、押さえをあげたり下げたりします。押さえ上げやニーリフトを使って押さえをあげ下げすることもできます（21、35 ページ参照）

(6) 糸切りボタン

ぬい終わったあとボタンを押すと、上糸と下糸を自動的に切ります。（自動糸切り）

糸を切ったあと、針は自動的に上の位置に移動します。（52 ページ【ぬい終わり】参照）

糸切り後は下糸を針板の上に引きあげないで、そのままの状態ですることが出来ます。

糸切り中は、LED（8）が点滅します。

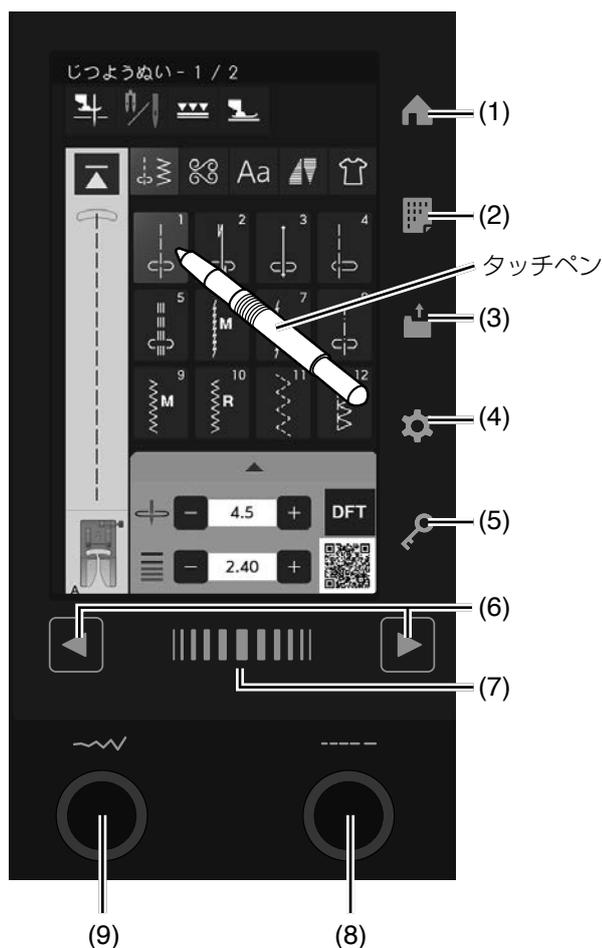
LED（8）が点灯しているときは使用できます。

※ 通常は、ぬい終わったあと糸切りボタンを押して上糸と下糸を切りますが、「通常ぬいオートストップ時の糸切り」を「ON」に設定すると、糸切りボタンを使用しないで、ぬい終わると同時に自動的に糸を切ることもできます。（178 ページ参照）

糸切りの注意事項

- 以下の場合など LED（8）が点灯していないとき、糸切りボタンは使用できません。
 - － 電源をつけた直後。
 - － 押さえを押さえ上げであげたとき。
 - － 糸切りボタンを 3 回連続で押したとき。
- 30 番および 30 番より太い糸や特殊な糸を切る場合や、2 本針ぬいで糸を切る場合は、ミシンの面板に付いている糸切り / 糸押さえを使用してください。（52 ページ「面板の糸切りの使い方」参照）
- 糸残りが少ない糸こまは使用しないでください。糸がらみの原因となります。
- 糸切り部の掃除をときどき行ってください。糸切り部に糸くすがたまると故障の原因となります。（183 ページ参照）
- 糸が切れず糸がからんでしまった場合は、ロックキーでミシンをロックしてから針板を外し、からんでいる糸を取り除いてください。（183 ページ参照）

〔電源投入時のじつようぬい画面〕



● 画面（タッチパネル）と調整ダイヤル

⚠ 注意

画面のキーは付属のタッチペンか指で押ししてください。画面を鉛筆、ドライバーなどの硬いものや先の尖ったもので押さないでください。タッチペンを使うことをおすすめします。

(1) ホームキー

じつようぬい画面の先頭にもどります。

(2) 内蔵早見表キー

模様一覧表が表示されます。(22 ページ参照)

(3) ファイルオープンキー

ミシン本体や USB メモリに保存してある模様データを呼び出します。(103、125～126 ページ参照)

(4) セットキー

ミシンの設定を変更できます。

「ミシン設定」(174～177 ページ参照)、「ぬい設定」(178～181 ページ参照)、「言語設定」(182 ページ参照)があります。

(5) ロックキー

押さえや針などの部品交換時、糸のセットを行うときなどに使います。ロックキーを押すと、押さえがさかった状態になります。

押さえ上下移動ボタンを除くすべてのボタンやキーの操作ができなくなり、ミシンも動きません。

現在設定されている状態を保持したまま安全に押さえや針の交換、糸のセットなどを行うことができます。

ロックを解除するにはもう一度ロックキーを押します。

※ 押さえや針、針板の交換、糸のセットなどを行うときに、ロック状態にしないで、電源スイッチを切った状態で行うと、押さえ上げで押さえのあげさげができない場合があります。

(6) ページキー

▶ キーを押すと次のページ、◀ キーを押すと前のページに移動します。

ページキーを押し続けると連続でページがめくれます。

(7) タッチバー

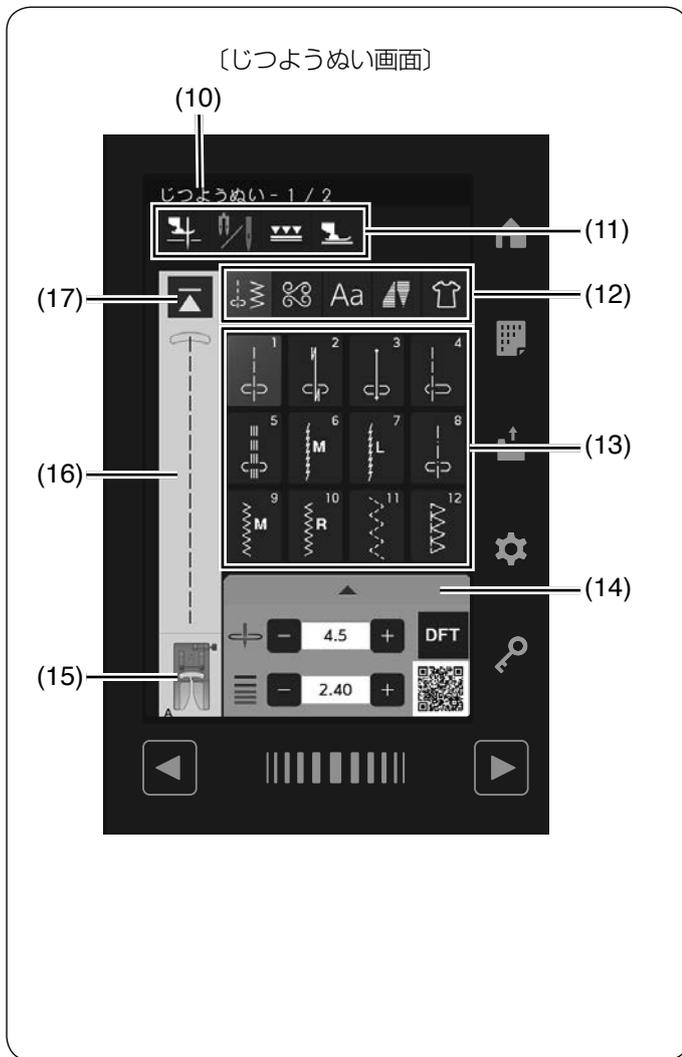
タッチバーを押しながら右側にスライドさせると次のページ、左側にスライドさせると前のページにかえることができます。

(8) ぬい目のあらかさ調整ダイヤル

ダイヤルをまわして、選択した模様のぬい目のあらかさを変更します。(47、72 ページなど参照)

(9) ぬい目の幅調整ダイヤル

ダイヤルをまわして、選択した模様のぬい目の幅もしくは針落ち位置を変更します。(46、50、72、81、148 ページなど参照)



(10) 模様グループ名称とページ

選ばれている模様グループの名称と現在のページが表示されます。

(11) ファンクションキー

選ばれている模様を設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更できます。(44～45ページ参照)

(12) 模様グループ選択キー

目的の模様が属している模様グループを選びます。(23～26ページ参照)

(13) 模様選択キー

模様を直接選んでぬうことができます。

(14) 調整キー

選ばれている模様のぬい目の幅、あらか、糸調子、押さえ圧の変更ができます。模様によって、調整項目は異なります。(46～49ページ参照)

(15) 押さえの表示

選択した模様の代表的なぬいに適した押さえが表示されます。ぬい目的によって、使用する押さえは異なります。

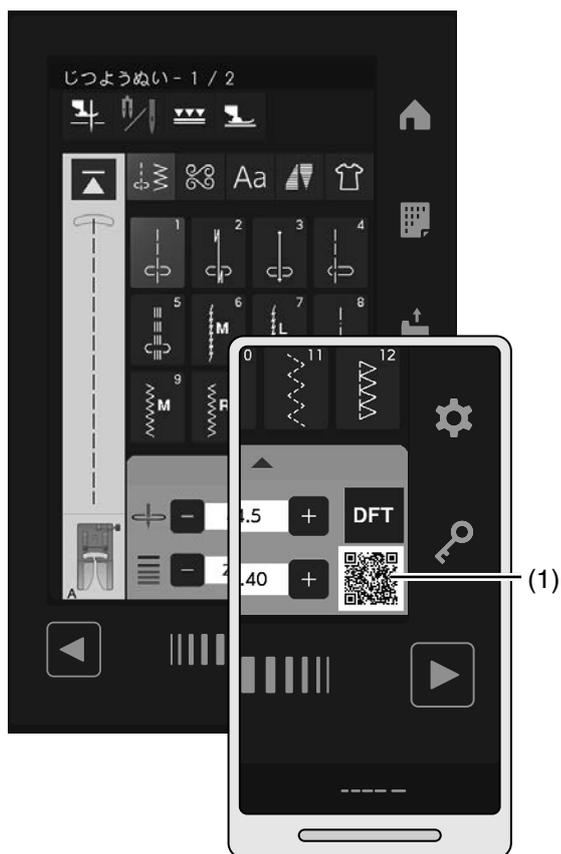
(16) イメージ表示部

選択した模様のぬいイメージが表示されます。

(17) 模様頭出しキー

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬうことができます。(111ページ参照)

〔じつようぬい模様選択画面〕(1/2 ページ)



● AcuSpark2 (モバイルアプリケーション)

AcuSpark2 は、ミシンの使い方やコツを説明するアプリです。

ミシンの基本的な使い方だけでなく、画面(タッチパネル)右下に表示された QR コードをアプリで読み取ると、ミシン画面についての説明や使い方のコツが表示されます。

(1) QR コード

要件：

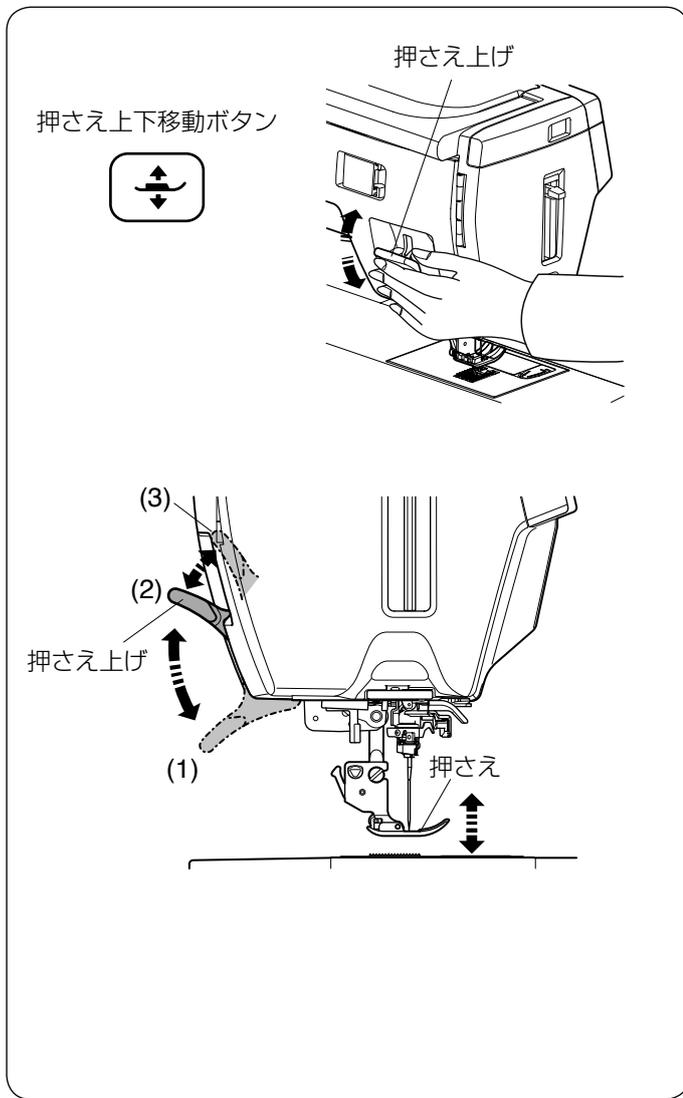
- タブレット (iOS、Android™) またはスマートフォン (iOS、Android™)

アプリケーションは、以下からダウンロードできます。

https://www7.janome.co.jp/sewing_machine/soft/acuspark2



- QR コードリーダー (スキャナー) アプリは、App Store や Google Play ストアからダウンロードできます。
- 右上の QR コードをモバイル端末でスキャンして、アプリをダウンロードします。
- ダウンロードには、ネットワーク接続が必要です。通信費はお客様のご負担となります。
- iOS は、Apple Inc. によって作成されたオペレーティングシステムソフトウェアの名前です。
- iOS は、米国およびその他の国で登録された Cisco Systems Inc. の商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。
- Android および Google Play は、Google LLC の商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Apple Store は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- AcuSpark は、株式会社ジャノメの商標または登録商標です。



● 押さえ上げ

押さえ上げは、押さえを交換するときや、厚い布を入れるときなどに使います。

押さえ上下移動ボタン、押さえ上げ、もしくはニーリフトで、押さえのあげさげを行います。

ニーリフトや押さえ上げを使用すると、押さえ上げを普通にあげて止まる位置より約 7 mm 高くあげることができ、厚い布が入れやすくなります。

(「ニーリフト」35 ページ参照)

(1) さげた位置

ぬうときなど

(2) 普通にあげた位置

布のセットや取り出し、上糸かけ、押さえの交換のときなど

(3) さらにあげた位置 (固定はできません。)

厚い布を入れるときなど

※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげた場合、押さえ上げで押さえをおろすことはできません。一度、押さえ上下移動ボタンを押して押さえをさげると、押さえ上げで押さえを上下できるようになります。

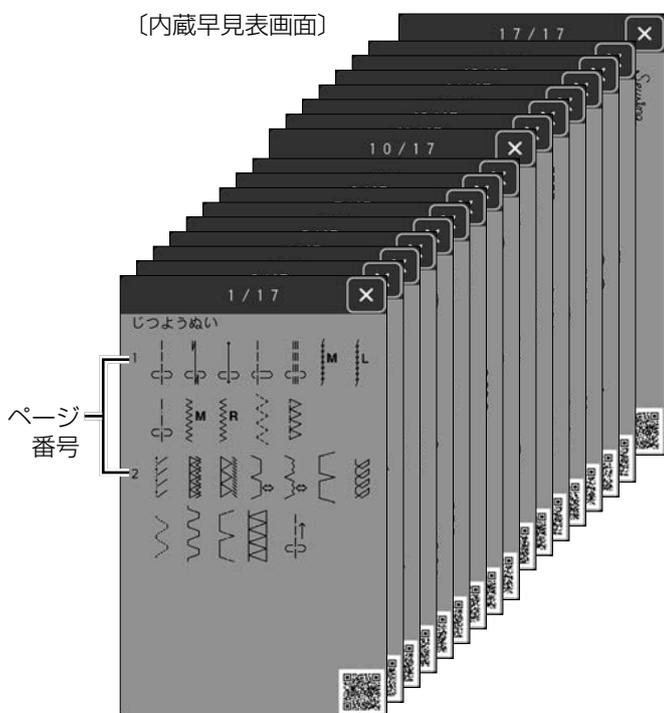
※ 通常、押さえのあげさげには、押さえ上下移動ボタンを使用します。押さえ上げを使用すると、ミシンがスタートしなかったり、自動糸切りができなかったりする場合があります。

※ 押さえをいちばん高くあげた状態ではずみ車をまわしたり、上下停針ボタンを押したりしないでください。

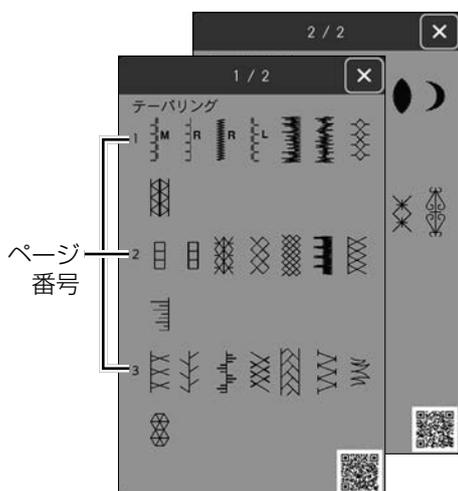
〔じつようぬい模様選択画面〕 (1/2 ページ)



〔内蔵早見表画面〕



〔内蔵早見表画面〕 (テーパリング)



● 内蔵早見表

内蔵早見表キーを押して、内蔵早見表画面を表示させます。

内蔵早見表の模様を直接押して、ステッチを選択できます。

内蔵早見表画面の左側の数字は、選んでいる模様グループのページ番号です。

※ モノグラムおよび用途選択の模様グループを選択しているとき、内蔵早見表画面は表示されません。

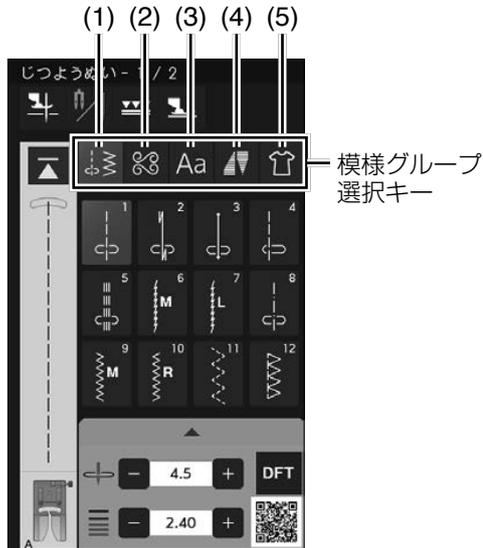
※ 2本針ぬいなど、特定のぬい方を選択した場合、ぬいに適さない内蔵早見表の模様はグレーになり、選択できません。

● 模様グループ選択キー

模様グループは、以下5つのグループに分かれています。

- (1) じつようぬい、ボタンホールと特殊模様
- (2) かざりぬい、キルト模様
- (3) 文字ぬい
- (4) テーパリング
- (5) 用途選択

模様グループ選択キーのアイコンキーを押し、模様グループを選びます。



(1)



(1) じつようぬい、ボタンホールと特殊模様

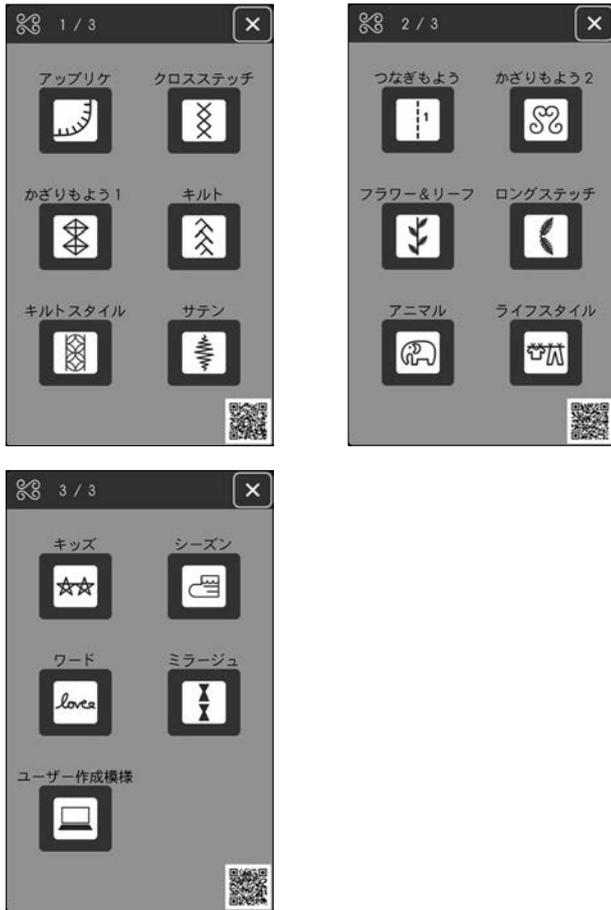
じつようぬい

ぬい合わせ、かがりぬい、まつりぬい、しつけぬい、シェルタックなどのじつようぬいの模様を選ぶことができます。

ボタンホールと特殊模様

さまざまな種類のボタンホール、ボタン付け、つくろいぬい、かんぬき止め、フライステッチ、アイレットなどの特殊ぬいを選択できます。

(2) 



(2) かざりぬい、キルト模様

この模様グループには、以下の17のグループがあります。

- アップリケ
- クロスステッチ
- かざりもよう1
- キルト
- キルトスタイル
- サテン
- つなぎもよう
- かざりもよう2
- フラワー&リーフ
- ロングステッチ
- アニマル
- ライフスタイル
- キッズ
- シーズン
- ワード
- ミラージュ
- ユーザー作成模様

(3) 

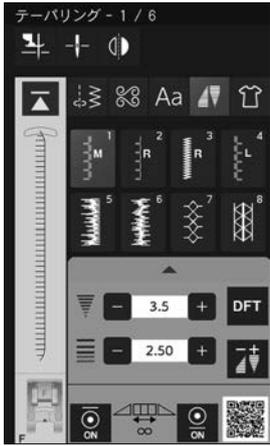


(3) 文字ぬい

以下の8種類の文字からお好みの書体を選択し、文字や文字の組み合わせをプログラムすることができます。(115～120ページ参照)

- ブロック
- スクリプト
- ブロードウェイ
- ブロック (9 mm)
- キリル文字
- 明朝体 (9 mm)
- まるもじ (9 mm)
- ワンポイント

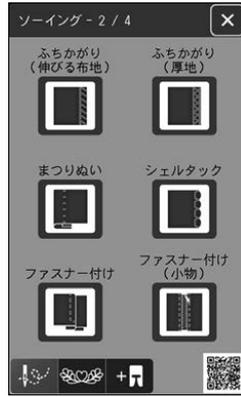
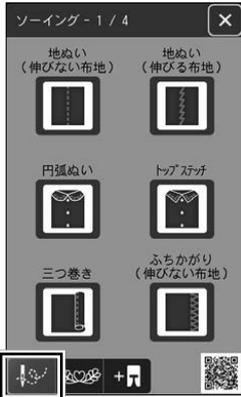
(4)



(4) テーパーリング

かざりぬい模様の最初と最後を先細りにして、模様先端やコーナーを細くするテーパーリングが可能な模様です。(96～102 ページ参照)

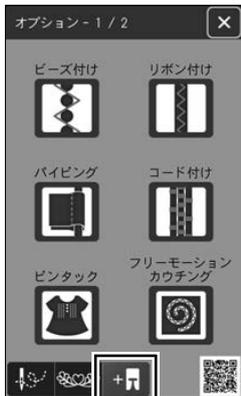
(5)



ソーイングキー



キルトキー



オプションキー

(5) 用途選択

この模様グループでは、様々なぬい用途や布の種類に適したぬい模様を選ぶことができます。

(127 ~ 171 ページ参照)

ソーイングキー、キルトキー、オプションキーを押してカテゴリーを選択します。

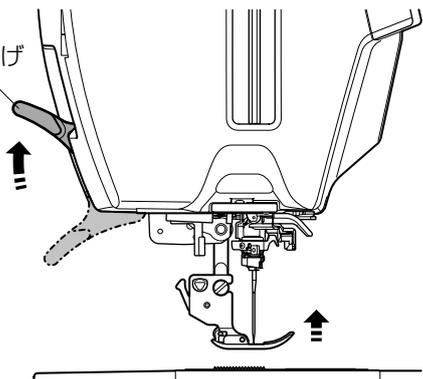
1.

上下停針ボタン



2.

押さえ上げ



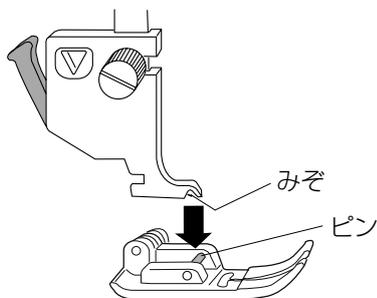
3.



レバー

押さえホルダー

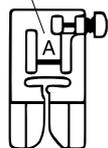
押さえ



押さえ記号

みぞ

ピン



● 押さえの外し方、付け方

⚠ 注意

- 押さえを交換する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。
- 押さえは模様にあったものを使用してください。押さえが合っていないと針が押さえに当たり、けがの原因となります。

【押さえの外し方】

1. 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。
ロックキーを押してミシンをロックします。
 2. 押さえ上げをあげます。
- ※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあと押さえ上げで押さえをさげることができません。

3. 押さえホルダーのレバーをうしろ側から手前に押し、押さえを外します。

⚠ 注意

レバーを上から押さないでください。
故障の原因となります。

【押さえの付け方】

交換する押さえのピンを、押さえホルダーのみぞに合うように真下へおきます。

押さえ上げをゆっくりさげ、押さえを取り付けます。

- ※ 押さえは、模様にあったものを使用してください。
押さえには押さえ記号が付いています。

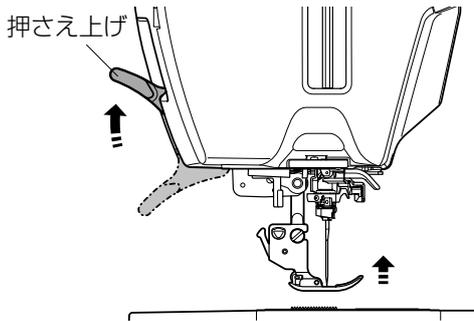
1.

上下停針ボタン

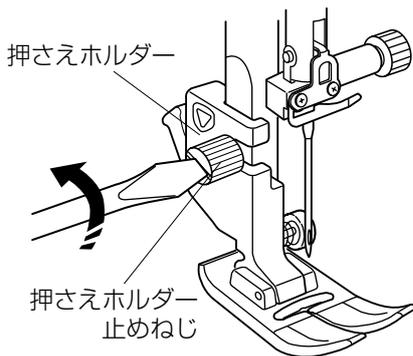


ロック
キー

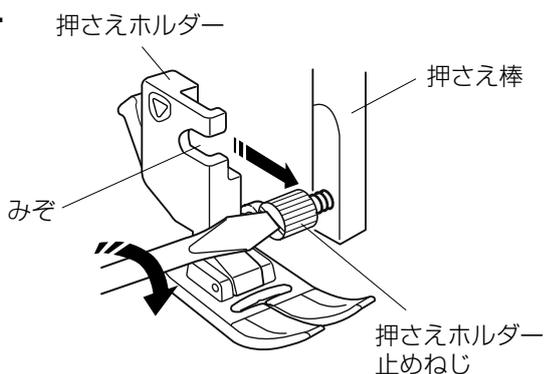
2.



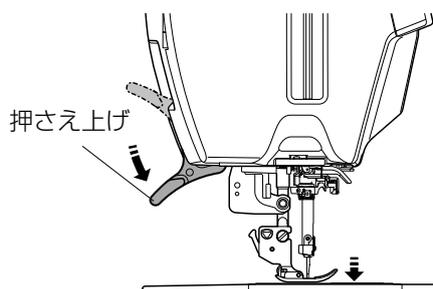
3.



1. 3.



2.



● 押さえホルダーの外し方・付け方

プロフェッショナル直線押さえ HP、ルーラーワーク押さえ QR、フリーキルト押さえ PD-H、上送り押さえ AD (標準)、A.S.R. (ステッチレギュレーター) などを使用する場合、押さえホルダーを外します。

⚠ 注意

押さえホルダーの取り付け、取り外しを行う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

【押さえホルダーの外し方】

1. 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。
ロックキーを押してミシンをロックします。
2. 押さえ上げをあげます。
3. ドライバーで押さえホルダー止めねじを左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。

【押さえホルダーの付け方】

※ 押さえホルダーは、押さえが付いた状態で取り付けてください。押さえが付いていないと正常な取り付けができません。

電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。

ロックキーを押してミシンをロックし、押さえ上げをあげます。

※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあと押さえ上げで押さえをさげることができません。

1. 押さえホルダーのみぞを、うしろ側から押さえホルダー止めねじに合わせ、押さえホルダーを仮止めします。
2. 押さえ上げをゆっくりさげます。はずみ車を手前にまわし、針をいちばん下までさげます。
3. 押さえホルダー止めねじを一度少しゆるめてから、押さえが針板に押し付けられた状態で押さえホルダー止めねじを右にまわしてドライバーでしっかりしめます。

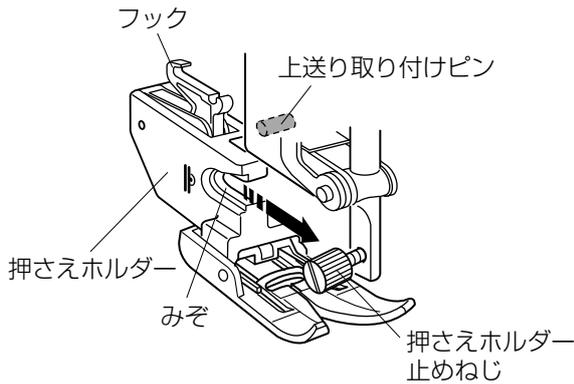
1.

上下停針ボタン

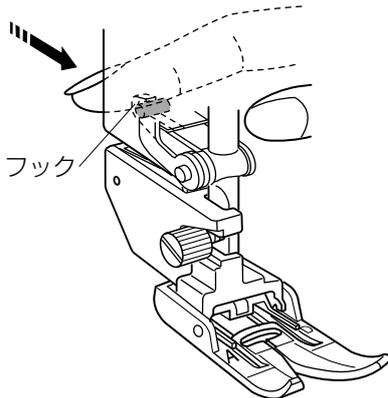


ロック
キー

2.

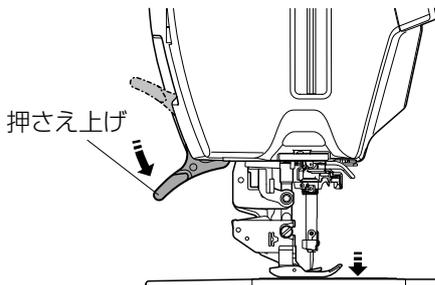


3.



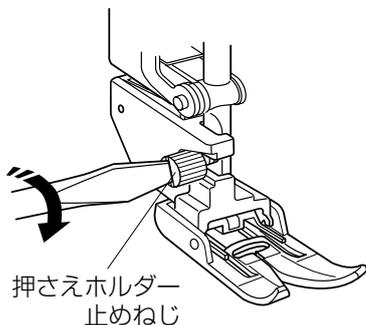
フック

4.



押さえ上げ

5.



押さえホルダー
止めねじ

● 上送り押さえの付け方、外し方



注意

上送り押さへの取り付け、取り外しを行う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

※ 上送り押さえホルダーは、押さえが付いた状態で取り付けてください。押さえが付いていないと正常な取り付けができません。

【上送り押さへの付け方】

1. 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。

ロックキーを押してミシンをロックし、押さえ上げをあげます。

※ 押さえ上下移動ボタンで押さえをあげると、このあと手順 4. で押さえあげで押さえをさげることができません。

ドライバーで押さえホルダー止めねじを左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。

(28 ページ参照)

2. 上送り押さえホルダーのみぞを押さえホルダー止めねじに合わせ、押さえホルダー止めねじを上送り押さえホルダーにふれる位置まで指で右にまわし、上送り押さえホルダーを仮止めします。

3. 上送り押さえホルダーのフック部をうしろ側から手前に「カチン」と音がして止まるまでしっかりと押し付けます。

※ 上送り押さえホルダーのフック部が上送り取り付けピンにしっかりと押し付けられた状態になっていないと、上送りが正常にはたらかません。

4. 押さえ上げをゆっくりさげます。

はずみ車を手前にまわし、針をいちばん下までさげます。

5. 押さえホルダー止めねじを一度少しゆるめ、上送り押さえが針板に押し付けられた状態で、ドライバーでしっかりとしめます。

【上送り押さへの外し方】

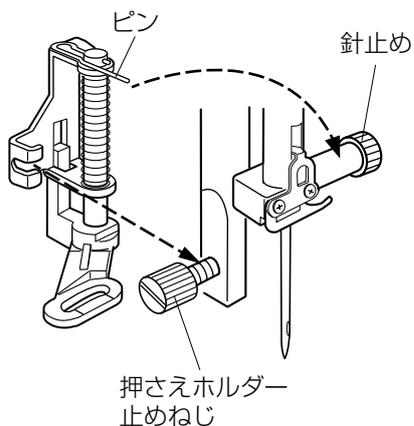
上送り押さえホルダーを外すときは、通常の押さえホルダーを外す場合と同じ方法 (28 ページ【押さえホルダーの外し方】参照) で針と押さえを上げ、押さえホルダー止めねじをゆるめてから上送り押さえホルダーをうしろ側に引いて外してください。

1.

上下停針ボタン



2.



● そのほかの押さえの交換

⚠ 注意

押さえの取り付け、取り外しを行う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

★ フリーキルト押さえ PD-H / フリーキルト押さえ PD-H (前あき)

※ イラストはフリーキルト押さえ PD-H の例

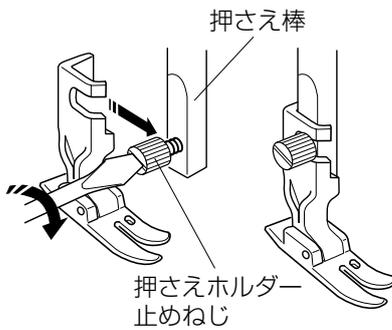
1. 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。
ロックキーを押してミシンをロックし、押さえ上げをあげます。
ドライバーで押さえホルダー止めねじを左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。
(28 ページ参照)
2. 針と押さえ上げがあがっている状態で、フリーキルト押さえ PD-H のピンを針止めの上にのせます。
押さえのみぞを、うしろ側から押さえホルダー止めねじに合わせ、ドライバーでしっかりしめます。
※ 取り付け後、押さえが傾いていないことを確認してください。針が押さえに当たり、けがの原因となります。
3. ロックキーを押して、ロック状態を解除します。
※ 取り外すときは、電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロックします。
針と押さえ上げをあげ、押さえホルダー止めねじをドライバーでゆるめ、押さえを取り外します。

1.

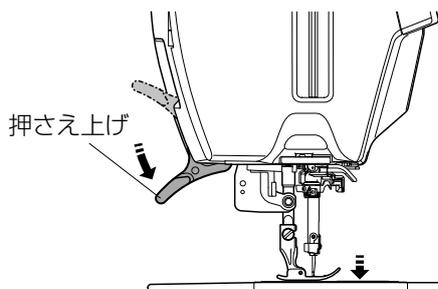
上下停針ボタン



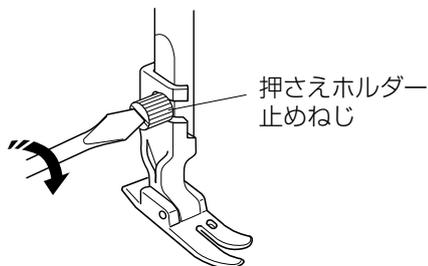
3.



4.



5.



★ プロフェッショナル直線押さえ HP

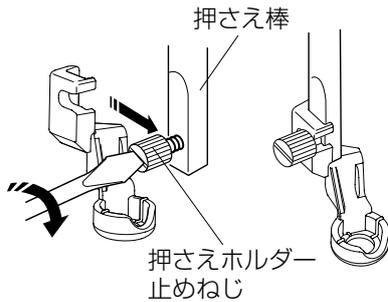
1. 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。
ロックキーを押してミシンをロックし、押さえ上げをあげます。
2. ドライバーで押さえホルダー止めねじを左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。
(28 ページ参照)
3. 押さえ棒にプロフェッショナル直線押さえ HP を図のように取り付けます。
押さえホルダー止めねじを軽くしめ、押さえを仮止めしておきます。
4. 押さえ上げをゆっくりさげます。
はずみ車を手前にまわし、針をいちばん下までさげます。
5. 押さえホルダー止めねじを一度少しゆるめます。
押さえが針板に押し付けられた状態で、押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめます。
6. ロックキーを押して、ロック状態を解除します。
※ 取り外すときは、電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロックします。
針と押さえ上げをあげ、押さえホルダー止めねじをドライバーでゆるめ、押さえを取り外します。

1.

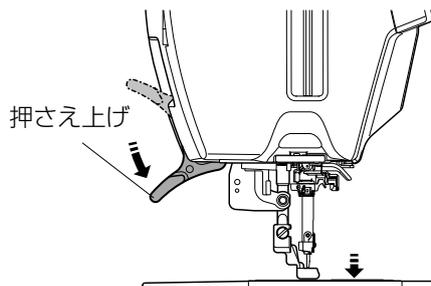
上下停針ボタン



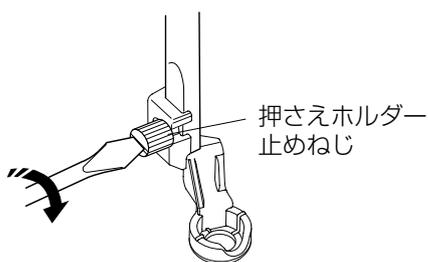
3.



4.



5.



★ ルーラーワーク押さえ QR

1. 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。
ロックキーを押してミシンをロックし、押さえ上げをあげます。
 2. ドライバーで押さえホルダー止めねじを左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。
(28 ページ参照)
 3. 押さえ棒にルーラーワーク押さえ QR を図のように取り付けます。
押さえホルダー止めねじを軽くしめ、押さえを仮止めておきます。
 4. 押さえ上げをゆっくりさげます。
はずみ車を手前にまわし、針をいちばん下までさげます。
 5. 押さえホルダー止めねじを一度少しゆるめます。
押さえが針板に押し付けられた状態で、押さえホルダー止めねじをドライバーでしっかりしめます。
 6. ロックキーを押して、ロック状態を解除します。
- ※ 取り外すときは、電源スイッチを入れた状態でロックキーを押してミシンをロックします。
針と押さえ上げをあげ、押さえホルダー止めねじをドライバーでゆるめ、押さえを取り外します。

⚠ 注意

ルーラーワーク押さえ QR を取り付けて糸通しを使用する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。(42 ページ参照)
糸通しが押さえに当たる場合があります。

1.

上下停針ボタン

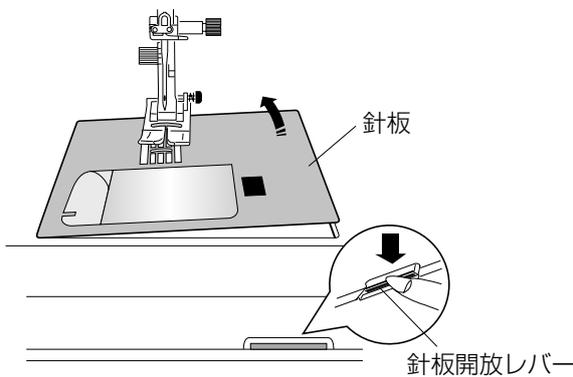


ロックキー

押さえ上下移動ボタン

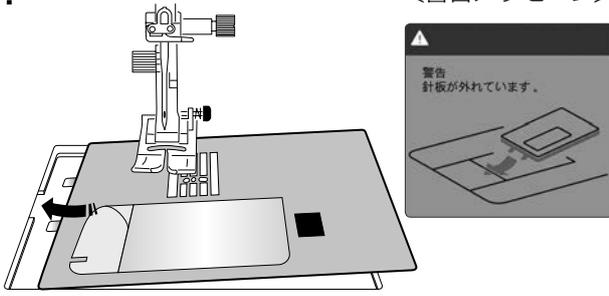


2.



1.

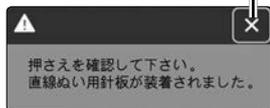
〔警告メッセージ〕



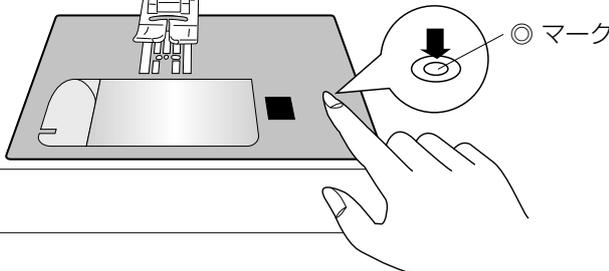
2.

〔メッセージ画面〕

閉じるキー



◎マーク



● 針板の外し方、付け方



注意

針板の交換を行う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

上送り押さえを使用するとき、キルトのピーシング、フリーモーションやルーラーワークでぬい場合は、直線ぬい用針板を使用してください。プロフェッショナル直線押さえ HP を使用する場合は、プロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）を使用してください。

※ 直線ぬい用針板、プロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）を取り付けると、ぬえない模様は選択できなくなります。

※ プロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）は、付属のプロフェッショナル直線押さえ HP と一緒に使用してください。（60 ページ参照）

【針板の外し方】

1. 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。

ロックキーを押してミシンをロックします。

押さえ上下移動ボタンを押し、押さえをあげます。

※ 押さえをあげるとき、押さえ上げであげるよりも押さえ上下移動ボタンであげるほうが高く上がり、針板が取り外しやすくなります。

2. 補助テーブルを左に引いて外します。

フリーアーム中央の下にある針板開放レバーをさげて、針板を外します。

【針板の付け方】

1. ミシンの針板取り付け部左側に針板の2つのガイドを入れます。

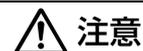
※ ミシンの電源スイッチが入っている場合、針板が外れているあいだ、針板が外れていることを示す警告メッセージ画面が表示されます。

針板を取り付けたとき、警告メッセージ画面が消えることを確認してください。消えない場合、もう一度取り付け直してください。

2. 針板右側にある「◎」マークが付いている場所を「パチン」と音がするまで指でしっかりと押しつけて、針板を固定します。

※ 針板を取り付け後、押さえ確認のメッセージ画面が表示されます。押さえを確認したあと、閉じるキーを押します。また、はずみ車を手で手前にゆっくりまわして、針が針板に当たらないことを確認してください。

※ メッセージ画面が消えたら、ロックキーを押してロックを解除します。



注意

ミシンの運転中、針板開放レバーは絶対に押さないでください。

● 針の取りかえ方

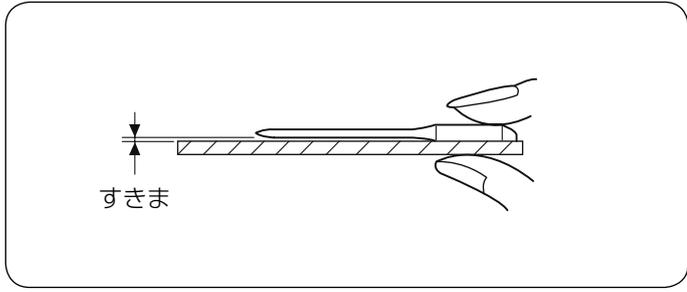
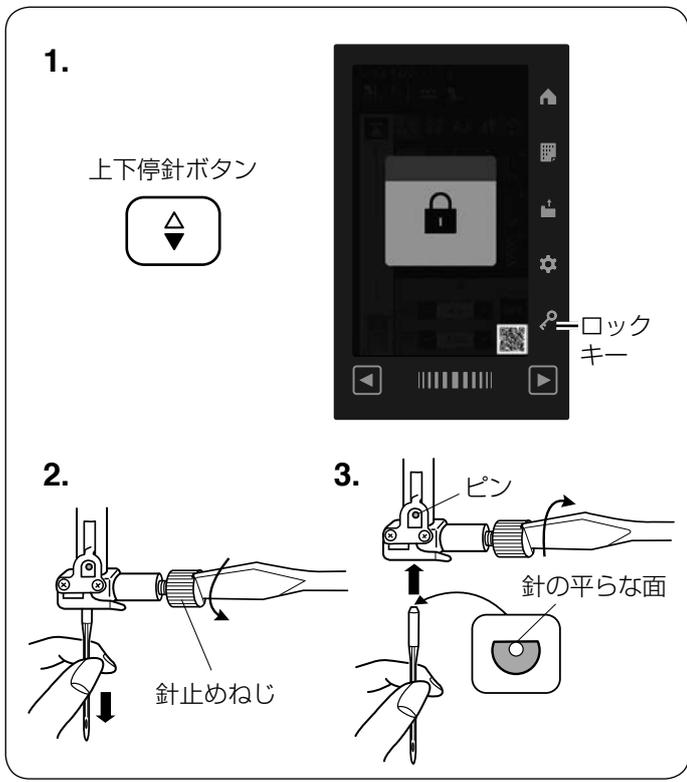
⚠ 注意

針を交換する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

1. 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。
 ロックキーを押してミシンをロックします。
 押さえは、さがった状態のままにしておきます。
 2. 針止めねじを手前に1～2回まわしてゆるめ、針を外します。
 3. 交換する針の平らな面を向こう側に向け、差し込みます。
 差し込むとき、針を停止ピンに当たるところまで押しあげます。針止めねじをドライバーでまわし、針をしっかり止めます。
- ※ 正しく針が付けられていないと、糸通しができないだけでなく、針がゆるんで針折れして危険です。

【針の調べ方】

針の状態を見るには、針の平らな面を針板などの平らなものに乗せます。
 針と平らな面のすきまが針先まで均等に見えるのがよい針です。
 針先が曲がったり、つぶれたりしているものは使わないでください。

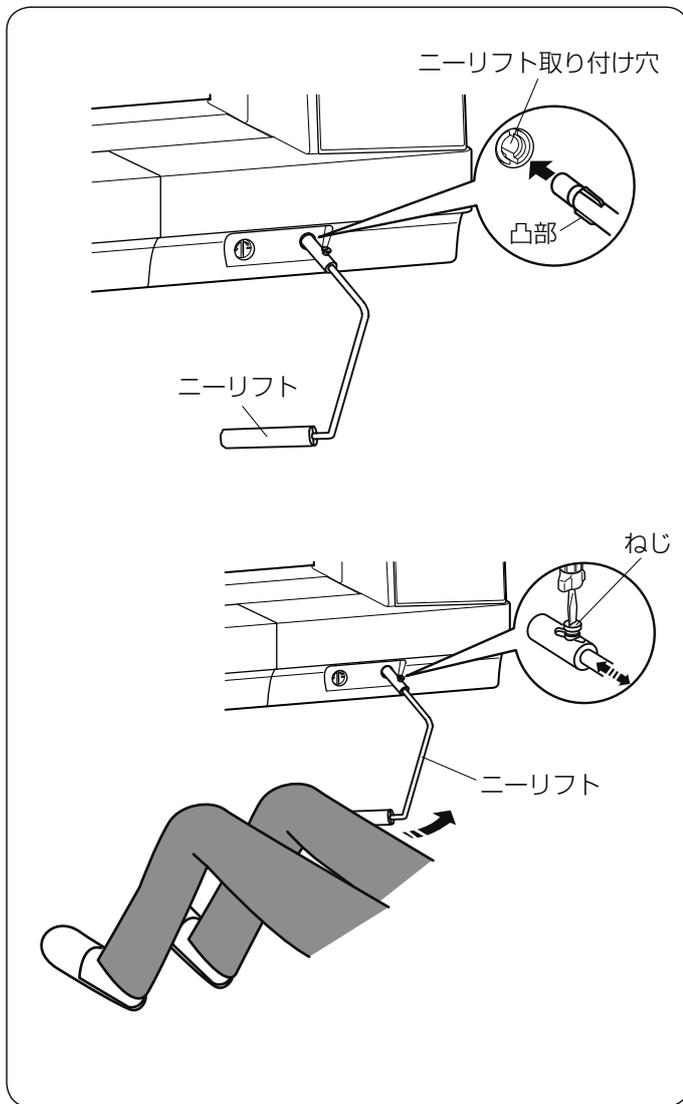


● 布に適した糸や針を選ぶ目安

※ 針は必ず、家庭用ミシン針（HA × 1）を使用してください。

布の種類		糸	針
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット	ポリエステル 90 番	9 番～11 番 または ブルー針
普通の布	シーチング ジャージー 一般ウール地	綿糸 60 番、 ポリエステル、ナイロン 50 番～90 番	11 番～14 番 または ブルー針、レッド針、パープル針
		綿糸 50 番	14 番 または レッド針、パープル針
厚い布	デニム ツイード コート地	綿糸 40 番～50 番 ポリエステル 40 番～50 番	14 番～16 番 または レッド針、パープル針
		ポリエステル 30 番、綿糸 30 番	16 番

- ※ ブルー針〔11番〕、レッド針〔14番〕、パープル針〔14番〕は、標準付属品の針ケースに入っています。
- ※ 一般的に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安に糸と針を選び、試しぬいをしてください。
- ※ 通常は、上糸と下糸は同じものを使用してください。
- ※ ブルー針（柄の部分が青色の針）およびパープル針（柄の部分が紫色の針）は、目とび防止の効果があります。



● ニーリフト

ニーリフトを取り付けると、押さえ上下移動ボタンを使わず、ひざで押さえのあげ下げができます。パッチワークや、キルトをぬうときにとても便利です。

※ ニーリフトを使用したバリエブルZZ（可変ジグザグ）は 162～163 ページをごらんください。

【ニーリフトの取り付け】

ニーリフトの凸部を取り付け穴の凹部に合わせ、差し込みます。

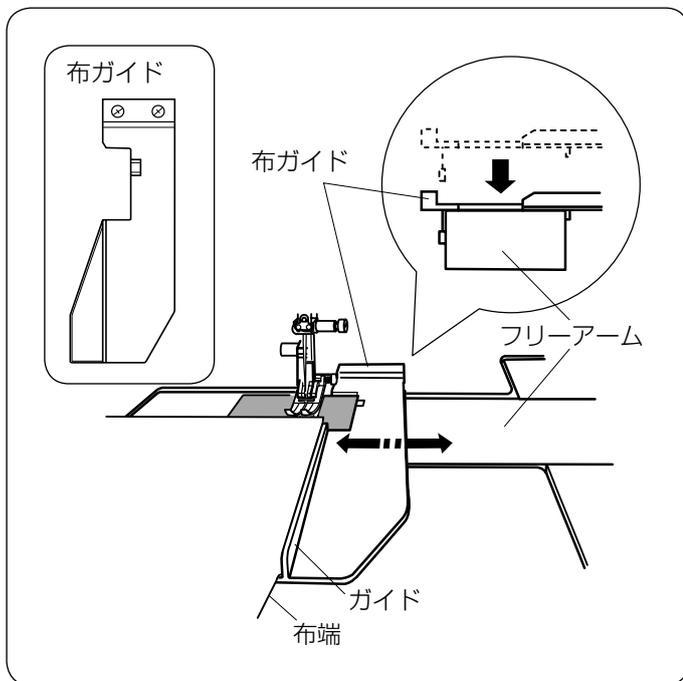
【ニーリフトの角度調整】

ねじをゆるめて、ニーリフトを出し入れし、角度を調整します。ねじをしめ、お好みの角度でニーリフトを固定してください。

【ニーリフトの使い方】

ニーリフトをひざで右側に押すと押さえが上がり（2段階）、もどすと押さえがさがります。

※ ぬっている途中、ニーリフトには触れないよう注意してください。



● 布ガイドの使い方

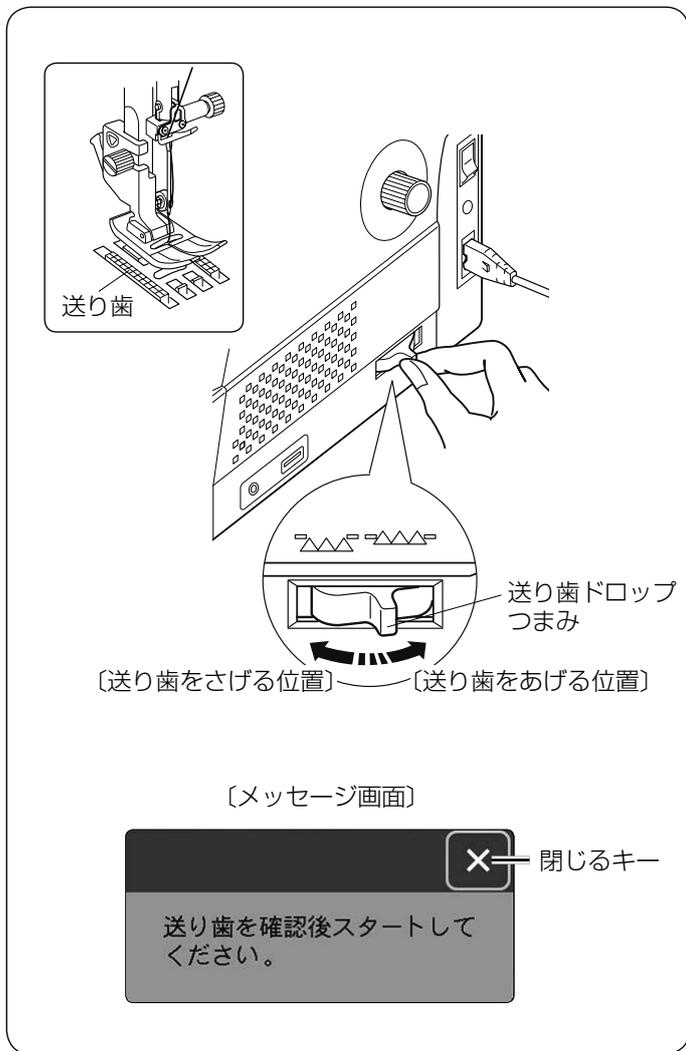
布ガイドを使用すると布端からお好みの位置を正確にぬうことができます。

ミシンから補助テーブルを外し、ワイドクリアテーブルを取り付けます。（12 ページ参照）

布ガイドをミシンのフリーアームに上からはめ込むようにセットします。

布ガイドをスライドさせ、ガイドの位置を決めます。

布端をガイドに当ててぬいます。



● 送り歯ドロップつまみ

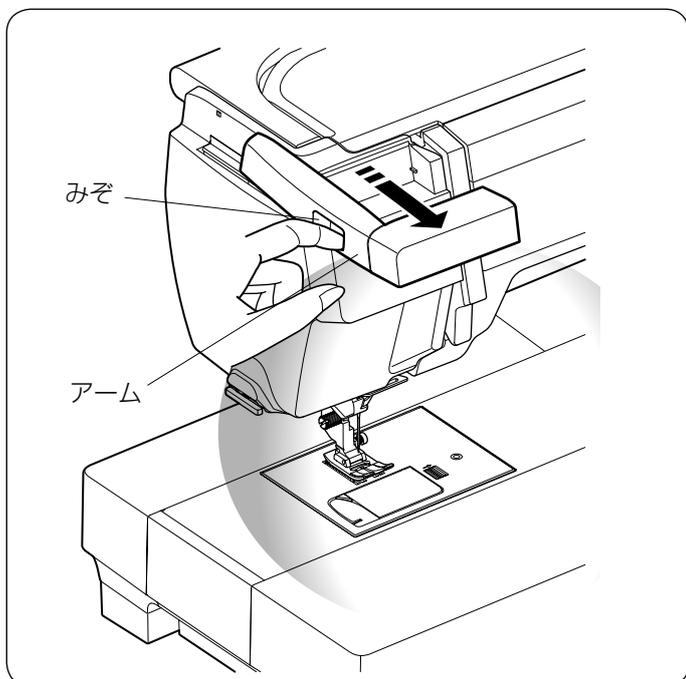
送り歯ドロップつまみで送り歯を常時さげた状態にし、布送り機能をなしにすることができます。しつけぬいやボタン付け、フリーモーションなどを行うときに使用します。

送り歯をさげるには、送り歯ドロップつまみを手前の方向に引きます。

送り歯をあげるには、送り歯ドロップつまみを〔送り歯をあげる位置〕にもどします。

※ 送り歯をさげた場合、ぬい終わったら送り歯ドロップつまみを〔送り歯をあげる位置〕にもどし、はずみ車を手で手前にまわして送り歯があがることを確認してください。

※ 送り歯をさげてミシンをスタートさせると画面にメッセージ画面が表示されます。送り歯を確認したあと、閉じるキーを押してミシンをスタートさせると、送り歯をさげた状態で運転することができます。



● 格納式手元照明

2つのLEDライトに加えて、ミシンには格納式手元照明が装備されています。

みぞに指を入れて、アームを手前にスライドさせます。ライトが自動的に点灯します。

アームを格納するとライトは消えます。

⚠ 注意

アームに強い力を加えたり、物をぶついたりしないでください。

伸ばしたときに破損する恐れがあります。

◎ めう前の準備

● 下糸の準備

★ ボビンの取り出し

押さえ上げをあげ、角板開放ボタンを右へずらして角板を外します。ボビンを取り出します。

お願い

- ボビンは当社専用のプラスチックボビンを使用してください。お買い上げの販売店へご相談ください。
- ナイロン透明糸およびメタリック糸を、下糸に使用しないでください。
- 金属ボビンは使用しないでください。かまにマグネットが使用されているため、糸調子の不具合や、故障の原因となります。

★ 糸こまのセット

【普通の糸こまの場合】

糸立て棒を軽くおこし、糸の端が糸こまの下から手前に出るようにして糸こまを糸立て棒に入れ、糸こま受けにつき当てます。

糸こま押さえ（大）を糸こまにしっかりと押し付け、押さえます。

【小さい糸こまの場合】

小さい糸こまのときには、糸こま押さえ（小）を使います。

※ 伸縮性の糸を使用する場合、市販の糸こまネットの使用をおすすめします。糸外れや糸のよじれ防止効果があります。

糸こまネットは、糸こまの大きさに合わせて折り曲げるか、切って使用してください。

下記の長さの糸こまを固定する場合、糸こま押さえ（特殊）を使用します。

サイズは以下の通りです：

糸こまの芯の直径が 9.5 mm ~ 10.5 mm で、糸こまの長さが 70 mm ~ 75 mm。

糸こまの芯の穴の中に糸こま押さえ（特殊）を図のようにしっかりと入れ、糸こまを押さえます。

※ 糸こまと糸こま押さえ（特殊）のあいだには、すきまがないようにしてください。

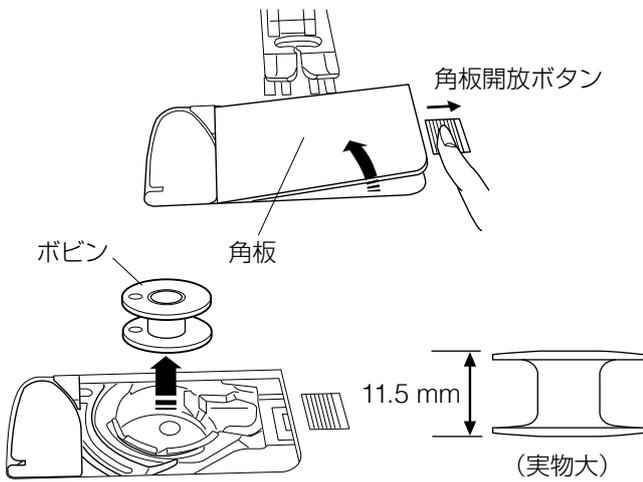
★ 補助糸立て棒の使い方

めいの途中で下糸巻きを行いたい場合、補助糸立て棒を使います。(38 ページ参照)

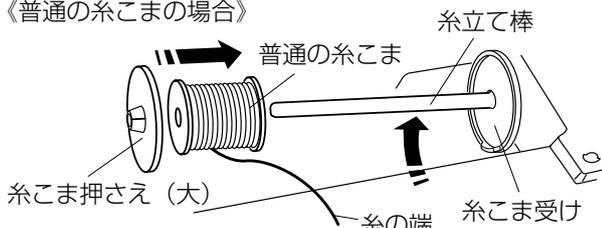
補助糸立て棒を補助糸立て棒取り付け穴に差し込みます。正しい位置に差し込むと、補助糸立て棒は回転せず、固定されます。

糸こまを補助糸立て棒に取り付け、糸こま押さえ（大）で固定します。

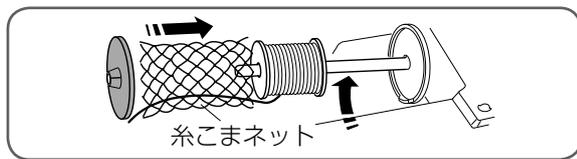
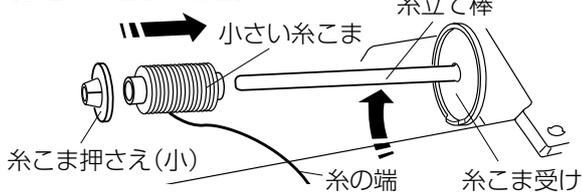
※ 補助糸立て棒は 2 本針めいをする場合にも使用します。(173 ページ参照)



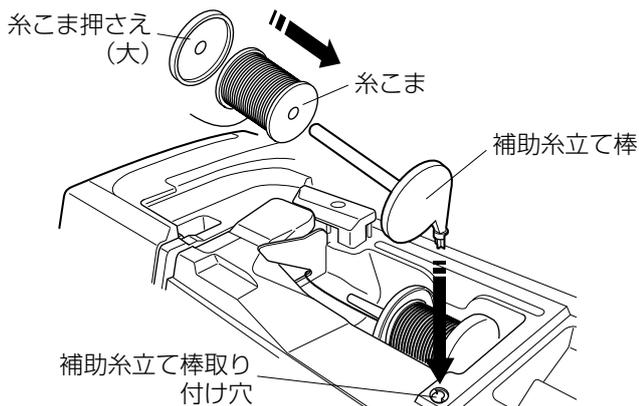
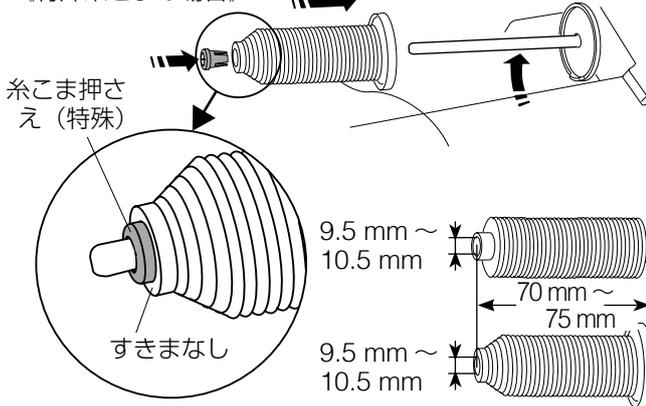
《普通の糸こまの場合》



《小さい糸こまの場合》



《特殊糸こまの場合》

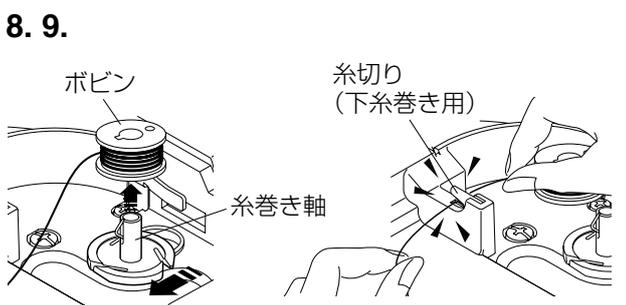
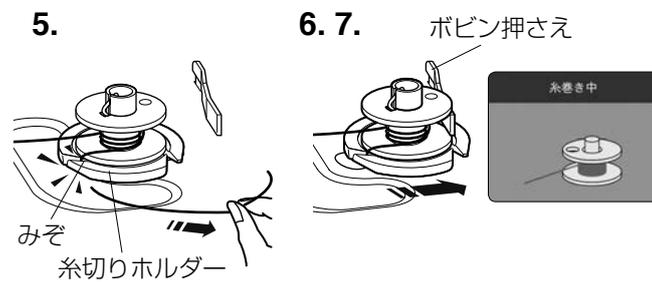
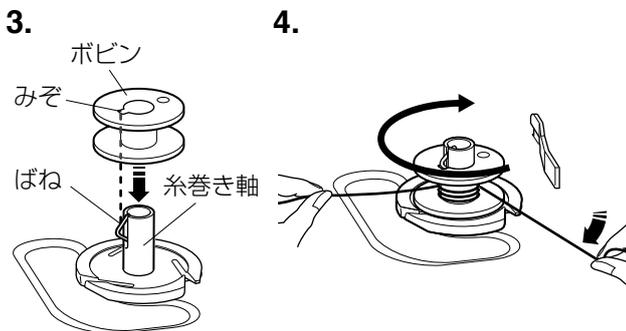
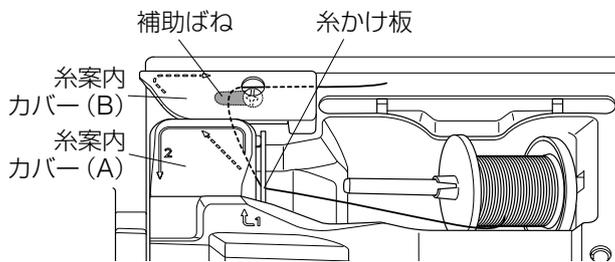
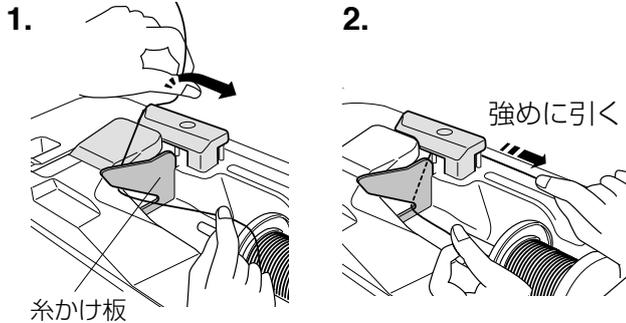
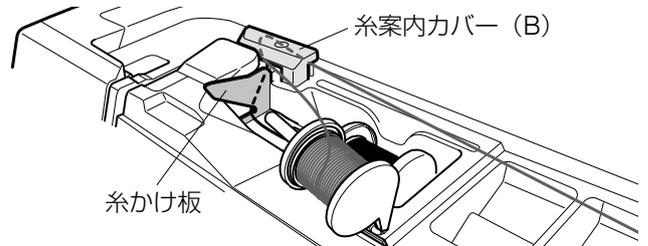


★ 下糸巻き

- ※ 下糸巻きの際は、スピードコントロールつまみを、最高速（いちばん右側の位置）にしてください。（15 ページ参照）

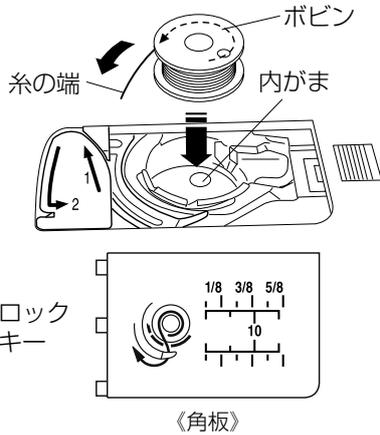
補助糸立て棒使用時の下糸巻き

補助糸立て棒を使用する場合、糸は糸かけ板にかけず糸案内カバー（B）にかけます。

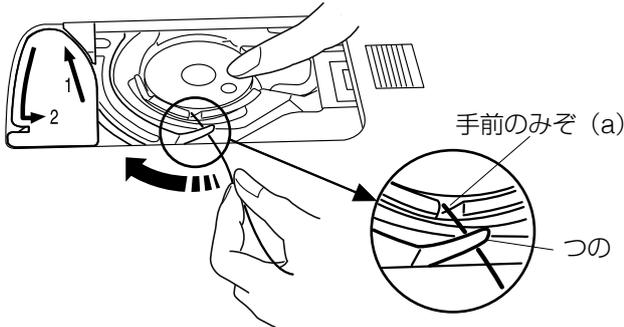


- 糸こまから糸を引き出します。
糸を両手で持ち、糸かけ板にかけます。
- 糸案内カバー（A）の上から糸案内カバー（B）の左うしろに糸をまわし、必ず強めに右に引き出します。
※ 糸を補助ばねの下へ確実に通すために、糸こま側の糸を左手で持ち、引き出した糸を右手で強めに引いてください。補助ばねの下を通していないと、糸巻き不良の原因となります。
- ボビンのみぞと糸巻き軸のばねを合わせて、ボビンを糸巻き軸に差し込みます。
- 右に引き出した糸を左手で押さえ、右手で糸の端をボビンに右まわり（時計回り）に4～5回巻きます。
- ボビンに巻いた糸を糸切りホルダーのみぞに入れて引き、糸を切ります。みぞは3カ所あり、中にカッターが内蔵されています。
- ボビンをボビン押さえの方に押しつけます。画面が「糸巻き中」の表示になります。
※ 糸を巻く前に、糸巻き軸などボビン以外の箇所に糸が巻き付いていないことを確認してください。
※ 補助ばねとボビンのあいだの糸のたるみを少なくしてください。
- ミシンをスタートさせます。
- 下糸を巻き終わると、自動的に回転が止まります。ミシンを止め、ボビンを左側に押しもとの位置にもどします。
※ 下糸巻き中に糸切りホルダーの下に糸がからまってしまった場合、ミシンを停止して糸をほどいてください。（189 ページ参照）
※ 安全のため、ミシンは下糸巻きが始まってから約1分30秒後に自動的に止まります。
※ ボビン（糸巻き軸）は必ずミシンを停止してから元の位置にもどしてください。
- 糸巻き軸からボビンを外し、糸を糸切り（下糸巻き用）で切ります。

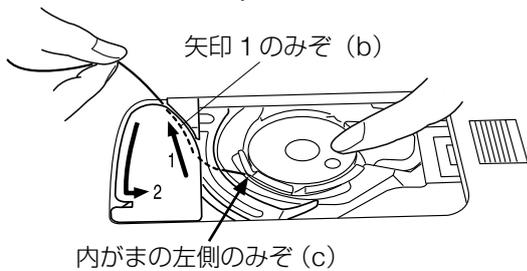
1.



2.



3.

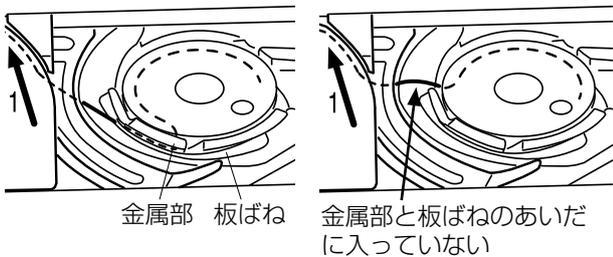


[A]

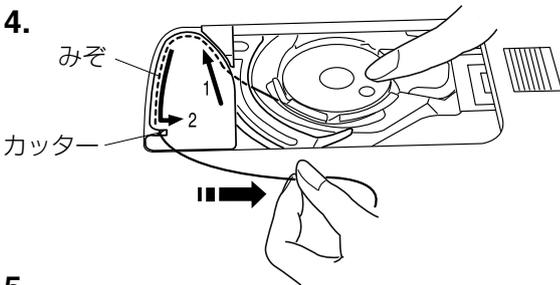
○

[B]

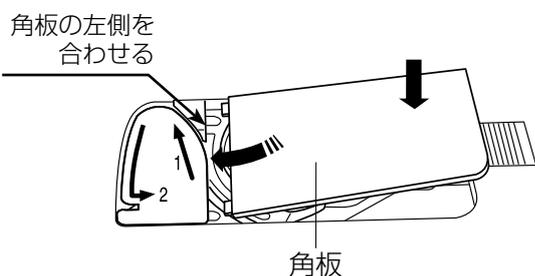
×



4.



5.



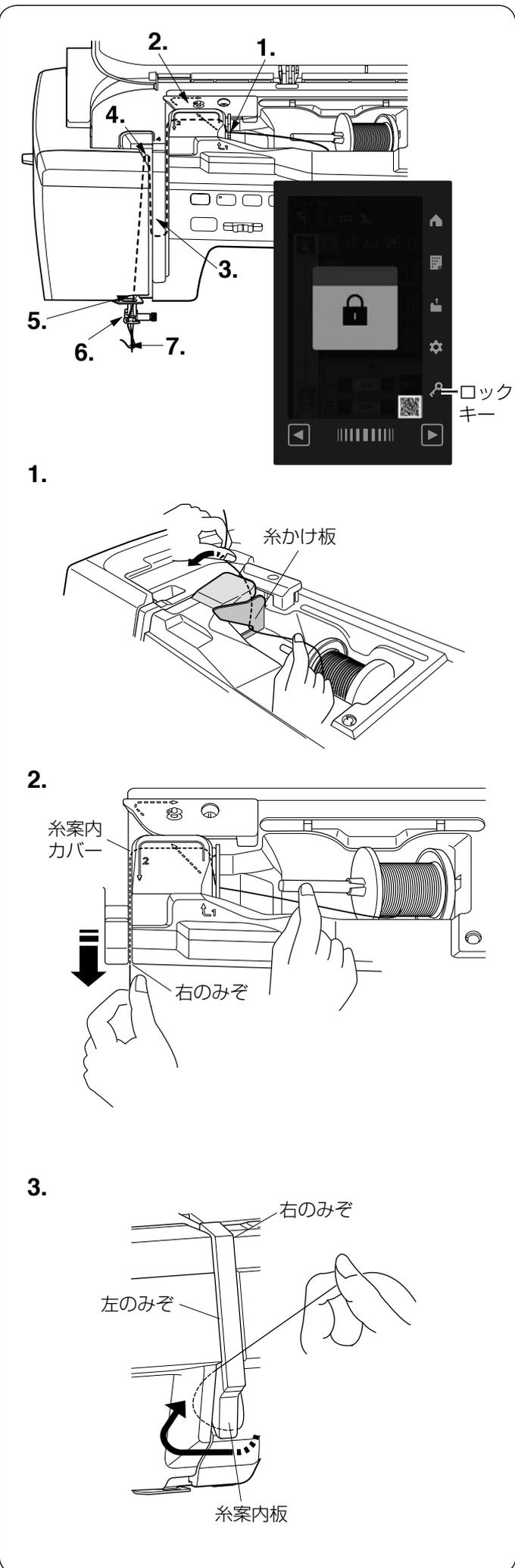
★ ボビンのセット



注意

ボビンを内がまにセットする場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

1. 電源スイッチを入れた状態でロックキーを押し、ミシンをロックします。
針がさがっている場合、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。
ボビンから出る糸の端が反時計回りになるようにし、図のようにボビンを内がまに入れます。
ボビンから引き出される糸の状態の図が角板に表示されています。
 2. ボビンが回転しないように、右手で押さえます。
糸の端を左手で持ち、内がまの手前のみぞ (a) にかけて、さらに手前のつの下をくぐらせます。
※ 糸を各部に確実にかけるため、手順 4. が終わるまで右手でボビンを押さえておきます。
 3. つの下をくぐらせた糸を矢印 1 の方向に引きあげて矢印 1 のみぞ (b) に入れます。
※ 糸が内がまの左側のみぞ (c) から出ているのを確認してください。
- ※ 手順 2. で、内がまの手前のみぞ (a) に糸がかかっていないと、内がまの板ばねのあいだに糸が入らず、矢印 1 のみぞ (b) にボビンから直接通ってしまいます。(左図、[B] 参照)
その場合は手順 2. からかけ直し、左図 [A] の状態になるようにしてください。
- ※ 糸が正しくかけられていないと、ぬい不良の原因となります。
4. みぞに沿って矢印 2 の方向に糸を通し、カッター (下糸切り用) にかけて右に水平に引いて糸を切ります。
 5. 角板を左側から合わせ、下へ押してミシンに取り付けます。
※ 通常は下糸を引き出さずにぬい始めることができます。
※ ぬい始めに下糸を針板の上に引き出す必要がある場合、43 ページをごらんください。

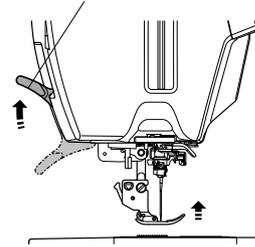


● 上糸かけ

※ はじめに、下記の【準備】を必ず行ってください。
ぬい不良の原因になります。

【準備】

押さえ上げ



1. 押さえ上げをあげます。
2. 電源スイッチを入れ、上下停針ボタンを押して針と天びんをあげます。
3. ロックキーを押してミシンをロックします。押さえはさがった状態になります。

⚠ 注意

糸をかけるときは、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

※ 糸を各部に確実にかけるために、常に右手で糸こま側の糸を押さえながら、左手で強めに引いてかけてください。

※ 糸こまのセット方法は、37 ページ「糸こまのセット」をごらんください。

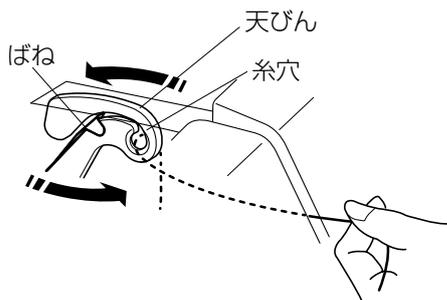
※ 糸こまが外れるのを防ぐため、必ず糸こま押さえを使用してください。

手順 1. から 7. の順に糸を通します。

1. 糸こまから糸を引き出します。
糸を両手で持ち、糸かけ板にかけます。
2. 右手で糸こま側の糸を押さえ、糸案内カバーにかけます。
右のみぞに沿って糸をしっかりと引きます。

3. 糸を右のみぞから糸案内板の下へくぐらせます。
糸を引きあげて左のみぞに通します。

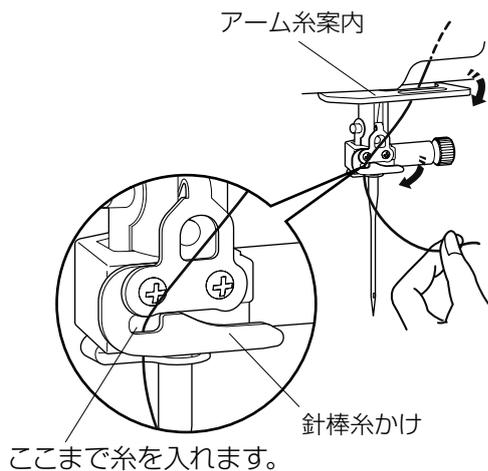
4.



4. 糸こま側の糸を押さえながら、天びんの右からうしろへまわして手前に引き、ばねを通過させて糸穴に入れ、まっすぐ下へおろします。

※ 糸がばねを通過し、天びんの糸穴まで入っていることを確認してください。

5. 6.

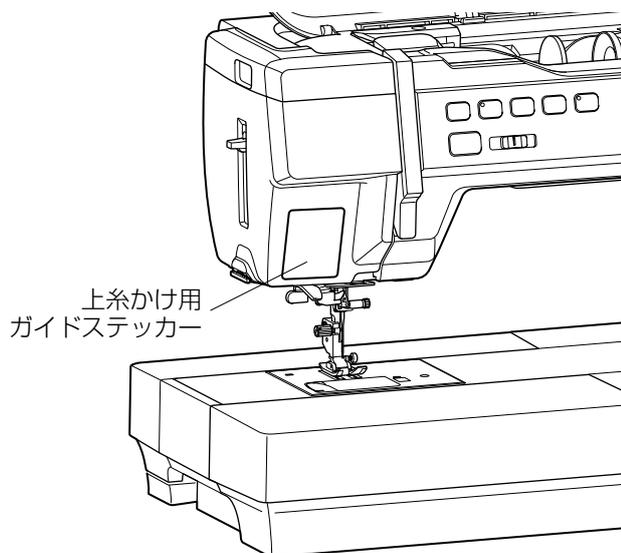


5. 糸をアーム糸案内に右からかけます。

6. 糸を針棒糸かけに右からかけます。

7. 糸通しを使い、針穴に糸を通します。
(42 ページ参照)

貼り付け位置の例



★ 上糸かけ用ガイドステッカー

標準付属品に上糸かけ用ガイドステッカーが含まれています。

お好みの位置にステッカーを貼り、糸通し手順を確認できます。

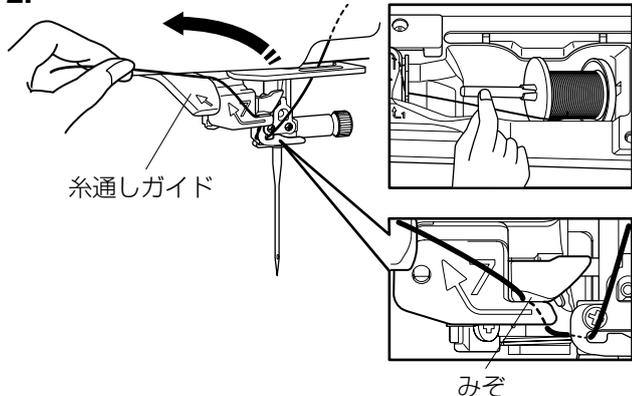
1.

上下停針ボタン



ロック
キー

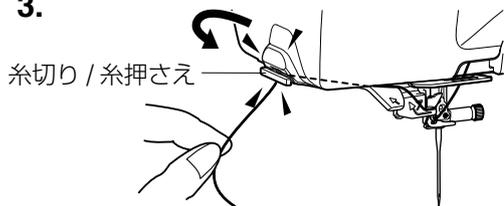
2.



糸通しガイド

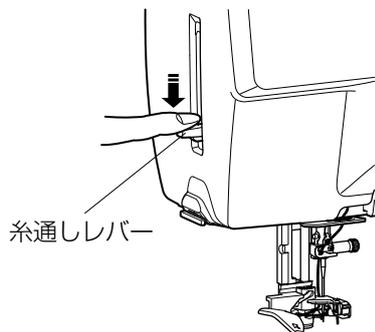
みぞ

3.



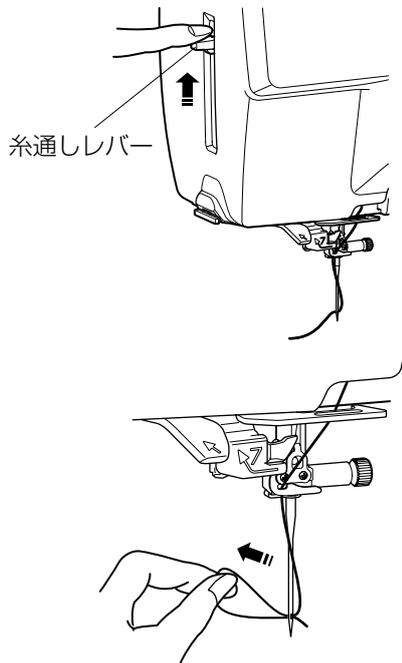
糸切り / 糸押さえ

4.



糸通しレバー

5.



糸通しレバー

● 糸通し

⚠ 注意

糸通しを使用する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。

※ 糸通しを使用する場合、針は家庭用ミシン針(HA×1)の11～16番を、糸の太さは50番～90番を使用してください。

※ 30番より太い糸は使用しないでください。

※ 2本針の場合、糸通しは使用できません。

1. 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。
ロックキーを押し、ミシンをロックします。
押さえはさがった状態になります。

2. 糸こま側の糸を押さえながら、糸を糸通しガイドの上を通し、左に引きあげます。

※ 糸が糸通しのみぞを通っていることを確認します。

3. 引き上げた糸を、面板についている糸切り / 糸押さえに手前側から向こう側にかけて切ります。
糸が糸押さえで保持されます。

4. 糸通しレバーを止まるまでさげます。

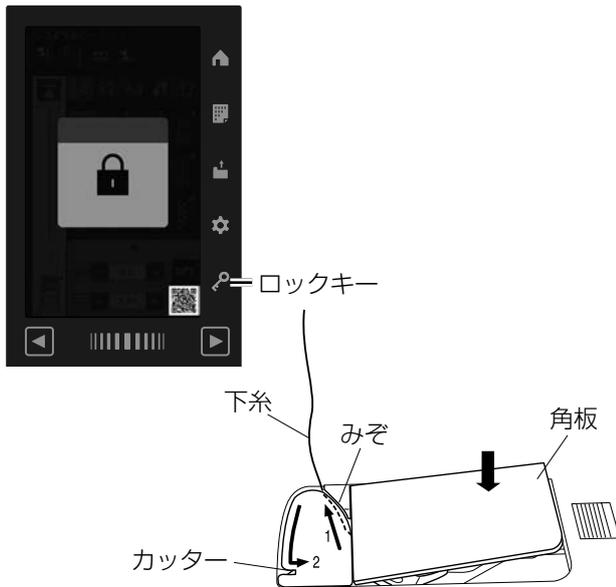
5. 糸通しレバーを静かにもどすと、針穴に糸が通ります。

※ 糸通しレバーをもどしたあとに針穴を通った糸が輪になってしまった場合、輪をゆっくりひっぱり、針穴から糸を引き出します。

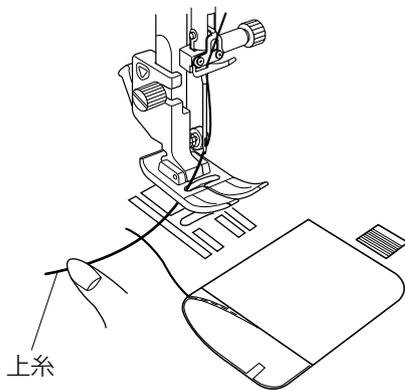
● 下糸を針板の上に引き出す場合

自動糸切り後やボビンを内がまにセットしたあとは、下糸を引きあげずにぬいをスタートすることができます。ただし、ギャザーやスモッキングなどをぬう場合に、ぬい始めの下糸を長くする必要があるときは、下記手順で下糸を針板の上に引き出します。

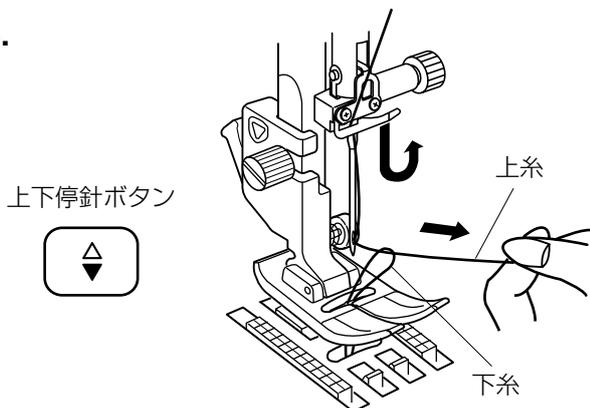
1.



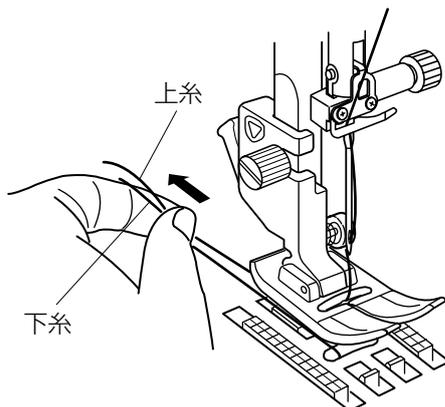
2.



3.



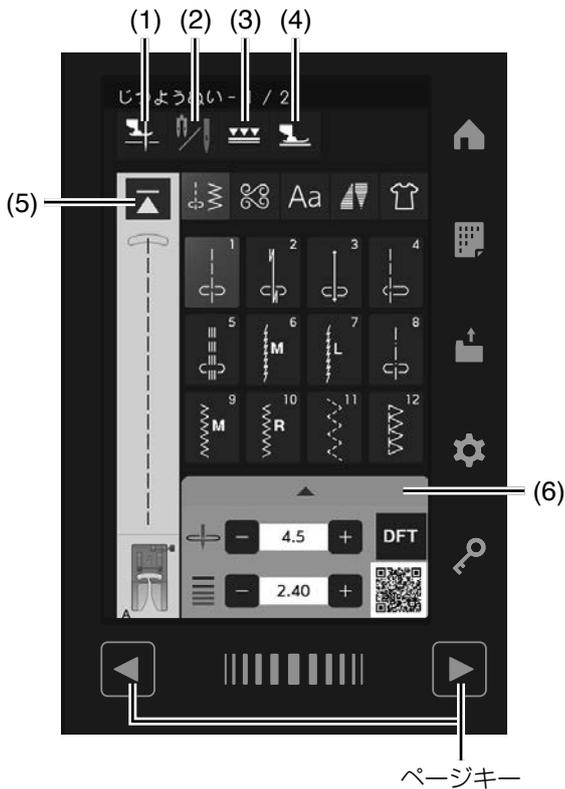
4.



1. 電源スイッチを入れた状態で、ロックキーを押し、ミシンをロックします。
針がさがっている場合、はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。
ボビンを取り出します。
ボビンをもう一度内がまに入れ、39 ページの手順 **1.** ~ 手順 **3.** と同じ方法で下糸を矢印 1 の方向に引きあげてみぞに入れたら、そのまま約 10 cm 向こう側に引き出しておき、角板を取り付けます。
※ 下糸は、下側にあるカッターで切らないでください。
2. 針に上糸を通し、押さえ上げをあげた状態で、上糸の端を指で押さえます。

3. ロックキーを押しロックを解除します。
上下停針ボタンを押して針を下げ、もう一度押して針をあげます。
上糸を軽く引くと下糸の輪が引き出されます。
4. 上糸と下糸を押さえの下にして、約 10 cm うしろにそろえて引き出します。

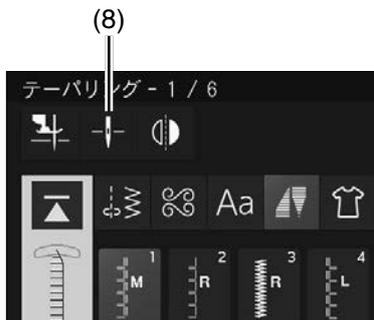
〔じつようぬい模様選択画面〕 (1/2 ページ)



〔アップリケ模様選択画面〕 (1/2 ページ)



〔テーパリング模様選択画面〕 (1/6 ページ)



◎ じつようぬい

● じつようぬいの画面

電源投入時はじつようぬい、ボタンホールと特殊模様の模様選択画面が表示されます。

じつようぬい、ボタンホールと特殊模様のグループは、じつようぬいの 24 個の模様が 2 つのページ (画面) に、ボタンホールと特殊模様の 18 個の模様が 3 つのページ (画面) の合計 5 ページ (画面) に分かれています。

※ ページキーで選択します。

じつようぬいグループの画面は、模様選択キー・ファンクションキー・模様頭出しキーなどのキーと、選ばれている模様のぬい情報や設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、18 ~ 19 ページを ごらんください。

★ ファンクションキー

模様を設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更します。選ばれている模様によっては、グレーになって使用できないファンクションキーがあります。

(1) ピボットぬい設定キー

ピボットぬいを行う場合に押します。(49 ページ参照)
ピボットぬい設定をすると、ミシンを止めたときに針が布にささり、押さえがあがった状態になります。ぬい方向をかえてぬうときに、自分で押さえをあげる必要がなく、ぬい位置もずれず、きれいにぬうことができます。

(2) 2本針ぬい切りかえキー

付属の 2 本針を使用してぬう場合に押します。(172 ~ 173 ページ参照)

(3) 上送りぬい切りかえキー

付属の上送り押さえを使用してぬう場合に押し、上送りぬいに設定します。(57 ~ 59 ページ参照)

(4) フロートモードキー

フロートモードでぬう場合に押します。(61 ページ参照)

(5) 模様頭出しキー

模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬうことができます。一度押しと現在ぬいかけの模様を最初からぬい直します。二度押しと現在ぬっている組み合わせ模様の先頭の模様からぬい直します。(111 ページ参照)

(6) 調整キー

調整キーを押すと調整画面が全体表示されます。調整画面では、ぬい目の幅 (直線状模様の場合は針位置)、ぬい目のあかさ、糸調子の設定値の変更や、押さえ圧の設定などを行うことができます。(46 ~ 49 ページ参照)

(7) ぬい始めの止めぬい切りかえキー

模様のぬい始めの、止めぬいのオンオフを切りかえます。

(8) 針停止位置切りかえキー

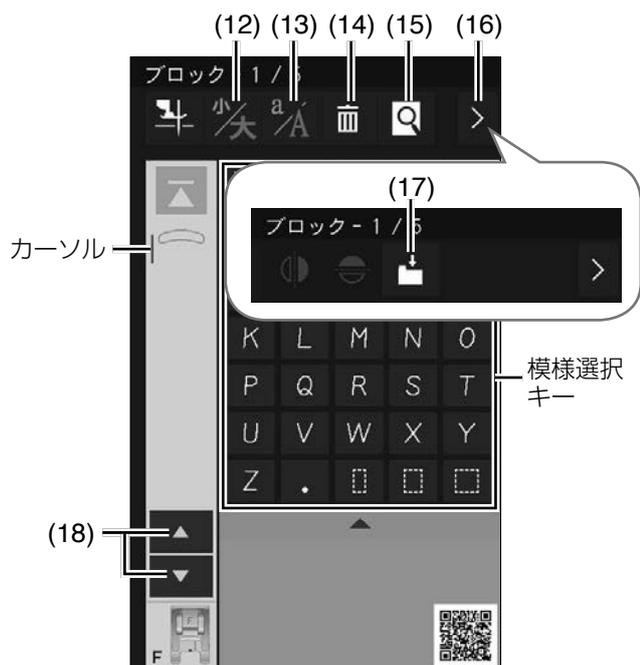
針停止位置を上か下かを切りかえます。

〔かざりもよう 2 模様選択画面〕 (1/6 ページ)



(9) (10) (11)

〔文字ぬい ブロック体の模様選択画面〕 (1/5 ページ)



(12) (13) (14) (15) (16)

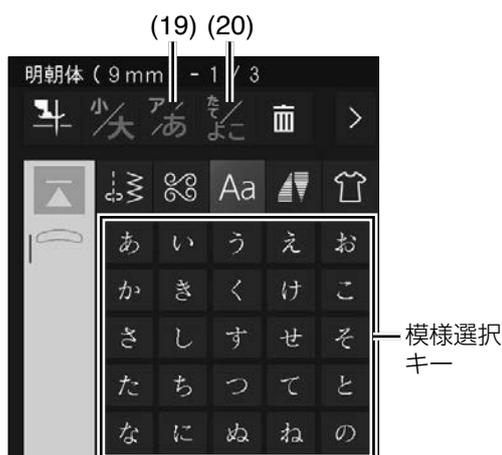
(17)

カーソル

模様選択
キー

(18)

〔文字ぬい 明朝体の模様選択画面〕 (1/3 ページ)



(19) (20)

模様選択
キー

(9) 模様組み合わせキー

お好みの模様を組み合わせさせてぬう場合に押します。キーを押すと模様組み合わせモードとなります。(104 ~ 114 ページ参照)

左右反転キー、上下反転キー、削除キー、プレビューキー、文字高さ切りかえキー、保存キー、カーソル移動キーが表示されます。

(10) 左右反転キー

選択した模様を左右反転させてぬうことができます。(106 ~ 107 ページ参照)

(11) 上下反転キー

選択した模様を上下反転させてぬうことができます。上下反転できない模様を選択した場合、上下反転キーはグレーになり選択できません。(106 ~ 107 ページ参照)

(12) 文字高さ切りかえキー

文字の高さを約 2/3 にし、文字を小さく（低く）することができます。(120 ページ参照)

(13) 大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえます。模様選択キーの表示も同時に切りかわります。(116 ページ参照)

(14) 削除キー

カーソルの付いている模様を削除します。カーソルはカーソル移動キー (18) で移動させます。模様を組み合わせた状態でカーソルが最後の模様の外側にある場合、最後の模様が削除されます。(109 ページ参照)

(15) プレビューキー

組み合わせ模様全体のイメージを表示します。(112 ページ参照)

(16) ファンクションキーエリア切りかえキー

ファンクションキーの表示を切りかえます。

(17) 保存キー

組み合わせた模様をミシンや USB メモリに保存できます。(121 ~ 122 ページ参照)

(18) カーソル移動キー

カーソルを移動させて、組み合わせた模様の中から変更したい模様（場所）を選ぶことができます。(109 ページ参照)

(19) ひらがな・カタカナ切りかえキー※

ひらがなとカタカナを切りかえます。模様選択キーの表示も同時に切りかわります。(116 ページ参照)

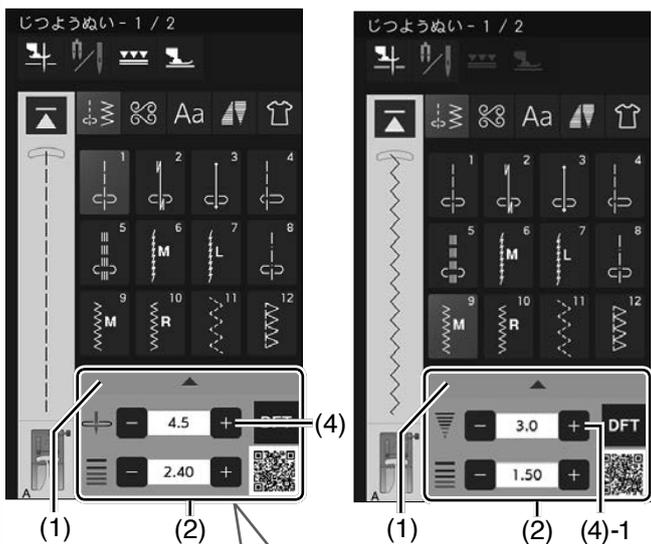
(20) 横書き・縦書き切りかえキー※

横書きと縦書きを切りかえます。(116 ページ参照)

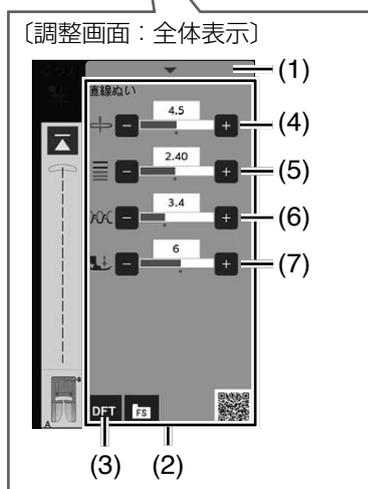
※ ひらがな・カタカナ切りかえキー (19) と横書き・縦書き切りかえキー (20) は明朝体 (9 mm)、まるもじ (9 mm) を選択した場合に表示されます。

〔調整画面：直線模様の例〕

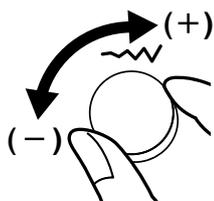
〔調整画面：ジグザグ模様の例〕



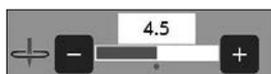
〔調整画面：全体表示〕



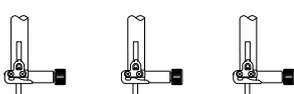
ぬい目の幅調整ダイヤル



(4) 直線ぬいの場合

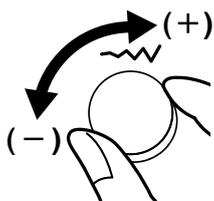


(-) (4.5) (+)



針板の穴

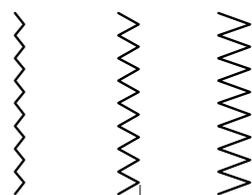
ぬい目の幅調整ダイヤル



(4)-1 ジグザグぬいの場合



(-) (3.0) (+)



ぬい目の幅

● じつようぬいの調整画面

模様選択画面の調整キー (1) を押しと、調整画面 (2) が全体表示されます。

直線状模様の場合は針位置 (4)、ぬい目の幅 (4)-1、ぬい目のあかさ (5)、糸調子 (6)、押さえ圧 (7) を変更できます。ぬい目の幅調整ダイヤル、もしくはぬい目のあかさ調整ダイヤルをまわすか、変更したい項目の「+」もしくは「-」キーを押します。

初期化キー (3) を押しと初期の設定値にもどります。

調整キー (1) をもう一度押しと調整画面 (2) が小さくなります。

【針落ち点の調整 (直線ぬいの場合)】

ぬい目の幅調整ダイヤルもしくはぬい目の幅調整キーで針位置をかえることができます。

- ぬい目の幅調整ダイヤルを時計回りにまわすと針が右に移動します。
- ぬい目の幅調整ダイヤルを反時計回りにまわすと針が左に移動します。
- ぬい目の幅調整キー (4) の「+」キーを押すと針が右に移動します。
- ぬい目の幅調整キー (4) の「-」キーを押すと針が左に移動します。

※ 直線状模様の場合、画面の数値は、左の針位置からの距離の目安が表示されています。(単位：mm) 左針位置が「0.0」、中針位置が「4.5」、右針位置が「9.0」になります。

※ 初期化キー (3) を押しと、オート値 (電源を入れたときに自動的に設定されている値) にもどすことができます。

【ぬい目の幅の調整 (ジグザグぬいの場合)】

ぬい目の幅調整ダイヤルもしくはぬい目の幅調整キーでぬい目の幅をかえることができます。

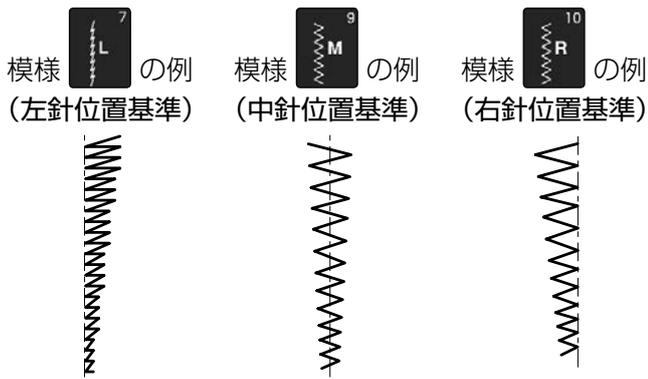
- ぬい目の幅調整ダイヤルを時計回りにまわすとぬい目の幅が広くなります。
- ぬい目の幅調整ダイヤルを反時計回りにまわすとぬい目の幅がせまくなります。
- ぬい目の幅調整キー (4)-1 の「+」キーを押すとぬい目の幅が広くなります。
- ぬい目の幅調整キー (4)-1 の「-」キーを押すとぬい目の幅がせまくなります。

※ 画面の数値は、ぬい目の幅の目安が表示されています。(単位：mm)

※ じつようぬい模様 の調整

の調整可能値は 0.0 ~ 9.0 です。

※ じつようぬい模様 の調整可能値は 0.0 ~ 7.0 です。

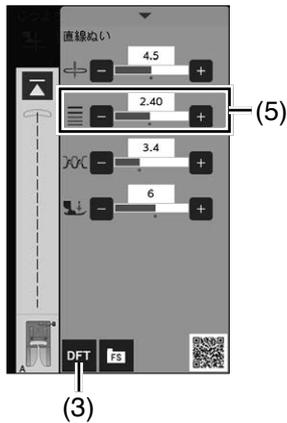


ぬい目の幅の基準位置

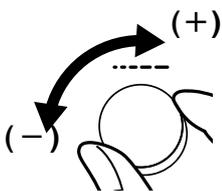
ミシン天板の早見板や模様選択キーに書かれている「L」、「M」、「R」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。

- 「L」：ぬい目の幅をかえたとき、左針位置を基準（固定）に右に幅が変化します。
- 「M」：ぬい目の幅をかえたとき、中針位置（中央）を基準（固定）に左右に幅が変化します。
- 「R」：ぬい目の幅をかえたとき、右針位置を基準（固定）に左に幅が変化します。

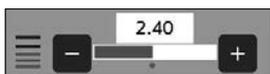
〔調整画面：全体表示〕



ぬい目のあらし調整ダイヤル ぬい目のあらし調整ダイヤル

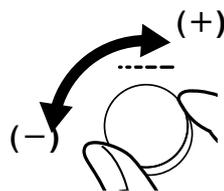


(5) 直線ぬいの場合



(-) (+)

ぬい目のあらし



(5) ジグザグぬいの場合



(-) (+)

ぬい目のあらし

【ぬい目のあらしの調整】

ぬい目のあらし調整ダイヤルもしくはぬい目のあらし調整キーでぬい目のあらしをかえることができます。

- ぬい目のあらし調整ダイヤルを時計回りにまわすとぬい目のあらしがあらくなります。
- ぬい目のあらし調整ダイヤルを反時計回りにまわすとぬい目のあらしをが細くなります。
- ぬい目のあらし調整キー (5) の「+」キーを押すとぬい目があらくなります
- ぬい目のあらし調整キー (5) の「-」キーを押すとぬい目が細くなります。

※ 初期化キー (3) を押すと、オート値（電源を入れたときに自動的に設定されている値）にもどすことができます。

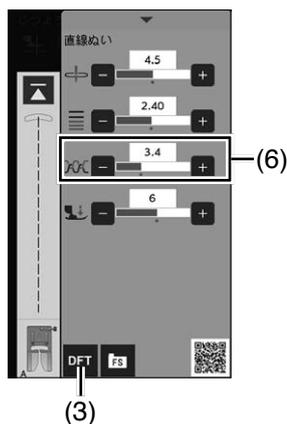
※ ぬい目のあらしは、布や糸によってかわります。画面の数値は、ぬい目のあらしの目安が表示されています。(単位：mm)

※ じつようぬい模様  の調整可能値は 0.0 ~ 5.0、

じつようぬい模様  の調整可能値は 1.0 ~ 5.0、

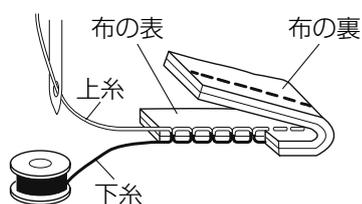
じつようぬい模様    の調整可能値は 0.0 ~ 5.0 です。

〔調整画面：全体表示〕

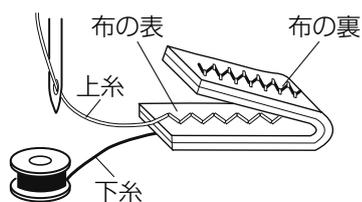


〔バランスのとれた糸調子〕

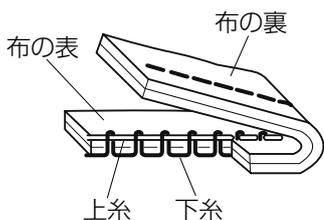
《直線ぬいの例》



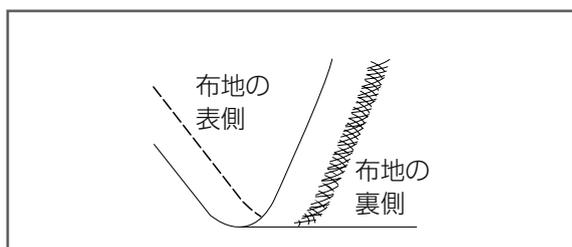
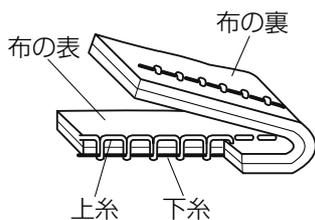
《ジグザグぬいの例》



A 上糸が強すぎる



B 上糸が弱すぎる



(6) 糸調子の調整

糸調子は選択した模様に合わせて、上糸と下糸がバランスよくぬえるよう自動的に設定されています。

糸や布の種類、ぬい方などによって自動設定のままでは糸調子のバランスがとれない場合、糸調子調整キー (6) で調整します。

- ※ 初期化キー (3) を押すと、オート値 (電源を入れたときに自動的に設定されている値) にもどすことができます。
- ※ 糸調子が正しく調整されていないと、ぬい目がきたなくなったり、布にしわがよったり、糸が切れたりします。
- ※ 模様ごとに自動セットされる糸調子 (オート値) をすべての模様に対して全体的に強くしたり、弱くしたりできます。(178 ページ「糸調子」参照)

【バランスのとれた糸調子】

直線ぬいの場合、上糸と下糸が布のほぼ中央で交わります。

ジグザグぬいの場合、布の裏側に上糸が少し出るくらいになります。

【上糸が強すぎる場合の調整】

A 上糸が強すぎると下糸が布の表に引き出されます。糸調子調整キー (6) の「-」を押して数値を小さくします。

【上糸が弱すぎる場合の調整】

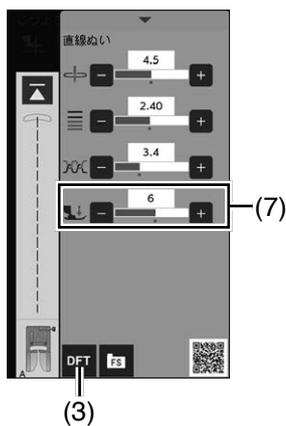
B 上糸が弱すぎると上糸が布の裏に引き出されます。上糸が布の表でたるんだり、輪になったりする場合があります。糸調子調整キー (6) の「+」を押して数値を大きくします。

布地の裏がタオル地のような場合

図のように布地の表側は普通にぬえて、裏側がタオル地のようなになるのは、上糸の調子が弱いか、上糸のかけ方がまちがっています。

上記で上糸を調整するか、上糸を正しくかけ直してください。(「上糸かけ」40～41 ページ参照)

〔調整画面：全体表示〕



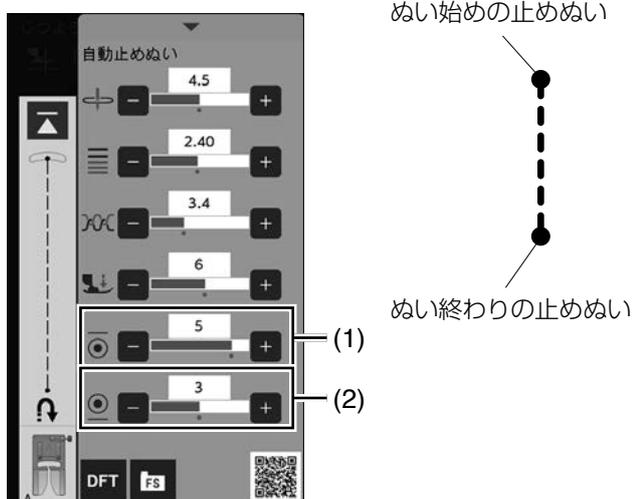
(7) 押さえ圧調整

押さえ圧は選択した模様に合わせて自動的に設定されます。

布送りがスムーズでないときや、特殊なぬい方や布地の厚さによっては、「+」か「-」キーで押さえ圧を調整してください。

※ 初期化キー (3) を押すと、オート値（電源を入れたときに自動的に設定されている値）にもどすことができます。

〔調整画面：全体表示〕



● 自動止めぬいのステッチ数

自動止めぬい模様  では、ぬい始めに5針、ぬい終わりに3針の止めぬいを行います。ぬい始めとぬい終わりの止めぬいの数は変更できます。

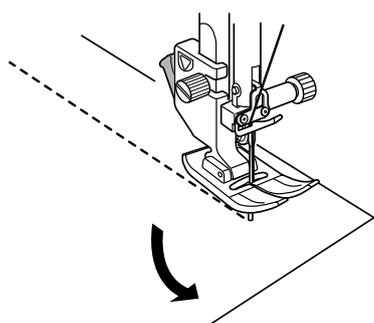
しっかりした止めぬいをしたい場合は数を増やし、ぬい目を目立たなくしたい場合、止めぬいの数をへらしてください。

- ぬい始めの止めぬいの数を変更したい場合、(1)の「+」もしくは「-」キーを押します。
- ぬい終わりの止めぬいの数を変更したい場合、(2)の「+」もしくは「-」キーを押します。

※ これらの項目は自動止めぬい模様  でのみ表示されます。



ピボットぬい設定キー



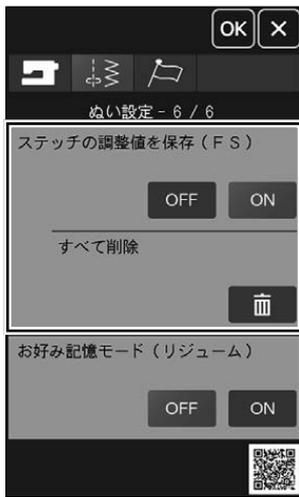
● ピボットぬい設定

ピボットぬい設定をオンにすると、ミシンを止めたときに針が布にささり、押さえがあがった状態になります。ぬい方向をかえてぬうときに、自分で押さえをあげる必要がなく、ぬい位置もずれずにきれいにぬうことができます。

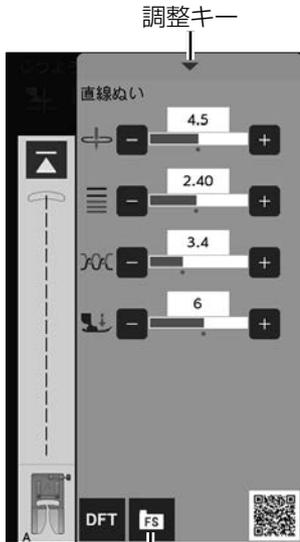
ピボットぬい設定キーで、ピボットぬい設定のオン/オフを行います。

※ ぬい設定モードで、ピボットぬい設定時の押さえの高さを調整することができます。(178 ページ「押さえ上げ高さ (ピボット)」参照)

1. (ぬい設定画面) (6/6 ページ)

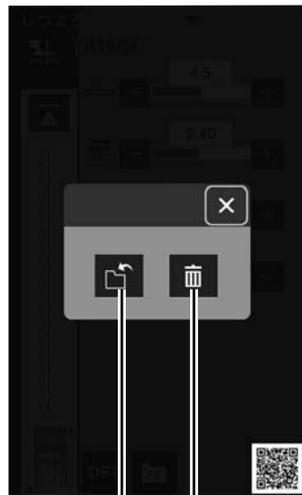


2. (調整画面)
「ステッチの調整値を保存 (FS)」が「ON」の場合



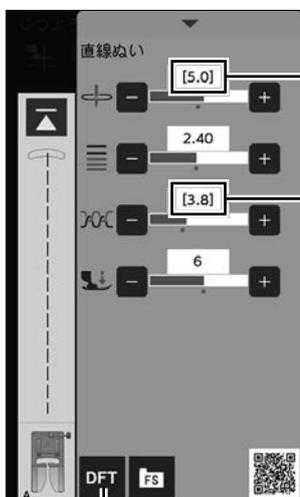
お好みステッチ調整キー (FS)

3. (保存・削除画面)



保存キー 削除キー

4. (調整画面)



初期化キー

変更された数値

● ステッチの調整値を保存する

調整した、ぬい目の幅 (針位置)、ぬい目のあかさ、糸調子、押さえ圧など、選択した模様による設定内容をお好みのステッチ調整値 (FS) として保存することができます。

「ステッチの調整値を保存 (FS)」が「ON」(181 ページ参照) の場合、ぬい目の幅 (針位置)、ぬい目のあかさ、糸調子、押さえ圧のオート値 (電源を入れたとき、マシンに自動的に設定されている値) をお好みの値に変更して保存することができます。

オート値をお好みの値に変更して保存しておく、その模様を選ぶだけで、保存した値でぬうことができます。

※ お好みステッチ調整は、ユーザー作成模様に適用することはできません。

※ お好みステッチ調整は、文字ぬいモード時は使用できません。

変更した調整値の保存・削除方法

【保存する】

例：針位置の値を 4.5 から 5.0 に変更する。

1. ぬい設定の「ステッチの調整値を保存 (FS)」が「ON」に設定されていることを確認します。(181 ページ参照)

※ 初期の (購入時の設定) 状態は「ON」に設定されています。

2. じつようぬい模様  を選びます。

調整キーを押し、調整画面を全体表示させます。お好みステッチ調整キー (FS) が調整画面に表示されます。

ぬい目の幅調整ダイヤルをまわすか、ぬい目の幅の調整キーの「+」キーを押し、針位置を「4.5」から「5.0」に変更します。

お好みステッチ調整キー (FS) を押します。

3. もとの画面の上に重ねて保存・削除画面が表示されます。保存キーを押し、お好みのステッチ調整値を保存します。

4. お好みステッチ調整で保存した調整値は、角カッコで表示され、初期の状態から変更されていることを示します。

【削除する】

保存した調整値を削除するにはお好みステッチ調整キー (FS) を押し、保存・削除画面で削除キーを押します。調整画面に切りかわり、数値の角カッコが消え、数値が青色で表示されます。

※ 調整値をオート値にもどす場合、初期化キーを押します。

【変更した調整値の一括削除】

変更した全模様の調整値を一括して初期の状態 (購入時の設定状態) にもどす方法は、181 ページ「ステッチの調整値を保存 (FS)」をごらんください。

〔じつようぬい模様選択画面〕 (1/2 ページ)



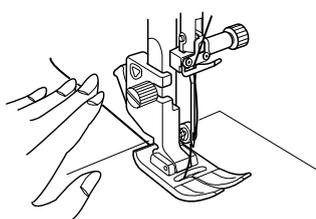
模様.....



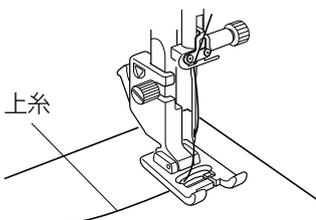
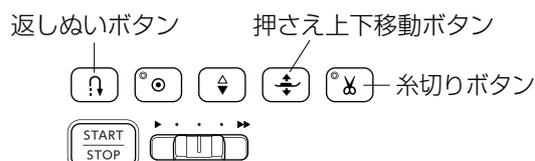
押さえ 基本押さえ A



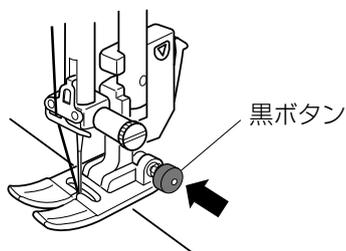
1.



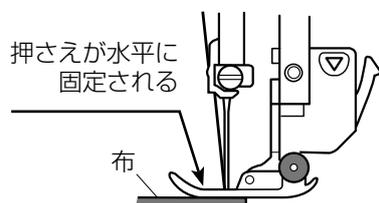
2.



1.



2.



● 直線ぬい

じつようぬいの模様 1～5 は直線ぬいです。
模様選択キーを押してお好みの模様を選びます。

★ 直線ぬい (中針位置) でぬう場合

【ぬい始め】

1. 上糸を押さえの下から向こう側に引き出した状態で布を入れ、糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手で手前にまわして最初のぬい位置に針をさします。

2. 押さえ上下移動ボタンで押さえをさげ、ミシンをスタートさせ、ぬいます。

※ 下糸 (ボビン) をセットした直後および糸切りボタンを使用して糸を切ったあとのぬい始めは、下糸を針板の上に引き出す必要はありませんが、上糸は必ず向こう側に引いて、押さえで押さえてください。

※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタンを押します。

ぬい始めの糸の引き出し方

サテン押さえ F、クラフト押さえ F2 やボタンホール押さえ R などのように、押さえの向こう側 (うしろ側) の底があがっていて、糸を押さえる部分がない押さえの場合、ぬい始めの上糸は横方向に引き出して押さえてください。(イラストはサテン押さえ F)

【厚手の布端のぬい始め】

基本押さえ A の黒ボタンを押した状態で押さえをさげると押さえが水平に固定されます。段差のある布をぬうときや、布の折り返しをぬうときに便利です。

1. 最初のぬい位置に針をさし、基本押さえ A の黒ボタンを押し込みます。

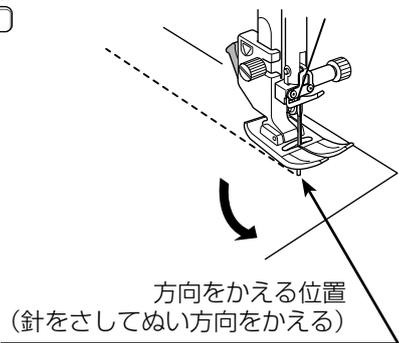
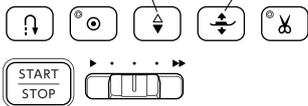
2. 黒ボタンを押したまま、押さえをさげます。押さえが水平に固定され、段差をスムーズにぬい始めることができます。

黒ボタンから手をはなし、ぬい始めます。

※ ぬい始めると黒ボタンがもどり、押さえはもとの自由に動く状態になります。

1. 2. 3.

上下停針ボタン 押さえ上下移動ボタン

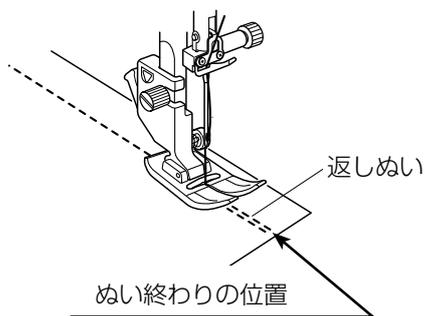
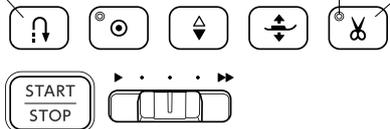


【ぬい方向の変更】

1. 布の方向をかえる位置でミシンを停止します。
2. 布に針がささっていない場合、上下停針ボタンを押して針を布にさし、押さえ上下移動ボタンで押さえをあげます。
※ 通常はミシンを停止すると、針が布にささった状態になっています。上の位置で停止にも設定できます。(178 ページ「針停止位置」参照)
3. 針を布にさしたままぬい方向をかえ、押さえ上下移動ボタンで押さえをさげてぬい始めます。
※ ぬい位置がずれず、きれいにぬうことができます。
※ ピボットぬい設定をすると、ミシンを止めたときに針が布にささり、押さえがあがった状態になります。(49 ページ参照)

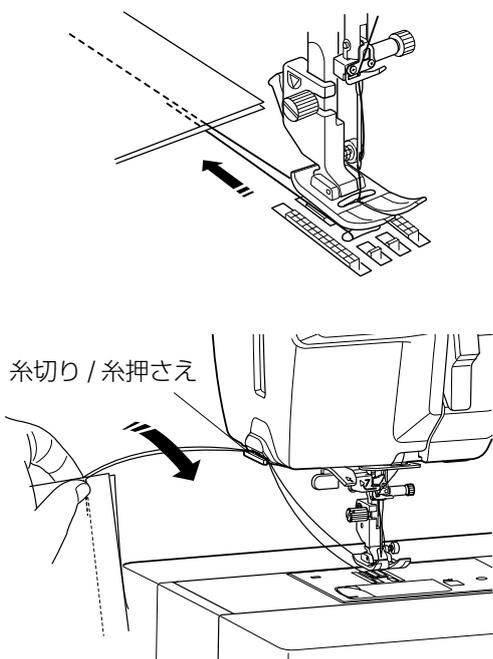
1. 2.

返しぬいボタン LED 糸切りボタン



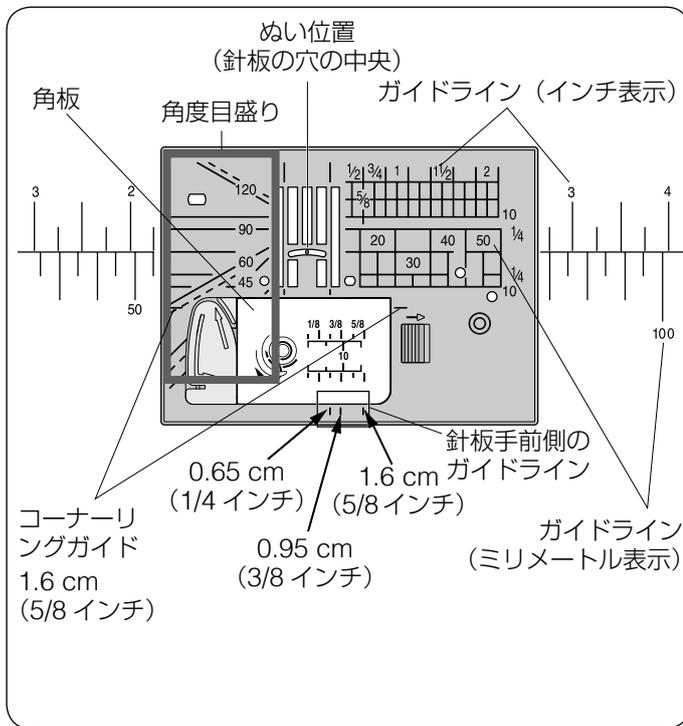
【ぬい終わり】

1. ぬい終わりの位置で返しぬいボタンを押して数針返しぬいを行い、ミシンを停止します。
2. 糸切りボタンを押して糸を切ります。
※ 針と押さえがさがった状態のままでも、糸切りボタンを押すと針と押さえは上の位置に移動します。
※ LED が点灯していない、または押さえ上げレバーで押さえをあげた場合、糸切りボタンは機能しません。
3. 布を向こう側に引き出します。
※ ぬい始めとぬい終わりのほつれ止めを自動的に行う
自動返しぬい模様 、自動止めぬい模様  でぬっている場合、ぬい終わりの位置にきたら、返しぬいボタンを一度押すと、ミシンは返しぬいまたは止めぬいをして自動で止まります。(55 ページ参照)



【面板の糸切りの使い方】

- 30 番および 30 番より太い糸や特殊な糸を切る場合、ミシンの面板に付いている糸切り / 糸押さえを使用してください。
- 針と押さえ上げをあげ、布を向こう側に引き出してから手前に返すようにして糸を切ります。



● 針板ガイド

針板には、布のめい位置を決めるための便利なガイドが表示されています。布端をガイドラインに合わせて、布端から正確な位置をぬうことができます。

ガイドラインは角板およびミシンのフリーアームにも表示されています。

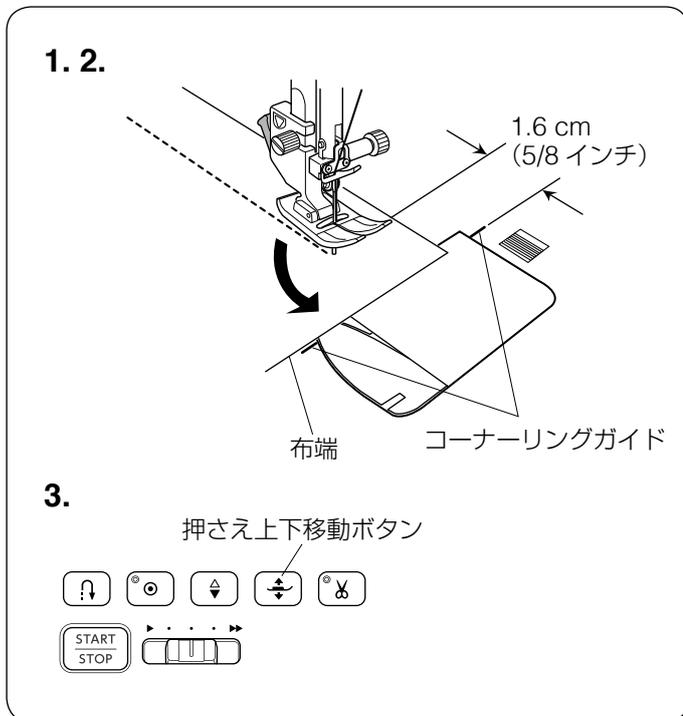
針板手前にはそれぞれ 0.65 cm (1/4 インチ)、0.95 cm (3/8 インチ)、1.6 cm (5/8 インチ) のところにガイドラインがあります。

ガイドラインの数字は、めい位置 (針穴の中央) からガイドラインまでの距離を「インチ」と「ミリメートル」で表示しています。

コーナーリングガイド 1.6 cm (5/8 インチ) は布を直角に回転させるのに非常に便利です。

(下記「コーナーリングガイド」参照)

角度目盛りはパッチワークをするときに便利です。
(93、152 ページ参照)

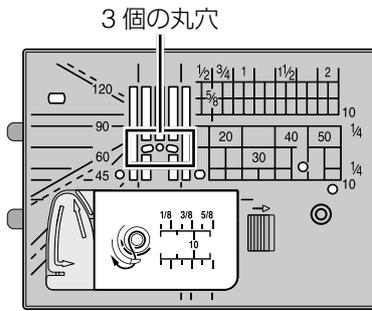


● コーナーリングガイド

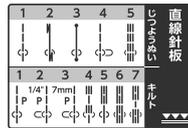
布端から 1.6 cm (5/8 インチ) のところで直角にめい方向をかえるときに利用します。

めい方向をかえたあと布端から 1.6 cm (5/8 インチ) の位置をぬうことができます。

1. 布端がコーナーリングガイドのところきたらミシンを停止します。
2. 針を布にさした状態で押さえ上下移動ボタンで押さえをあげ、布を直角に回転させます。布端が針板右側のガイドライン 1.6 cm (5/8 インチ) の位置に合います。
3. 押さえ上下移動ボタンで押さえをさげ、ミシンをスタートさせます。



〔早見板〕



1.



2.

〔メッセージ画面〕



3.

〔模様選択画面〕



● 直線ぬい用針板の使い方

直線ぬい用針板は、針の入る場所が3個の丸穴になっています。針板の穴が小さい「直線ぬい用針板」を使用すると、針が布にささるときのばたつきが押さえられ、ぬい目が美しく仕上がります。

直線ぬいの場合、じつようぬい  の模様を選び、直線ぬい用針板でぬうことをおすすめします。

- ※ 針板の交換方法は、33ページをごらんください。
- ※ ミシンの早見板の「直線針板」の模様は、じつようぬいグループとキルトグループにある模様と同じ模様です。

1. ロックキーを押し、ミシンをロックして直線ぬい用針板に交換します。
(33ページ「針板の外し方、付け方」参照)

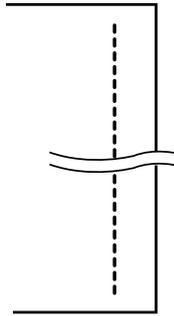
2. メッセージ画面が表示されます。
正しい押さえが取り付けられているか確認し、メッセージ画面の閉じるキーを押します。

3. 再度ロックキーを押し、ロックを解除すると模様選択画面にもどり、ぬうことができます。
 - ※ 直線ぬい用針板に適さない模様はグレーになり、選択できません。
 - ※ 直線ぬい用針板が取り付けられているあいだは、じつようぬいグループ、キルトグループおよび用途選択グループの一部の模様しか選択できません。
 - ※ 用途選択グループは、「用途ぬい」(127～171ページ参照)をごらんください。
 - ※ 直線ぬい用針板が取り付けられているあいだ、キルトグループの  以外は調整画面のぬい目の幅調整キーで針位置を変更することはできません。

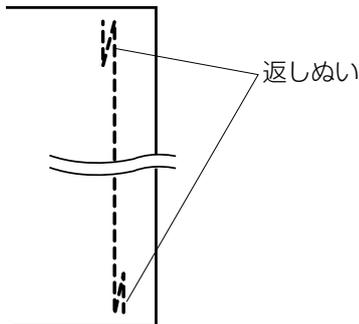
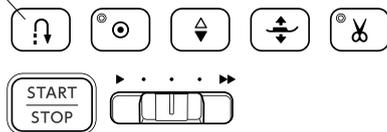
● 直線ぬいの種類

★ じつようぬい 1：直線ぬい（中針位置）

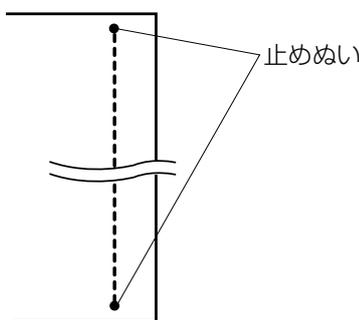
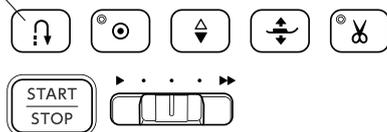
ぬい合わせや三つ巻きぬいに使用します。



返しぬいボタン



返しぬいボタン



★ じつようぬい 2：自動返しぬい

ぬい始めとぬい終わりにしっかりしたほつれ止め（返しぬい）を自動的に行うときに使います。

● ぬい始め

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針返しぬいを行います。

● ぬい終わり（スタート/ストップボタン使用時）

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し（または運転したまま）、返しぬいボタンを一度押します。

その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

● ぬい終わり（フットコントローラー使用時）

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し（または運転したまま）、返しぬいボタンを一度押します。

ミシンを停止してから返しぬいボタンを押した場合、再度フットコントローラーをふむと、その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

運転したまま返しぬいボタンを押した場合、その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

★ じつようぬい 3：自動止めぬい

ぬい始めとぬい終わりに目立たないほつれ止め（止めぬい）を自動的に行うときに使います。

● ぬい始め

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針止めぬいを行います。

● ぬい終わり（スタート/ストップボタン使用時）

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し（または運転したまま）、返しぬいボタンを一度押します。

その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。

● ぬい終わり（フットコントローラー使用時）

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し（または運転したまま）、返しぬいボタンを一度押します。

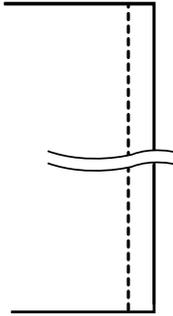
ミシンを停止してから返しぬいボタンを押した場合、再度フットコントローラーをふむと、その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。

運転したまま返しぬいボタンを押した場合、その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。

模様.....



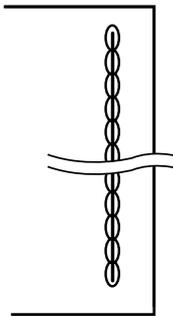
押さえ 基本押さえ A



模様.....



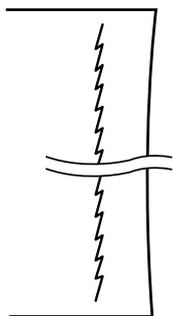
押さえ 基本押さえ A



模様.....



押さえ 基本押さえ A



★ じつようぬい4：直線ぬい（左針位置）

端ぬいや、うす物ぬいに使います。

★ じつようぬい5：三重ぬい

伸縮性と強さの両方を合わせもつ丈夫なぬい目です。
厚い布や袋物、ズボンなどしっかりとぬい合わせたい場
所に使います。

★ じつようぬい6、7：伸縮ぬい（ニットステッチ）

布が伸びても糸が切れにくい伸縮性のあるぬい目で、
ニット地のぬい合わせなどに使います。
布のぬい縮みやひきつれを防ぐことができます。
ぬいしろをきれいに割りたい場合にも使用できます。

- じつようぬい  は伸縮性のある布地や、うすい布
地をぬい合わせるのに使用します。
- じつようぬい  は厚い布の場合に使用します。

※ じつようぬい   の場合、調整画面のぬい目
の幅調整キーでの調整は、ほかの直線状模様と異なり、
ぬい位置（針位置）ではなく、ぬい目の幅の調整に
なります。

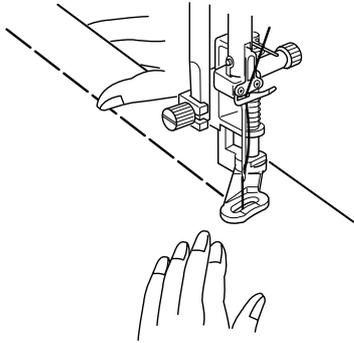
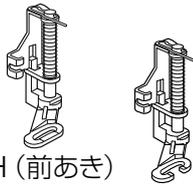
※ ぬい目のイラストに書かれている「M」、「L」は、ぬ
い目の幅をかえたときの基準位置です。
(47 ページ参照)

模様...



押さえ

..... フリーキルト押さえ PD-H
またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき)
※ 送り歯をさげる (36 ページ参照)



★ じつようぬい 8 : しつけぬい

しつけぬいの模様は、ミシンをスタートさせても布は送られずに、1針ぬって停止します。(フットコントローラーの場合も、ふみ続けていても1針ぬって停止します。)
ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。
お好みの間かくを、1針ずつ手で布を移動させてぬうことができます。

ぬい方は 143 ページ「●しつけ」の「マニュアル」の項目をごらんください。

● 上送り押さえの使い方

ポリ塩化ビニールなどでコーティングしてある素材など、上布と下布ですれやすい布地や革製品など送りにくい布地をぬう場合、上送り押さえを使用するときれいにぬうことができます。

また重ね合わせた布地がずれるのを防ぎます。

じつようぬい模様 、キルト

模様 、用途ぬい

の「地ぬい (伸びない布地)」、「円弧ぬい」、「トップステッチ」、「ファスナー付け」、「ファスナー付け (小物)」、「パッチワークピーシング」、「直線ぬい」、「刺し子風ステッチ」の一部の模様は上送り押さえでぬうことができます。

以下の2種類の上送り押さえが付属しています。

(1) 上送り押さえ AD (標準) :

標準的なぬいに使用します。

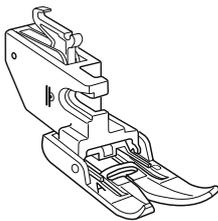
(2) プロフェッショナル上送り押さえ HP2 :

カーブをぬう場合やトップステッチに使用します。
(59 ページ参照)

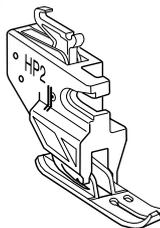
※ 上送りぬい切りかえキーが押されている場合、上送り押さえに適さない模様はグレーになり、選択できません。

※ 上送り押さえに適さない模様を選択している場合、上送りぬい切りかえキーはグレーになり、押せません。

(1)



(2)



〔じつようぬい模様選択画面〕



上送りぬい
切りかえキー

1.

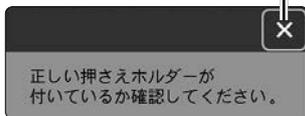
〔じつようぬい模様選択画面〕

上送りぬい切りかえキー



〔メッセージ画面〕

閉じるキー



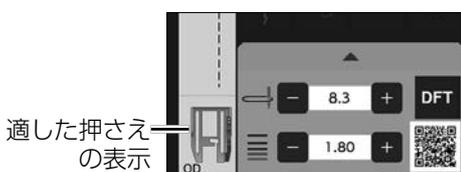
〔じつようぬい模様選択画面〕

〔模様選択画面：キルト〕

上送りぬい切りかえキー



〔模様選択画面：キルト〕



【準備】

1. 上送りぬい切りかえキーを押します。

メッセージ画面が表示されます。閉じるキーを押します。

上送りぬい切りかえキーが青色になります。

2. 上送り押さえホルダーと上送り押さえ AD (標準) を取り付けます。

※ 上送り押さえホルダーの取り付けは、29 ページをごらんください。

※ 上送りぬいに設定されているあいだ、じつようぬい

模様 、キルト模様 

、用途ぬいの「地ぬい

(伸びない布地)」、「円弧ぬい」、「トップステッチ」、「ファスナー付け」、「ファスナー付け (小物)」、「パッチワークピーシング」、「直線ぬい」、「刺し子風ステッチ」の一部の模様以外を選ぶことができません。

※ 上送りぬいを解除する場合、上送りぬい切りかえキーを押します。

※ 上送りぬいで、キルト模様の   を選んだ場合、

模様選択画面左下の適した押さえの表示が、上送りパッチワーク押さえ OD となりますが、上送りパッチワーク押さえ OD は別売り (オプション) です。

【ぬい方】

上糸を押さえの下へ通して向こう側に引き出し、ぬい始めます。

※ しま模様や格子じま、プリント地をぬうときは、布地の端と最初のしまをぬい始めのところできちんとそろえ、ぬい目の線に直角にピンを止め、ぬいます。

【上布と下布がずれる場合】

上布と下布がずれる場合、上送り調節ダイヤルをまわして調整します。

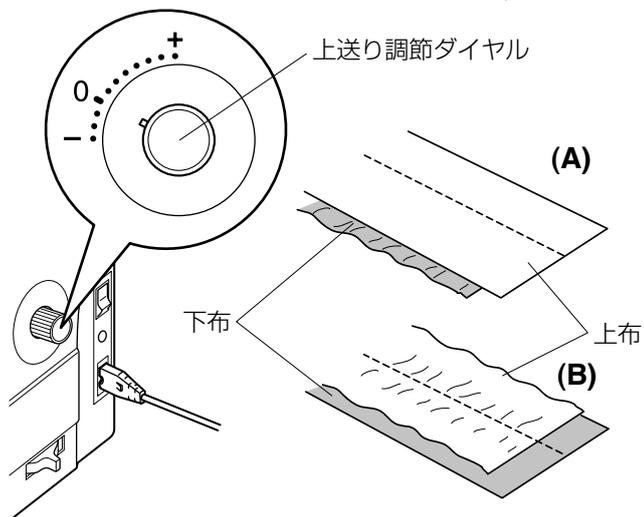
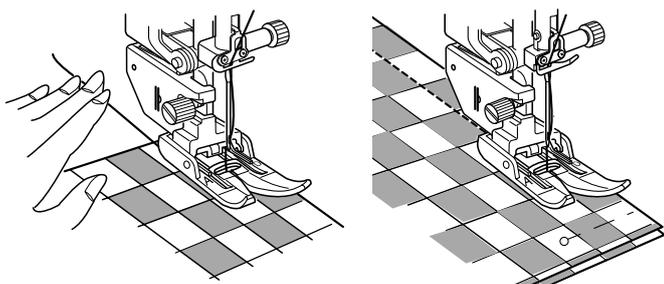
上送り調節ダイヤルは「0」が基準ですが、布の種類に合わせて調整の変更が必要な場合があります。

使用する布の切れ端を使用して、送りバランスを確認します。

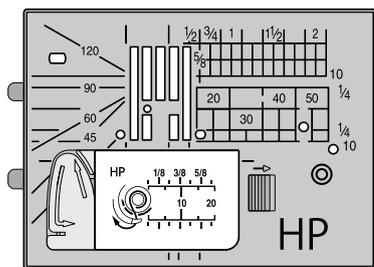
(A): 下布にしわがよる場合、上送り調節ダイヤルを「+」方向にまわします。

(B): 上布にしわがよる場合、上送り調節ダイヤルを「-」方向にまわします。

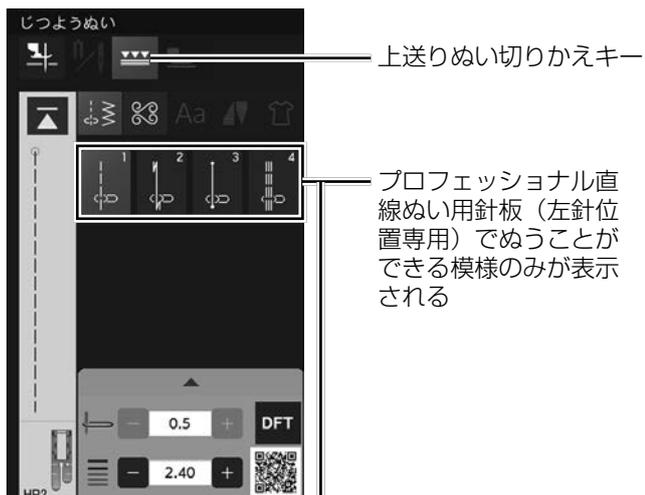
※ 上送り押さえを使用しないときは、必ず上送り調節ダイヤルを「0」の位置にもどしてください。



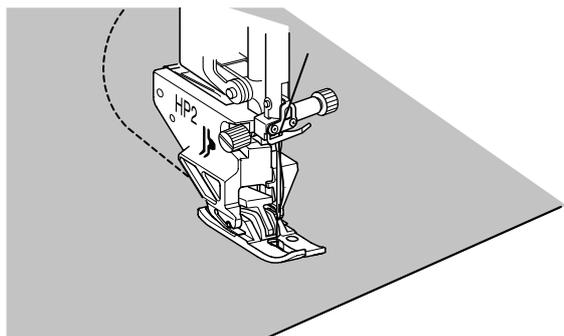
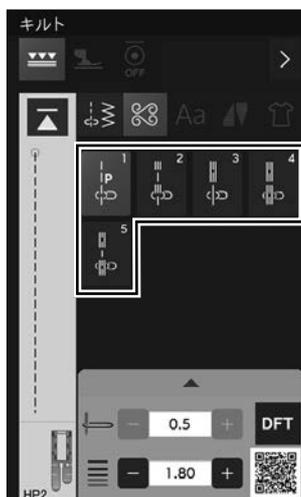
プロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）



〔じつようぬい模様選択画面〕



〔模様選択画面：キルト〕



★ プロフェッショナル上送り押さえ HP2の使い方

押さえの歯とミシンの送り歯が連動して、しっかりと布地を送ります。

押さえの幅が細いので小回りに優れ、曲線ぬいやトップステッチぬいに適しています。

- ※ プロフェッショナル上送り押さえ HP2 は、必ず付属のプロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）と一緒に使用してください。
- ※ 押さえの取り付けは、29 ページをごらんください。
- ※ プロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）の取り付けは、60 ページをごらんください。

【ぬい方】

上送りぬい切りかえキーを押して、ぬいたい模様を選びます。

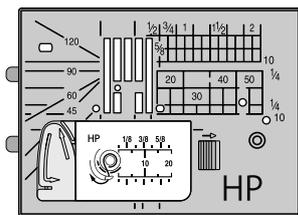
- ※ 模様選択画面にはプロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）でぬうことができる模様のみが表示されます。

布を押さえの下に置き、ぬい位置に針をさします。
押さえ上げをさげます。
中くらいの速度でぬい始めます。（58 ページ参照）

1.



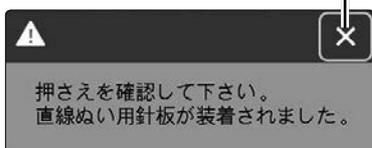
プロフェッショナル直線ぬい
用針板（左針位置専用）



2.

〔メッセージ画面〕

閉じるキー



3.

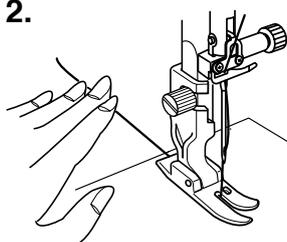
〔じつようぬい模様選択画面〕

〔模様選択画面：キルト〕



プロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）でぬうことができる模様のみが表示される

1. 2.



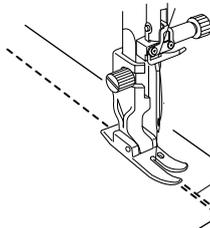
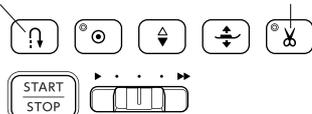
押さえ上下移動ボタン



1. 2.

返しぬいボタン

糸切りボタン



返しぬい

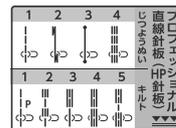
● プロフェッショナル直線押さえ HP・プロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）の使い方

プロフェッショナル直線押さえ HP は、付属のプロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）と一緒に使います。針が布にささるときのばたつきが押さえられ、ぬい目が美しく仕上がります。

また、うすい布のぬい縮みの防止にも適しています。

※ 押さえの取り付けは、31 ページをごらんください。

※ 使用できる模様は、ミシンの早見板の「プロフェッショナル直線針板（HP 針板）」の模様です。これらは、じつようぬいグループとキルトグループにある模様と同じ模様です。



1. ロックキーを押し、ミシンをロックしてプロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）に交換します。（33 ページ「針板の外し方、付け方」参照）

2. メッセージ画面が表示されます。

正しい押さえが取り付けられているか確認し、メッセージ画面の閉じるキーを押します。

3. 再度ロックキーを押し、ロックを解除すると模様選択画面にもどり、ぬうことができます。

※ プロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）が取り付けられているあいだは、じつようぬいグループおよびキルトグループの模様しか選択できません。

※ 模様選択画面にはプロフェッショナル直線ぬい用針板（左針位置専用）で使用できる模様のみが表示されます。

【ぬい始め】

1. 上糸を押さえの下から向こう側に引き出した状態で布を入れ、糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手で手前にまわして最初のぬい位置に針をさします。

2. 押さえ上下移動ボタンで押さえをさげ、ミシンをスタートさせ、ぬいます。

※ 下糸（ボビン）をセットした直後および糸切りボタンを使用して糸を切ったあとのぬい始めは、下糸を針板の上に引き出す必要はありませんが、上糸は必ず向こう側に引いて、押さえで押さえてください。

※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタンを押します。

【ぬい終わり】

1. ぬい終わりの位置で返しぬいボタンを押して数針返しぬいを行い、ミシンを停止します。

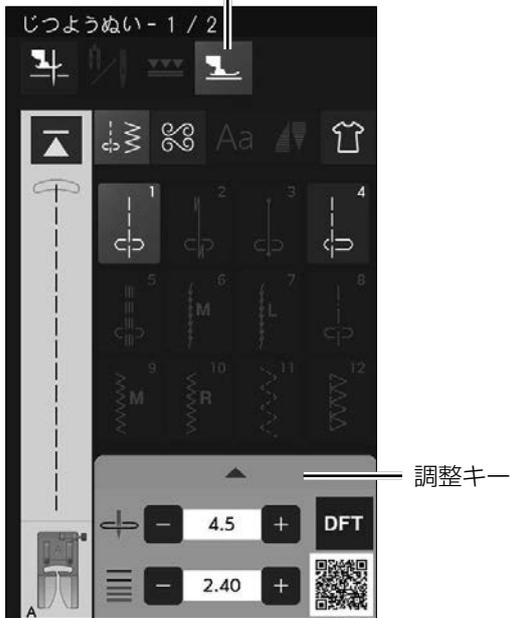
2. 糸切りボタンを押して糸を切ります。

※ 針と押さえがさがった状態のままでも、糸切りボタンを押すと針と押さえは上の位置に移動します。

1.2.

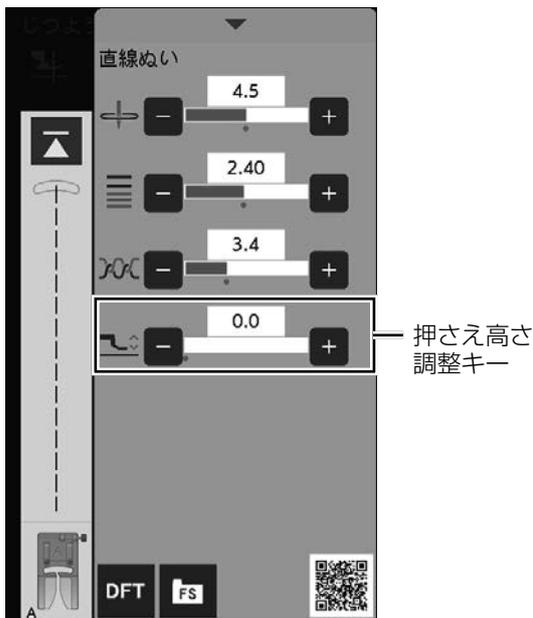
(じつようぬい模様選択画面)

フロートモードキー



3.

(調整画面：全体表示)



● フロートモード

フロートモードを使うと、押さえが針板面からわずかに浮くことで、布ズレや布のシワを軽減できます。

1. フロートモードキーを押します。
※ フロートモードキーが押されている場合、フロートモードに適さない模様はグレーになり、選択できません。
2. 調整キーを押して調整画面を開きます。

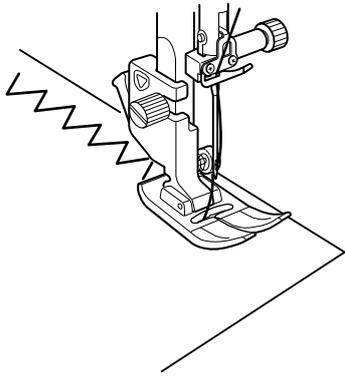
3. 押さえ高さ調整キーで押さえの高さの調整をします。
 - 押さえを高くするには「+」キーを押します
 - 押さえを低くするには「-」キーを押します。

- ※ フロートモードを使用する場合、必ず押さえの高さ調整し、使用する布の切れ端などで試しぬいをしてください。
- ※ フロートモードが機能しない場合、重ねた布のずれを軽減するために上送り押さえを使用することをおすすめします。

模様.....



押さえ 基本押さえ A



模様.....

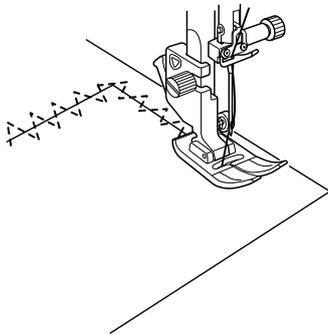


押さえ 基本押さえ A

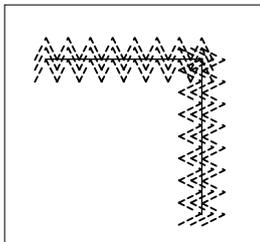


※ ぬい目のあらかさ調整キーでぬい目のあらかさを「0.3」～「0.5」に設定します。

1.



2.



● ジグザグぬい

★ じつようぬい 9、10：ジグザグぬい

たち目かがりなど、多目的に使えます。
ほとんどの布に使用できます。
ぬい目を細かくすればアップリケなどに使用できます。

★ じつようぬい 11：つくろいぬい

破れや、ほつれている部分をつくろうのに使用します。

ぬい方：

1. ぬい目のあらかさを「0.3」～「0.5」に設定し、
(47 ページ参照) ほつれた部分の布端をつき合わせてぬいます。
2. 手順 1. でぬったぬい目をはさむように両側をぬいます。
※ ほつれ具合によって、裏側から別布を当ててぬいます。

● ふちかがりぬい

★ じつようぬい 11：トリコットぬい

合成素材や、布のぬい縮みやひきつれがおきやすい伸縮性のある布の裁ち端の仕上げに使用します。

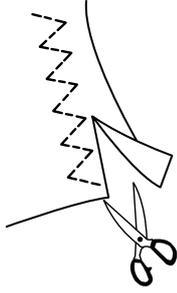
ぬいしろを少し余分にとってぬいます。

ぬい終わったあとは、余分なところをぬい目の近くで切り落とします。

模様.....



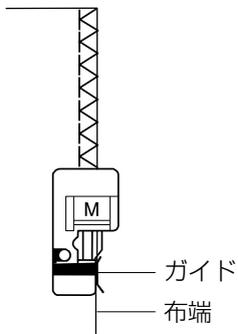
押さえ 基本押さえ A



模様.....



押さえ ふちかがり押さえ M

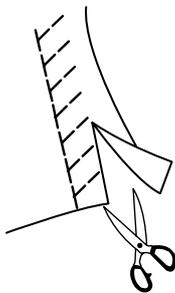
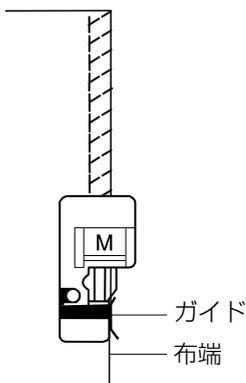


模様.....



押さえ ふちかがり押さえ M

..... 基本押さえ A



★ じつようぬい 12：かがりぬい 1

ブロード、シーチング、ローンなどの伸びない普通地や、平織り 2 枚に適しています。

地ぬいをかねたかがりぬいで、たち目のほつれ止めに使用します。

ぬいしろを割る必要がない場合に使用してください。

布端を押さえのガイドに当ててぬいます。

★ じつようぬい 13：ニットステッチ 1

ジャージー、ニット、トリコットなど伸びる布地の端をかがるのに使用します。

ふちかがり押さえ M を使用する場合、布端を押さえのガイドに当ててぬいます。

基本押さえ A を使用する場合、ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

★ じつようぬい 14：かがりぬい 2

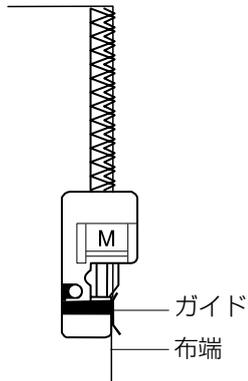
リネンやギャバジンなどの普通の布や厚い布および、布端がほつれやすい布のたち目のほつれ止めに使用します。ほつれを防ぐため、二重に布端をかかります。

布端を押さえのガイドに当ててぬいます。

模様.....



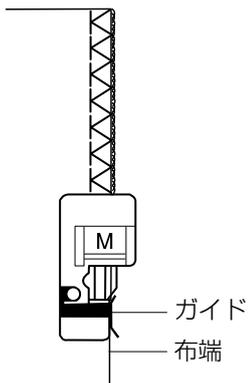
押さえ ふちかがり押さえ M



模様.....



押さえ ふちかがり押さえ M



★ じつようぬい 15：かがりぬい 3

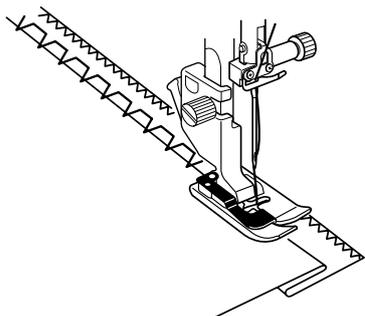
リネン、ローンなどの普通の布や、布端がほつれやすい布のたち目のほつれ止めに使用します。オーバーロックのぬい目に似ています。

布端を押さえのガイドに当ててぬいます。

模様.....



押さえ まつりぬい押さえ G



● そのほかのじつようぬい

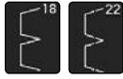
【じつようぬい 16、17：まつりぬい】

「まつりぬい」(134～135 ページ) をごらんください。

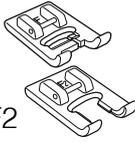
【じつようぬい 18、22：シェルタック】

136 ページをごらんください。

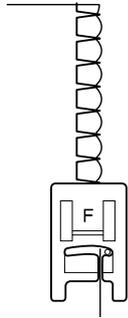
模様.....



押さえ サテン押さえ F



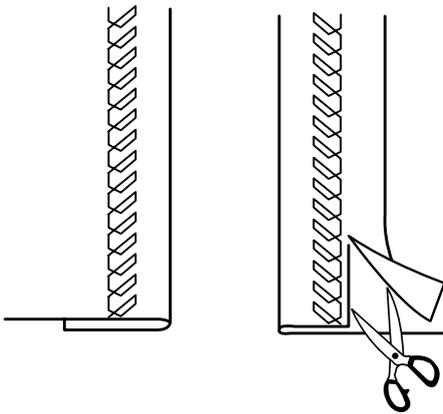
またはクラフト押さえ F2



模様.....



押さえ 基本押さえ A



【じつようぬい 19：ニットステッチ 2】

布を折り、布の表を上 にします。

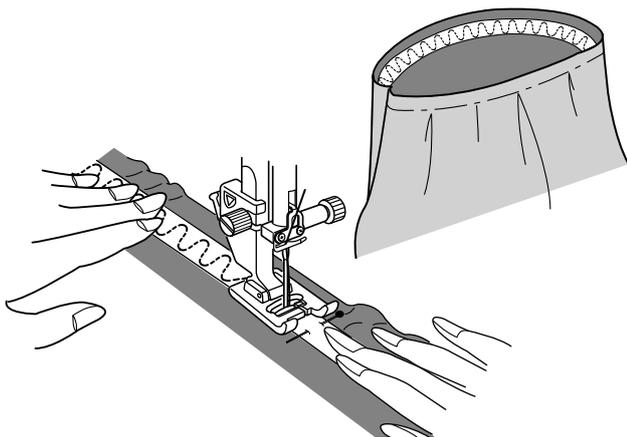
折り目に沿って好みの距離でぬいます。

裏側の余った布をぬい目近くで切りそろえます。

模様.....



押さえ サテン押さえ F



【じつようぬい 20：ゴムつけ】

ゴムを 4 等分するように印をつけます。前とうしろの中央および、両脇のぬい目をそれぞれ印に合わせてゴムをまち針で止めます。

ゴムを押さえの下にしき、ゴムを均等にのばして布にぬいつけます。

【じつようぬい 21：ボックスステッチ】

キルト芯やフェルトなど厚い生地の平らなつなぎ合わせやファゴティング（92 ページ参照）などに使用します。

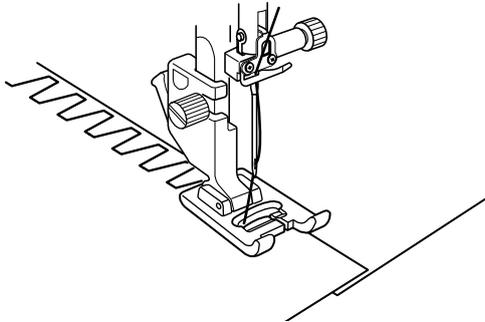
模様.....



押さえ サテン押さえ F



またはクラフト押さえ F2



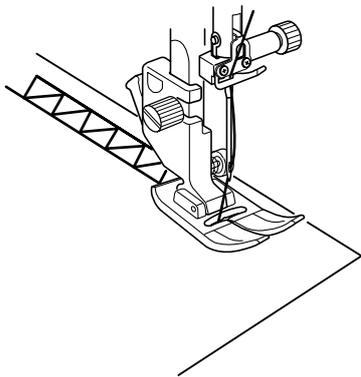
【じつようぬい 23：ヘムステッチ】

ファゴティング（92 ページ参照）やかざりぬいに使用します。

模様.....



押さえ 基本押さえ A



【じつようぬい 24：バック直線ぬい】

直線ぬいを通常の布の進む方向と逆方向にぬう（バックぬい）ときに使用します。布を回転しにくいときの繰り返しの往復ぬいに便利です。返しぬいボタンを押さなくても、返しぬいができるので、両手で布を送ることができます。

模様



で必要なところまでぬい、模様

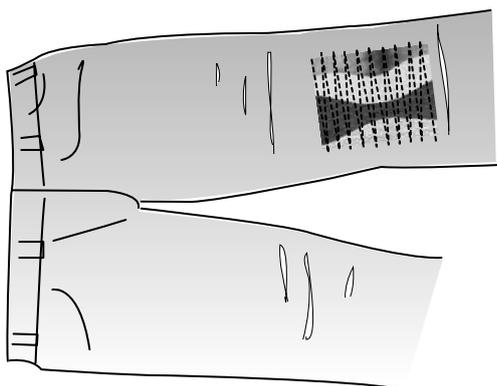


を選んで、もどる方向をぬいます。

模様.....



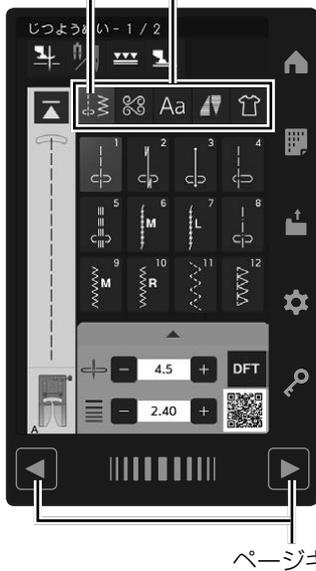
押さえ 基本押さえ A



〔じつようぬい画面〕

(1)

模様グループ選択キー



〔ボタンホール画面〕 (1/3)



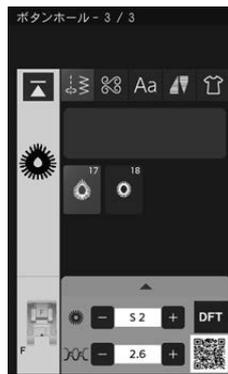
〔ボタンホール画面〕 (2/3)



模様頭出しキー

調整キー

〔ボタンホール画面〕 (3/3)



◎ ボタンホール・特殊模様

● ボタンホール・特殊模様の画面

模様グループ選択キーでじつようぬい、ボタンホールと特殊模様 (1) を選び、ページキーでボタンホールの画面を選びます。(3 ページ目)

じつようぬい、ボタンホールと特殊模様のグループは、じつようぬいの 24 個の模様が 2 つのページ (画面) に、ボタンホールと特殊模様の 18 個の模様が 3 つのページ (画面) の合計 5 ページ (画面) に分かれています。

※ ページキーで選択します。

ボタンホールおよび特殊模様グループの画面は、模様選択キーや調整キーなどのキーのほかに、選ばれている模様に関するいくつかのぬい情報や設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示については、18 ~ 19 ページをごらんください。

※ 調整キーを押すと、調整画面になります。調整画面の基本的な使い方については、46 ~ 49 ページをごらんください。

※ 特殊な使い方については、それぞれの模様の説明をごらんください。

※ ボタンホールおよび特殊模様は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ 模様頭出しキーの使い方は、111 ページをごらんください。

※ 模様  のぬい方は、144 ~ 146 ページをごらんください。

● ボタンホールの種類と用途

ボタンホール 1：スクエアボタンホール

普通の布から厚い布まで広く使われているボタンホールです。ボタンホールの長さは、ボタンホール押さえ R のボタン受け台に使用するボタンをはさみ込むと自動的に決まります。

ボタンホール 2：メモリーボタンホール (スクエアボタンホール)

自分でボタンホールの長さを決めてぬうボタンホールです。2.5 cm 以上の長いボタンホールをぬえます。

ボタンホール 3：片ラウンドボタンホール

うすい布から普通の布に使います。ブラウス、子供服でよく使われます。

ボタンホール 4：両ラウンドボタンホール

シルクのようなうすい布に使います。





ボタンホール 5：キーホールボタンホール

普通の布から厚い布まで広く使われているボタンホールです。大きくて厚めのボタンに使います。

ボタンホール 6：ラウンドキーホールボタンホール

普通の布から厚い布まで広く使われているボタンホールです。大きくて厚めのボタンに使います。

ボタンホール 7：キーホールボタンホール

(テーラーメイド)

ボタンホール 5、6 と同じキーホールボタンホールですが、片方の口を補強したボタンホールです。

ボタンホール 8：ニットボタンホール

伸縮性のある布に使います。飾りボタンホールとしても使います。

ボタンホール 9：ニットボタンホール

伸縮性のある布に使います。飾りボタンホールとしても使います。

ボタンホール 10：ニットボタンホール

手ぬいのような見た目なので、飾りボタンホールとして最適です。うすい布用です。

ボタンホール 11：たまぶちボタンホール

たまぶちボタンホールを作る最初の工程になります。

※ 模様  ~  のぬいかたは模様  (スクエアボタンホール) と同様です。

※ 模様  (メモリーボタンホール) を除くボタンホールは、

ボタンホール押さえ R にボタンをセットするだけで自動的に最適な長さのボタンホールをぬうことができます。(ボタンホールの長さは、使用するボタンをボタンホール押さえ R のボタン受け台にはさみ込むと自動的に決まります。)

※ ボタンの直径が 1.0 cm ~ 2.5 cm までのボタンホールができます。

※ ボタンホールは、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)

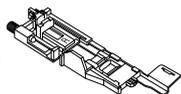
ボタンホールの注意事項

- 伸縮性のある布は、伸びないように裏に芯地を貼ってください。
- 厚物の段差や安定して布送りできない布などをぬうときは、ボタンホール安定板を使用してください。(73 ページ参照)
- 使用する布の切れ端などで試しぬいをして、正しくぬえることを確認してください。
- ボタンホールをぬう場所に、必ずマーク (しるし) を付けてください。

模様.....



押さえ ... ボタンホール押さえ R

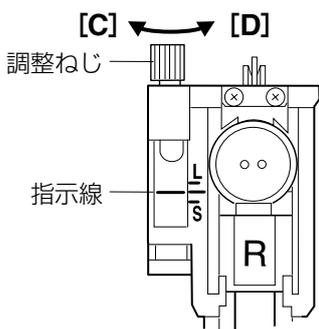
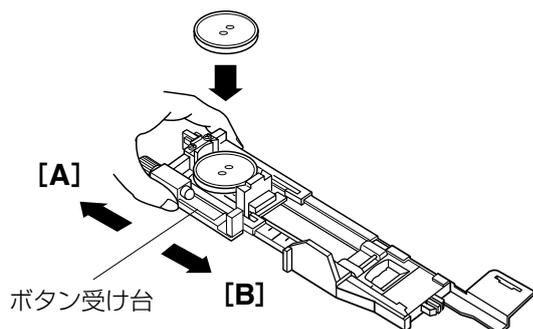


〔模様選択画面〕

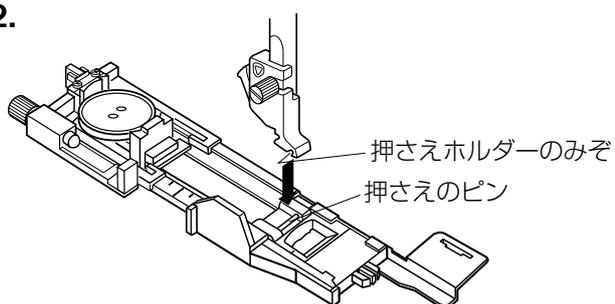


メッセージ

1.



2.



● ボタンホール 1：スクエアボタンホール

ボタンホールの長さは、ボタンホール押さえ R のボタン受け台へ使用するボタンをはさみ込むと自動的に決まります。

ボタンの直径が 1.0 cm ～ 2.5 cm までのボタンホールをぬうことができます。

ボタンホールを選択すると、ボタンホール切りかえレバーをおろすよう、画面（タッチパネル）にメッセージが表示されます。

- ※ 厚い布、特定の布や糸を使用してボタンホールをぬうときなど、ボタンホールのサイズをかえる必要がある場合があります。使用する布の切れ端などで試しぬいをして、正しくぬえることを確認してください。
- ※ 自動的に設定されるボタンホールの幅は一般的なボタン用です。
- ※ 伸縮性のある布は、伸びないように裏に芯地を貼ってください。

【ボタンホールのぬい方】

1. ボタンホール押さえ R のボタン受け台を [A] の方向へ引き、ボタンをのせます。
ボタン受け台を [B] の方向にもどしてボタンをきつくはさみ込みます。

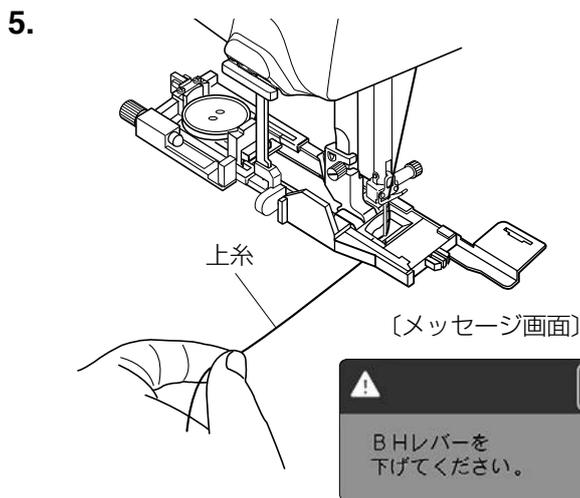
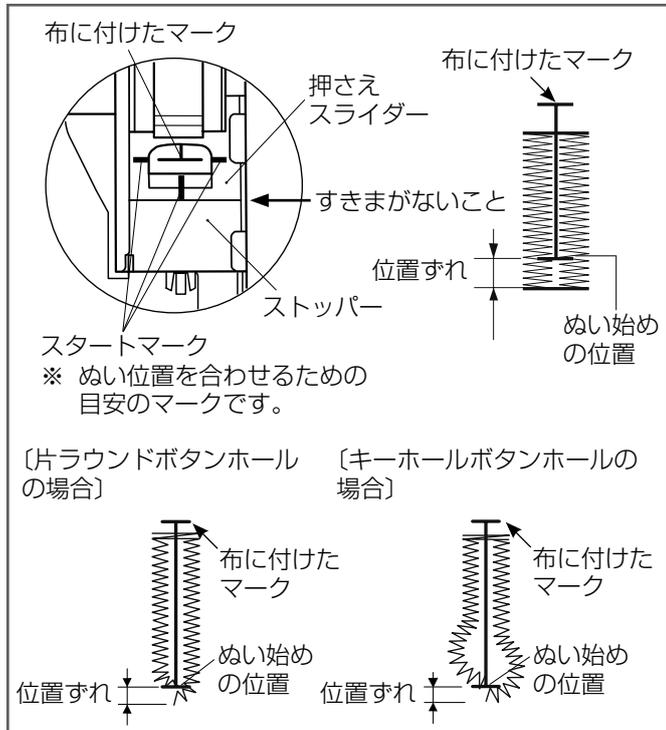
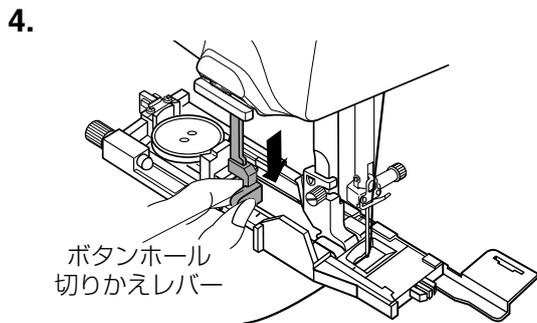
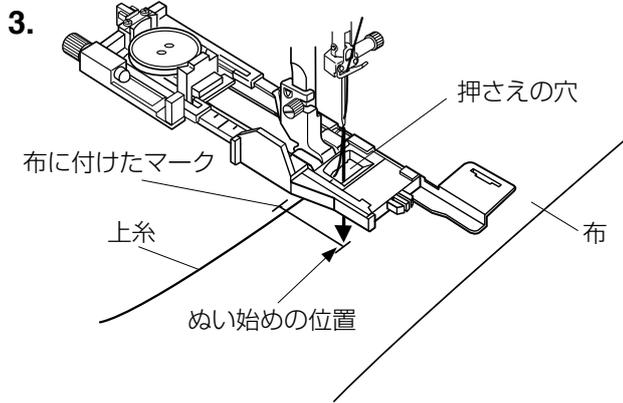
ボタンホール長さの微調整方法

ボタンの長さを測り、必要であればボタンホールの長さを調整してください。

- ボタンホールの長さを長くするには、調整ねじを [C] の方向にまわして指示線を L 側にします。
- ボタンホールの長さを短くするには、調整ねじを [D] の方向にまわして指示線を S 側にします。
- ぬい終わったら、ねじはもとの位置（指示線を目盛りの中央の位置）にもどしてください。

2. 押さえのピンを押さえホルダーのみぞに入れ、ボタンホール押さえ R を取り付けます。
(27 ページ参照)

※ ボタンホール押さえ R を取り付けるとき、押さえ上げを高くあげた位置まで持ちあげると便利です。



3. 押さえをあげて上糸を押さえの穴から下へ通し、横に引き出します。

上糸を横に引き出した状態で布を入れ、布に付けたマークのぬい始めの位置に針をさし、押さえをさげます。

※ 押さえをさげるとき、押さえ前部のストッパーを向こう側に軽く押しつけた状態でさげ、ストッパーと押さえスライダーにすきまがあかないように注意してください。（下記〔ぬい始める前の確認〕参照）

4. ボタンホール切りかえレバーを止まるまでいっばいに引きさげます。

ぬい始める前の確認

押さえスライダーとストッパーのあいだにすきまがないことを確認してください。すきまがあるとぬい始めの位置と、ぬい終りの位置がずれることがあります。

5. 上糸を左に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。ぬい始めから数針ぬったあと、糸から手をはなしてぬいます。

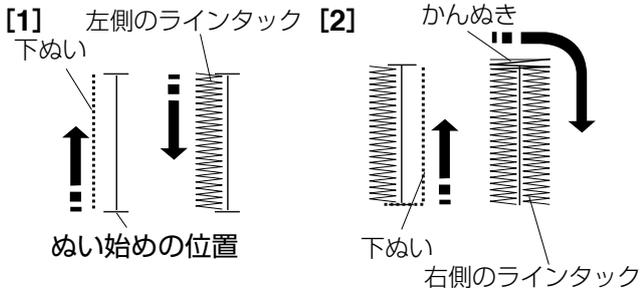
ボタンホールをぬい終わったところでほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

ボタンホール切りかえレバーをさげないでぬった場合

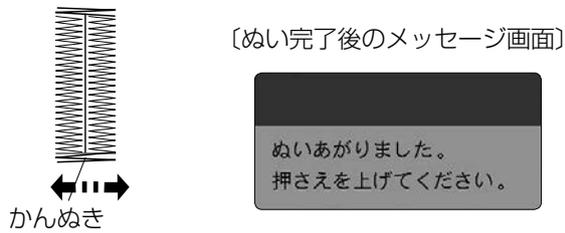
ボタンホール切りかえレバーをさげずにミシンをスタートさせると、何針かぬったのちミシンは停止し、画面にボタンホール切りかえレバーをさげるようにメッセージが表示されます。

ボタンホール切りかえレバーを引きさげて、ミシンを再スタートさせてください。

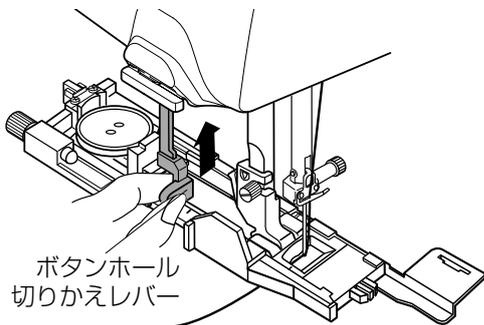
6.



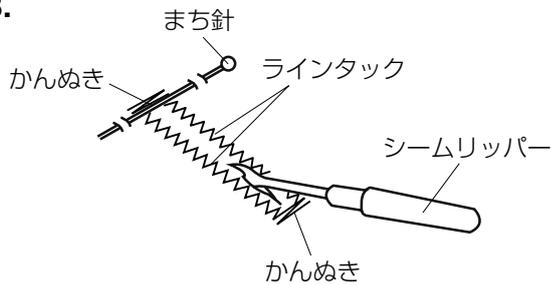
[3]



7.



8.



6. ボタンホールは下記の順番でぬいます。

- [1] 下ぬいをし、左側のラインタックをぬいます。
- [2] 下ぬいをし、かんぬきと右側のラインタックをぬいます。
- [3] かんぬきと止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

ぬい終わるとメッセージが表示されます。

- ※ ボタンホールの重ねぬいをする場合、そのままミシンをスタートさせぬいます。重ねぬいをしない場合、押さえ上下移動ボタンを押して押さをあげます。(下記「ボタンホールの重ねぬい」参照)

7. ぬい終わったら、ボタンホール切りかえレバーを止まるまでいっぱい押しあげておどします。

8. かんぬきの内側にまち針をわたし、シームリッパーで左右のラインタックの糸を切らないよう、ボタン穴を開けます。

[ぬい完了後のメッセージ画面]

ぬいあがりました。
押さを上げてください。

【ボタンホールの重ねぬい】

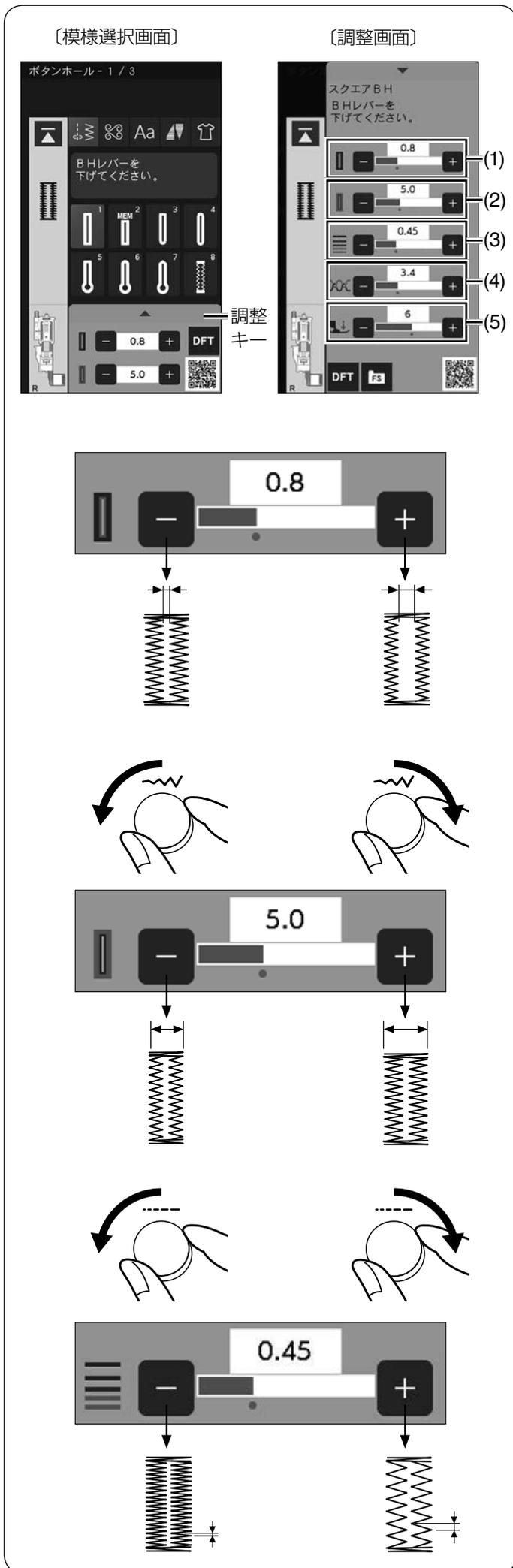
ボタンホールを重ねぬいすると、より頑丈なボタンホールができます。

ボタンホールをぬい終わったあと、「押さを上げてください。」とメッセージが表示されますが、押さをあげたり、ボタンホール切りかえレバーをあげたりせず、再度ミシンをスタートさせます。

ボタンホールの重ねぬいができます。

- ※ ボタンホールの重ねぬいで送りがつまるときには、ぬい目のあさを大きくしてぬってください。

- ※ 「ぬい設定」の「通常ぬいオートストップ時の糸切り」が「ON」に設定されている場合、糸切り後押さえがあがってしまい重ねぬいはできません。(178 ページ参照)



★ ボタンホールの調整画面

調整画面でボタン穴のサイズ、ボタンホールの幅、ボタンホールのあらしをかえることができます。模様選択画面の調整キーを押すと、調整画面が表示されます。

(1) ボタン穴の幅調整キー

ボタン穴の幅（ボタンホールの中幅）をかえることができます。

(2) めい目の幅調整キー

ボタンホール全体の幅をかえることができます。

(3) めい目のあらし調整キー

めい目のあらしをかえることができます。

(4) 糸調子調整キー

上糸と下糸の糸調子のバランスをかえることができます。

(5) 押さえ圧調整キー

押さえ圧をかえることができます。

※ 調整画面の基本的な使い方は、46～49ページをごらんください。

(1) ボタン穴の幅をかえる

「+」を押すとボタン穴の幅が広がります。「-」を押すとボタン穴の幅がせまくなります。

(2) めい目の幅（ボタンホールの幅）をかえる

めい目の幅調整ダイヤルを時計回りにまわすと、ボタンホール全体の幅が広がります。めい目の幅調整ダイヤルを反時計回りにまわすと、ボタンホール全体の幅がせまくなります。

または、「+」を押すとボタンホール全体の幅が広がります。「-」を押すとボタンホール全体の幅がせまくなります。

(3) ボタンホールのあらし（めい密度）をかえる

めい目のあらし調整ダイヤルを時計回りにまわすと、ボタンホールのめい目があらかります。めい目のあらし調整ダイヤルを反時計回りにまわすと、ボタンホールのめい目が細かくなります。

または、「+」を押すとボタンホールのめい目があらかります。「-」を押すとボタンホールのめい目が細かくなります。

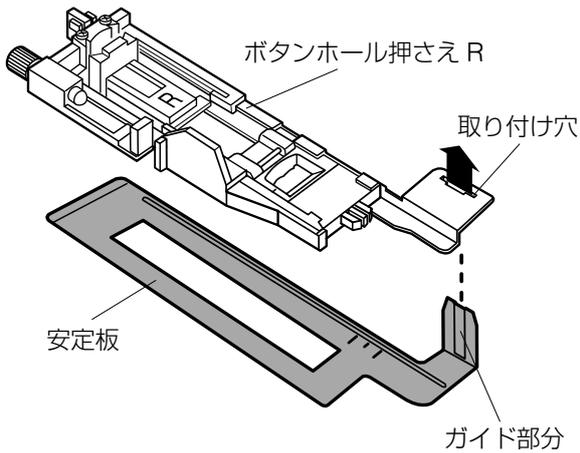
- ※ ボタンホールの穴の幅は0.2～2.0まで変更可能です。
- ※ ボタンホール幅は2.6～9.0まで変更可能です。
- ※ ボタンホールのめい目のあらしは0.20～1.00まで変更可能です。

● ボタンホール安定板の使い方

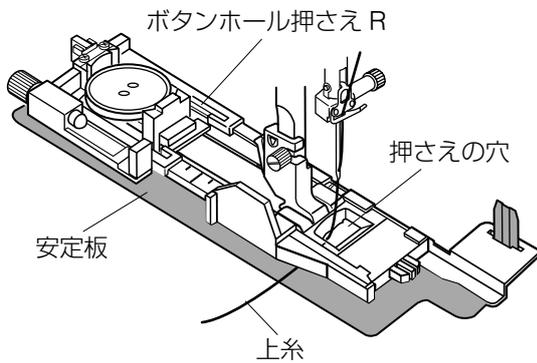
厚い布の段差や安定して布送りできない布などをぬう場合、ボタンホール安定板を使用すると、布をスムーズに送ることができます。

1. ボタンホール押さえ R の取り付け穴に、ボタンホール安定板のガイド部分を差し込みます。

1.



2.

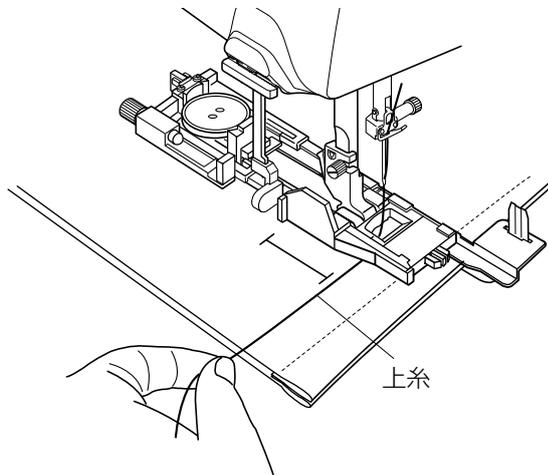


2. ボタンをボタン受け台にのせます。

ボタンホール安定板を組み付けたボタンホール押さえ R を、ミシンに取り付けます。

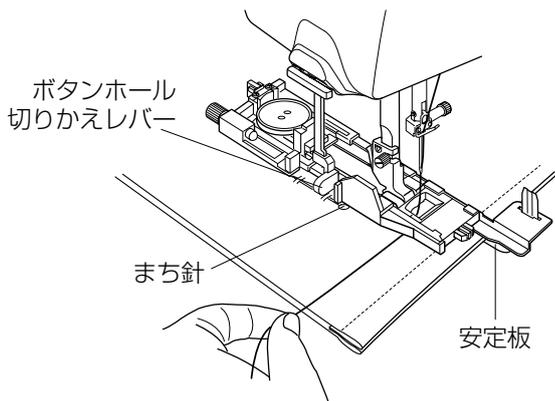
押さえをあげ、上糸を押さえの穴から下へ通し、ボタンホール押さえ R とボタンホール安定板のあいだから横に引き出します。

3.



3. 上糸を横に引き出した状態でボタンホール押さえ R とボタンホール安定板のあいだに布を入れます。はずみ車をまわし、ぬい始めの位置に針をさします。

※ ぬいの手順はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(69～72 ページ参照)



布がボタンホール切りかえレバーに触れて、うまくぬえない場合

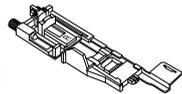
弾力性のある厚い布（フリースなど）をぬう場合、布を送るときに浮きあがった布がボタンホール切りかえレバーに触れて誤操作を起し、正しい形にぬえないことがあります。

このような場合、布を送るときに布が浮きあがらないようにまち針で固定し、ボタンホール安定板を使用してぬってください。

模様.....



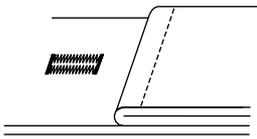
押さえ ... ボタンホール押さえ R



..... サテン押さえ F



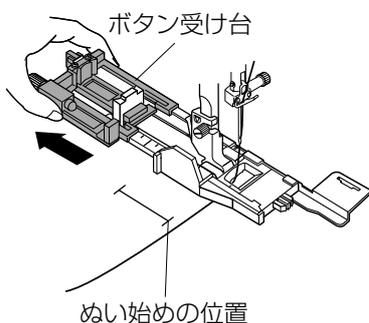
〔段差近くの場合〕



〔ぬい始める前の画面のメッセージ〕

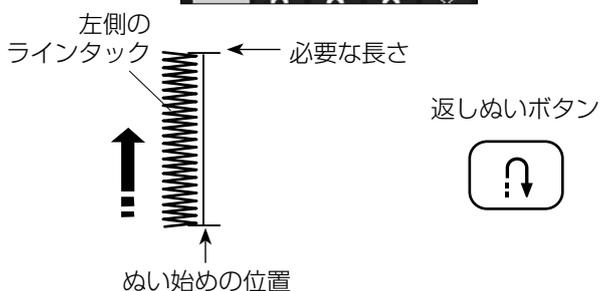


1.



2.

〔ぬい中の画面のメッセージ〕



● ボタンホール 2：メモリーボタンホール（スクエアボタンホール）

メモリーボタンホールは、ボタンホールの長さを自分で決めてぬうボタンホールです。

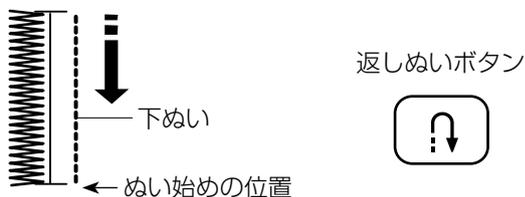
- ※ ボタンホール切りかえレバーは、さげないでぬいます。
- ※ 2.5 cm 以上の長いボタンホールをぬう場合や、厚い布の段差近くをぬう場合など、ボタンホール押さえ R を使用できないときはサテン押さえ F を使用してください。
- ※ ボタンホールの穴の幅は 0.2 ~ 2.0 まで変更できます。
- ※ ボタンホール幅は 2.6 ~ 9.0 まで変更できます。
- ※ ボタンホールのぬい目のあらかさは 0.20 ~ 1.00 まで変更できます。(72 ページ参照)

【ぬい方（ボタンホール押さえ R の例）】

1. ボタン受け台（ボタンホルダー）を向こう側にいっぱい引き出します。
ミシンにボタンホール押さえ R を取り付けます。
上糸を横に引き出した状態で布を入れ、布に付けたマークのぬい始めの位置に針をさし、押さえをさげます。
- ※ ぬい始める前の上糸と布のセット方法はスクエアボタンホールと同じです。「ボタンホール 1：スクエアボタンホール」の手順 **2.** と **3.** (69 ~ 70 ページ) をご覧ください。(ボタンホール切りかえレバーはさげないでください。)
2. 上糸を横に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。ぬい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはなしてください。
左側のラインタックを必要な長さまでぬったらミシンを停止し、返しぬいボタンを押します。

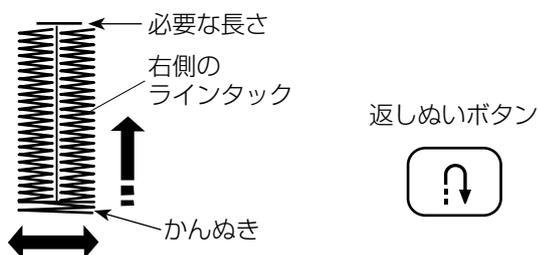
3.

〔ぬい中の画面のメッセージ〕



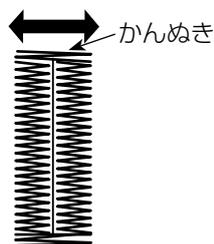
4.

〔ぬい中の画面のメッセージ〕



5.

〔ぬい中の画面のメッセージ〕



〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



3. ミシンをスタートさせると、下ぬいを行います。
ぬい始めの位置にもどったらミシンを停止し、返しぬいボタンを押します。

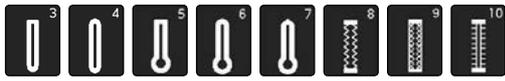
4. ミシンを再度スタートさせると、かんぬきと右側のラインタックがぬわれます。
必要な長さの位置にもどったらミシンを止め、返しぬいボタンを押します。

5. ミシンを再度スタートさせると、かんぬきをぬい、止めぬいをしてミシンは自動的に止まります。
ボタンホールぬいが終わると、画面にメッセージが表示されます。
ミシンは、手順 2. ~ 4. でぬったボタンホールのサイズを記憶しています。

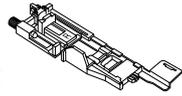
- 別の場所に同じサイズのボタンホールをぬう場合、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンを再スタートさせます。
画面上のメッセージが消え、同じサイズのボタンホールが自動的にぬわれます。
- 同じ長さのボタンホールをぬう必要がない場合、閉じるキーを押してメッセージ画面を消すと、記憶しているボタンホールサイズは取り消されます。

- ※ ボタンホールの穴の開け方は 71 ページをごらんください。
- ※ ボタンホールが完成する前に押さえ上げをあげたり、頭出しキー（111 ページ参照）を押したりすると、記憶しているボタンホールサイズは取り消されます。

模様..

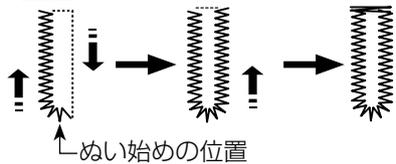


押さえ ... ボタンホール押さえ R



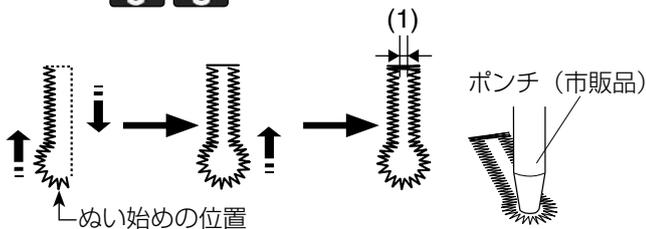
ぬい順序 (模様  の例)

※ 模様  も同じ順序です。

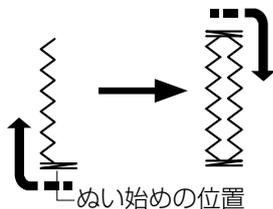


ぬい順序 (模様  の例)

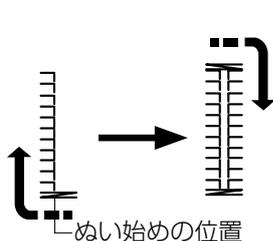
※ 模様   も同じ順序です。



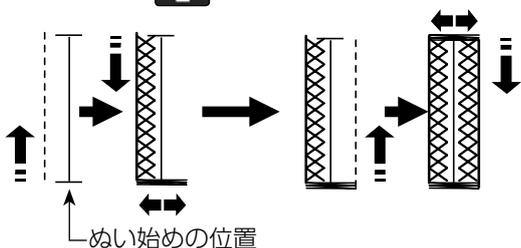
ぬい順序 (模様 )



ぬい順序 (模様 )



ぬい順序 (模様 )



● そのほかのボタンホール

★ ボタンホール 3、4：片ラウンド、両ラウンドボタンホール

ぬい方はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(69～72 ページ参照)

- ※ ボタンホールの穴の幅は 0.2～2.0 まで変更可能です。
- ※ ボタンホール幅は 2.6～9.0 まで変更可能です。
- ※ ボタンホールのぬい目のあさは 0.20～1.00 まで変更可能です。(72 ページ参照)

★ ボタンホール 5～7：キーホールボタンホール

ぬい方はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(69～72 ページ参照)

キーホールボタンホールの穴は、ポンチ (市販品) で丸穴を開けてからシームリッパーで切り開いてください。

- ※ ポンチはミシンに付属していません。
- ※ ボタンホールの穴の幅 (1) は 0.2～2.0 まで変更可能です。
- ※ ボタンホール幅は 5.6～9.0 まで変更可能です。
- ※ ボタンホールのぬい目のあさは 0.20～1.00 まで変更可能です。(72 ページ参照)

★ ボタンホール 8、10：ニットボタンホール

ぬい方はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(69～72 ページ参照)

- ※ ボタンホールの穴の幅は 0.2～2.0 まで変更可能です。ボタンホール幅は 2.6～9.0 まで変更可能です。ボタンホールのぬい目のあさは模様  が 0.50～

1.00、模様  が 0.50～2.50 まで変更可能です。(72 ページ参照)

- ※ 左右のぬい目のあさがそろわないときは、190 ページをごらんください。

★ ボタンホール 9：ニットボタンホール

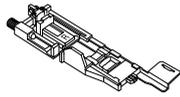
ぬい方はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(69～72 ページ参照)

- ※ ボタンホールの穴の幅は 0.2～2.0 まで変更可能です。ボタンホール幅は 2.6～9.0 まで変更可能です。ボタンホールのぬい目のあさは 0.70～1.20 まで変更可能です。(72 ページ参照)
- ※ 左右のぬい目のあさがそろわないときは、190 ページをごらんください。

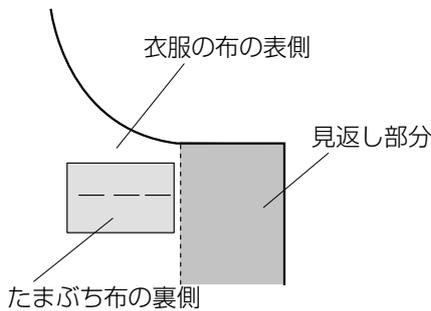
模様.....



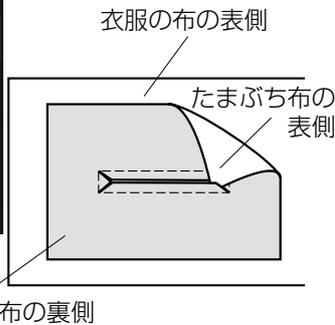
押さえ ... ボタンホール押さえ R



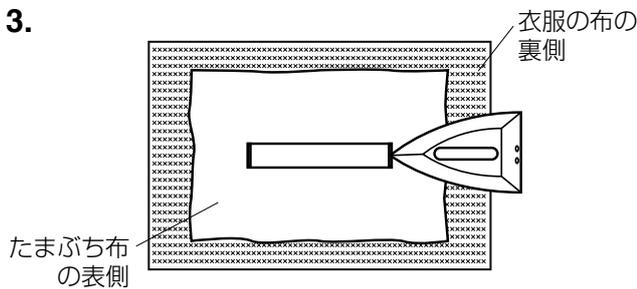
1.



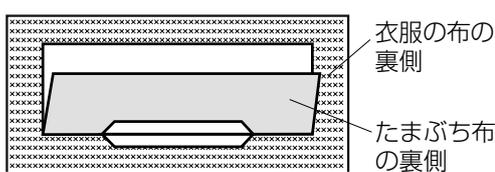
2.



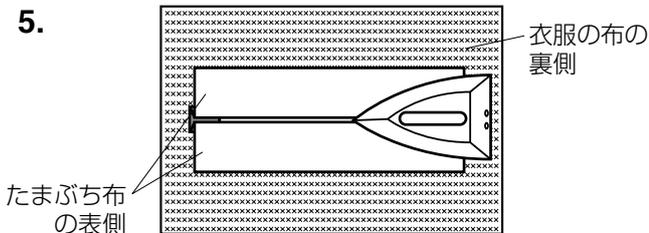
3.



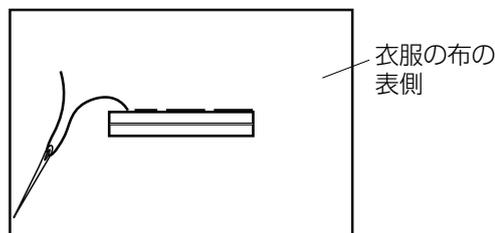
4.



5.



6.



● ボタンホール 11：たまぶちボタンホール

たまぶち布をぬいつけて、たまぶちボタンホールを作ります。

仕立ての衣服などに最適ですが、重ね合わせの部分が透けてしまうよううすくて繊細な布には向きません。

1. バイアス地のたまぶち布の表側と、衣服の布の表側を合わせ、しつけぬいで止めます。

2. 模様  を選択します。

ボタンホール押さえ R のボタン受け台にボタンをはさみ、ボタンホール切りかえレバーをさげてぬいます。

※ ぬい方はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(69～72 ページ参照)

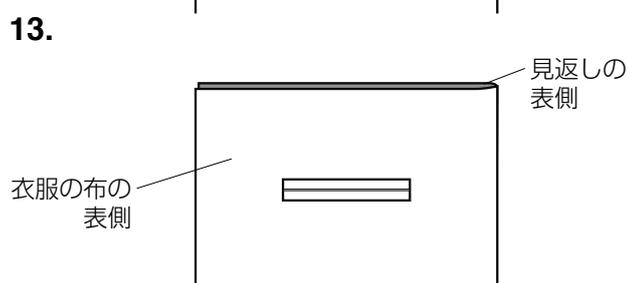
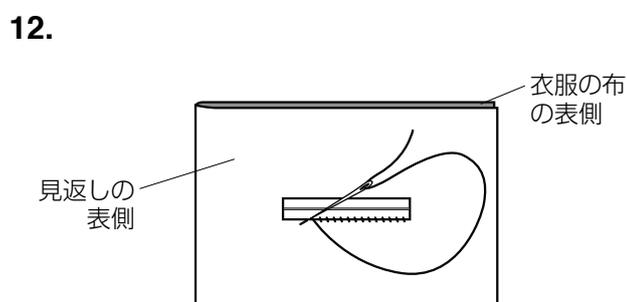
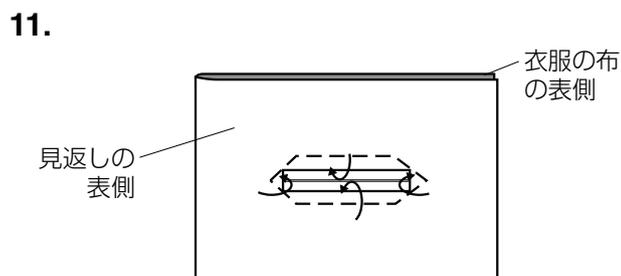
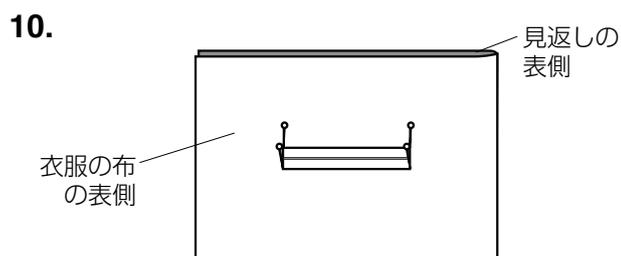
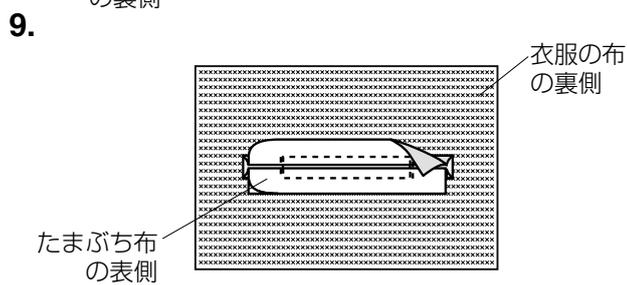
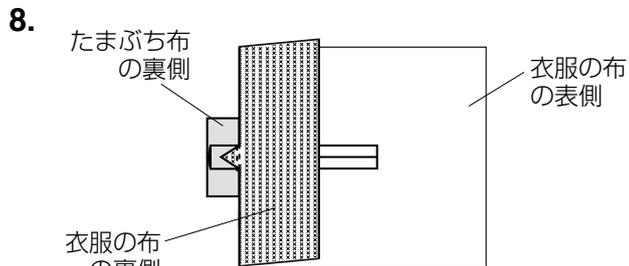
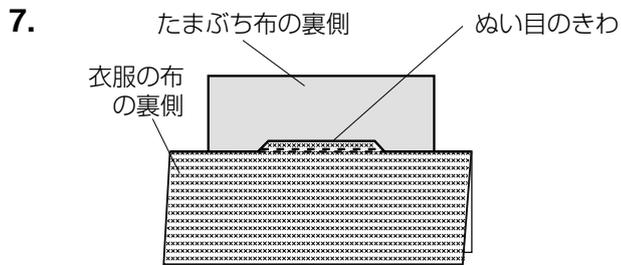
ぬい終わったら Y 字型に切り込みを入れ、たまぶち布を裏側に出します。

3. 衣服の布の裏側にたまぶち布の表側全体が見えるまでたまぶち布を引き出します。アイロンの先で角を整えます。

4. ぬいしろを正しく割ります。

5. アイロンで幅を整えます。

6. ぬい目にしつけをします。



7. むい合わせたむい目のきわをぬいます。

8. 三角の布に三重にぬいます。

9. たまぶち布を穴から 1.0 cm ~ 1.5 cm にたち落とします。
角は丸くたち落とします。

10. 見返しに、図のようにピンでたまぶち穴の形のしるしをつけます。

11. 見返しの表から手順 2. のように Y 字型に切り込みを入れて、できあがりの幅に折ります。
切り込まれた布を見返しとたまぶち布のあいだに折り込みます。

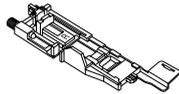
12. あきぐちのまわりを図のように細かくまつります。

13. たまぶちボタンホールの完成です。

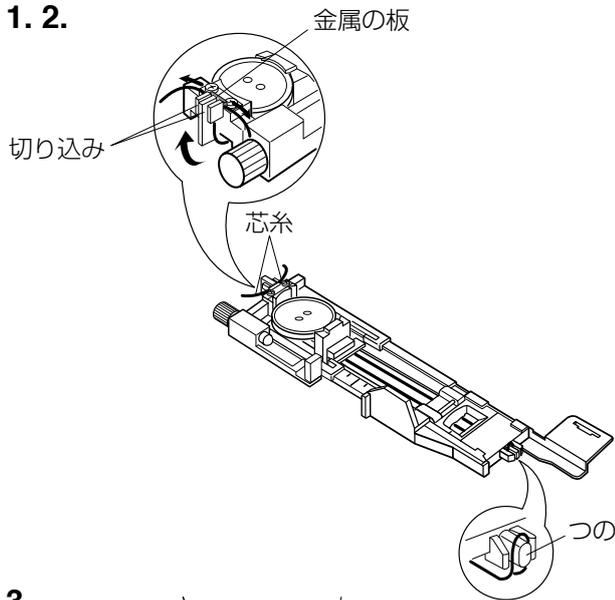
模様.....



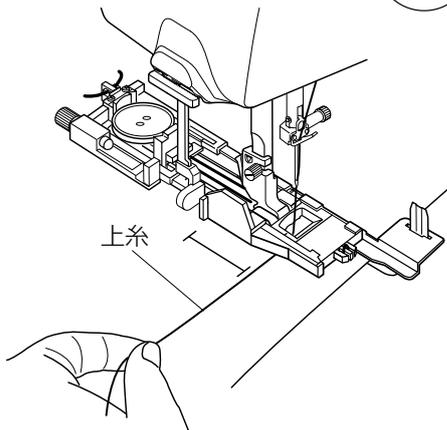
押さえ ... ボタンホール押さえ R



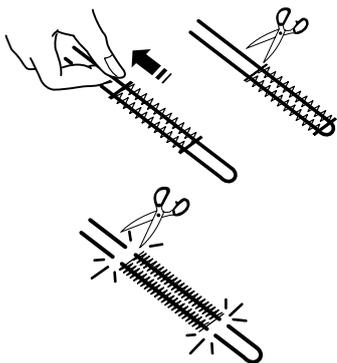
1. 2.



3.



4.



● 芯入りボタンホール

ぬい方はボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じです。(69～72 ページ参照)

- ※ ボタンホール穴の幅は 0.8 以上に設定しないでください。
- ※ 使用する芯糸の太さに合わせてぬい目の幅（ボタンホールの全体の幅）およびボタン穴の幅（ボタンホールの中幅）を調整してください。(72 ページ参照)
- ※ ボタン穴の開け方は 71 ページをごらんください。
- ※ 必要に応じて、安定板をボタンホール押さえ R に取り付けます。(73 ページ参照)

模様  を選択します。

1. ボタンホール押さえ R のボタン受け台にボタンをはさみ込みます。
芯糸の一方の端をボタンホール押さえ R 後部の左側の切り込みに入れ、横に引いて金属の板のあいだにはさみ込んで固定します。
芯糸は、押さえの下から前に引き、輪にして押さえ前部のつのにかけます。
2. つのにかけた芯糸を、押さえの下を通して押さえ後部の右側の切り込みに入れ、横に引いて金属の板のあいだにはさみ込んで固定します。
※ 芯糸は、たるみのないよう強く張ってください。
3. ボタンホール 1：スクエアボタンホールと同じようにぬいます。(69～72 ページ参照)

4. ぬい終わったら芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

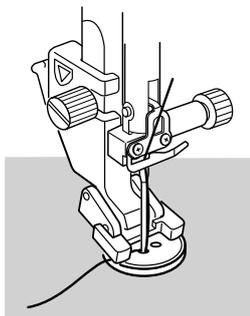
芯糸が引けない場合

左右どちらの芯糸も引けない場合、芯糸の両側を切ります。

● 特殊ぬい

★ ボタンホール 12：ボタン付け

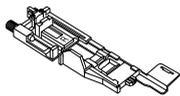
ぬい方は 144～146 ページをごらんください。



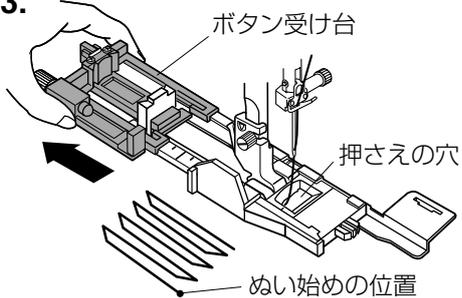
模様.....



押さえ ... ボタンホール押さえ R



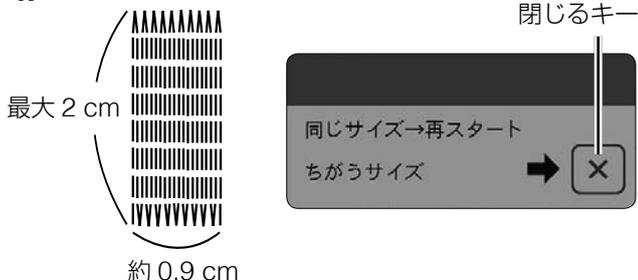
1. 2. 3.



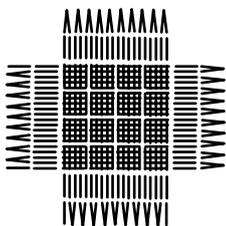
押さえ上下移動ボタン



4.



5.



★ ボタンホール 13：つくろいぬい（ダーニング）

模様  は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。

1. ボタンホール押さえ R を取り付け、ボタン受け台をいっぱい引き出します。
2. 上糸を押さえの穴から下へ通し、横に引き出します。
3. ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上下移動ボタンを押して押さえをさげます。

4. ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。ぬい終わると、確認メッセージが表示されます。そのままミシンを再スタートさせれば、前回と同じサイズでつくろいぬいをします。異なるサイズでぬう場合は、閉じるキーを押してください。

※ 自動的に停止するまでぬうと、最大約 2 cm の長さ、幅は固定で約 0.9 cm をぬうことができます。2 cm より短い長さでぬう場合、下記「2 cm より短い長さでつくろいぬいをする場合」をごらんください。

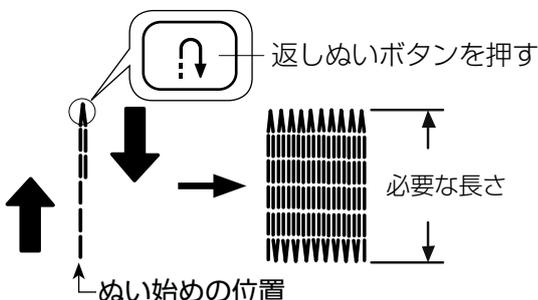
5. 布の向きをかえて、重ねてぬいます。

【2 cm より短い長さでつくろいぬいをする場合】

最初に必要な長さまでぬい、ミシンを止めます。返しぬいボタンを押してミシンを再スタートさせます。押した位置から折り返しますので、自動的にミシンが停止するまでぬいます。

ぬい終わると、メッセージ画面が表示されます。ミシンはぬった長さ（サイズ）を記憶しています。

- 別の場所に同じ長さのものをぬう場合、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのものを自動的にぬってミシンは停止します。
- 同じ長さのものをぬう必要がない場合、閉じるキーを押してメッセージ画面を消すと、記憶している長さは取り消されます。



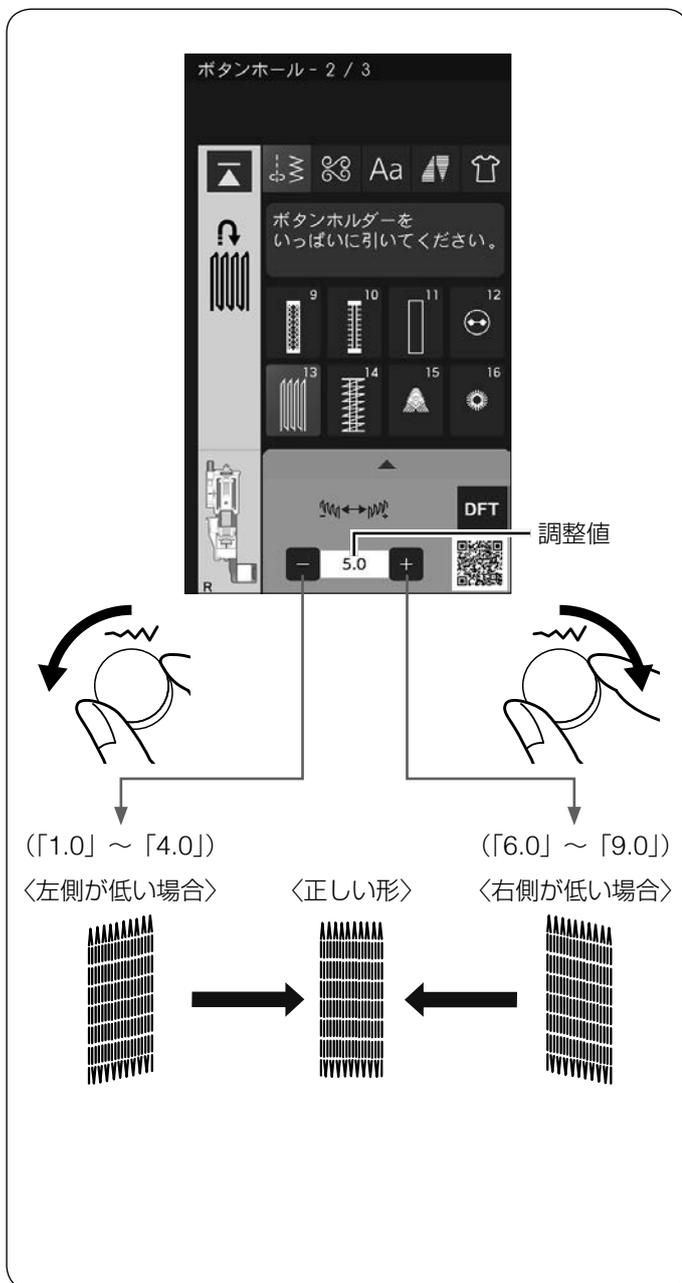
〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



【形の整え方】

つくろいぬいの、ぬい始め（左側）とぬい終わり（右側）の高さがそろわない場合、ぬい目の幅調整ダイヤルをまわすか、調整画面の高さ調整キー（「-」、「+」）を押して、つくろいぬいの高さをそろえることができます。

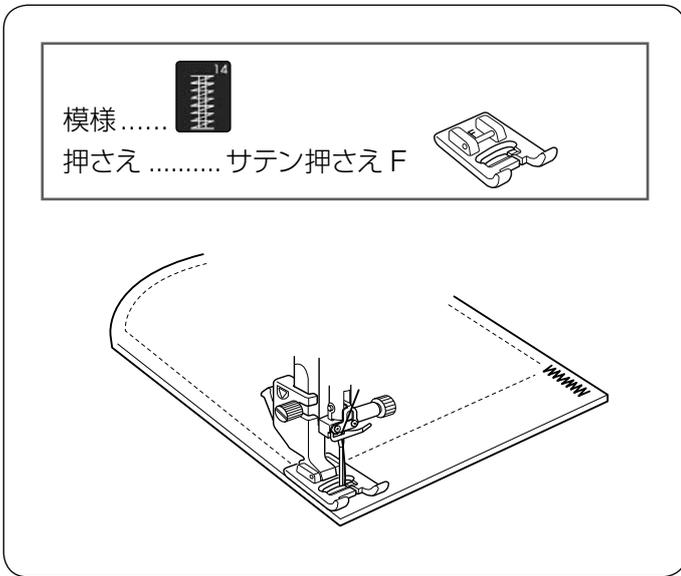
※ 「1.0」～「9.0」の範囲で調整できます。
（「5.0」はオート値）



- 左側が右側より低い場合、ぬい目の幅調整ダイヤルを反時計回りにまわすか、「-」キーを押します。（「1.0」～「4.0」）
 - 右側が左側より低い場合、ぬい目の幅調整ダイヤルを時計回りにまわすか、「+」キーを押します。（「6.0」～「9.0」）
- ※ つくろいぬいが完成する前に押さえ上げをあげたり、模様頭出しキー（111 ページ参照）を押したりすると、記憶したつくろいぬいの長さがキャンセルされます。

★ ボタンホール 14：かんぬき止め

ぬい方は 147 ページをごらんください。



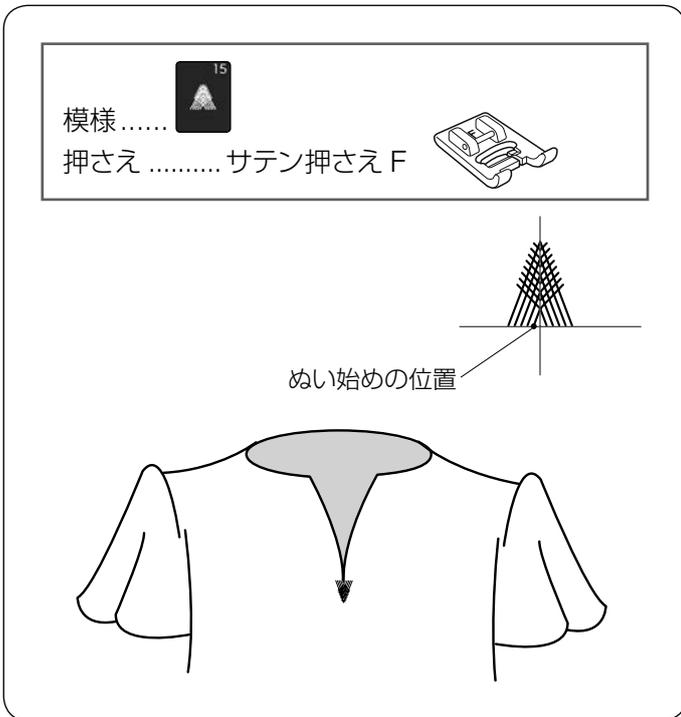
★ ボタンホール 15：フライステッチ（かんぬき止め）

あき止まりや、ポケット口の飾りをかねた補強ぬいに使います。

ぬい方：

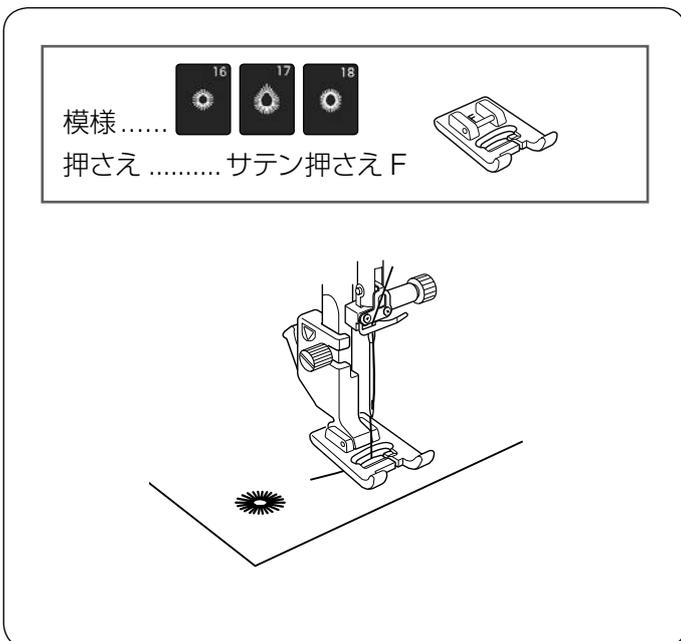
布を押さえの下におき、針をぬい始めの位置におろします。

自動的に止まるまでぬいます。



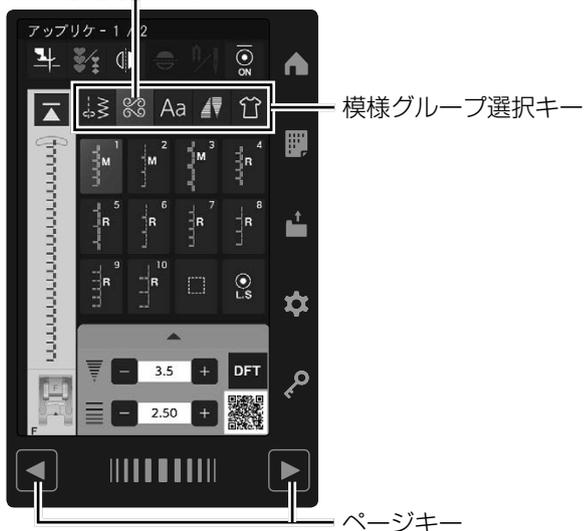
★ ボタンホール 16～18：アイレット

ぬい方は 148 ページをごらんください。

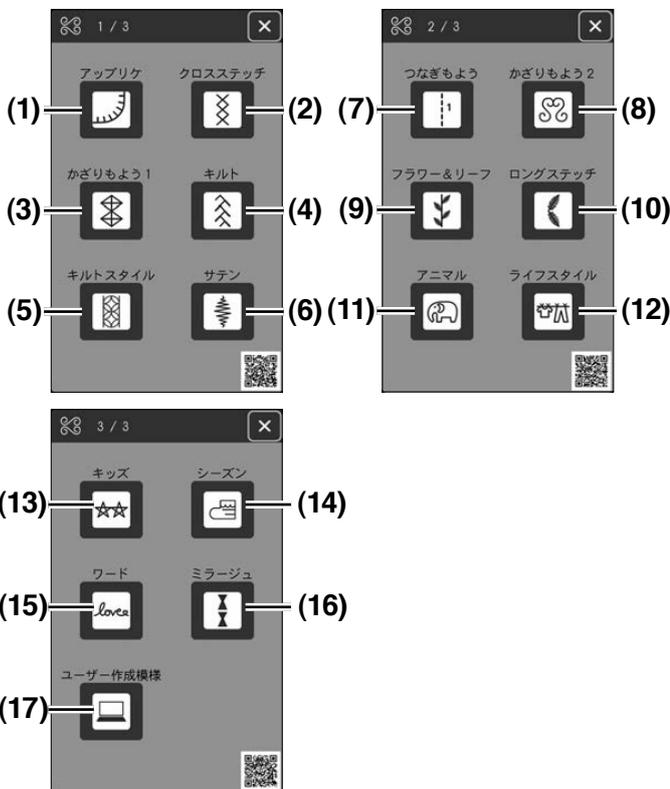


〔かざりぬい画面〕

かざりぬいキー

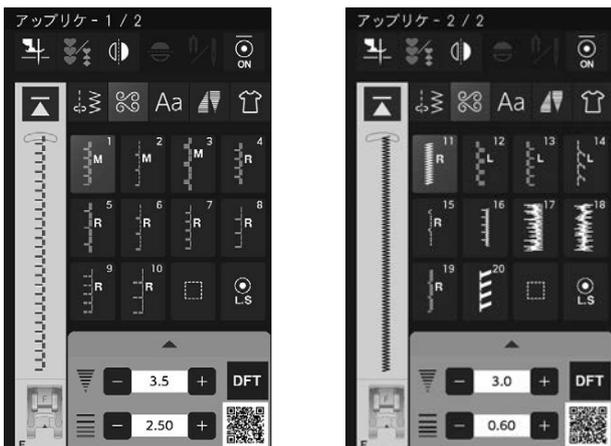


〔模様グループ選択画面〕



(1)

〔模様選択画面：アップリケ〕



◎ かざりぬい

● かざりぬいの画面

模様グループ選択キーのかざりぬいキーを押すと、かざりぬいの模様グループを選ぶ模様グループ選択画面になります。

かざりぬいの模様グループには、17個のグループがあります。これらの模様で、組み合わせ模様をつくることができます。

模様グループ選択画面で、グループを選択し、それぞれの模様選択画面を表示させます。

※ 模様グループ選択画面は3つの画面（ページ）に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ かざりぬいの模様グループの画面は、模様選択キーや調整キーなどのキーのほかに、選ばれている模様に関するいくつかのぬい情報や設定状態が表示されています。（18～19ページ参照）

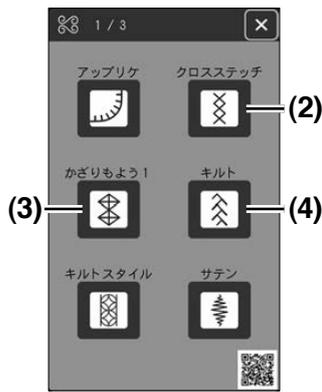
(1) アップリケ：2画面

アップリケなどに使用する模様のグループです。

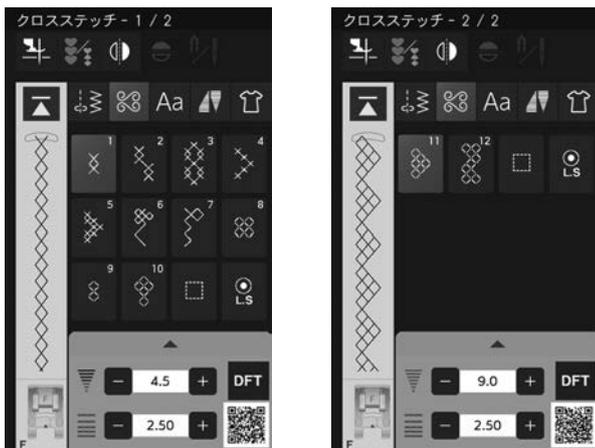
アップリケグループには、20個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

（164～165ページ参照）

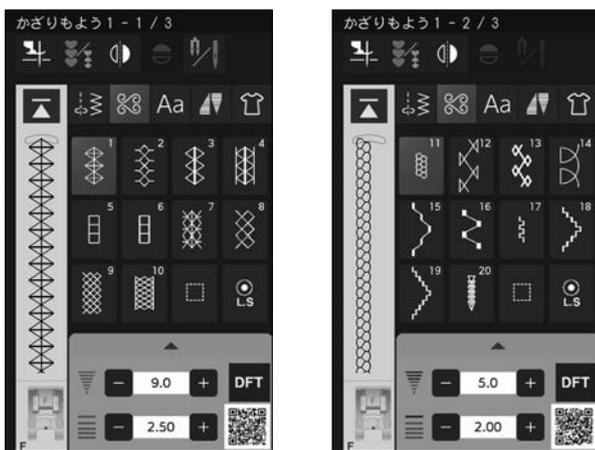
〔模様グループ選択画面〕



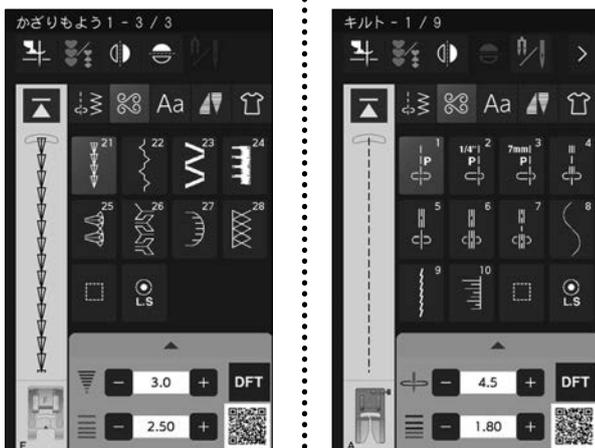
(2) 〔模様選択画面：クロスステッチ〕



(3) 〔模様選択画面：かざりもよう 1〕



(4) 〔模様選択画面：キルト〕



(2) クロスステッチ：2 画面

クロスステッチの模様でクラフトソーイングやホームデコに用いることができます。

クロスステッチグループは、12 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

(3) かざりもよう 1：3 画面

伝統的なかざりもようのグループです。

かざりもよう 1 グループは、28 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

(4) キルト：9 画面

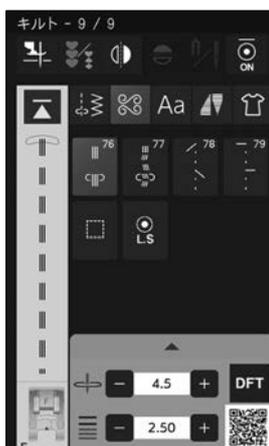
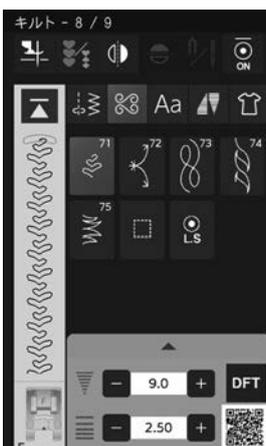
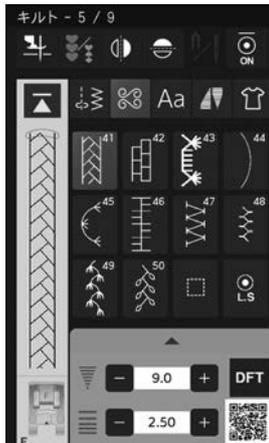
パッチワークやキルトなどに使用する模様のグループです。

キルトグループは、79 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

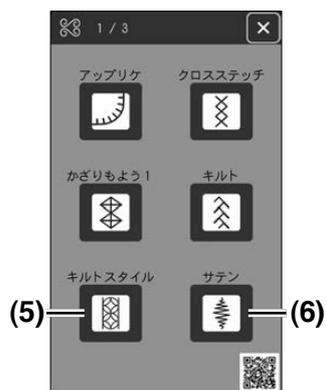
(93 ~ 94、151 ~ 168 ページ参照)

(4)

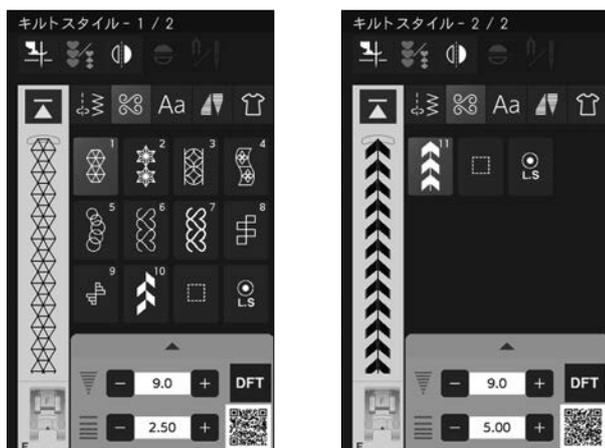
〔模様選択画面：キルト〕



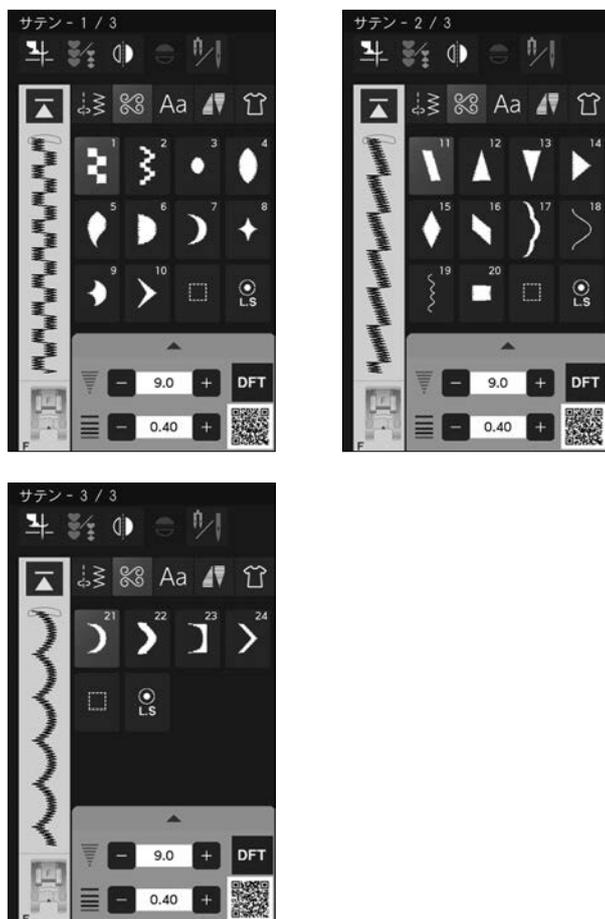
〔模様グループ選択画面〕



(5) 〔模様選択画面：キルトスタイル〕



(6) 〔模様選択画面：サテン〕



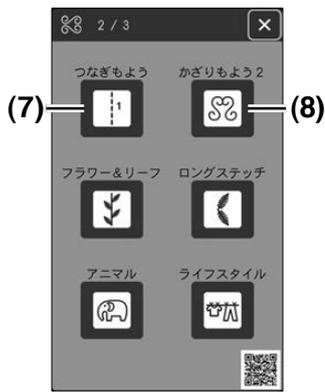
(5) キルトスタイル：2画面

キルトブロックから作られた模様です。
キルトスタイルグループは、11個の模様とスペース模様
および自動止めぬい模様があります。

(6) サテン：3画面

サテン（ぬい目を密着させた）模様のグループです。
サテングループは、24個の模様とスペース模様および自
動止めぬい模様があります。
サテングループの模様は模様の長さ調整機能（エロンゲー
ション機能）を使うと、ぬい目のあらさはそのまま模
様の長さを2～5倍にかえることができます。
(94ページ参照)

〔模様グループ選択画面〕



(7) 〔模様選択画面：つなぎもよう〕



(7) つなぎもよう：1画面

模様と模様を直線ぬいでつなぐ（間かくをあける）ためのぬいグループです。

つなぎもようグループは、8個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

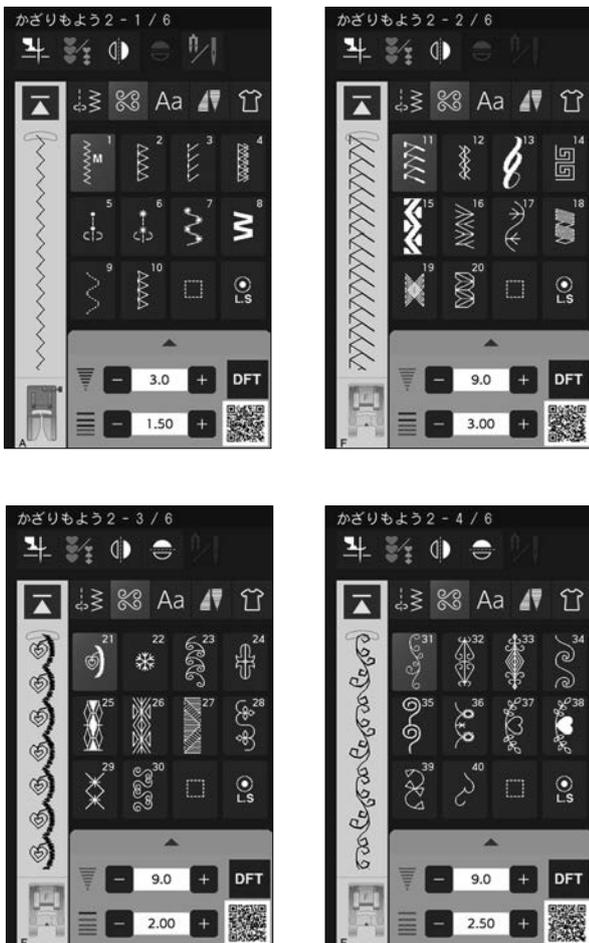
模様のとりにある数字は、模様と模様をつなぐ直線ぬいの数です。

模様 は組み合わせ模様するとき、前に入力

した模様の基線とぬい目のあさを引き継ぎます。

(108 ページ参照)

(8) 〔模様選択画面：かざりもよう 2〕



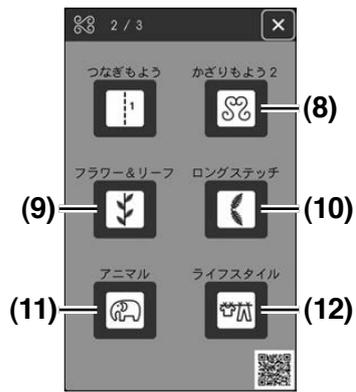
(8) かざりもよう 2：6画面

装飾的なかざりもようのグループです。

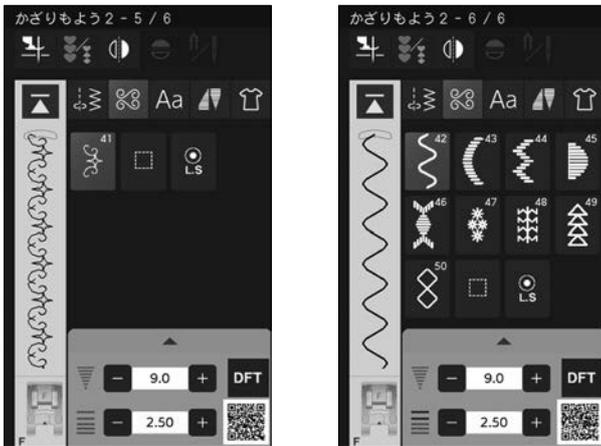
かざりもよう 2 グループは、50個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

(8) かざりもよう 2 : (前ページの続き)

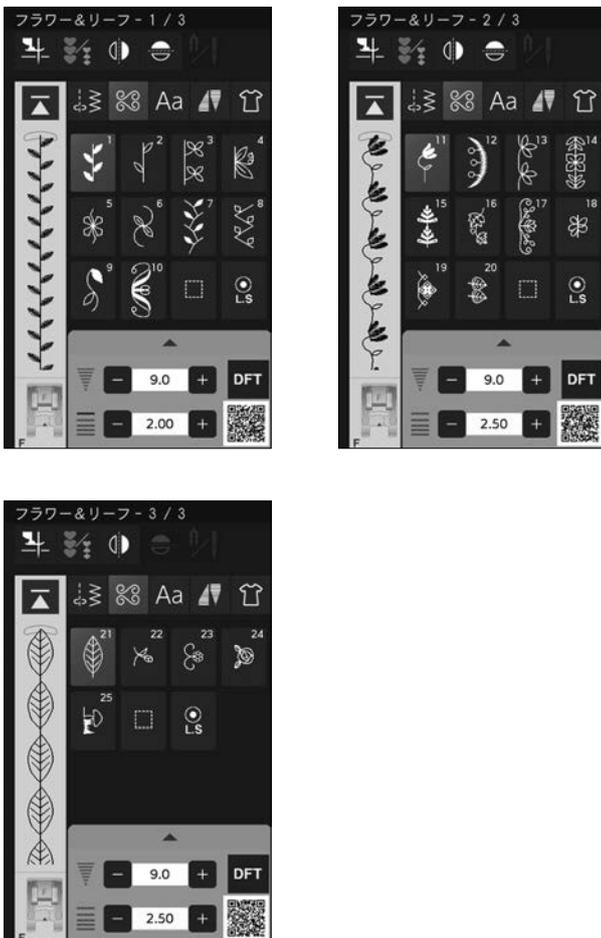
〔模様グループ選択画面〕



(8) 〔模様選択画面：かざりもよう 2〕



(9) 〔模様選択画面：フラワー&リーフ〕

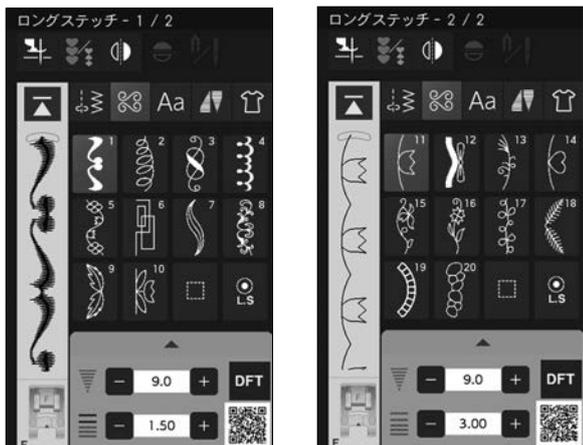


(9) フラワー&リーフ : 3 画面

木、草、花の模様のグループです。
フラワー&リーフグループは、25 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

(10)

〔模様選択画面：ロングステッチ〕

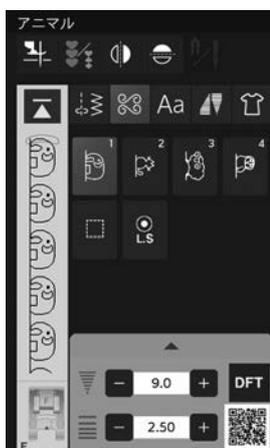


(10) ロングステッチ：2画面

1つの模様の長さが長い装飾模様のグループです。
ロングステッチグループには、20個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。
衣服の飾りやボーダー飾りに最適です。

(11)

〔模様選択画面：アニマル〕

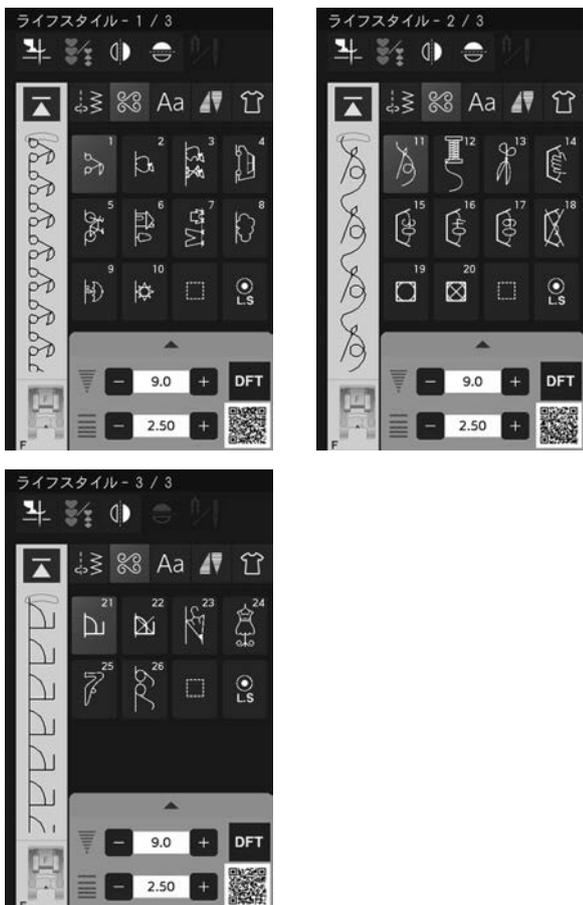


(11) アニマル：1画面

生き物の模様です。
アニマルグループは、4個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

(12)

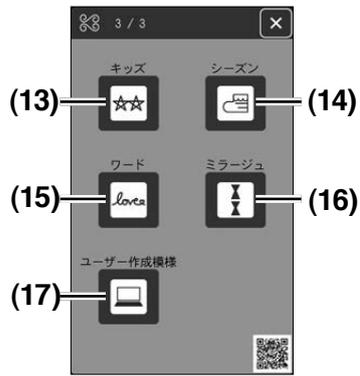
〔模様選択画面：ライフスタイル〕



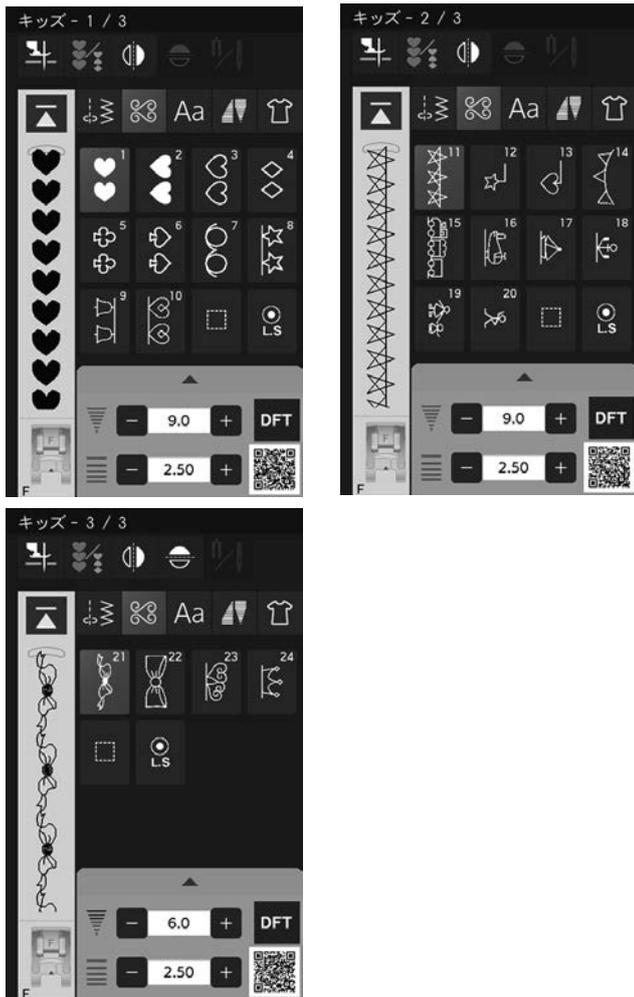
(12) ライフスタイル：3画面

生活にまつわる模様です。
ライフスタイルグループは、26個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

〔模様グループ選択画面〕



(13) 〔模様選択画面：キッズ〕



(14) 〔模様選択画面：シーズン〕



(13) キッズ：3 画面

子供用の作品におすすめの模様のグループです。

キッズグループは、24 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

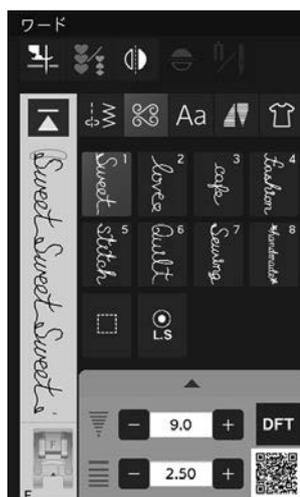
(14) シーズン：2 画面

季節にまつわる模様のグループです。

シーズングループは、13 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

(15)

〔模様選択画面：ワード〕

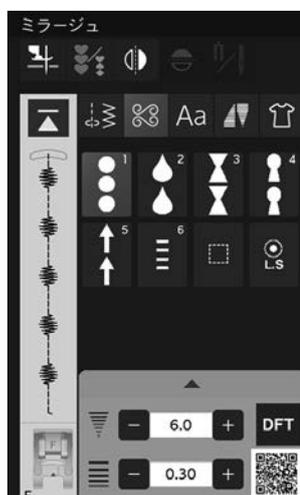


(15) ワード：1 画面

英単語の模様グループです。
ワードグループは、8 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

(16)

〔模様選択画面：ミラージュ〕



(16) ミラージュ：1 画面

つなぎの直線模様はかくれて見えなくなり、サテン模様のみが布の表に現れる模様です。(95 ページ参照)
ミラージュグループは、6 個の模様とスペース模様および自動止めぬい模様があります。

(17)

〔模様選択画面：ユーザー作成模様〕



(17) ユーザー作成模様：最大 5 画面

「ステッチコンポーザー」で作成した模様を選択できます。
作成した模様を PC から読み込む方法については、103 ページをごらんください。

※ 「ステッチコンポーザー」の使い方は、「ステッチコンポーザー」の画面にあるヘルプをごらんください。

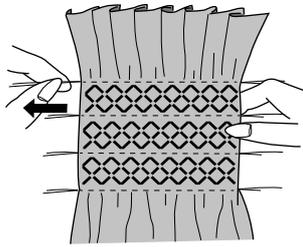
● かざりもよう 1 グループ

★ スモッキング

ぬい方は 149 ページをごらんください。

模様 

押さえ サテン押さえ F 



★ ファゴティング

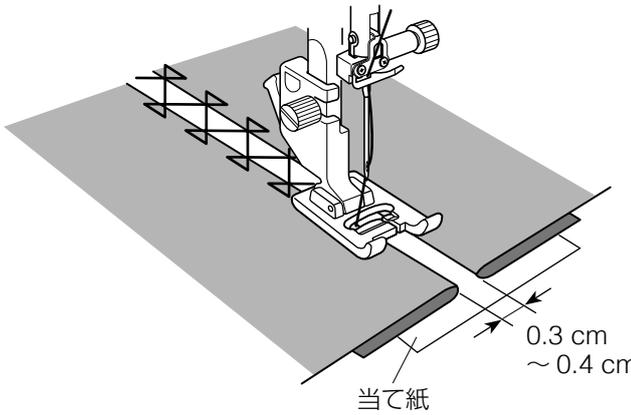
布端と布端の間かくをあけて、つなぎ合わせる場合に使用します。

模様 

押さえ サテン押さえ F 

またはクラフト押さえ F2 

1. 2. 3.



0.3 cm ~ 0.4 cm
当て紙

【模様  の例】

1. 布端と布端の間かくを 0.3 cm ~ 0.4 cm あけて、下に当て紙を置きます。
※ 間かくは、模様によって針が布から落ちないように調整してください。
2. 布の表から、間かくの中央を中心にしてぬいます。
3. 当て紙を取ります。

★ スカラップ

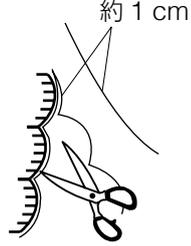
【模様  の例】

布の表から布端を約 1 cm 残してぬいます。
糸を切らないように外側の布を切り落とします。

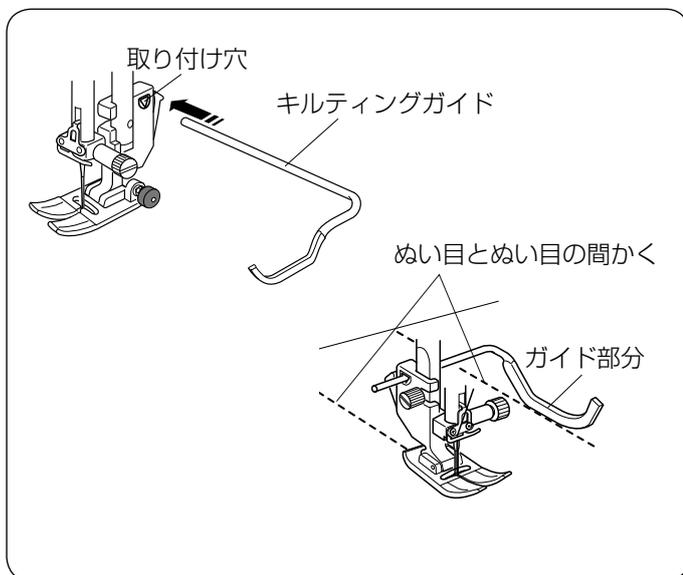
模様 

(サテングループの模様  なども使えます。)

押さえ 基本押さえ A 



約 1 cm



● キルトグループ

★ キルティングガイドの使い方

キルティングガイドを使うと、前にぬったぬい目と平行に等間かくでぬうことができます。

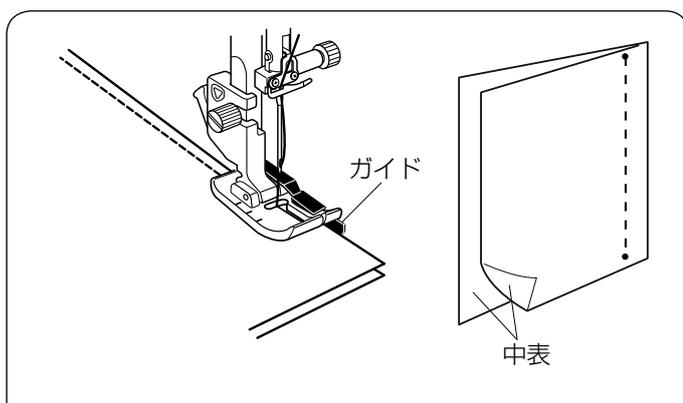
押さえホルダーのうしろの取り付け穴にキルティングガイドを差し込みます。

針位置とキルティングガイドのガイド部分までの距離がぬう間かくになります。

キルティングガイドをスライドさせて、お好みの距離に調整してください。

すでにあるぬい目にキルティングガイドに沿わせながら平行な直線をぬいます。

※ 上送り押さえ使用時のキルティングガイドの使い方は、166 ページをごらんください。



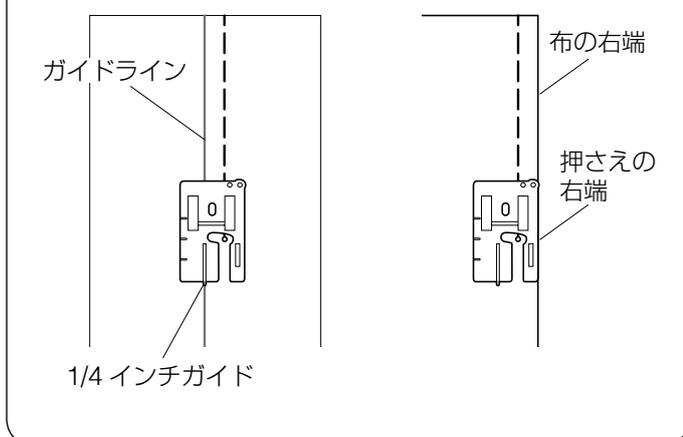
★ キルト模様 1 ~ 3

模様  ¹  ²  ³ はパッチワークの地ぬいに使用しま

す。模様  ²  ³ はそれぞれパッチワーク押さえ O を

使用すると、1/4 インチ (6.5 mm)、7 mm のぬいしろが正確にぬえます。

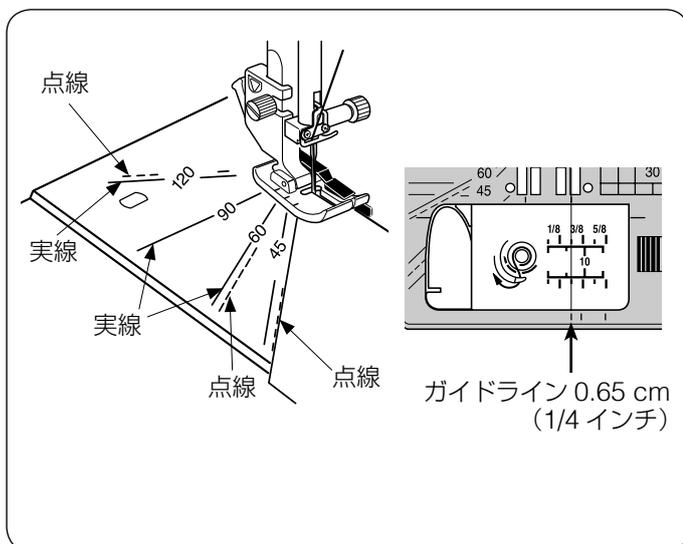
パッチワークに使用する布を中表に合わせ、布端をガイドに合わせてぬいます。



模様  ² は、パッチワーク押さえ O (ガイドなし) を使用すると、ガイドラインから 1/4 インチの位置を正確にぬえます。

ガイドラインをパッチワーク押さえ O (ガイドなし) の 1/4 インチガイドに合わせてぬいます。

模様  ²  ³ はそれぞれパッチワーク押さえ O (ガイドなし) を使用すると、布の右端から 1/4 インチ (6.5 mm)、7 mm のぬいしろが正確にぬえます。押さえの右端と布の右端を合わせてぬいます。



★ 針板角度目盛りの使い方

針板の角度目盛りを使うと、布に印をつけずにお好みの角度で簡単にぬえます。

針板の角度目盛りには、45、60、90、120 度の目盛りがついています。

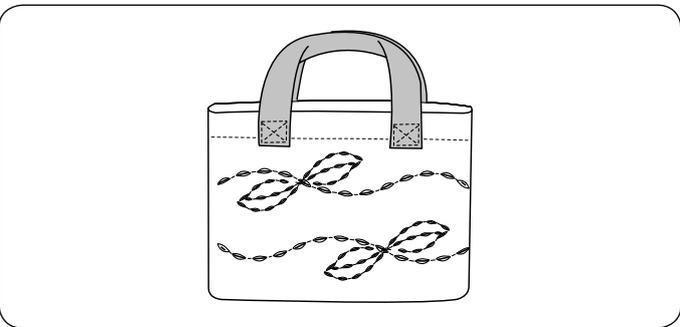
パッチワーク押さえ O を使用する場合、図の様に点線の角度目盛りに合わせてください。

※ 基本押さえ A を使用する場合、模様  ¹ を選びます。

布は実線の角度目盛りに合わせ、布の端は針板の 1/4 インチガイドラインに合わせてぬいます。

★ キルト模様 76 ~ 79 : 手ぬい風キルトステッチ

模様  は、手ぬい風のステッチ模様です。
 上糸に透明なナイロン糸、下糸に普通の糸を使用します。
 針は 14 ~ 16 番を使用します。
 下糸が布の表に引き出され、手ぬい風のステッチになります。



● サテングループ

★ 模様の長さ調整機能 (エロンゲーション)

サテングループの模様はほかのかざりぬいの模様グループと異なり、ぬい目のあらかさをかえずに模様の長さを 2 ~ 5 倍にかえることができます。
 エロンゲーション機能は、通常モードおよび模様組み合わせモードのどちらでも使えます。

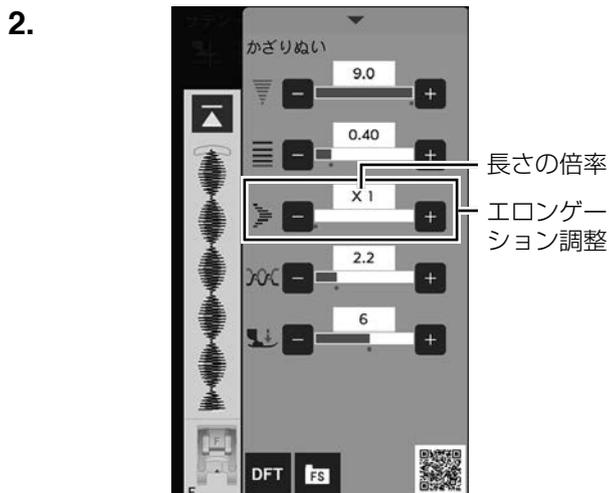
※ サテングループの模様はぬい目の細かいかざりもよう (密着模様) です。布が縮む場合、裏に芯地を貼ってください。

【模様の長さの調整例】

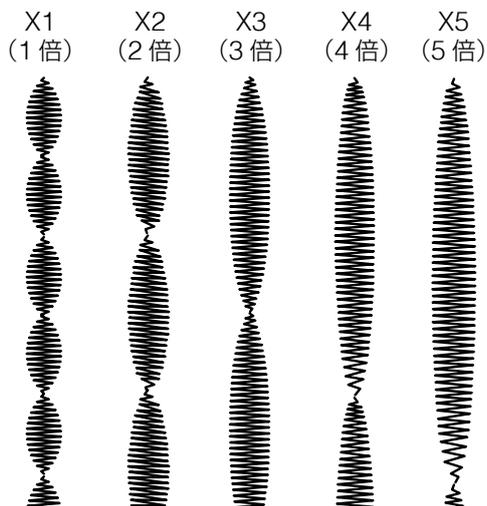
1. サテングループの模様  を選びます。
 調整キーを押し、調整画面を全体表示させます。
2. エロンゲーション調整の「+」もしくは「-」キーを押し、模様の長さをかえます。
 - 「+」キーを押し、模様を長くします。
 - 「-」キーを押し、模様を短くします。
 - 模様の長さは元の長さの 5 倍までのばすことができます。
 - 長さの倍率が表示されます。
 - 模様の幅やぬい目のあらかさも変更できます。
 設定した倍率でぬうことができます。

※ ぬい途中でミシンを止め、模様の長さを変更すると、模様は最初からぬい直されます。

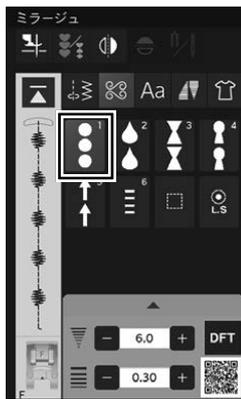
〔模様選択画面：サテン (1/3)〕



倍率と模様の長さ

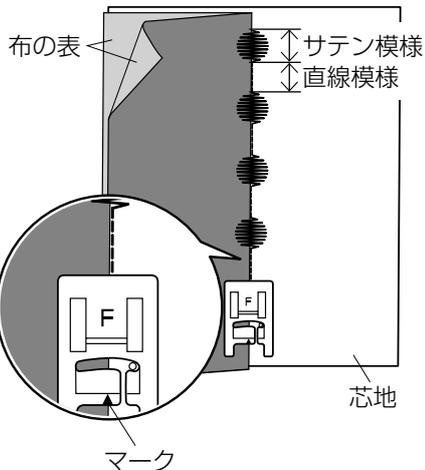


[模様選択画面：ミラージュ]

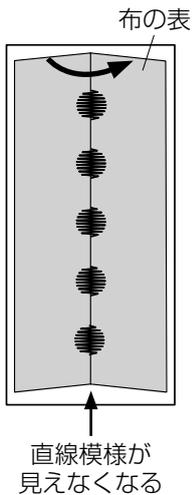


A

1.

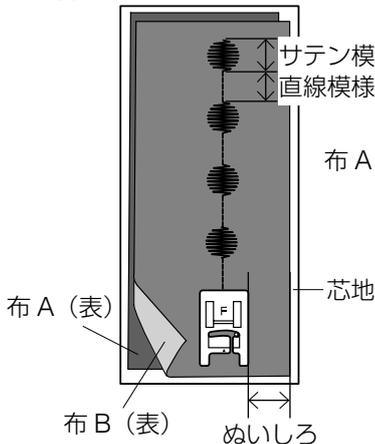


2.

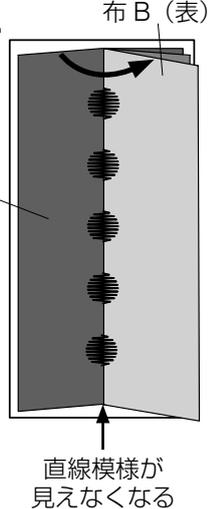


B

1.



2.



● ミラージュぬい

ミラージュ模様は、ぬってから布を開くと、つなぎの直線模様はかくれて見えなくなり、サテン模様のみが布の表に現れる模様です。

※ ミラージュ模様には中くらいの厚さの布（ブロード、シーチングなど）を使用してください。
うすい布だとしわがよってしまうことがあります。

【ぬい方】

ミラージュ模様をぬうには、布を1枚使用するぬい方と、2枚使用する2つの方法があります。

A: 1枚の布を使うぬい方

布を中表に折り、布の下に芯地を置きます。
サテン押さえFをミシンに取り付けます。

※ ミラージュぬいでは、サテン模様とつなぎの直線模様の長さを別々に調整できます。（下記【調整方法】参照）

1. 図のように、押さえのマークを折り目に沿わせてミラージュ模様をぬいます。
サテン模様のあいだの直線模様は、図のように折り目の右側（芯地）にくるようにしてぬいます。
2. 布を開くと、サテン模様のあいだの直線模様が見えなくなります。

B: 2枚の布を使うぬい方

左右でちがう布を使用する場合、以下の方法でぬいます。
2枚の布を中表に合わせ、布の下に芯地を置きます。

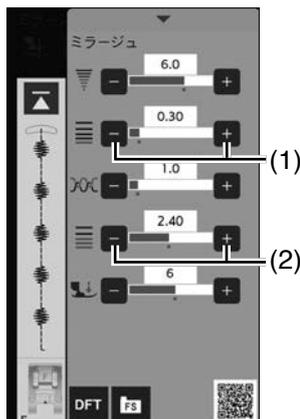
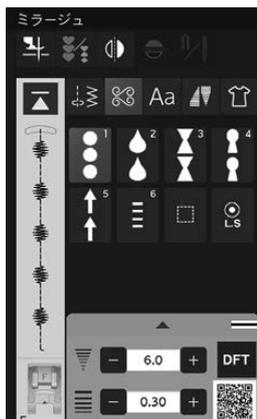
※ ミラージュぬいでは、サテン模様とつなぎの直線模様の長さを別々に調整できます。（下記【調整方法】参照）

1. ぬいしろを一定に残してぬいます。
2. 布を開くと、サテン模様のあいだの直線模様が見えなくなります。

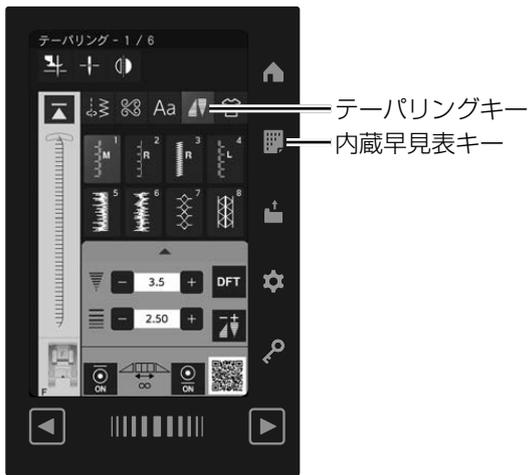
【調整方法】

ミラージュぬいでは、サテン模様とつなぎの直線模様の長さを別々に調整できます。

1. 調整キーを押すと調整画面が拡大されます。
2. サテン模様の長さ調整キー (1) またはつなぎの直線模様の長さ調整キー (2) を使って調整してください。



〔テーパリング画面 (1/6)〕



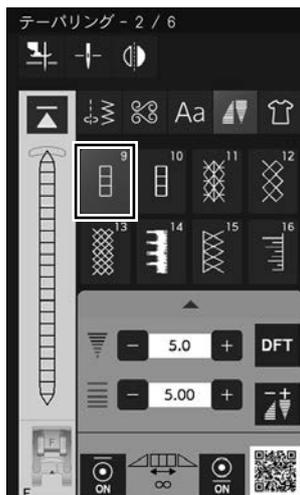
● 模様の手先を細くする (テーパリング)

かざりぬい模様の手先と最後を先細りにする機能です。模様の手先やコーナーを細くすることができます。模様グループ選択キーのテーパリングキーを押すと、テーパリングモードとなり、テーパリング画面が表示されます。

内蔵早見表キーを押すと、テーパリング模様一覧表が表示されます。(22 ページ参照)

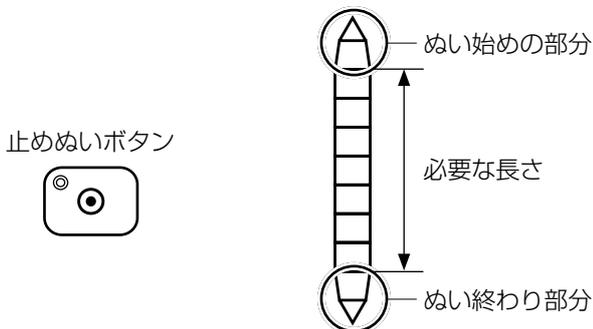
- ※ 2本針、上送り押さえ、直線ぬい用針板使用時または、フロードモード中にテーパリングはできません。
- ※ テーパリング模様の組み合わせはできません。
- ※ テーパリングの長さは選択した模様や、テーパリングの形状によって異なります。余った布などで試しぬいをしてください。
- ※ ぬい途中やミシンの停止中に、返しぬいボタンを押すとその場で止めぬいをして止まります。その場合、テーパリングの長さは記憶されません。
- ※ ぬい途中でミシンを止め、ぬい目の幅や針位置、ぬい目のあかさなどを変更すると、模様は最初からぬい直されます。

〔テーパリング画面 (2/6)〕

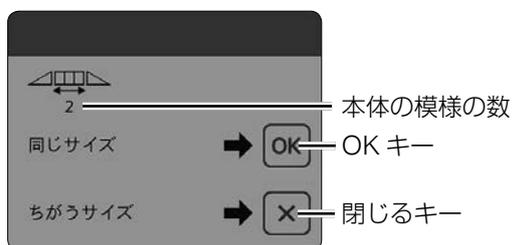


【例：模様 をテーパリングする】

1. テーパリングモードで、模様  を選びます。
 2. ミシンをスタートさせると、ぬい始めにテーパリングがかかります。
 3. 必要な長さをぬい、止めぬいボタンを押します。ぬい終わりにテーパリングがかかり、止めぬいをしてミシンが止まります。
- ※ ぬい途中に、返しぬいボタンを押すとその位置でほつれ止めの止めぬいをしてミシンは自動的に止まります。テーパリング模様は完成しません。



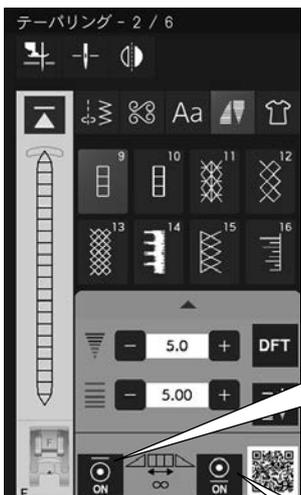
〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



【同じサイズのテーパリングぬい】

ぬい終わると、画面にメッセージが表示されます。数字は本体の模様の数です。ぬったテーパリングの長さはミシンに記憶されています。OK キーを押すと、同じ長さのテーパリング模様がぬえます。ちがう長さでぬう場合、閉じるキーを押します。

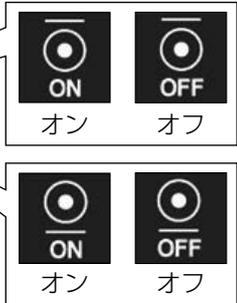
〔テーパリング画面 (2/6)〕



止めぬいキー (ぬい始め) 止めぬいキー (ぬい終わり)

止めぬい (ぬい始め)

止めぬい (ぬい終わり)



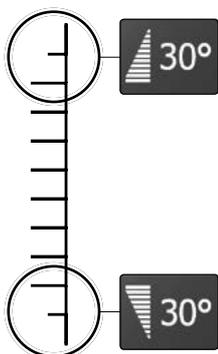
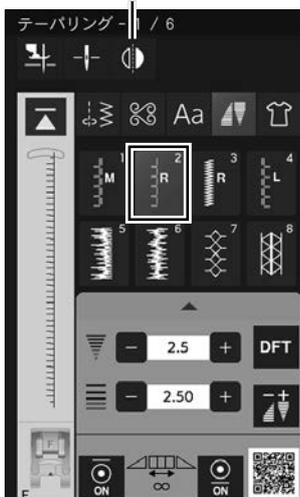
★ テーパリングの自動止めぬい機能

テーパリングのぬい始めとぬい終わりに自動的に止めぬいが入るよう設定されます。

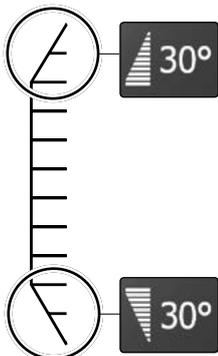
テーパリング画面の止めぬいキー (ぬい始めとぬい終わり) を押すと、止めぬい機能をオンまたはオフにすることができます。

〔テーパリング画面 (1/6)〕

1. 左右反転キー



2.



★ テーパリング模様 of 左右反転 1

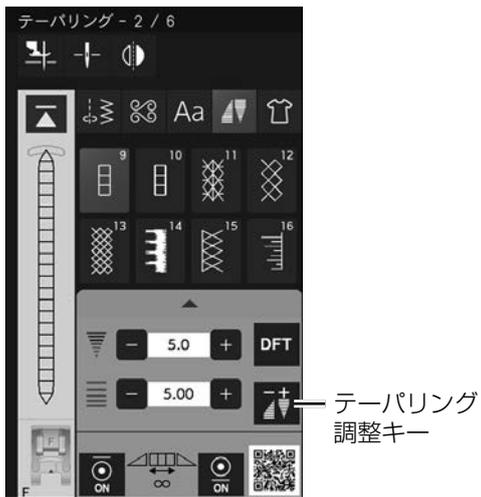
例：模様  を左右反転する

1. テーパリングモードで、模様  を選びます。

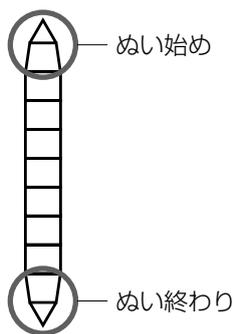
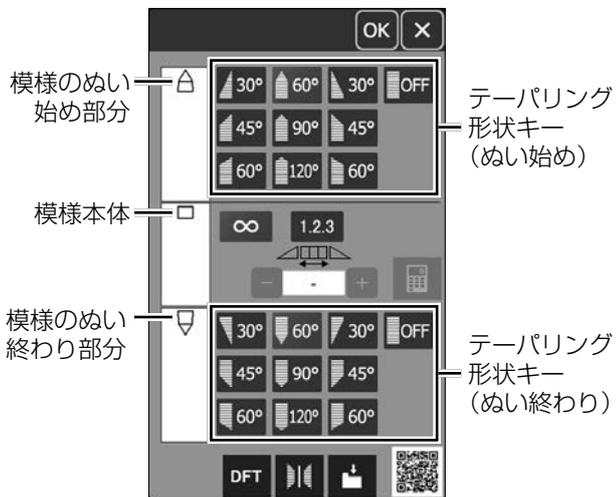
2. 左右反転キーを押すと、テーパリング模様のぬい始めとぬい終わりの角度 (例では  ) をかえず、模様を左右反転します。

※ テーパリング模様のぬい始めとぬい終わりの角度を含めて、模様を左右反転したい場合は、テーパリング調整画面の  キーを使用します。
(100 ページ参照)

〔テーパリング画面 (2/6)〕



〔テーパリング調整画面〕



★ テーパリング模様の調整

テーパリング模様の形状を変更できます。

テーパリング調整キーを押すと、調整画面が表示されます。

【ぬい始めとぬい終わりの形状を変更する】

テーパリング調整画面で模様のぬい始めとぬい終わりにかけるテーパリングの形を選べます。

- 画面上半分のキーは模様のぬい始めの形を選ぶキーです。
- 画面下半分のキーは模様のぬい終わりの形を選ぶキーです。
- テーパリング形状キーの数字は、テーパリングの角度を示します。
- テーパリングの基準を左、中央、右から選ぶことができます。

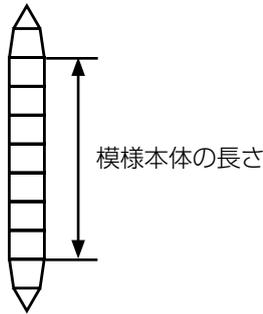
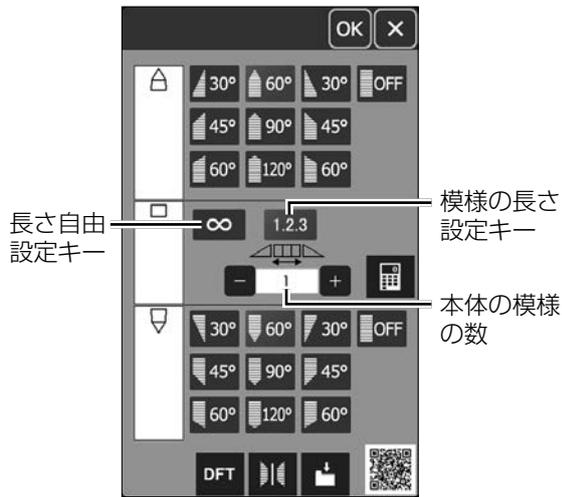
※ 模様のぬい始めとぬい終わりに別々の形状のテーパリングをかけることができます。

選択したテーパリングの形状は、画面の左側に表示されます。

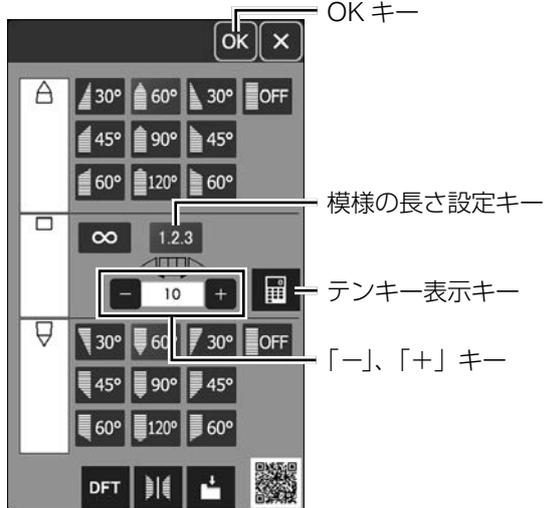
上の欄はテーパリング模様のぬい始めの部分を表します。中央の欄は模様本体を表します。

下の欄はテーパリング模様のぬい終わりの部分を表します。

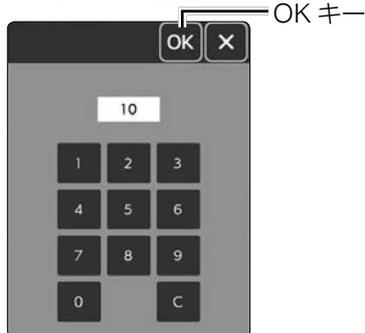
〔テーパリング調整画面〕



〔テーパリング調整画面〕



〔テンキー画面〕



【模様の長さを設定する】

画面中央のキーで模様の長さ（模様の数）を設定できます。
長さ自由設定キーがオンになっている場合、止めぬいボタンを押すまで模様がぬわれます。
模様の長さ設定キーを押すと、模様の長さ（本体の模様の数）を設定できます。

模様の長さ設定キーを押します。

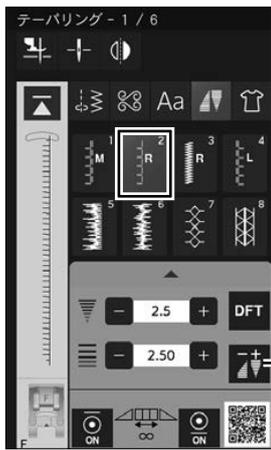
「+」キーおよび「-」キーで、模様の長さ（本体の模様の数）を設定します。

模様の長さは、テンキーで入力することもできます。

テンキー表示キーを押し、テンキー画面で模様の長さ（本体の模様の数）を入力し、テンキー画面の OK キーを押します。

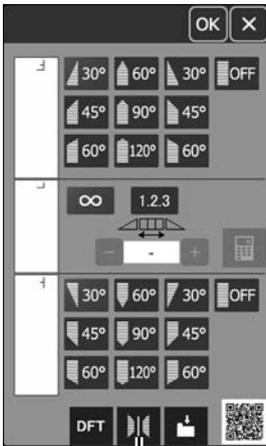
テーパリングの形状を変更したら、調整画面の OK キーを押してテーパリング模様の形状を決定します。

1. [テーパリング画面 (1/6)]

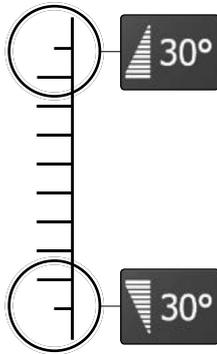


テーパリング調整キー

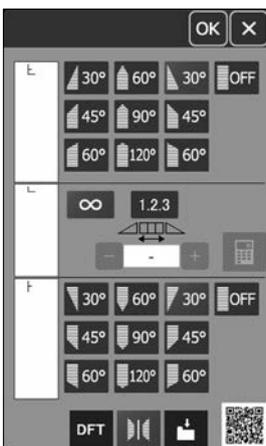
2. [テーパリング調整画面]



模様反転キー



[テーパリング調整画面]



保存キー

★ テーパリング模様の左右反転 2

例：模様  を左右反転する

1. テーパリングモードで、模様  を選び、テーパリング調整キーを押して調整画面を表示させます。

2. 模様反転キーを押すと、テーパリング模様のぬい始めとぬい終わりの角度を含めて、模様が左右反転します。

※ テーパリング模様のぬい始めとぬい終わりの角度（例では  ）をかえずに模様を左右反転したい場合は、テーパリング画面の  キーを使用します。（97 ページ参照）

★ テーパリング模様の保存

カスタマイズしたテーパリング模様を、マシンや USB メモリに保存できます。

テーパリング模様を調整したあと、保存キーを押します。テーパリング模様は「xxx.JCS」ファイルとして保存されます。

ファイルを保存または開くには、121 ~ 126 ページをごらんください。

〔テーパリング画面 (4/6)〕

1.



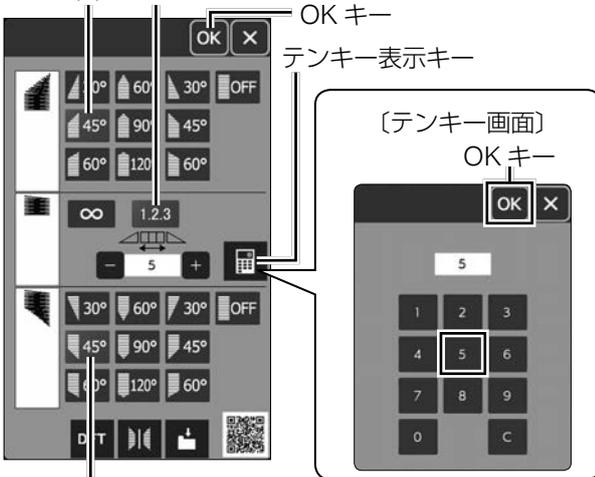
2. 3.



止めぬいキー (ぬい終わり)
テーパリング調整キー

4. 〔テーパリング調整画面〕

(1) 模様長さ設定キー



(2)

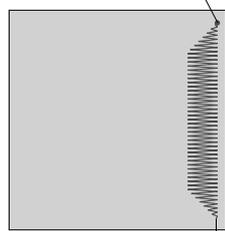
5. 〔テーパリング画面 (4/6)〕
ピボットぬい設定キー



本体の模様数

6.

ぬいたい位置



ミシンが止まった位置

★ テーパリングでフレームの角を作成する

例：模様  を使ってフレームを作成する

1. テーパリングモードで模様  を選びます。
2. 止めぬいキー (ぬい終わり) を押し、ぬい終わりの自動止めぬいをオフにします。
3. テーパリング調整キーを押します。
4. 模様のぬい始めの形を選びます。(1)
模様のぬい終わりの形を選びます。(2)
模様長さ設定キーを押します。
「+」キーを4回押し模様長さ (模様数) を「5」に設定します。またはテンキー表示キーを押し、テンキーで「5」を入力し、テンキー画面のOKキーを押します。
テーパリング調整画面のOKキーを押し、設定を適用します。
5. ピボットぬい設定キーを押します。
※ 手順4. で設定した模様長さ (本体の模様数) が画面の下に表示されます。
6. ぬいたい位置に針をおろし、ミシンが自動的に止まるまでぬいます。
ミシンが止まると、自動的に押さえが下がります。

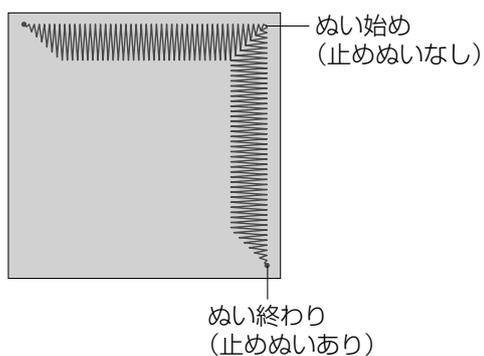
7.

押さえ上下移動ボタン



止めぬいキー (ぬい始め) 止めぬいキー (ぬい終わり)

8.

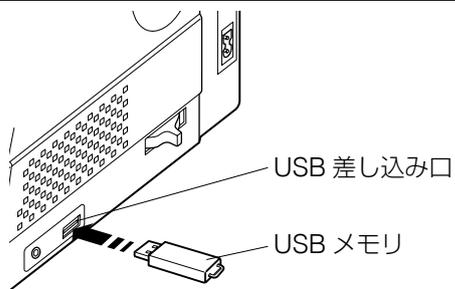


7. 布を 90° 回転させます。

押さえ上下移動ボタンを押して押さをさげます。
止めぬいキー (ぬい始め) を押し、ぬい始めの自動止めぬいをオフにします。
止めぬいキー (ぬい終わり) を押し、ぬい終わりの自動止めぬいをオンにします。
ミシンをスタートさせます。

8. ミシンがフレームの角で止めぬいをして止まります。

1.



〔模様選択画面〕



2.

〔ファイル開く画面〕



ファイルのリスト



〔メッセージ画面〕

OK キー

● ユーザー作成模様グループ

「ステッチコンポーザー」で作成した模様データをミシン本体に読み込むと、ユーザー作成模様グループに保存されます。

【ユーザー作成模様の読み込み】

1. 作成した模様を保存した USB メモリを、ミシン右側の USB 差し込み口に差し込み、ファイルオープンキーを押します。

2. 「ファイルを開く」画面の  キーを押します。

接続した USB メモリのフォルダーのリストが表示されます。

作成した模様データが保存されている場所（例では「Ordf」フォルダー）を押すとファイルのリストが表示されます。

お好みのユーザー作成模様（STX データ）を選択すると、ユーザー作成模様がミシンに保存され、模様選択キーが作成されます。

ほかの内蔵模様と同様に、組み合わせ模様に組み込んだりぬったりできます。

※ 本機で使用できる USB メモリのファイルシステムは FAT16 および FAT32 のみです。USB メモリが読み込めない場合は、ファイルシステムを確認してください。（191～192 ページ参照）

※ USB カードリーダーおよび USB ハブは使用しないでください。

※ 上の階層にもどる場合、 キーを押します。

※    各キーの使い方は、123～124 ページをごらんください。

※ ユーザー作成模様は 60 個まで保存できます。

※ ユーザー作成模様は、2 本針ぬいには対応していません。

【ユーザー作成模様の削除】

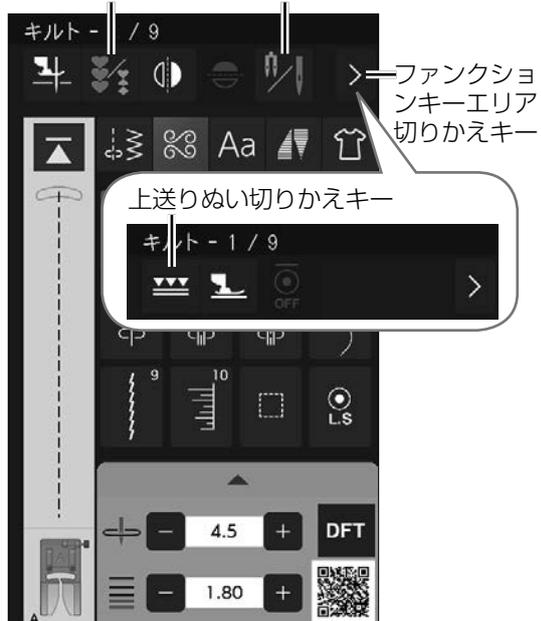
ユーザー作成模様を削除する場合、削除キーを押して削除する模様を選びます。

メッセージ画面が表示されます。

OK キーを押して模様を削除します。

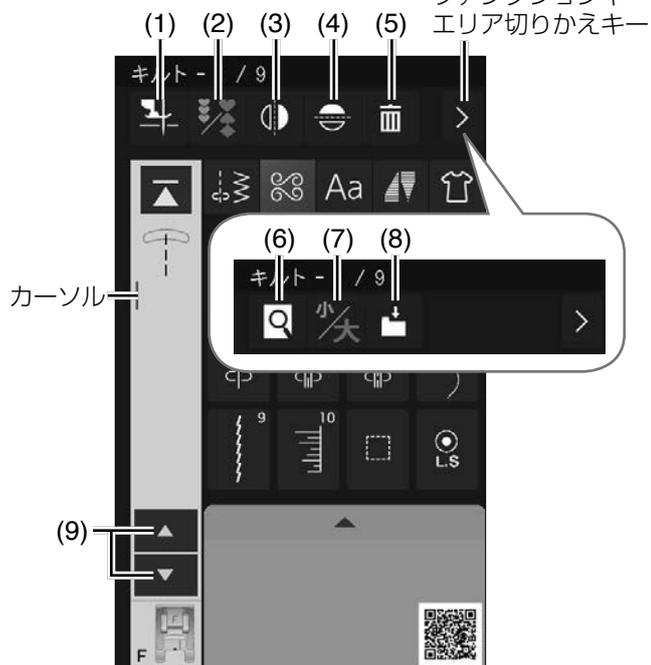
〔模様選択画面 / 通常モード〕

模様組み合わせキー 2本針めい切りかえキー



〔模様選択画面 / 模様組み合わせモード〕

ファンクションキー
エリア切りかえキー



◎ 模様組み合わせモード

かざりめいと文字めいは、模様を組み合わせでめうことができます。

模様組み合わせキーを押すと、通常モードの模様選択画面から模様組み合わせモードの模様選択画面にかわります。

模様組み合わせモードに設定すると

- 通常モードでは選んだ模様 1 つだけを、繰り返し連続してめいます。模様組み合わせモードでは好みの模様を組み合わせでめうことができます。
- 模様は最大 100 個まで組み合わせることができます。
- 組み合わせができる模様は、かざりめいの模様グループと文字めいの模様グループです。文字めいの模様グループは、115 ~ 120 ページをごらんください。
- 編集機能を使うと、組み合わせた模様の内容を変更できます。(109 ~ 110 ページ参照)
- 組み合わせた模様をミシンや USB メモリに保存できます。(121 ~ 122 ページ参照)

● 模様組み合わせモードの画面

模様組み合わせモードに切りかえると、2本針めい切りかえキーと上送りめい切りかえキーがなくなり、削除キー (5)、プレビューキー (6)、文字高さ切りかえキー (7)、保存キー (8) および組み合わせた模様を確認・選択するためのカーソル移動キー (9) が画面上に追加されます。全てのキーを表示するにはファンクションキーエリア切りかえキーを押します。

※ 模様組み合わせモードでは、2本針めい、テーパリングめい、上送りめい、フロートモードめいはできません。

(1) ピボットめい設定キー

ピボットめいを行うときに設定します。(49 ページ参照)

(2) 模様組み合わせキー

通常モードと模様組み合わせモードを切りかえます。(105 ページ参照)

(3) 左右反転キー

選んだ模様を左右反転させます。(106 ~ 107 ページ参照)

(4) 上下反転キー

選んだ模様を上下反転させます。(106 ~ 107 ページ参照)

(5) 削除キー

カーソルの付いている模様を削除することができます。模様を組み合わせた状態でカーソルが最後の模様の下側にある場合、最後の模様を削除することができます。(109 ページ参照)

(6) プレビューキー

組み合わせた模様のめいイメージ全体像を表示します。(112 ページ参照)

(7) 文字高さ切りかえキー

文字の高さを約 2/3 にし、文字を小さく (低く) することができます。(120 ページ参照)

(8) 保存キー

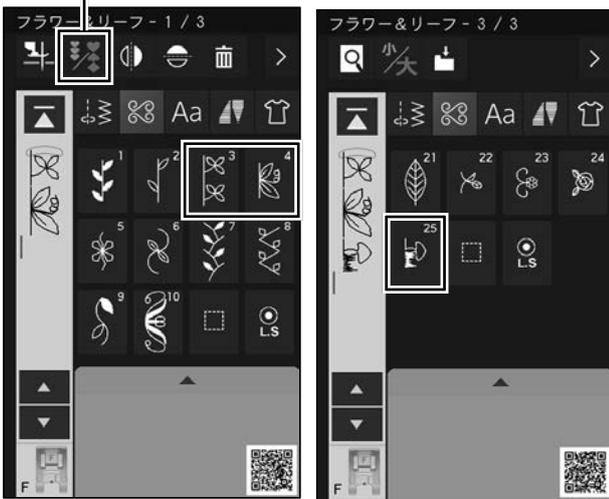
組み合わせた模様をミシンや USB メモリに保存できます。(121 ~ 122 ページ参照)

(9) カーソル移動キー

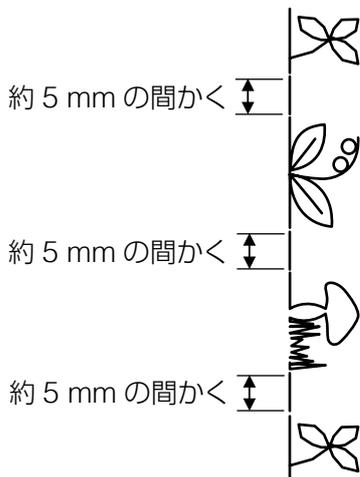
カーソルを移動させて、組み合わせた模様の中から変更したい模様 (場所) を選ぶことができます。(109 ページ参照)

1. [模様選択画面 / 模様組み合わせモード]

模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)



2.



● 模様組み合わせぬいの例

1. 模様組み合わせモードの状態、模様を選びます。

(例ではフラワー&リーフの   )

2. ミシンをスタートさせると、3つの模様が繰り返しぬわれます。

ぬい終わりの模様の途中で止めぬいボタンを押すと、その模様を完成させたあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

※ 止めぬいボタンの使い方は 16 ページをごらんください。

模様  および模様  の使い方

● 模様選択キー  は、スペース模様です。

1個につき約5mmの間かくをあけることができます。間かくの値は、ぬい目のあかさ調整ダイヤルまたは、調整画面のぬい目のあかさ調整キーで小さくできます。
(左図は、各模様のあいだにスペース模様を1個組み合わせさせた例です。)

● 模様選択キー  は、自動止めぬい模様です。

模様を1つ、または複数組み合わせた最後に自動止めぬい模様を組み合わせると、模様を1つだけまたは組み合わせた模様の数だけぬったあと、ほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

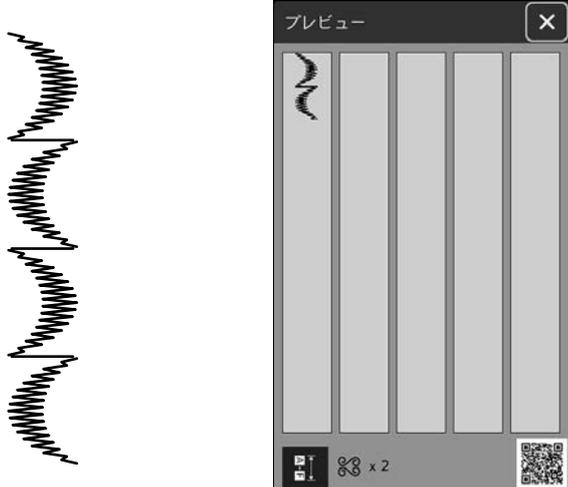
1. 模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)



2. 左右反転キー



3. (プレビュー画面)

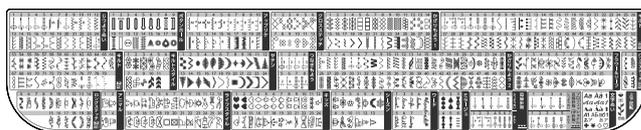


● 反転キーの使い方

左右反転キーまたは上下反転キーで、選んだ模様の形を左右または上下反転させることができます。

左右反転と上下反転を組み合わせることもできます。通常モードおよび模様組み合わせモードのどちらでも使用できます。

※ 上下反転できるのは、一部の模様のみです。ミシン天板の早見板で、青い色の模様が上下反転可能な模様です。上下反転キーが押された状態で、反転できない模様を選ぶと、反転はキャンセルされ、上下反転キーの選択が解除されます。



※ 通常モードで反転できない模様を選択した場合、左右反転キーまたは上下反転キーはグレーになり、選択できません。

★ 左右・上下反転のぬい方 (組み合わせモード時)

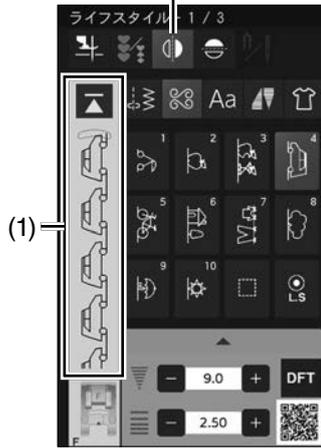
例：サテン模様  を、通常の形と左右反転の形で交互にぬう場合

1. 模様組み合わせモードの状態で、サテン模様  を選びます。
 2. 左右反転キーを押します。左右反転キーが青色になります。サテン模様  を選びます。
 3. ミシンをスタートさせると、基本の形の模様と左右反転された模様を交互にくり返しぬいます。
- ※ ぬい終わりの模様の途中で止めぬいボタンを押すと、その模様を完成させたあとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。止めぬいボタンの使い方は 16 ページをごらんください。
- ※ 反転をキャンセルする場合、左右反転キーをもう一度押します。
- ※ 組み合わせた模様の全体を見るには、カーソル移動キーを押して組み合わせ模様をスクロールさせるか、プレビューキーを押し、ぬいイメージを全体表示させて確認 (プレビュー) できます。(112 ページ参照)

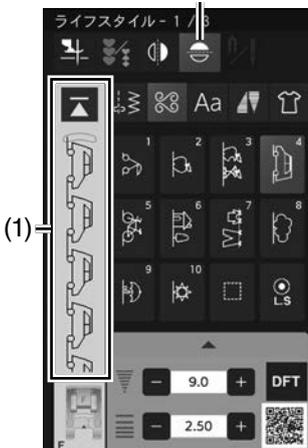
1. 模様組み合わせキー
(通常モードの状態)



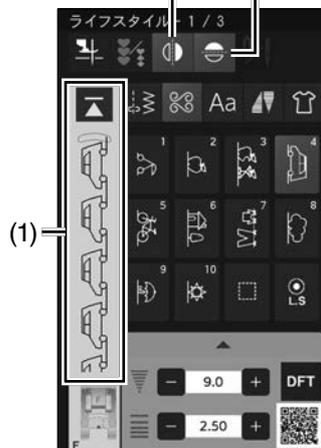
2. 左右反転キー



3. 上下反転キー



4. 左右反転キー 上下反転キー



〔組み合わせモードの例〕



ぬいイメージ
(左右と上下が反転した形)

左右および上下反転が
設定された状態で、
模様  を選んだ状態



ぬいイメージ
(左右だけが反転した形)

上下反転できない模様
 を選ぶと、上下反転
機能が取り消され、
模様  は左右だけが
反転した形になる。

★ 左右・上下反転のぬい方 (通常モード時)

1. 模様を選びます。(例ではライフスタイル )
2. 模様を左右反転した形でぬう場合、左右反転キーを押します。
左右反転キーが青色で表示され、左右反転した形でぬうことができます。
ぬいイメージ画面 (1) には左右反転されたぬいイメージが表示されます。
※ 左右反転キーをもう一度押すと選択が解除され、通常の形にもどります。
3. 模様を上下反転した形でぬう場合、上下反転キーを押します。
上下反転キーが青色で表示され、上下反転した形でぬうことができます。
ぬいイメージ画面 (1) には上下反転されたぬいイメージが表示されます。
※ 上下反転キーをもう一度押すと選択が解除され、通常の形にもどります。
4. 左右反転と上下反転を組み合わせた形で模様をぬう場合、左右反転キーと上下反転キーを押します。
両方のキーが青色表示され、左右および上下反転した形でぬうことができます。
ぬいイメージ画面 (1) には左右と上下が反転されたぬいイメージが表示されます。

反転機能のご注意

- 通常モードおよび組み合わせモードで左右および上下反転キーを押すと、反転キーをもう一度押して反転を取り消すまで反転機能の設定は継続します。次の模様を選んでも反転した形になります。
- ただし、上下反転機能の場合、上下反転キーが押された状態で上下反転できない模様を選ぶと、上下反転機能が取り消されます。

〔模様選択画面 / つなぎもようグループ〕



数字
1. 模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)



2.



3.
模様 2 のぬい
※ 中針位置の直線のぬい目が2つ入っている。

(A)



※ 直線のぬい目が2つ入っているが、模様 7 のぬい目のあらかさが 0.4 mm と細かいため、ほとんど間かくがあかない。

(B)



※ 直線のぬい目が1つしか入っていないが、模様 1 のぬい目のあらかさが 2.5 mm あるため、間かくがあく。

● つなぎもようグループの使い方

つなぎもようグループの模様は、模様と模様の間かくを直線ぬいを使ってあけるときに使います。つなぎもようグループの模様の右側の数字〔「1」、「2」、「3」、「4」〕は、つなぎ模様を1つ組み合わせたときのぬい目の数を示します。

※ 模様 1 2 3 4 7 は、針位置やぬい目の

のあらかさのオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）が設定されていて、オート値はぬい目の幅調整ダイヤルとぬい目のあらかさ調整ダイヤルまたは、ぬい目の幅調整キーとぬい目のあらかさ調整キーでかえることができます。

※ 模様 5 6 8 は、針位置やぬい目のあらかさの

オート値が設定されていません。針位置やぬい目のあらかさはつなぎ模様の1つ前の模様と同じ値になり、ぬい目の幅調整ダイヤルとぬい目のあらかさ調整ダイヤルまたは、ぬい目の幅調整キーとぬい目のあらかさ調整キーでかえることはできません。（針位置は、前の模様のぬい終わりの針位置になります。）

例：模様組み合わせモードで、模様 1 のあいだに、

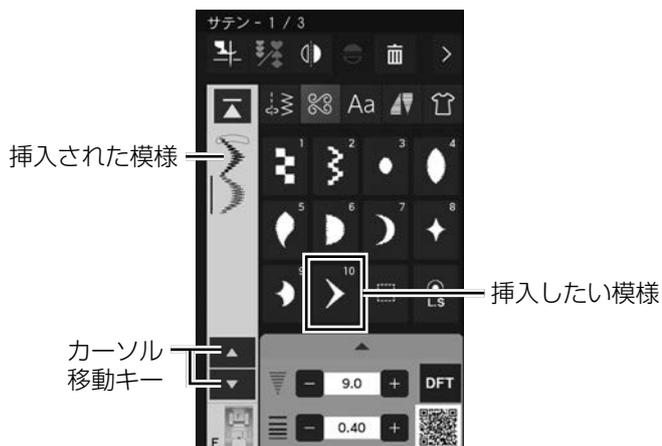
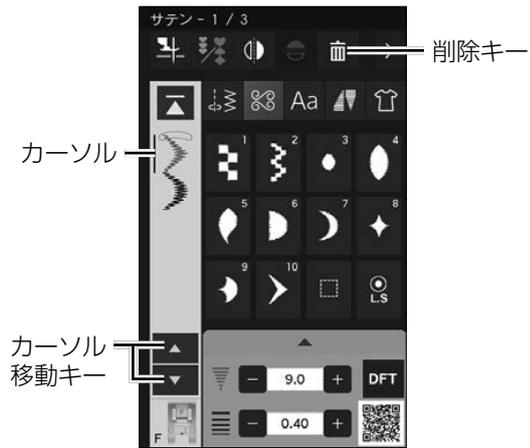
模様 2 を組み合わせて、間かくをあける場合

1. 模様組み合わせモードの状態で、かざりもよう1グループの模様 1 を選びます。
 2. つなぎもようグループの模様 2 を選びます。
 3. ミシンをスタートさせると、模様 1 の間かくがあいた状態でくり返しぬいます。
- ※ 模様と模様のあいだに、中針位置の直線のぬい目が2つ入ります。

ぬい目のあらかさが細かい模様につなぎ模様を使う場合

- 例えば、サテングループの模様 7 のように、ぬい目の細かい模様の次につなぎもよう 2 5 6 8 を使うと、つなぎ模様のぬい目のあらかさは1つ前の模様のぬい目のあらかさと同じになるため、つなぎ模様のぬい目も細くなって、模様の間かくがほとんどあきません。（図 A）
- ぬい目のあらかさが細かい模様のあとにつなぎもよう 1 2 で間かくをあけたい場合、つなぎもよう 1 3 2 を使用してください。（図 B）

模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)



● 模様の編集機能

模様組み合わせモードでは、組み合わせた模様を編集することができます。

模様をカーソルで選び、挿入、削除、反転させることができます。また、模様のぬい目の幅やあかさなどを変更することもできます。

【模様の削除】

カーソルの前の模様と、選択され青く表示されている模様は削除キーを押して削除できます。

途中の模様を削除したい場合、カーソル移動キーを押し、削除したい模様を選びます。

選択された模様が青色にかわります。

削除キーを押して削除します。

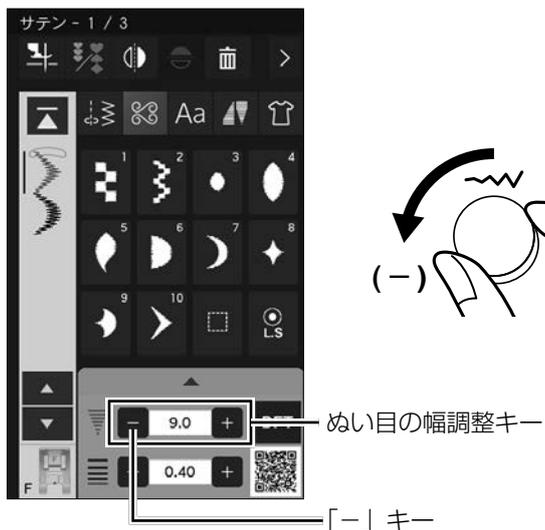
【模様の挿入】

カーソル移動キーを押し、模様を挿入したい場所にカーソルを移動させます。

挿入したい模様を選びます。

カーソルの付いている模様（青色の模様）の前に挿入したい模様が追加されます。

1.



2.



【模様のみ目の幅やあかさなどを変更】

めい目の幅調整ダイヤル、もしくはめい目のあかさ調整ダイヤルをまわすか、変更したい項目の「+」もしくは「-」キーを押します。

1. めい目の幅調整ダイヤルをまわすか、めい目の幅調整キーの「-」キーでめい目の幅を「9.0」から「5.0」に変更します。

※ 調整画面の基本的な使い方は 46 ~ 49 ページをごらんください。

2. 模様  のめい目の幅が変更され、編集画面の表示もかわります。

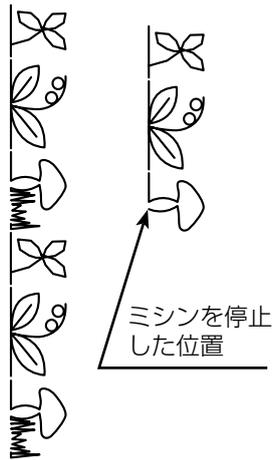
※ 模様の設定値の変更や模様の削除は、カーソルの付いている模様（青色の模様）に対してできます。

※ 押さえ圧は組み合わせ模様のそれぞれの模様別に適用することはできません。

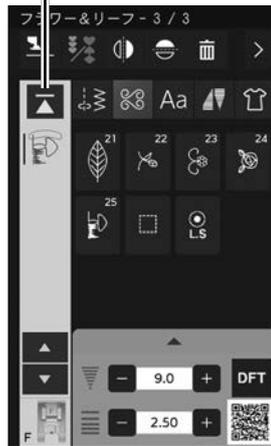
別々の押さえ圧をかけると、最後に設定した押さえ圧の数値が組み合わせ模様全体にかかります。

組み合わせた模様の
ぬいイメージ

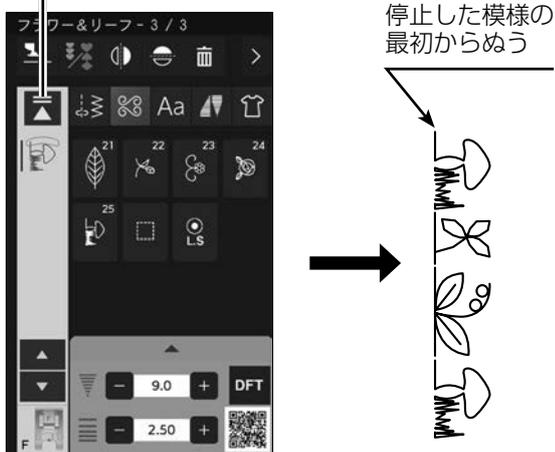
[ミシンを停止したときの画面]



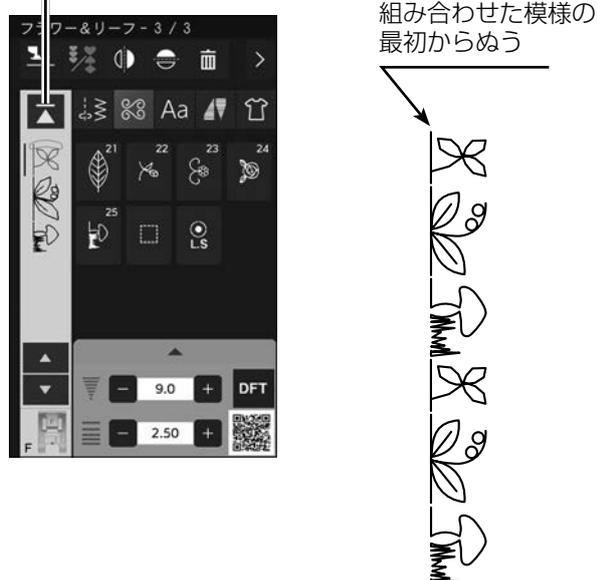
1. 模様頭出しキー



2. 模様頭出しキー (途中で停止した模様から)



3. 模様頭出しキー (組み合わせ模様の最初から)



● 模様頭出しキーの使い方

模様頭出しキーを使うと、模様をぬっている途中でミシンを止めた場合、次にぬうときにその模様の最初からぬうことができます。

通常モードおよび模様組み合わせモードどちらでも使用できます。

模様組み合わせモード設定中は、ぬいかけた模様の最初または組み合わせ模様の最初のどちらからでもぬうことができます。

【例】模様組み合わせモードでフラワー&リーフの模様



【ぬいかけた模様を最初からぬう場合】

1. 組み合わせ模様のうち、ミシンが現在ぬっている途中の模様をぬい直したい場合、模様頭出しキーを押します。
 2. 模様頭出しキーの表示が  にかわります。
ミシンをスタートさせると、途中で停止した模様(3番目の模様)の最初からぬい直します。
- ※ 模様頭出しキーの表示が  (三角形の上のバーが2本) の場合、ぬい途中の模様の最初からぬいます。
 - ※ 組み合わせ模様の最初の模様でミシンを止めて模様頭出しキーを押すと、模様のいちばん最初からのぬい直しとなるため、三角形の上のバーの数はわかりません。

【組み合わせた模様の最初からぬう場合】

3. 上記の手順 1. で模様頭出しキーを押すと表示が  にかわるので、もう1回模様頭出しキーを押します。
- ※ 模様頭出しキーを2回続けて押すと表示が  にかわります。
4. ミシンをスタートさせると、組み合わせた模様の最初(1番目の模様)からぬいます。
- ※ 模様頭出しキーの表示が  (三角形の上のバーが1本) の場合、組み合わせ模様の最初の模様からぬい直します。
 - ※ 自動糸切りをすると、ミシンは組み合わせ模様の最初の模様からぬい直します。

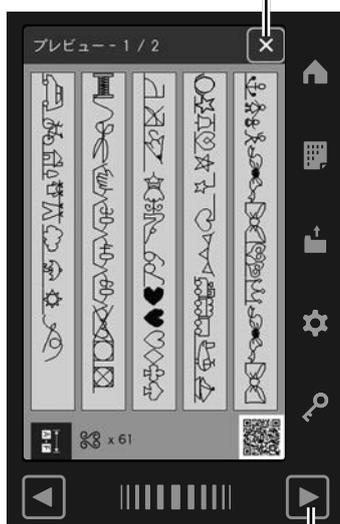
模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)

ファンクションキーエリア切りかえキー



(プレビュー画面)

閉じるキー



次ページキー

● プレビュー機能

組み合わせモード時、プレビューキーを押すと、プレビュー画面が表示されます。組み合わせた模様のぬいイメージの全体を確認（プレビュー）できます。

ファンクションキーエリア切りかえキーを押すと、プレビューキーが表示されます。

※ すべての模様が1ページ(1画面)で表示されない場合、次ページキーを押して次のページ(画面)に切りかえます。

※ 確認が終わったら、閉じるキーを押して模様選択画面にもどします。

模様組み合わせキー
(模様組み合わせモードの状態)

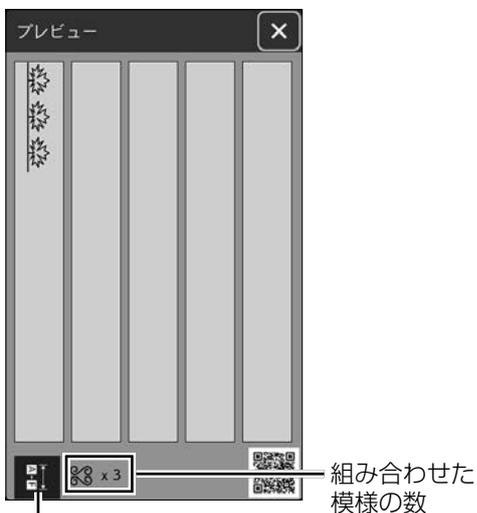
ファンクションキーエリア切りかえキー

1.



2.

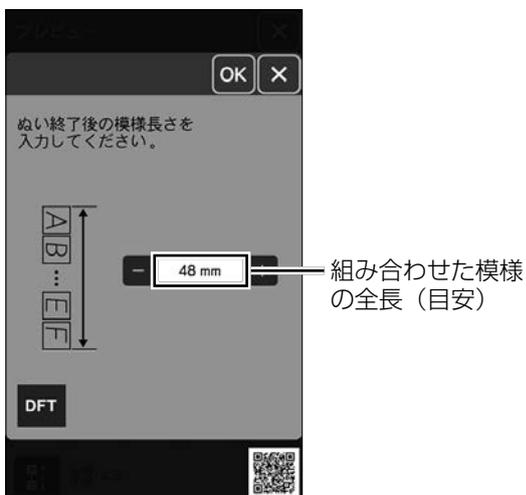
〔プレビュー画面〕



組み合わせ長さキー

3.

〔模様の全長表示画面〕



● 組み合わせ模様の長さの確認

模様組み合わせモード中、模様を1つだけぬったときまたは組み合わせた模様をぬったときの全長（目安）を確認することができます。

模様をぬったときの全長は、布の種類や厚さ、ぬいの速さ、および模様の種類などのぬい条件で異なります。同じようなぬい条件で一度試しぬいをして表示の数値を補正しておくこと、次回確認するときには実際のぬい長さにより近い表示になります。

※ 一度補正すると、その補正値は、ほかの模様やほかの組み合わせ模様（文字ぬいを含む）にも適用されます。また、ミシンの電源スイッチを切っても記憶されています。

補正後、ぬい条件が大きく異なるぬいで模様の全長を知りたい場合、再度、同じような条件で試しぬいをして数値を補正し直してください。

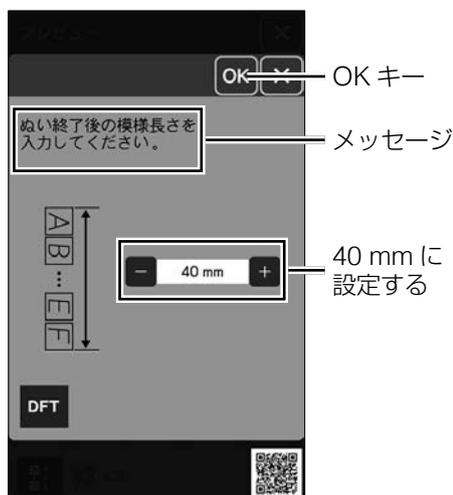
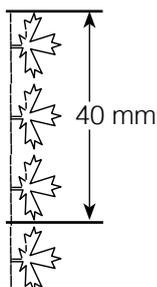
【模様全長表示機能の使い方】

例：シーズン模様  を3つ組み合わせた場合

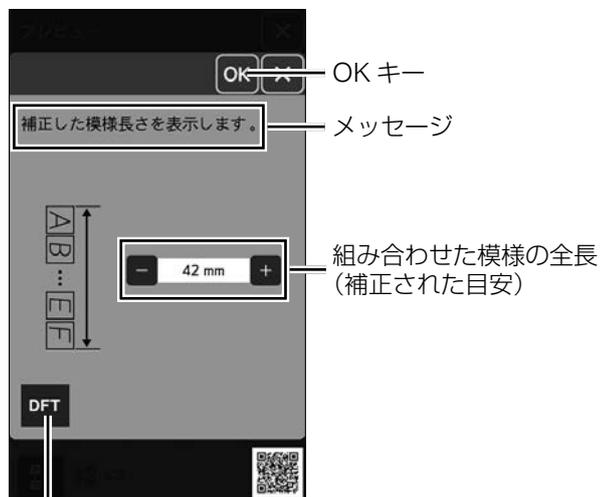
1. 組み合わせモード時、プレビューキーを押すと、プレビュー画面が表示されます。
2. プレビュー画面の組み合わせ長さキーを押します。

3. 模様の全長表示画面が表示されます。
この画面で3つの模様の全長の目安（例では48 mm）を確認することができます。

4. 試しぬいの結果
3つの模様の実際の全長



5. [模様の全長表示画面 (補正後)]



初期化キー

4. 画面のメッセージにしたがい、同じぬい条件で試しぬいをし、3つの模様の実際の全長を測って（例では40 mm）、「+」または「-」キーで入力し、OK キーを押して確定します。

※ 補正した値を登録すると、ほかの模様やほかの組み合わせ模様（文字ぬいを含む）にも適用されます。

5. 次回からは、同じ模様の場合でも、別の組み合わせ模様の場合でも、模様の全長表示画面を表示させると、実際のぬいにより近い全長（目安）が表示されます。

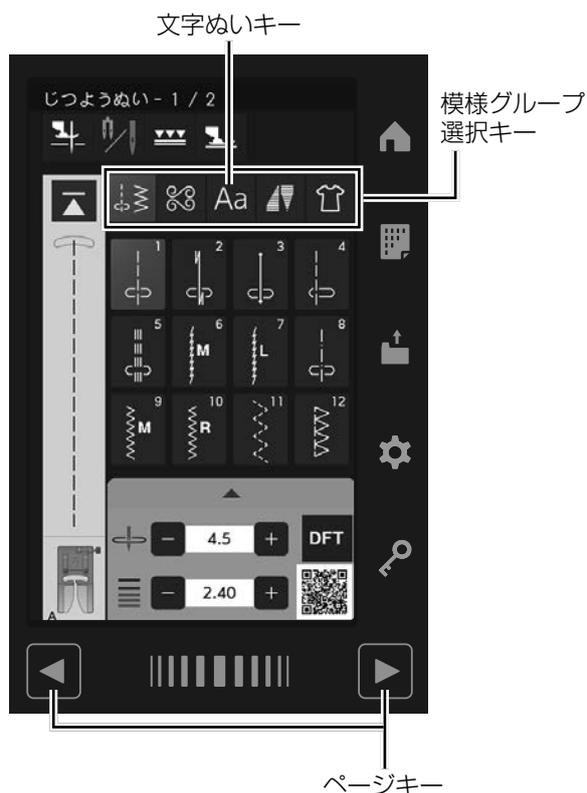
※ 画面には「補正した模様長さを表示します」と表示され、すでに調整された長さであることを表します。

（左の画面例は、ライフスタイル模様 、シーズン

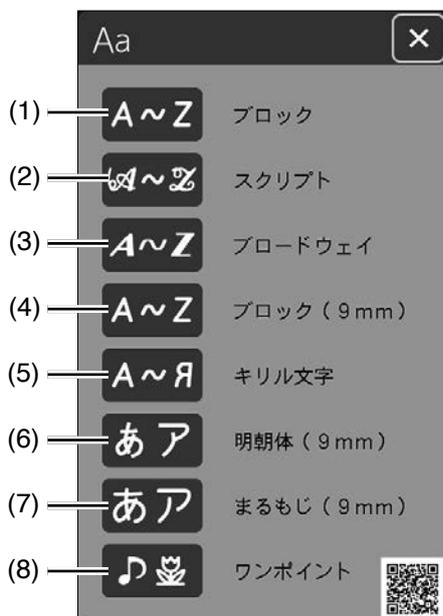
模様   の組み合わせ模様で、全長表示画面を表示させた場合）

※ 補正前の初期の状態（購入時の設定状態）にもどす場合、初期化キーを押して OK キーを押します。

〔じつようぬい模様選択画面〕 (1/2 ページ)



〔書体選択画面〕



◎ 文字ぬい

● 文字ぬいの画面

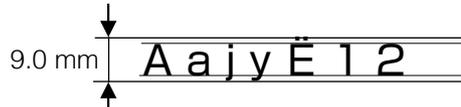
文字ぬいでは、文字やアルファベットを組み合わせてぬうことができます。

模様グループ選択キーの文字ぬいキーを押すと、書体選択画面になります。

以下の書体キーを押し、好みの書体を選びます。

(1) ブロックキー

ブロック体（英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様 3 個）の模様選択画面が表示されます。ブロック体グループは、5 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。



※ 文字構成全体の高さ（枠）が最大 9 mm で、個々の文字サイズ（高さ）は 9 mm より小さくなります。

(2) スクリプトキー

スクリプト体（英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様 3 個）の模様選択画面が表示されます。スクリプト体グループは、5 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字構成全体の高さ（枠）が最大 9 mm で、個々の文字サイズ（高さ）は 9 mm より小さくなります。（上記ブロック体グループと同じ）

(3) ブロードウェイキー

ブロードウェイ体（英字・数字・記号・ヨーロッパ文字、およびスペース模様 3 個）の模様選択画面が表示されます。ブロードウェイ体グループは、5 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字構成全体の高さ（枠）が最大 9 mm で、個々の文字サイズ（高さ）は 9 mm より小さくなります。（上記ブロック体グループと同じ）

(4) ブロック (9 mm) キー

ブロック体（英字の大文字・数字・記号、およびスペース模様 3 個）の模様選択画面が表示されます。ブロック体 (9 mm) グループは、3 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字のサイズ（高さ）は最大 9 mm です。

(5) キリル文字キー

キリル文字の大文字・小文字・数字・記号、およびスペース模様 3 個の模様選択画面が表示されます。キリル文字グループは、4 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字構成全体の高さ（枠）が最大 9 mm で、個々の文字サイズ（高さ）は 9 mm より小さくなります。（上記ブロック体グループと同じ）

(6) 明朝体 (9 mm) キー

明朝体（ひらがな・カタカナ、およびスペース模様 2 個）の模様選択画面が表示されます。

明朝体 (9 mm) グループは、3 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

※ 文字のサイズ（高さ）は最大 9 mm です。

(7) まるもじ (9 mm) キー

まるもじ（ひらがな・カタカナ、およびスペース模様 2 個）の模様選択画面が表示されます。

まるもじ (9 mm) グループは、3 つのページ（画面）に分かれていて、ページキーで選択できます。

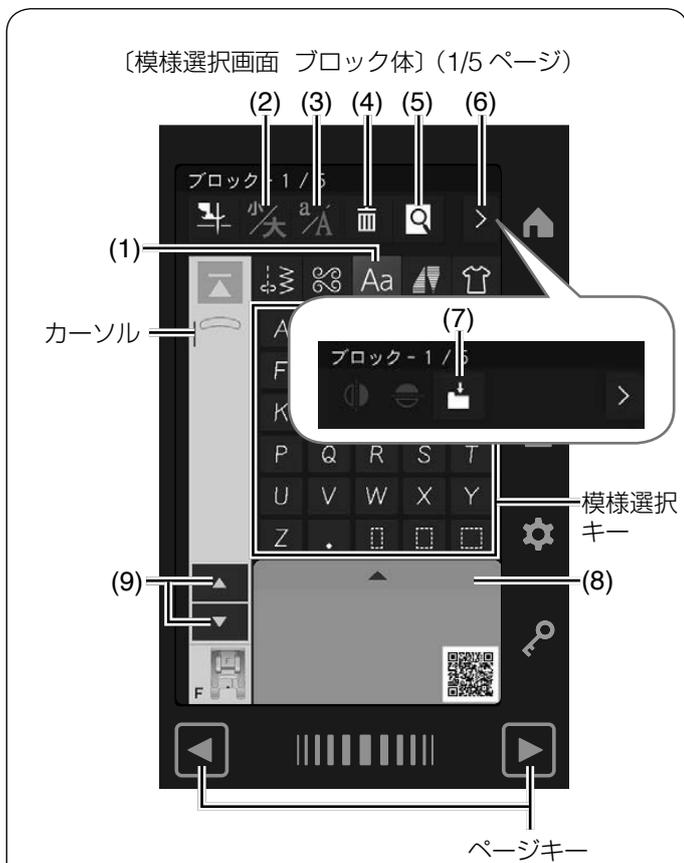
※ 文字のサイズ（高さ）は最大 9 mm です。



(8) ワンポイントキー

ワンポイントの様式選択画面が表示されます。

※ ワンポイント様式は、26 個あります。



★ 模様選択画面

書体選択画面で書体を選ぶと、選んだ書体の模様選択画面になります。

模様選択画面が2つ以上のページ(画面)に分かれている場合、ページキーで選択できます。

模様選択画面は実用ぬい模様やかざりぬい模様の画面と同様、模様選択キー・ファンクションキー・模様頭出しキーなどのキーと、選ばれている模様のぬい情報や設定状態が表示されています。

※ ぬい情報や設定状態の表示は、18～19ページを
ごらんください。

(1) 文字ぬいキー

書体選択画面を表示させます。

(2) 文字高さ切りかえキー

文字の高さを約2/3にし、文字を小さく(低く)することができます。

(3) 大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえます。
模様選択キーの表示も同時に切りかわります。

※ 明朝体(9mm)、まるもじ(9mm)を選択した場合はひらがな・カタカナ切りかえキー(3)-1にかわり、ひらがなとカタカナを切りかえることができます。
画面の模様選択キーの表示も同時に切りかわります。

(4) 削除キー

カーソルで選択した文字やワンポイントを削除します。

(5) プレビューキー

組み合わせ模様全体のイメージを表示します。

(6) ファンクションキーエリア切りかえキー

ファンクションキーの表示を切りかえます。

(7) 保存キー

組み合わせた文字をミシンやUSBメモリに保存できます。(121～122ページ参照)

(8) 調整キー

調整キーを押すと調整画面が全体表示されます。

※ 調整画面の基本的な使い方は、46～49ページ
「じつようぬいの調整画面」をごらんください。

(9) カーソル移動キー

カーソルを上下に動かします。

(10) 横書き・縦書き切りかえキー

横書きと縦書きを切りかえます。

明朝体(9mm)、まるもじ(9mm)を選択した場合に表示されます。

※ 横書きと縦書きを組み合わせることはできません。

〔模様選択画面 明朝体〕 (1/3 ページ)



● 文字ぬいの例

- 文字ぬいは、かざりぬいの模様組み合わせモードと同様、お好みの模様を組み合わせることでぬうことができます。
 - 模様は、最大 100 個まで組み合わせることができます。
 - 組み合わせができる模様は、文字ぬいの模様グループとかざりぬいの模様グループです。
- ※ かざりぬいの模様グループは、83～91 ページをごらんください。
- 文字を 1 つだけまたは複数の文字を組み合わせる場合、最後の文字をぬって自動的にミシンは停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)ぬわれた文字のぬい始めとぬい終わりには、ほつれ止めの止めぬいが入っています。
- ※ 文字とかざりぬい模様を組み合わせる場合、組み合わせた模様の最後が文字の場合、最後の文字をぬって自動的にミシンは停止します。組み合わせた模様の最後が文字以外の模様の場合、組み合わせた模様をくり返しぬいます。
- 編集機能を使うと、組み合わせた模様の内容を変更することができます。(109～110 ページ参照)
 - 組み合わせた模様をミシンや USB メモリに保存することができます。(121～122 ページ参照)

文字ぬいの注意事項

- 必ず同じ布地で試しぬいをしてください。
- 針は付属のブルー針（柄の部分が青色の針）、押さえはサテン押さえ F を使用してください。
- 伸びる布地、うすい布地などにぬう場合、布の裏に市販の芯地を貼るか、トレーシングペーパーやうすい紙を布の下に敷いてぬってください。
- 文字や記号を組み合わせる場合、隣り合う模様によっては間かくがせまくなったり、広くなったりすることがあります。気になる場合はスペース模様で調整してください。(120 ページ参照)

〔模様選択画面 明朝体〕 (1/3 ページ)

横書き・縦書き切りかえキー



〔明朝体〕 (2/3 ページ)



次ページキー

〔明朝体〕 (1/3 ページ)



前ページキー

〔明朝体〕 (2/3 ページ)

ひらがな・カタカナ切りかえキー



次ページキー



前ページキー

〔明朝体〕 (2/3 ページ)



次ページキー

【例】明朝体の横書きで文字「ししゅうミシン」をぬう

1. 「明朝体 (9 mm)」キーを押して明朝体の模様選択画面を表示させ、横書き・縦書き切りかえキーが横書きの状態 () で、文字「し」を二度選びます。

※ 縦書きの場合、最初の文字を選ぶ前に、横書き・縦書き切りかえキーを押して、キーの表示を  にします。

2. 次ページキーで 2/3 ページを表示させ、文字「ゆ」を選びます。

3. 前ページキーで 1/3 ページを表示させ、文字「う」を選びます。

4. 次ページキーで 2/3 ページを表示させ、ひらがな・カタカナ切りかえキーを押し、キーの表示を  から  にかえ、文字「ミ」を選びます。

※ ひらがな・カタカナ切りかえキーを押すと、画面の模様選択キーの表示もカタカナに切りかわります。

5. 前ページキーで 1/3 ページを表示させ、文字「シ」を選びます。

6. 次ページキーで 2/3 ページを表示させ、文字「ン」を選びます。

7. ミシンをスタートさせると、「ししゅうミシン」をぬったあと自動的にミシンは停止します。

1. 2.

〔模様選択画面〕



● 文字ぬい時の糸調子調整

糸調子は自動で調整されますが、ぬい条件によっては、手動で糸調子の調整をする必要がある場合があります。

★ 文字ごとに糸調子調整を行う

1. それぞれの文字の糸調子を個別にかえたい場合、カーソル移動キーでカーソルを移動させ、糸調子をかえたい文字を選択します。
 2. 糸調子調整の「+」もしくは「-」キーを押し、各文字の糸調子を調整します。
- ※ 調整した糸調子の値は選択された各文字にそれぞれ適用されます。

★ 全ての文字に同じ糸調子の値を適応する (統一糸調子調整)

すべての組み合わせ模様の糸調子をオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）と異なる別の統一した値に設定したいとき、かざりぬいの場合には、調整画面の糸調子調整キーで模様ごとに設定する必要があります。

文字ぬいの場合、統一糸調子機能によって、組み合わせ模様（文字）ごとではなく、一括して統一した糸調子に設定することができます。

1.

〔模様選択画面〕



2. 3.

〔調整画面〕

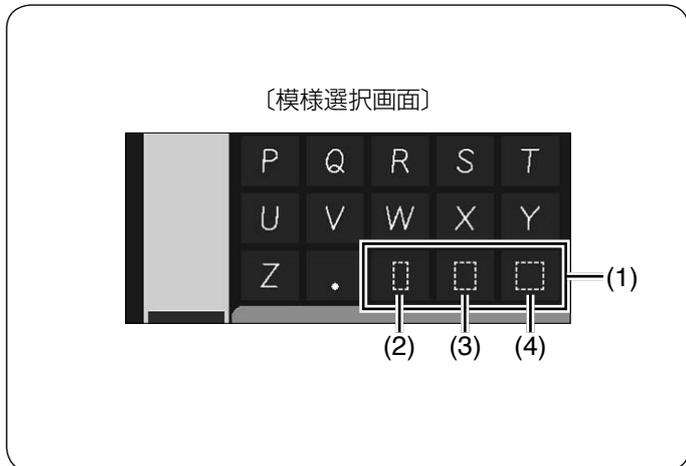


1. 調整キーを押し、調整画面を全体表示させます。
 2. 調整画面で統一糸調子キーを押します。統一糸調子キーが青色で表示されます。
 3. 糸調子調整の「+」もしくは「-」キーを押し、糸調子を調整します。(例では3.0に変更)
組み合わせた「ABC」すべての文字を糸調子「3.0」でぬうことができます。
- ※ 統一糸調子を解除する場合、調整画面で統一糸調子キーを押します。統一糸調子機能の設定前の値にもどります。
- ※ 以下の場合も統一糸調子機能は解除されます。
- 組み合わせた文字をすべて削除したとき
 - 文字ぬい以外の模様グループの模様を選んだとき
- ※ 統一糸調子の値はワンポイント模様やかざりぬいには適用できません。



● 文字高さの縮小

文字の高さを小さくする（約 2/3 のサイズ）には、文字を選択して文字高さ切りかえキーを押します。



● スペース模様

文字ぬいでスペースを入力するには、模様選択画面のスペースキーから選びます。

- (1) スペースキー
- (2) 小サイズのスペース（約 2.5 mm）
- (3) 中サイズのスペース（約 3.5 mm）
- (4) 大サイズのスペース（約 5 mm）

※ 上記スペースのサイズは、電源投入時の値です。
ぬい目のあらか調整ダイヤルまたは、調整画面のぬい目のあらか調整キーで設定値を変更すると、スペースのサイズはかわります。
(47 ページ参照)

1.

〔模様選択画面 / 模様組み合わせモード〕



2.

〔ファイルを保存画面〕



◎ 模様データの保存・呼び出し

組み合わせた模様データをミシンや USB メモリに保存（ファイルセーブ）し、いつでも呼び出して（ファイルオープン）ぬうことができます。

● 模様データの保存

- ※ 問題が起きたときのため、常に外部メディアにデータを保存してください。
- ※ 本機で使用できる USB メモリのファイルシステムは FAT16 および FAT32 のみです。USB メモリが読み込めない場合は、ファイルシステムを確認してください。（191～192 ページ参照）
- ※ USB カードリーダーおよび USB ハブは使用しないでください。

⚠ 注意

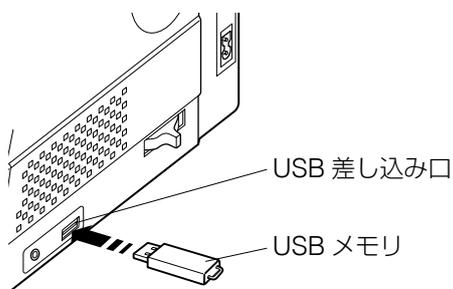
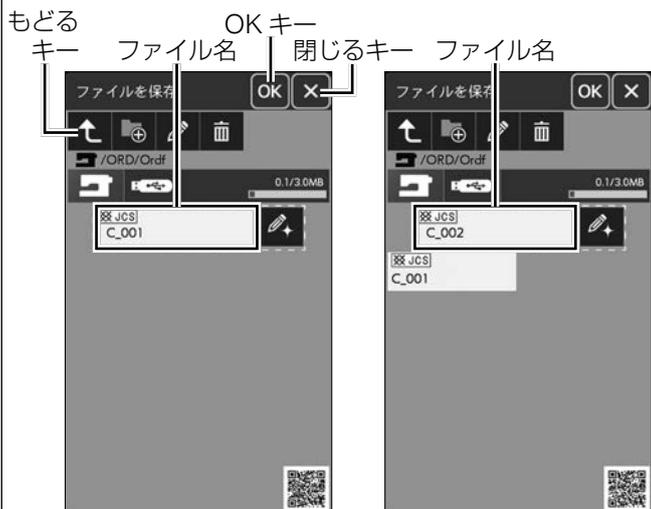
ミシンの内蔵メモリや USB メモリに模様データを保存中（転送中）に電源スイッチを切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

★ ミシンの内蔵メモリに保存する

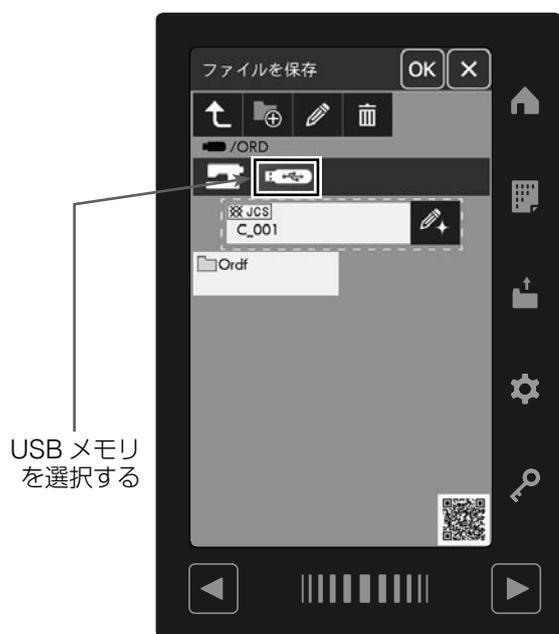
1. 模様組み合わせモードでファンクションキーエリア切りかえキーを押します。保存キーを押すと、「ファイルを保存」画面が表示されます。
2. ミシンに用意されているフォルダーに保存する場合、「ファイルを保存」画面の Ordf を押します。
 - ※ 新しいフォルダーを作成して保存する場合、123 ページ新規フォルダーの作成をごらんください。
 - ※ 手順 2. や 3. の画面で、フォルダーやファイルが 1 画面に表示しきれない数だけ保存されている場合、ページキーで次のページ（画面）を確認できます。
 - ※ ファイルとフォルダーは別のページに表示されます。ページキーで画面を切りかえます。

3. [ファイルを保存 (Ordf) 画面]

何も保存されていない場合 すでに「C_001」がある場合



[ファイルを保存画面]



3. ミシンに用意されているファイル名「C_001」で保存する場合、「Ordf」画面の OK キーを押します。模様データがミシンに保存され、模様選択画面にもどります。
 - ※ すでに「C_001」名で保存されているデータがある場合、自動的に番号が繰り上がり、「C_002」が表示されます。(番号は C_001 ~ 順番に割り当てられます。)
 - ※ お好みのファイル名で保存する場合、124 ページ「名称変更キーの使い方」をごらんください。
 - ※ もどるキーを押すと 1 つ前の「ファイルを保存」画面に、閉じるキーを押すとデータは保存されず、模様選択画面にもどります。

★ USB メモリに保存する

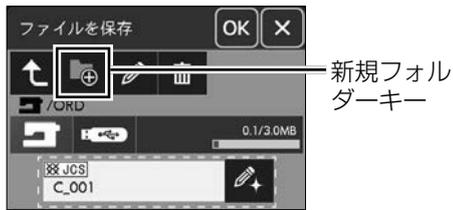
USB メモリに保存する場合、ミシン右側の USB 差し込み口に USB メモリを差し込み、「ファイルを保存」画面で USB メモリ  を選び、キーの色を青色にかえます。

- ※ データの保存方法は、121 ページ「ミシンの内蔵メモリに保存する」と同じです。

アイコン	内容
 名称変更キー	すでに名前の付いているフォルダーやファイルの名称を変更します。(124 ページ参照)
 名称変更キー	これから保存するファイルの名称を変更します。(124 ページ参照)
 削除キー	ファイル・フォルダーを削除します。(124 ページ参照)
 新規フォルダーキー	新しいフォルダーを作成します。(123 ページ参照)
	データの保存先にミシンの内蔵メモリを選びます。
	データの保存先に USB メモリを選びます。
	ミシンに用意されている通常ぬいのフォルダーです。

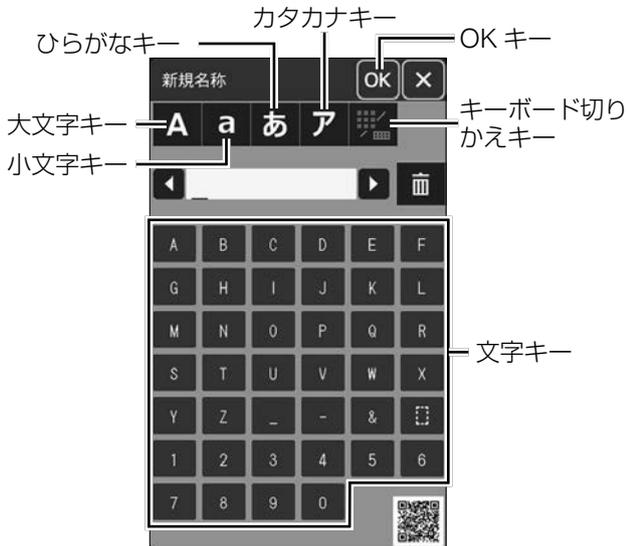
1.

〔ファイルを保存画面〕



2.

〔新規名称画面〕



〔新規名称画面：パソコンのキーボードレイアウト〕



3. 〔ファイルを保存画面〕



4. 〔SEW-1 画面〕



★ 新規フォルダーの作成

マシンに用意されているフォルダーを使わないで好みのフォルダーを作成してデータを保存する場合、下記の手順で保存します。

- 121 ページ「マシンの内蔵メモリに保存する」手順 2. の「ファイルを保存」画面で新規フォルダーキーを押し、「新規名称」画面を表示させます。
 - 文字キーでお好みの名前（10 文字以内）をつけます。（例では、「SEW-1」と入力）
OK キーを押し、再度「ファイルを保存」画面を表示させます。
- ※ 大文字キー、小文字キー、ひらがなキーまたはカタカナキーを押して入力する文字を選択します。
 - ※ 大文字、小文字を選んだ場合、キーボード切りかえキーを押し、パソコンのキーボードレイアウトを使用できます。
 - ※ 文字の入力中に修正したい場合、カーソル移動キーで取り消したい文字にカーソルを合わせ、削除キーで取り消します。

★ ファイル・フォルダーの削除

不要になったファイルやフォルダーを削除できます。

フォルダーの削除

1. 「ファイルを保存」画面で削除キーを押し、キーの表示を青色にかえます。

※ キーの色が青色の状態でもフォルダーを削除することができます。

削除したいフォルダーもしくはファイルを選びます。(例では「SEW-1」フォルダー)

2. メッセージ画面が表示されます。

OK キーを押して削除します。

★ 名称変更キーの使い方

名称変更キーは、すでに作成されているフォルダーやファイルの名前の書きかえや、ミシンに用意されているファイル名「C_001」などを使わずに、お好みのファイル名を付けて保存するときに使います。

【作成されているフォルダーの名前を変更する場合】

1. 模様選択画面で保存キーを押すと、「ファイルを保存」画面が表示されます。

「ファイルを保存」画面で名称変更キーを押し、キーの表示を青色にかえます。

名前を変更したいフォルダー(例では「SEW-1」)を選びます。

※ キーの色が青色の状態でもフォルダーやファイルの名前をかえることができます。

2. 「新規名称」画面が表示されます。

新しい名前を入力し、OK キーを押します。(例では「SEW01」)

3. 再度「ファイルを保存」画面が表示され、フォルダー名が「SEW01」に変更されています。

※ 名前の入力方法は、123 ページ「新規フォルダーの作成」の手順 2. をごらんください。

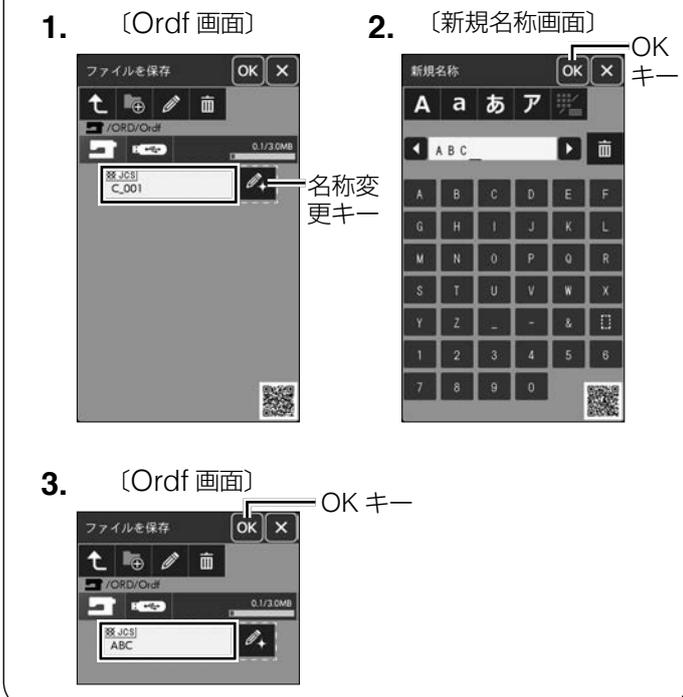
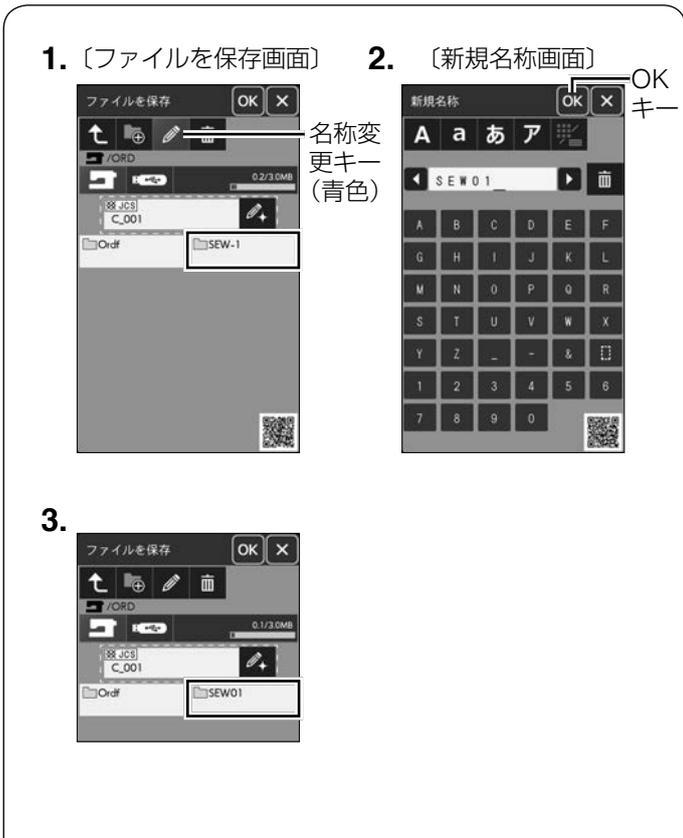
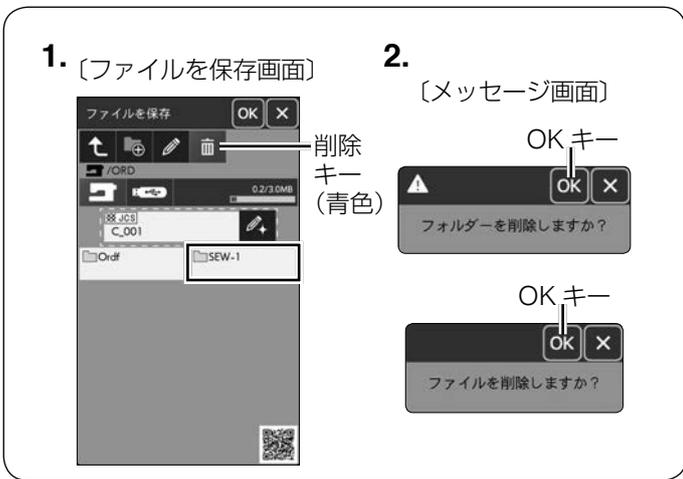
【ファイルにお好みの名前を付けて保存する場合】

1. 例えば、121 ページ「ミシンの内蔵メモリに保存する」の手順 3. の「Ordf」画面のファイル名「C_001」をお好みのファイル名に書きかえる場合、「Ordf」画面の名称変更キーを押して「新規名称画面」を表示させます。

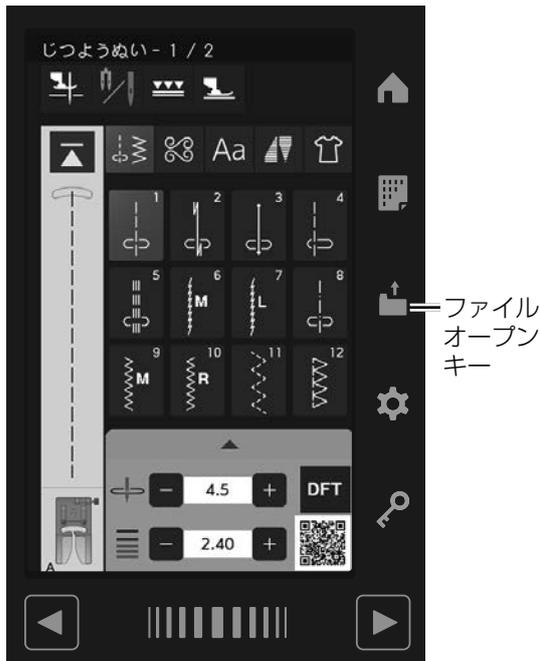
2. 文字キーでお好みの名前(10文字以内)を付けて OK キーを押します。(例では「ABC」)

※ 名前の入力方法は、123 ページ「新規フォルダーの作成」の手順 2. をごらんください。

3. 再度「Ordf」画面が表示され、ファイル名が「ABC」に書きかえられているので、OK キーを押します。ファイル名「ABC」のデータが保存されます。



1.



2.

〔ファイルを開く画面〕



ミシンの内蔵メモリが
選択されている

● 模様データの呼び出し

ミシンの内蔵メモリや USB メモリに保存した組み合わせ模様、文字やテーパリング模様を呼び出すことができます。

※ 本機で使用できる USB メモリのファイルシステムは FAT16 および FAT32 のみです。USB メモリが読み込めない場合は、ファイルシステムを確認してください。(191 ~ 192 ページ参照)

※ USB カードリーダーおよび USB ハブは使用しないでください。

⚠ 注意

ミシンの内蔵メモリや USB メモリから模様データを呼び出し中（転送中）に電源スイッチを切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

★ ミシンの内蔵メモリから呼び出す

1. 通常ぬいの状態でファイルオープンキーを押すと、「ファイルを開く」画面が表示されます。
2. 「ファイルを開く」画面のフォルダーの中から呼び出したいファイル（模様データ）が入っているフォルダーを押します。（例では ）

※ フォルダーやファイルが 1 画面に表示しきれない数だけ保存されている場合、ページキーで次のページ（画面）を確認できます。

※ 「Ordf」フォルダー以外のフォルダーを作成した場合、作成したフォルダーも表示されます。

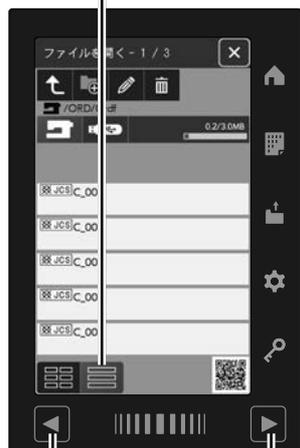
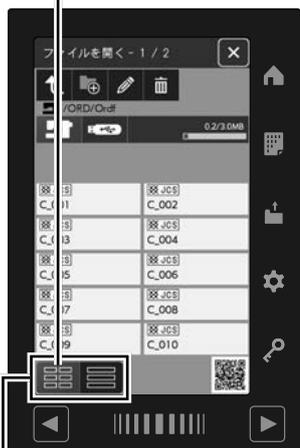
※ 探しているファイルが見つからない場合は、ページキーを押してファイルを表示してください。

※ 新規フォルダーの作成、ファイル・フォルダーの削除、フォルダー名の変更方法については、123 ~ 124 ページをごらんください。

3. [ファイルを開く (Ordf) 画面]

一覧表示キー【A】

一覧表示キー【B】



一覧表示キー

ページキー

[模様選択画面]



3. 「Ordf」画面のファイルの中から呼び出したいファイル（模様データ）を選ぶと、模様データを保存したときと同じ状態の模様選択画面が表示され、ぬうことができます。

一覧表示キーで、ファイルのリストの一覧表示のレイアウトを変更できます。

※ フォルダやファイルが 1 画面に表示しきれない数保存されている場合、ページキーで次のページ（画面）を確認できます。

※ 一覧表示キー【A】 が選択されている場合、ファイルが 2 列で表示され、1 ページに 10 個のファイルが表示できます。

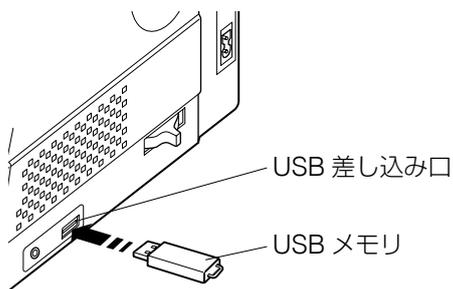
※ 一覧表示キー【B】 が選択されている場合、ファイルが 1 列で表示され、1 ページに 5 個のファイルが表示できます。

ファイル名が最大 2 行で表示されるので、パソコンなどで付けた長いファイル名を表示するときに便利です。

★ USB メモリから呼び出す場合

USB メモリに保存されている模様データを読み出す場合、ミシン右側の USB 差し込み口に USB メモリを差し込み、「ファイルを開く」画面の USB メモリ を選び、キーの色を青色にかえます。

※ データの呼び出し方法は、125 ページ「ミシンの内蔵メモリから呼び出す」と同じです。



[ファイルを開く画面]

USB メモリ
を選択



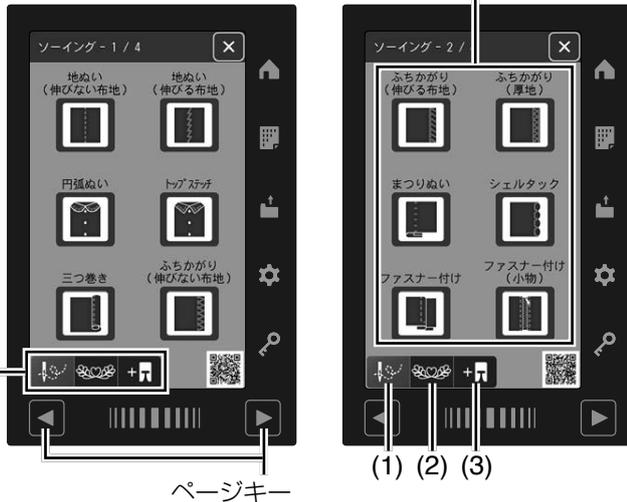
模様グループ選択キー



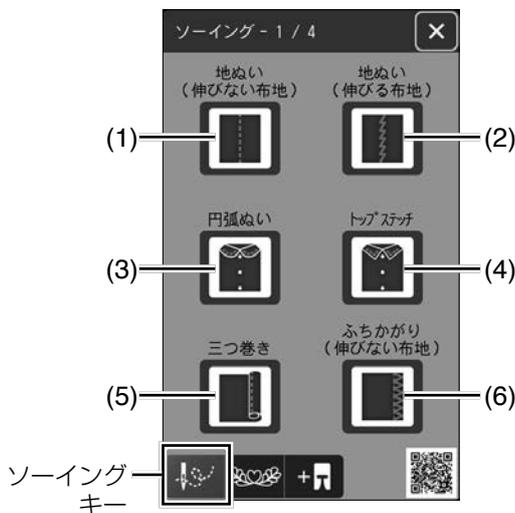
〔用途選択画面〕

用途カテゴリ選択キー

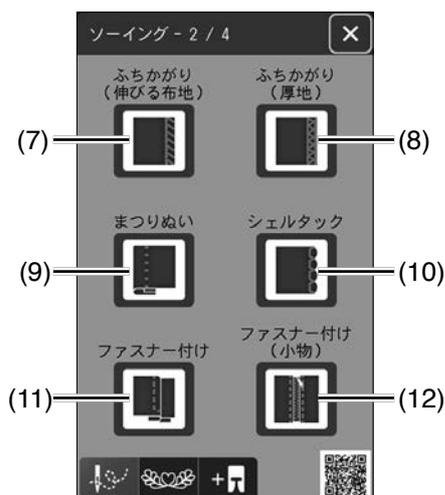
用途選択キー



〔用途選択画面 ソーイング (1/4)〕



〔用途選択画面 ソーイング (2/4)〕



◎ 用途ぬい

● 用途ぬいの模様選択画面

模様グループ選択キーの用途選択キーを押すと、ぬいの用途に適した模様が直接選べる用途選択画面になります。用途選択画面には3つの用途カテゴリーがあり、以下の選択キーを押してカテゴリーを選択します。

- (1) ソーイングキー
- (2) キルトキー
- (3) オプション押さえキー

オプション押さえキー(3)を押すと、オプション押さえを使用したぬい方を選択できます。

使用方法の詳細については、オプション押さえの説明書をごらんください。

- ※ 用途選択画面は複数のページ(画面)で構成されており、ページキーでページを切りかえます。
- ※ 用途ぬいが終わって、ほかの模様グループを選ぶ場合、模様選択画面の模様グループ選択キーで目的の模様グループを選んでください。
- ※ 用途選択で選んだ模様を設定されている「ぬい目の幅・ぬい目のあかさ・糸調子」などの値は、ぬいの用途に適した値になっています。

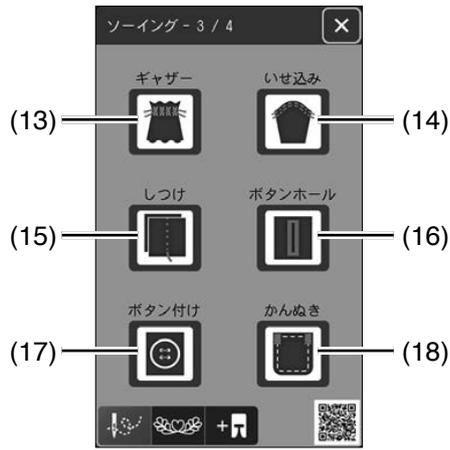
ソーイング (129 ページ参照)

ソーイングキーを押すと、ソーイングの用途選択画面が開きます。

21種類の用途ぬいは以下となります。

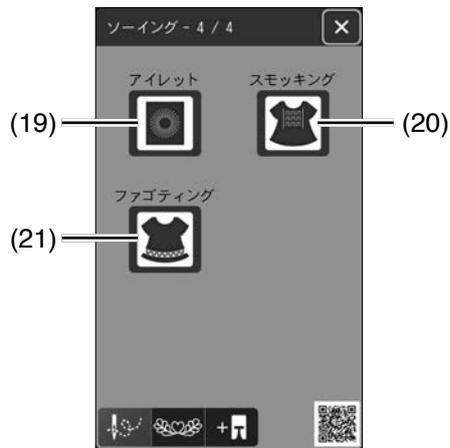
- (1) 地ぬい (伸びない布地)
- (2) 地ぬい (伸びる布地)
- (3) 円弧ぬい
- (4) トップステッチ
- (5) 三つ巻き
- (6) ふちかがり (伸びない布地)
- (7) ふちかがり (伸びる布地)
- (8) ふちかがり (厚地)
- (9) まつりぬい
- (10) シェルタック
- (11) ファスナー付け
- (12) ファスナー付け (小物)

〔用途選択画面 ソーイング (3/4)〕



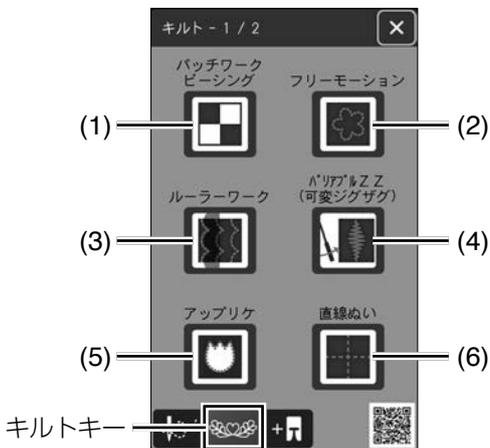
- (13) ギャザー
- (14) いせ込み
- (15) しつけ
- (16) ボタンホール
- (17) ボタン付け
- (18) かんぬき

〔用途選択画面 ソーイング (4/4)〕



- (19) アイレット
- (20) スモッキング
- (21) ファゴティング

〔用途選択画面 キルト (1/2)〕

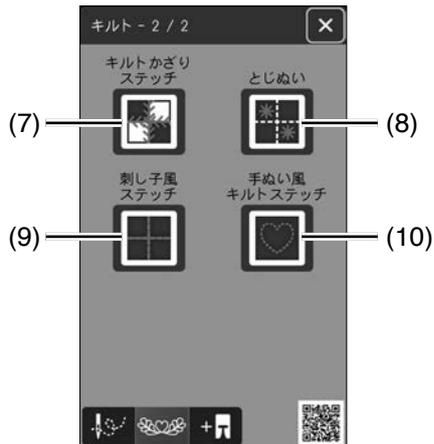


キルト (151 ページ参照)

キルトキーを押すと、キルトの用途選択画面が開きます。
10 種類の用途ぬいは以下となります。

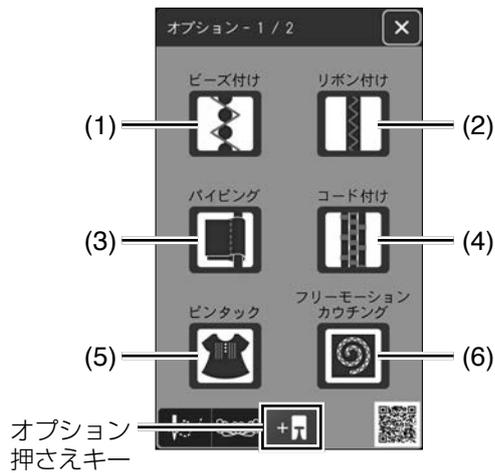
- (1) パッチワークピーシング
- (2) フリーモーション
- (3) ルーラーワーク
- (4) バリアブル ZZ (可変ジグザグ)
- (5) アププリケ
- (6) 直線ぬい

〔用途選択画面 キルト (2/2)〕

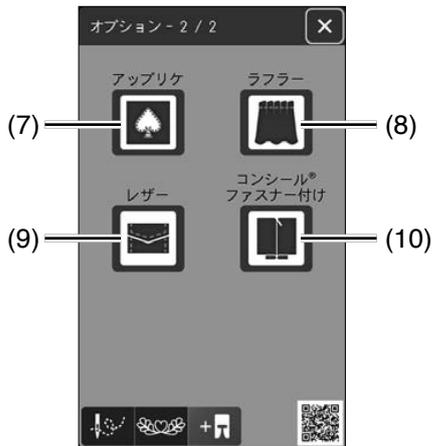


- (7) キルトかざりステッチ
- (8) とじぬい
- (9) 刺し子風ステッチ
- (10) 手ぬい風キルトステッチ

〔用途選択画面 オプション押さえ (1/2)〕



〔用途選択画面 オプション押さえ (2/2)〕



オプション押さえ

オプション押さえキーを押すと、オプション押さえの用途選択画面が開きます。

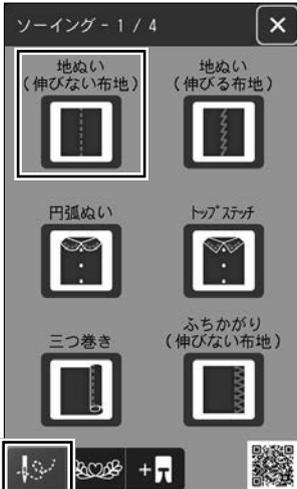
10 種類の用途めいは以下となります。

- (1) ビーズ付け
- (2) リボン付け
- (3) パイピング
- (4) コード付け
- (5) ピンタック
- (6) フリーモーションカウチング

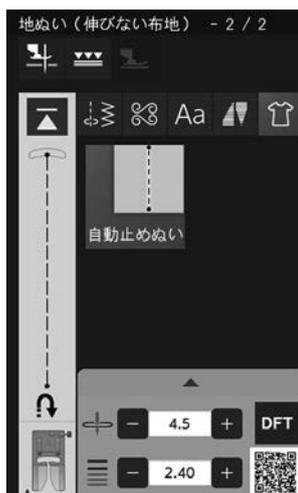
- (7) アプリケ
- (8) ラフラー
- (9) レザー
- (10) コンシール®ファスナー付け

詳細は、オプション押さえの説明書をごらんください。

※「コンシール」は YKK 株式会社の登録商標です。



ソーイングキー

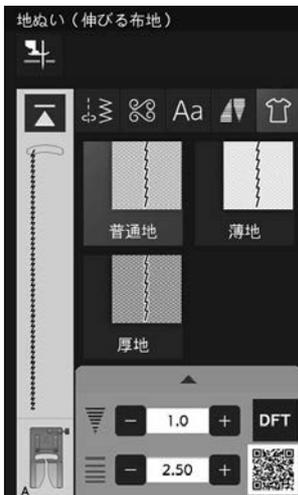
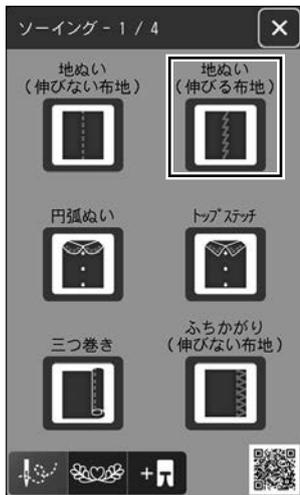


● ソーイング

ソーイングキーを押すと、ソーイングの用途選択画面が開きます。

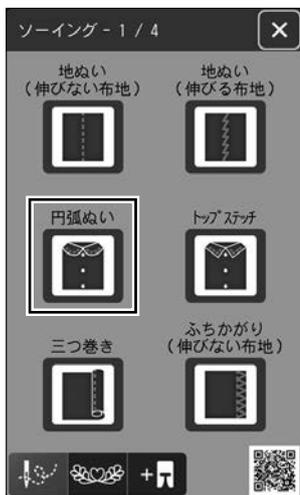
★ 地ぬい (伸びない布地)

デニム、ブロード、シーチング、ローンなどの伸びない生地に適した 5 種類の模様が選べます。



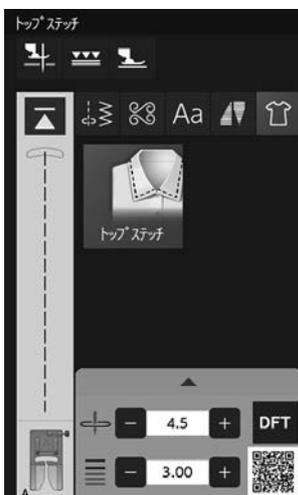
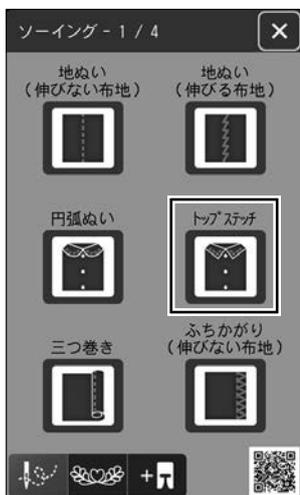
★ 地ぬい (伸びる布地)

ジャージー、ニット、トリコットなど伸縮する布地に適した3種類の模様が選べます。



★ 円弧ぬい

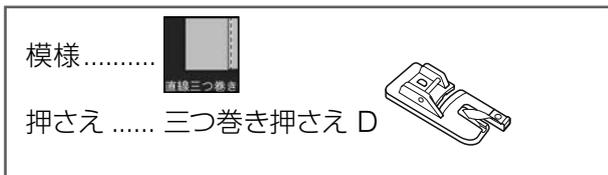
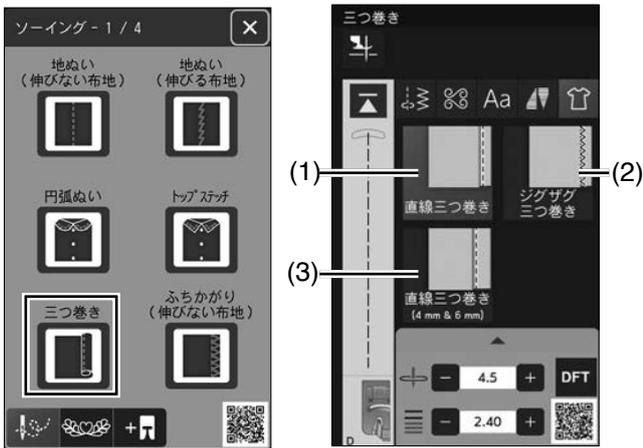
曲線のぬい合わせに適した、3種類のぬい目の細かい直線ぬい模様です。



★ トップステッチ

太めの糸を使用するトップステッチに適した、ぬい目のあらい直線ぬい模様です。

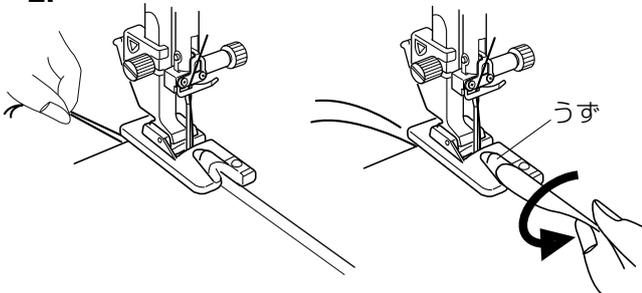
〔模様選択画面：三つ巻き〕



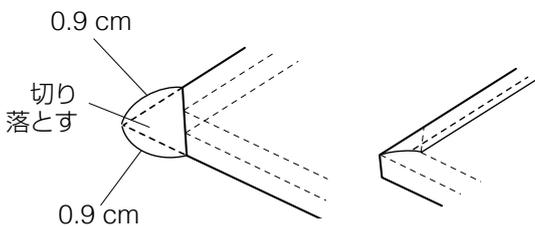
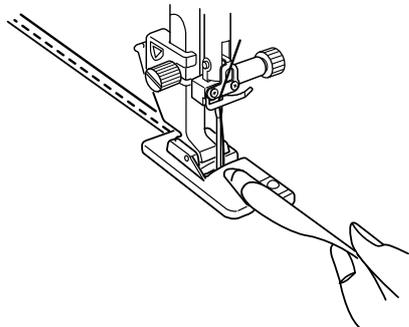
1.



2.



3.



★ 三つ巻き

以下の 3 種類の三つ巻きぬいから選択できます。

(1) 直線三つ巻き

直線で三つ巻きぬいをします。

(2) ジグザグ三つ巻き

細かいジグザグぬいで三つ巻きぬいをします。

(3) 直線三つ巻き (4 mm & 6 mm)

別売り (オプション) の D1、D2 押さえを使用した三つ巻きぬいです。

【ぬい方：模様  の例】

1. 三つ巻き押さえ D を付けます。

布端約 6 cm の長さを、約 0.3 cm の幅で三つ折りにします。

※ 折り目がつきにくい布は、アイロンで折り目をつけるとぬいやすくなります。

2. ぬい始めの位置に針をおろし押さえをさげます。

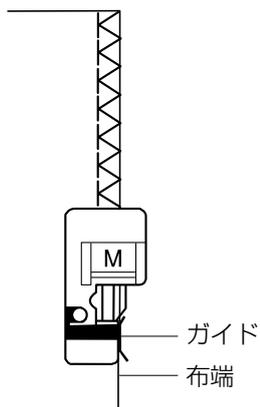
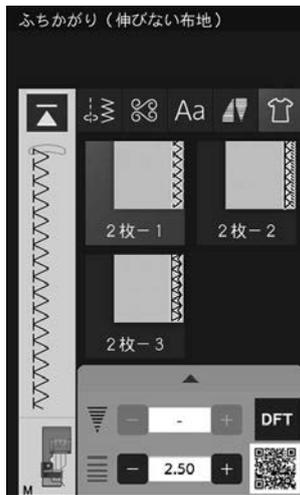
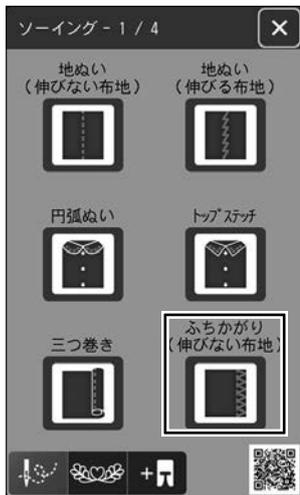
上糸を向こう側に引っ張りながら 1 cm ~ 2 cm ぬってミシンを止めます。

針が布にささった状態で押さえをあげ、布の三つ折りの部分を開いて、布端を押さえのうずの中に巻き込みます。

3. 押さえをさげ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持ちあげながらぬいます。

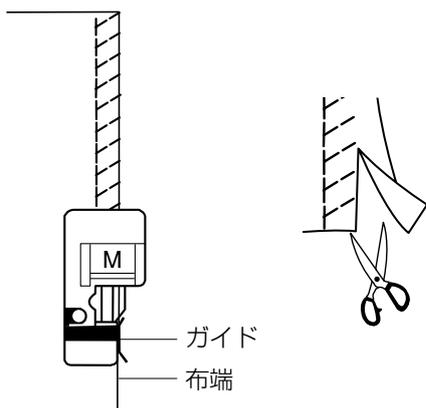
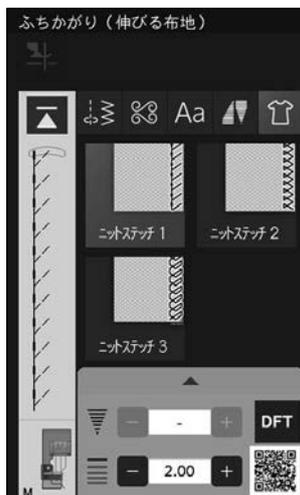
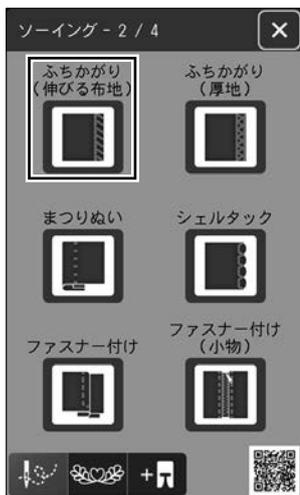
布端の始末

三つ巻きぬいの重なる角の部分は、厚みをうすくするため図のように布端を切り落として折り合わせます。



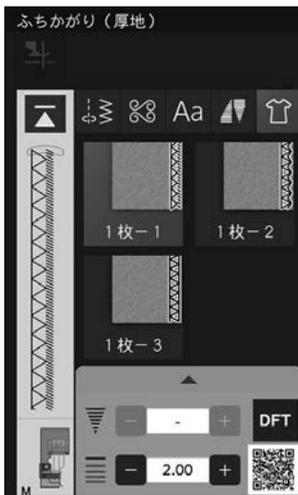
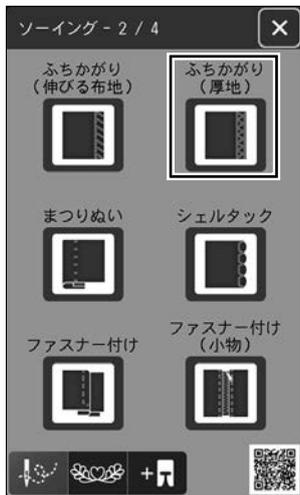
★ ふちかがり (伸びない布地)

2枚重ねた普通地をかけるのに使います。
 地ぬいをかねたかがりぬいで、たち目のほつれ止めに使
 用します。
 ぬいしろを割る必要がない場合に使用してください。
 (63 ページ参照)



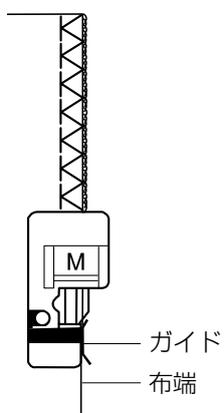
★ ふちかがり (伸びる布地)

伸縮性布地 (ニット地など) のかがりぬいに使います。
 基本押さえ A を使用する場合、適度にぬいしろをとって
 ぬったあと、切りそろえるとよりきれいに仕上がります。
 (63 ページ参照)



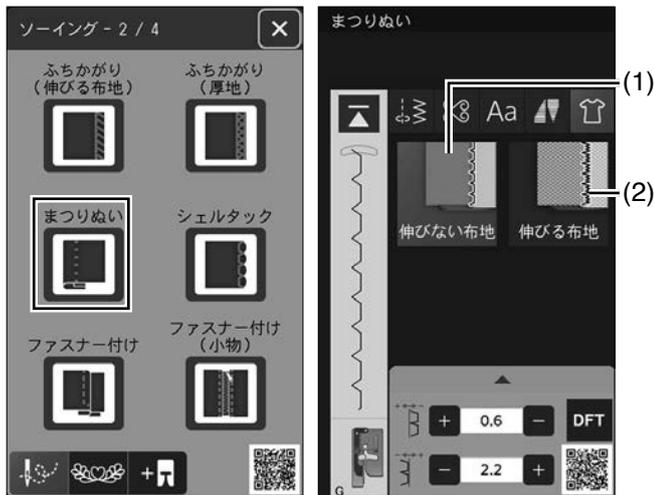
★ ふちかがり (厚地)

普通の布や厚い布およびほつれやすい布のたち目のほつれ止めに使用します。(64 ページ参照)

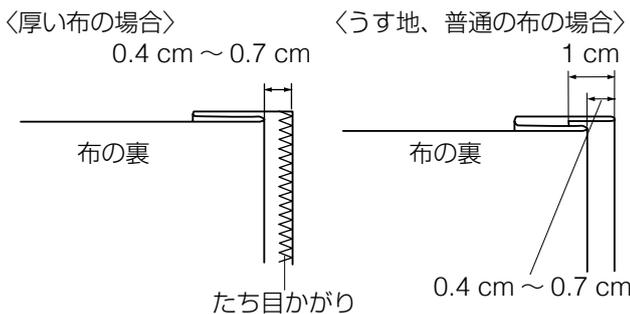


〔用途選択画面〕

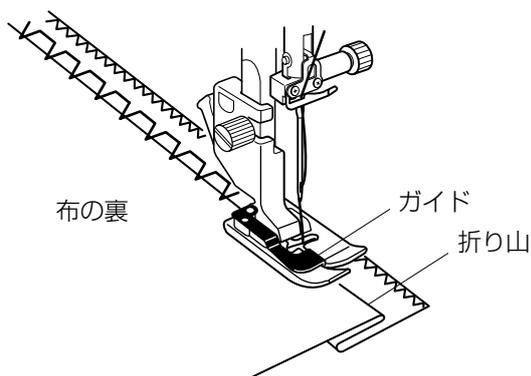
〔模様選択画面：まつりぬい〕



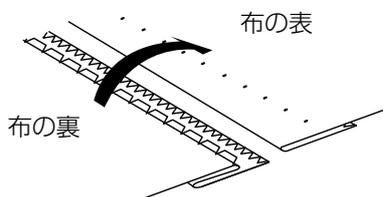
1.



2.



3.



★ まつりぬい

以下の2種類のまつりぬいから選択できます。

(1) 伸びない布地

デニム、ブロード、シーチング、ローンなどの伸びない普通地をまつります。

(2) 伸べる布地

ジャージー、ニット、トリコットなどの伸べる布地をまつります。

【ぬい方：模様 の例】

スカートやワンピースなどのすそをまつります。

※ 生地と同じ色の糸を使用してください。

まつりぬい押さえ G を付けます。

1. 図のように布を折ります。

布を折るときは、布の裏を表にして下に折り込み、布端を約 0.4 cm ~ 0.7 cm はみ出させます。

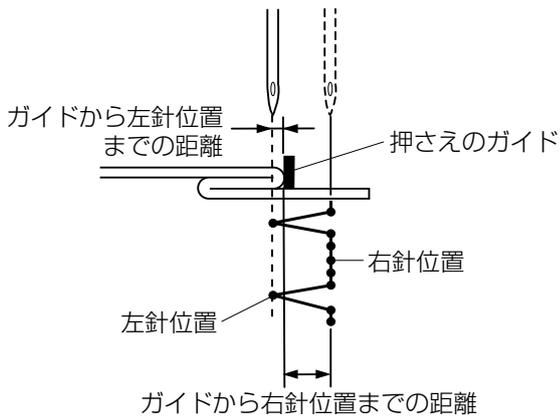
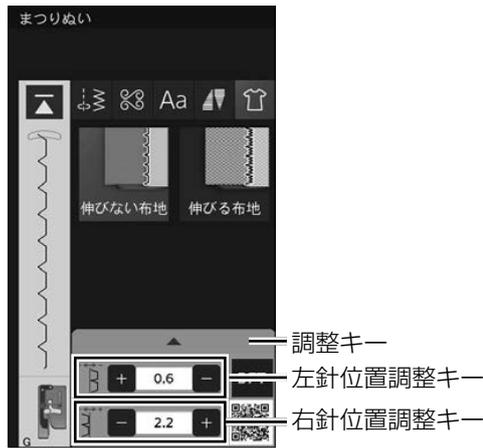
※ ほつれやすい厚い生地は、たち目かがりで布端を処理してください。

2. 折り山をガイドに合わせてぬいます。

※ 針が折り山から外れない、また必要以上に針が折り山にかかりすぎないように、左針位置調整キーまたはぬい目の幅調整キーで左針位置（折り山側の針位置）を調整してください。
(135 ページ「針位置を調整する」参照)

3. ぬい終わったら布を表に広げます。

〔模様選択画面：まつりぬい〕



針位置を調整する

左針位置調整キーおよび右針位置調整キーは、調整キーを押して表示される調整画面にもあります。

どちらを使用しても同じ設定ができます。

調整画面の基本的な使い方は、46～49ページをご覧ください。

【左針位置の調整】

左側の針位置（折り山側の針位置）をかえます。

右側の針位置は固定なので、左に模様の幅が変化します。

- 左針位置調整キーの「+」キーを押すと左針位置が左へ移動、「-」キーを押すと右へ移動します。
- 画面の数値は、押さえのガイドから左針位置までの距離を表示しています。（単位：mm）

【右針位置の調整】

右側の針位置をかえます。左側の針位置は固定なので、右に模様の幅が変化します。

- 右針位置調整キーの「+」キーを押すと右針位置が右へ移動、「-」キーを押すと左へ移動します。
- 画面の数値は、押さえのガイドから右針位置までの距離を表示しています。（単位：mm）

【模様の位置の調整（針位置調整）】

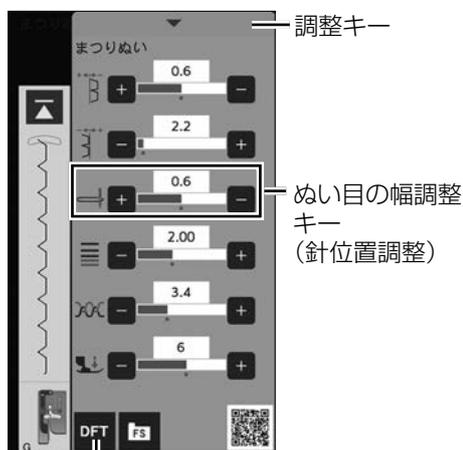
模様の幅（2.8 mm）をかえずに左側の針位置（折り山側の針位置）をかえます。

調整キーを押して調整画面を開きます。

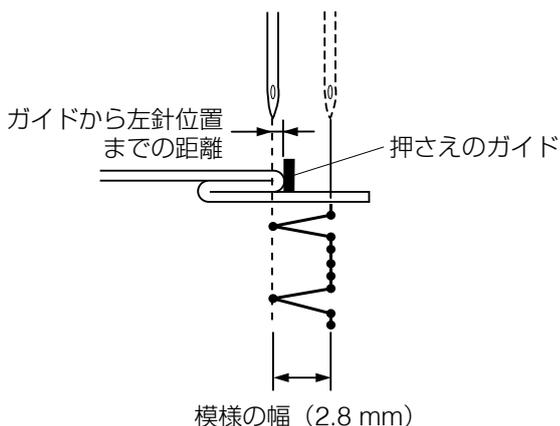
- ぬい目の幅調整キーの「+」キーを押すと、針位置が左に移動します。（模様全体が左に移動）
- ぬい目の幅調整キーの「-」キーを押すと、針位置が右に移動します。（模様全体が右に移動）
- 画面の数値は、押さえのガイドから左針位置までの距離（折り山側の針位置）を表示しています。（単位：mm）

※ 変更した値をオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）にもどす場合、調整画面の初期化キーを押します。

〔調整画面〕

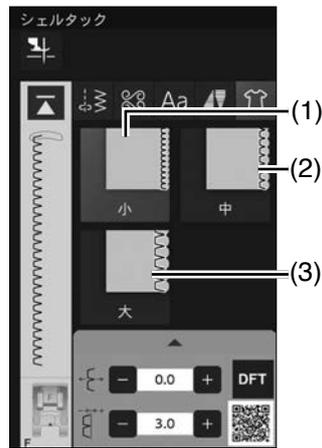
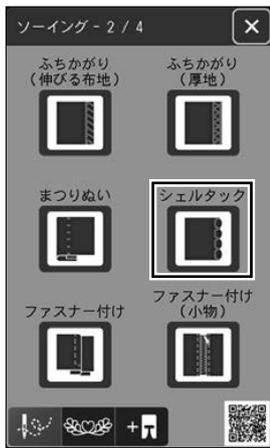


初期化キー



〔用途選択画面〕

〔模様選択画面：シェルタック〕



★ シェルタック

以下の3種類のシェルタックから選択できます。

- (1) 小
細いサイズのシェルタックです。
- (2) 中
中くらいのサイズのシェルタックです。
- (3) 大
普通のサイズのシェルタックです。

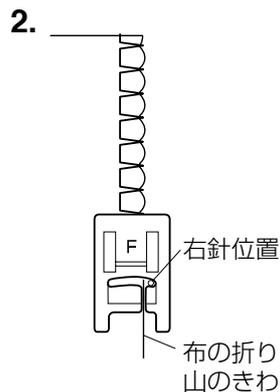
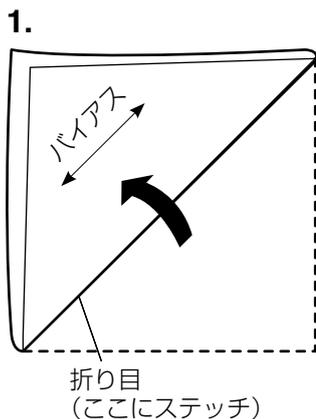
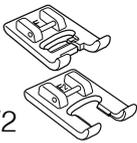
【ぬい方：模様 の例】

トリコットなど、うすい布に使用します。

模様..... 

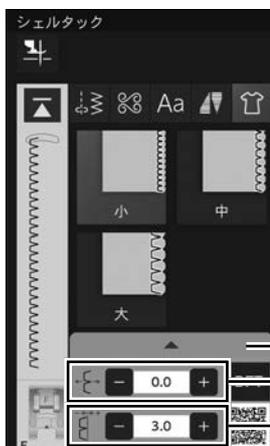
押さえ サテン押さえ F

またはクラフト押さえ F2



1. 布をバイアスに2つ折りにします。
 2. 右の針位置が布の折り山のきわ（布の外側）に落ちるようにしてぬいます。
布を開き、アイロンで山を片側にたおします。
- ※ シェルタックをいくつか並べてぬう場合、最低 1.5 cm あいだをあけてください。

〔模様選択画面：シェルタック〕



【シェルタックの位置を調整する】

模様位置調整キーおよび右針位置調整キーは、調整キーを押して表示される調整画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定ができます。

調整画面の基本的な使い方は、46～49ページをごらんください。

模様の位置の調整

模様の幅をかえず、模様のぬい位置を左右に移動させます。

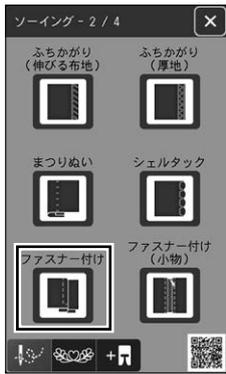
- 模様位置調整キーの「+」キーを押すとシェルタックが右へ移動、「-」キーを押すと左へ移動します。

模様の幅の調整（右針位置調整）

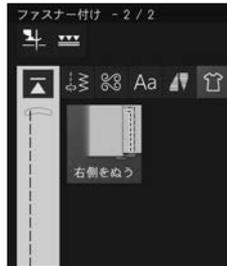
右側の針位置をかえることができます。左側の針位置は固定なので、右に模様の幅が変化します。

- 右針位置調整キーの「+」キーを押すと右針位置が右へ移動し、シェルタックの幅が広がります。
- 右針位置調整キーの「-」キーを押すと左へ移動し、シェルタックの幅がせまくなります。

〔用途選択画面〕



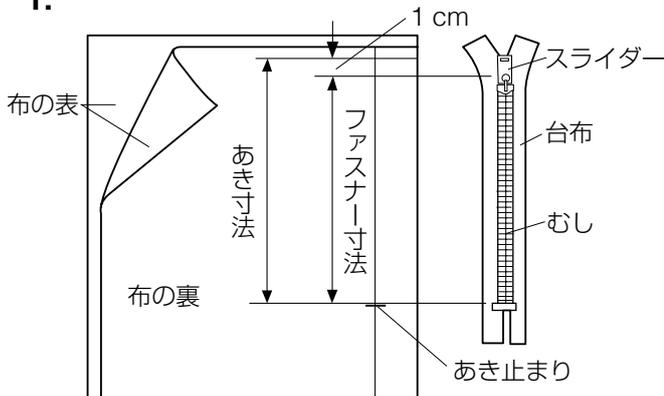
〔模様選択画面 / ファスナー付け〕



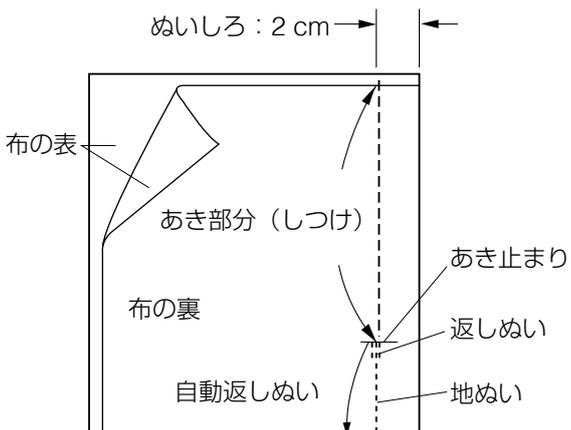
模様.....			
押さえ.....	基本押さえ A		

模様.....			
押さえ.....	ファスナー押さえ E		

1.

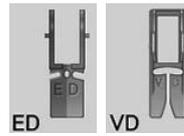


2. 3.



★ ファスナー付け

模様選択画面で手順ごとにキーを押すと、手順に合わせて自動的にミシンの設定が変わります。



上送りぬい切りかえキーを押すと、上送り押さえ VD (先引き) ※と上送りファスナー押さえ ED (先引き) ※が画面に表示されます。
上送り押さえ VD (先引き) ※と上送りファスナー押さえ ED (先引き) は一緒に使用してください。

※上送り押さえと上送りホルダーはオプション (別売) です。

【ぬい方：左脇あきのぬい方例】

1. ファスナーのあき寸法を確かめます。

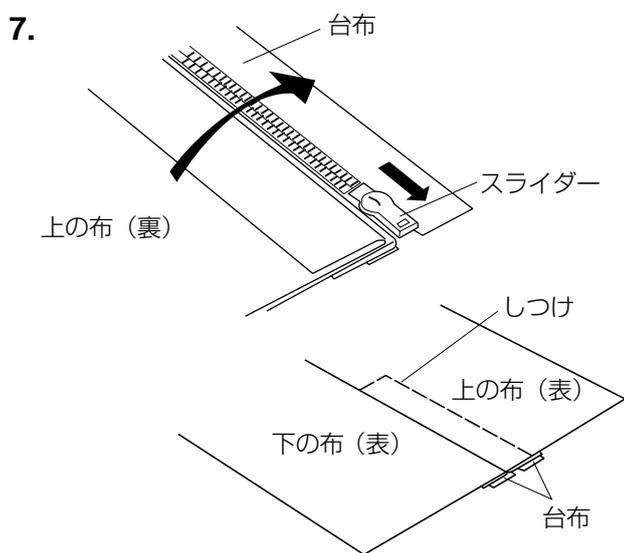
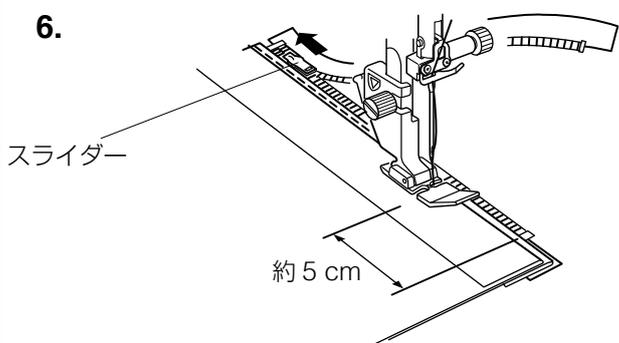
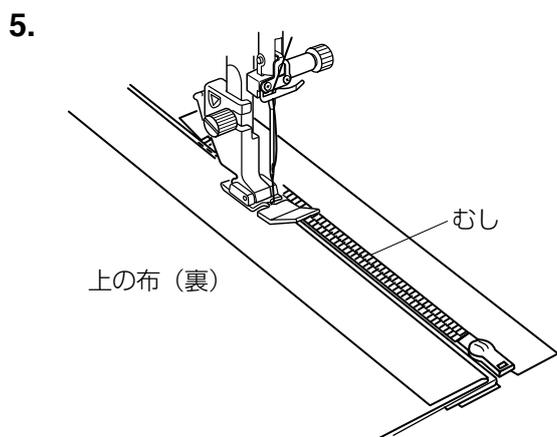
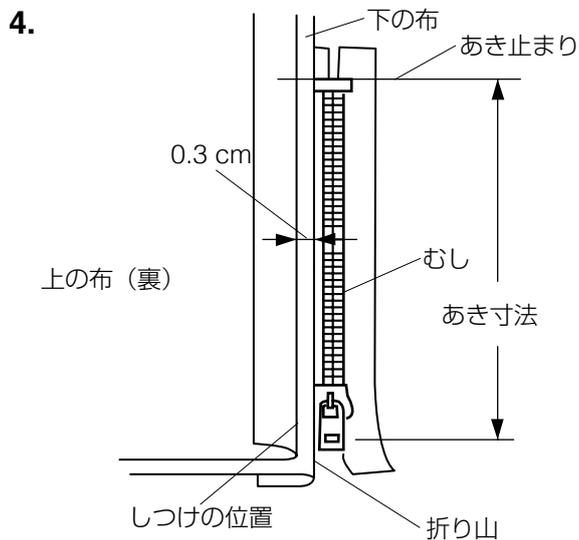
あき寸法は、ファスナー寸法に 1 cm プラスした寸法です。

2. 模様 を選び、基本押さえ A を付けます。

布を中表に合わせ、2 cm のぬいしろであき止まりまで地ぬいをします。

※ 自動返しぬいのぬい方は、55 ページをごらんください。

3. 模様 を選び、あき部分のしつけぬいをします。



4. めいしろを割り、下の布のめいしろを 0.3 cm 出してアイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわに当てます。

5. 模様  を選び、ファスナー押さえ E を付けます。

むしのきわを押さえの右側面に当て、あき止まりからファスナーの左側をぬいます。

※ めい始めは数針返しぬいをします。

⚠ 注意

ファスナーをぬうときは、針がファスナーや押さえに当たらないように注意してください。針が当たると、けがの原因となります。

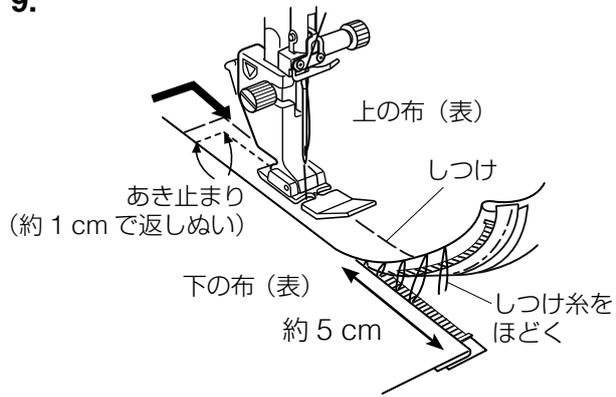
6. ファスナーの端から約 5 cm 手前でミシンを止めます。針を布にさした状態で押さえをあげ、スライダーを押さえの向こう側にずらしファスナーを開きます。押さえをさげて残りの部分をぬいます。

※ めい終わりは数針返しぬいをします。

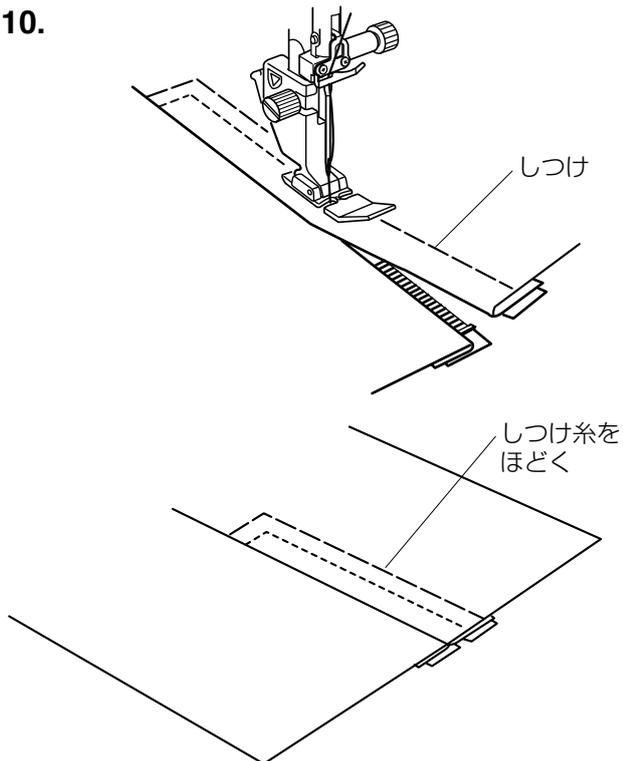
7. ファスナーを閉じ、スライダーを上にしたおし、上の布をファスナーの上にかぶせます。

模様  を選び、かぶせた布と台布をしつけぬいで止めます。

8. 9.



10.



8. 模様  を選びます。

上の布のあき止まりを約 1 cm 返しぬいして、むしのきわを押さえの左側面に当て、ファスナーの右側をぬいます。

⚠ 注意

ファスナーをぬうときは、針がファスナーや押さえに当たらないように注意してください。針が当たると、けがの原因となります。

9. ファスナーの上側を約 5 cm 残したところでミシンを止めます。

針を布にさした状態で押さえをあげ、手順 3. でぬったしつけぬいの糸をほどきます。

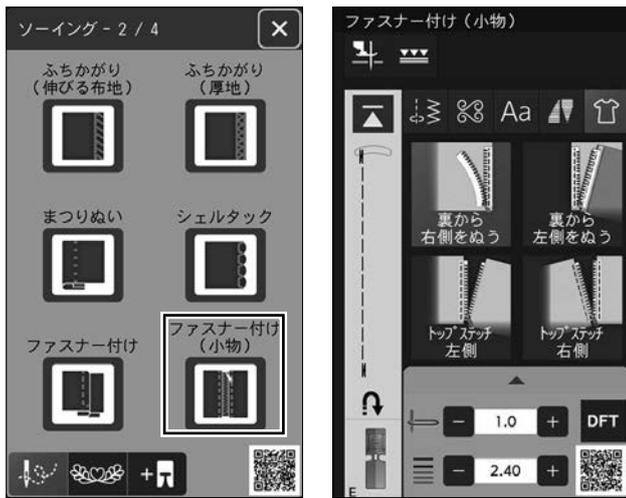
ファスナーを開き、スライダを押さえの向こうにずらします。

10. 押さえをさげて残りの部分をぬいます。

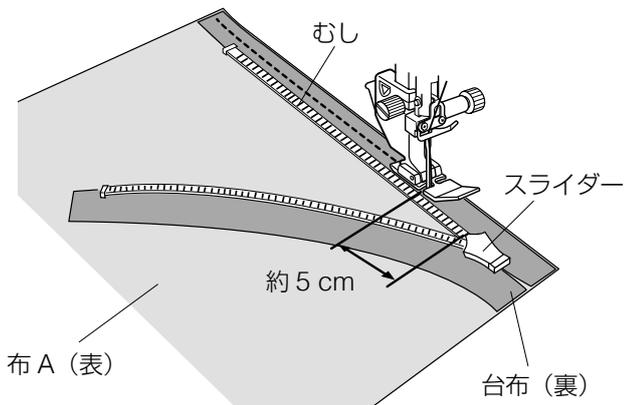
ぬい終わったらしつけぬい糸をほどきます。

〔用途選択画面〕

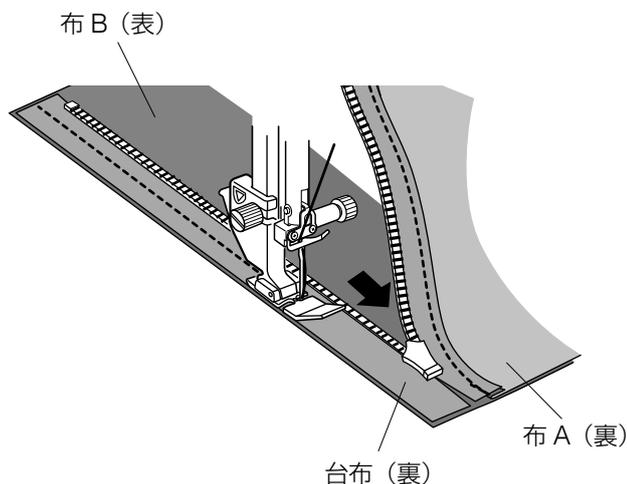
〔模様選択画面/
ファスナー付け (小物)〕



1. 2.



3.



★ ファスナー付け (小物)

模様選択画面で手順ごとにキーを押すと、手順に合わせて自動的にミシンの設定が変わります。

布を 2 枚とファスナーを 1 本準備します。



上送りぬい切りかえキーを押すと、上送りファスナー押さえ ED (先引き) ※が画面に表示されます。

ファスナー押さえ E のかわりに上送りファスナー押さえ ED (先引き) を使用してください。

※ 上送りファスナー押さえ ED (先引き) と上送りホルダー (先引き) はオプション (別売) です。

1. 模様  を選び、ファスナー押さえ E を取り付け

ます。

ファスナーを開きます。

布 A と台布を中表に重ね、右端をそろえます。

2. ファスナー押さえ E と台布の右端をそろえて置き、むしのきわを押さえの左側面に当ててぬいます。スライダの 5 cm 手前でミシンを止め、ファスナーを閉じて残りをぬいます。

⚠ 注意

ファスナーをぬうときは、針がファスナーや押さえに当たらないように注意してください。針が当たると、けがの原因となります。

3. 右側のぬいしろをうしろ側に折ります。

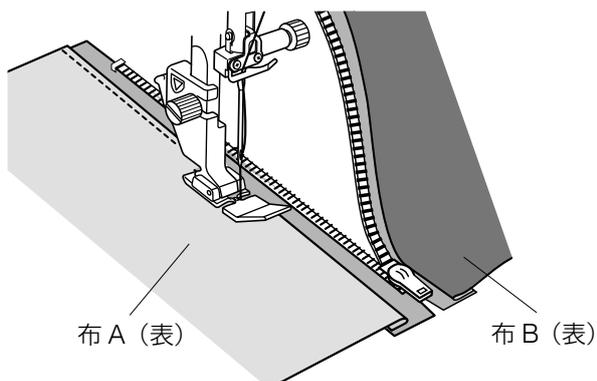
布 B と台布を中表に重ね、左端をそろえます。

模様  を選びます。ファスナーを開けて、押さ

えとファスナーの台布の左端をそろえて置き、むしのきわを押さえの右側面に当ててぬいます。

スライダの 5 cm 手前でミシンを止め、ファスナーを閉じて残りをぬいます。

4.



4. 左のぬいしろを折ります。

表側が上になるように布を平面に広げて、ファスナーを開けます。

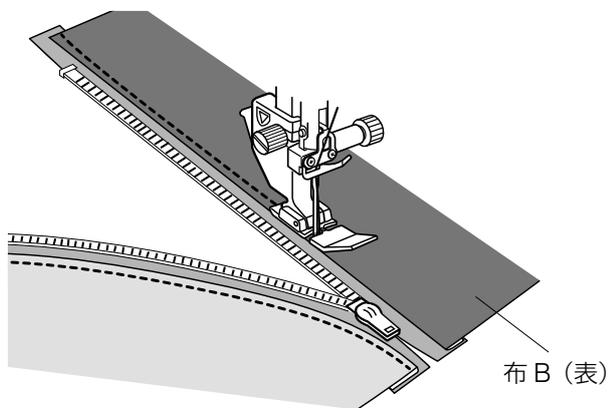
模様  を選び、むしに沿ってファスナー左側の折り山をぬいます。

スライダの 5 cm 手前でミシンを止め、ファスナーを閉じて残りをぬいます。

⚠ 注意

ファスナーをぬうときは、針がファスナーや押さえに当たらないように注意してください。
針が当たると、けがの原因となります。

5.



5. ファスナーを開けます。

模様  を選び、むしに沿ってファスナー右側の折り山をぬいます。

スライダの 5 cm 手前でミシンを止め、ファスナーを閉じて残りをぬいます。

〔用途選択画面：
ソーイング 3/4〕



〔模様選択画面/
ギャザー〕

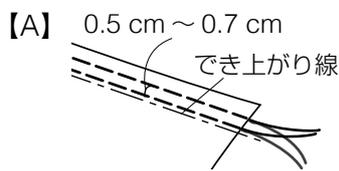
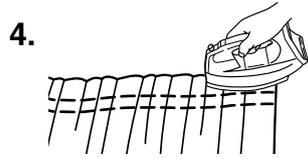
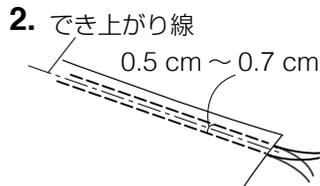
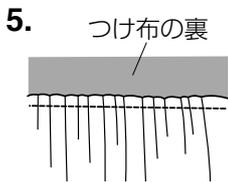
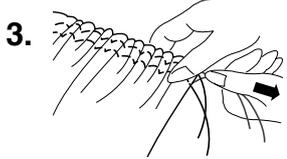
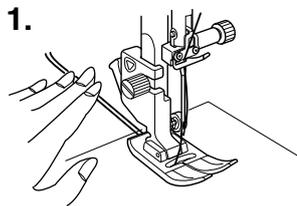


模様.....



ギャザー

押さえ 基本押さえ A



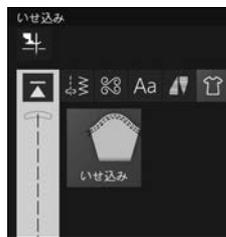
★ ギャザー

1. 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約 10 cm 引き出しておきます。
※ 下糸を針板の上に引き出す方法は、43 ページ「下糸を針板の上に引き出す場合」をごらんください。
2. 図のように、でき上がり線をはさんで、2 本平行にしつけをぬいます。
押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を約 5 cm 残して切ります。
※ 糸切りボタンで切らないでください。
3. ぬい始めの糸を結んでから、ぬい終わりの下糸を 2 本一緒に引いて、布を縮め、糸を結びます。
4. ギャザーを整え、アイロンがけします。
5. ギャザーを布にぬい付けます。
じつようぬいの直線模様を選び、でき上がり線をぬって、しつけを取ります。
※ しつけを取ったときの針穴が気になる場合は、でき上がり線の上側に 2 本しつけをして、ギャザーを寄せます。(左図【A】参照)

〔用途選択画面：
ソーイング 3/4〕



〔模様選択画面/
いせ込み〕

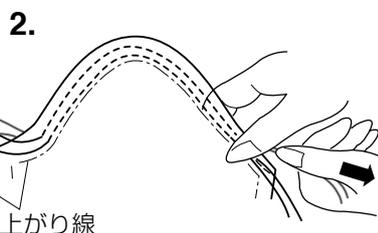
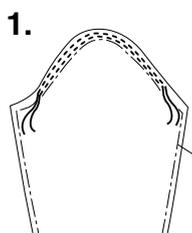


模様.....



いせ込み

押さえ 基本押さえ A



でき上がり線

★ いせ込み

- 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約 10 cm 引き出しておきます。
- ※ 下糸を針板の上に引き出す方法は、43 ページ「下糸を針板の上に引き出す場合」をごらんください。
1. ぬいしろの部分に 0.5 cm ~ 0.7 cm の間かくで 2 本線を平行にぬいます。
 2. 布を軽くつまみ、上糸をそのままにして下糸を両側から引き、まるみを付けます。
※ ひだがよらないように注意して糸を引いてください。

〔用途選択画面：
ソーイング 3/4〕

〔模様選択画面：しつけ〕

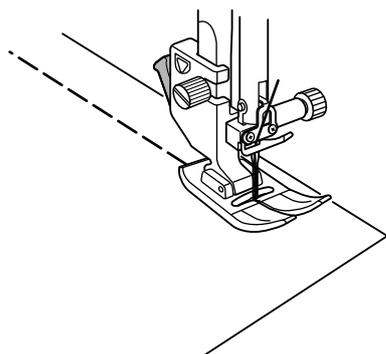


模様.....



オート

押さえ 基本押さえ A



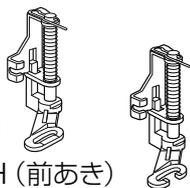
模様...



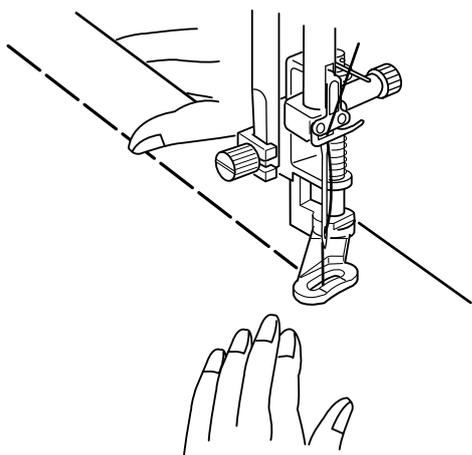
マニュアル

押さえ

..... フリーキルト押さえ PD-H
またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき)



※ 送り歯をさげる (36 ページ参照)



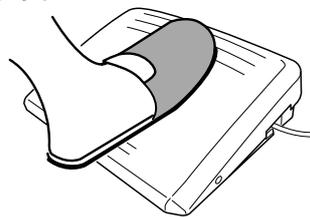
★ しつけ

しつけに適した 2 種類の模様が選べます。

フットコントローラーの利用

しつけぬいは、フットコントローラーを使用すると両手が使えて便利です。

※ フットコントローラーは、モデルによってオプションになります。



オート

ファスナーの台布や衣服に使います。
ぬい目のあらかさが最大値 (約 0.5 cm) の直線ぬいです。
あとで糸をほどこきやすいように、糸調子が弱く設定されています。

マニュアル

ミシンをスタートさせても、布は送られずに 1 針ごとに停止します。1 針ずつ手で布を移動させてお好みの間かくでぬうことができます。

※ フットコントローラーを使用している場合も、ふみ続けていても布は送られずに 1 針ごとに停止します。

【ぬい方】

フリーキルト押さえ PD-H またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき) を取り付け (30 ページ参照)、送り歯をさげます。(36 ページ参照)

押さえ上下移動ボタンで押さえをさげ、布を前後にピンと張ってぬいます。

1 針ぬってミシンが停止したら、ぬい目をつまんで布を向こう側に必要な長さだけ引き出し、繰り返しぬいます。

〔用途選択画面：
ソーイング 3/4〕



閉じるキー

〔メッセージ画面〕

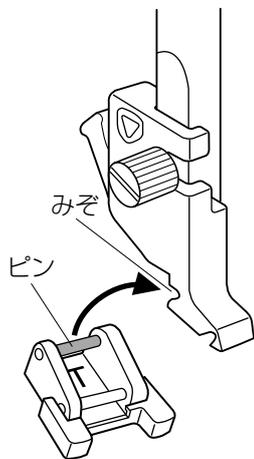


〔模様選択画面：ボタン付け〕

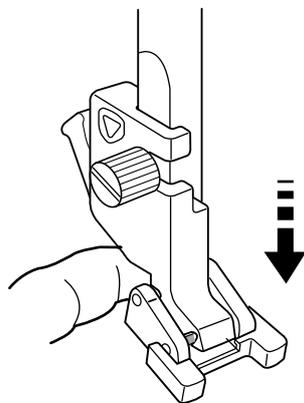


ロックキー

1.



2.



★ ボタン付け

ボタン付けに適した2種類の模様が選択できます。

※ ボタン付けキーを押すと、「送り歯を下げてください。」のメッセージ画面が表示されます。送り歯を上げて、布送り機能がない状態でぬいます。(36ページ参照)

⚠ 注意

必ず針がボタンの左右の穴におりることを確認してください。ボタンに針が当たると針が折れ、けがの原因となります。

【ボタン付け押さえ T を取り付ける】

※ ロックキーを押してミシンをロックして押さえを交換します。

※ 押さえの交換方法は、27 ページをごらんください。

1. 押さえのうしろのピンを、押さえホルダーのうしろのみぞにかけます。

2. 押さえのうしろを軽くささえながら押さえ上げをさげて取り付けます。

ロックキーを押し、ロックを解除します。

普通のボタン付けのぬい方

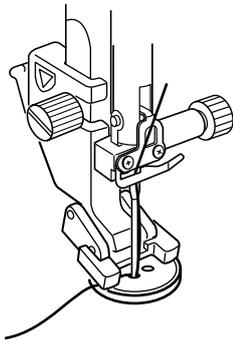


1. 2.

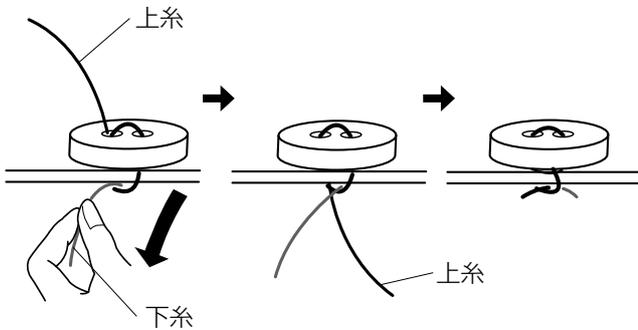
〔模様選択画面：ボタン付け〕



3. 4.



5. 6.



模様  はぬいが終了すると自動的にミシンが停止します。ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。

ボタン付け押さえ T を取り付け (144 ページ参照)、送り歯をさげます。(36 ページ参照)

1. 「普通のボタン付け」キーを押します。
2. ボタンの左右の穴の間かくをはかり、模様選択画面の間かく調整キーまたは、ぬい目の幅調整ダイヤルで、画面の数値を間かくと同じ値に設定します。
※ 1.0 mm ~ 7.0 mm (0.5 mm 単位) で調整できます。
※ 間かく調整キーは、調整キーを押して表示される調整画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定ができます。

3. ボタンを押さえの下へ置き、はずみ車を手で手前にまわしてボタンの左の穴に針をさします。ボタンの左右の穴が真横になるようにして、押さえをさげます。
※ ボタンが押さえで固定されていることを確認してください。不安定だとボタンがずれて針が折れるおそれがあります。
4. はずみ車を手で手前にまわし、針がボタンに当たらないで、ボタンの右の穴に入ることを確認します。
※ 針がボタンに当たる場合、間かく調整キーで調整してください。左側の針位置は固定で、右側の針位置が移動します。

5. ミシンをスタートさせると、必要な針数をぬったあと自動的にミシンは停止します。押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 10 cm ~ 20 cm 残して切ります。
※ 糸切りボタンで切らないでください。
6. ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみで切ります。ぬい終わりの上糸と下糸は、下糸を引いて上糸を布の裏側に引き出し、上糸と下糸を結んでから切ります。
※ はさみは付属品には含まれていません。
※ ぬい終わったらドロップつまみを送り歯をあげる位置にもどしてください。(36 ページ参照)

模様.....



押さえ ボタン付け押さえ T



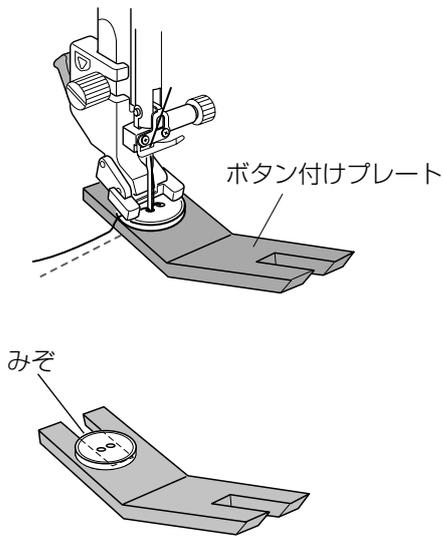
※ 送り歯をさげる (36 ページ参照)

1. 2.

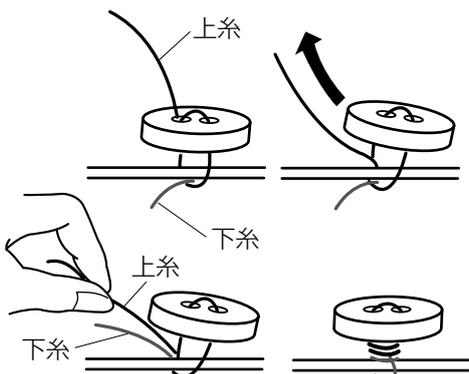
〔模様選択画面：ボタン付け〕



3.



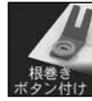
4.



根巻きボタン付けのぬい方

根巻きボタン付けは、付属のボタン付けプレートを使用しています。

模様



はぬいが終了すると自動的にミシンが停止

します。ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。

※ ボタンが厚すぎる場合、ボタン付けプレートは使用できません。

ボタン付け押さえ T を取り付け (144 ページ参照)、送り歯を下げます。(36 ページ参照)

1. 「根巻きボタン付け」キーを押します。
2. ボタンの左右の穴の間かくをはかり、模様選択画面の間かく調整キーまたは、ぬい目の幅調整ダイヤルで、画面の数値を間かくと同じ値に設定します。
※ 1.0 mm ~ 7.0 mm (0.5 mm 単位) で調整できます。
※ 間かく調整キーは、調整キーを押して表示される調整画面にもあります。どちらを使用しても同じ設定ができます。
3. ボタンを押さえの下へ置き、はずみ車を手で手前にまわしてボタンの左の穴に針をさします。
ボタンの下へボタン付けプレートを差し込み、ボタンの左右の穴が真横になるようにして、押さえを下げます。
※ ボタン付けプレートはみぞの部分がボタン穴の下になるように差し込んでください。
※ ボタン付けプレートは、厚い方が 4.5 mm、うすい方が 3 mm になっています。用途に合わせて選んでください。

はずみ車を手前にまわして針を右側に移動させます。間かく調整キー (「+」もしくは「-」ボタン) で針がボタンの右穴に入るように調整します。

左側の針位置は固定で、右側の針位置が移動します。ミシンをスタートさせ、自動的に止まるまでぬいます。

押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 10 cm ~ 20 cm 残して切ります。

※ 糸切りボタンで切らないでください。

4. ぬい始めの上糸と下糸をボタンのきわで、はさみを使って切ります。

ぬい終わりの上糸と下糸は、上糸をボタンと布のあいだに引き出し、次にその上糸を引いて下糸をボタンと布のあいだに引き出します。

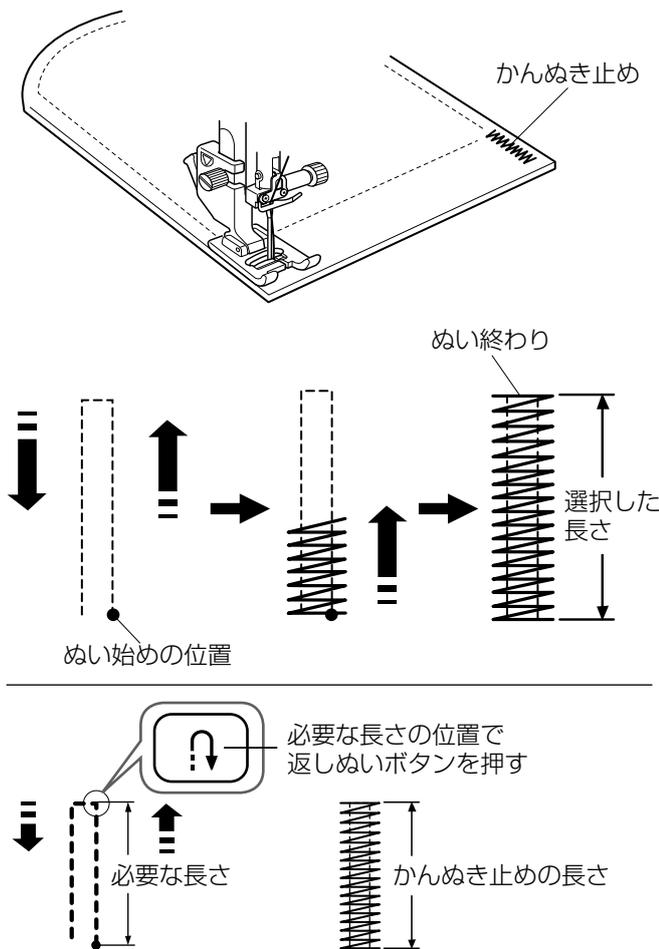
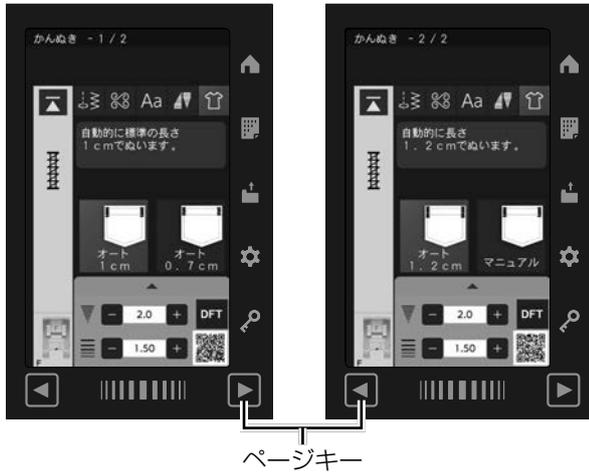
上糸と下糸を浮かせた足の部分にそれぞれ反対方向に数回巻き付けて結んでから切ります。

※ はさみは付属品には含まれていません

※ ぬい終わったらドロップつまみを送り歯をあげる位置にもどしてください。(36 ページ参照)

〔模様選択画面：かんぬき〕
(1/2 ページ)

〔模様選択画面：かんぬき〕
(2/2 ページ)



〔ぬい完了後のメッセージ画面〕



★ かんぬき

かんぬき止めはポケットぐちなど、ぬい目に力がかかってほつれやすい部分などを補強します。

※ かんぬき止めは、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。

用途選択画面で、 キーを押すと、4 種類 (3 種類のオートかんぬき止めとマニュアルかんぬき止め) の模様を選べます。ページキーで画面を切りかえ模様を選択します。サテン押さえ F を取り付けます。

【自動かんぬき止め】

模様    は、かんぬき止めの長さがそれぞれ 1 cm、0.7 cm、1.2 cm の固定値になっています。ぬい始めの位置に針をおろし、ミシンをスタートさせます。選択した長さがぬわれ、終わると自動的に止まります。

【マニュアルかんぬき止め】

模様  は、お好みの長さ (最大 1.5 cm) のかんぬき止めができます。ミシンをスタートさせ、必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押します。これでかんぬき止めの長さが決まります。ミシンが自動的に止まるまでぬいます。

- ※ マニュアルでぬえるかんぬき止めの長さは、最長 1.5 cm です。
- ※ ぬい目の幅やあらかさは、ぬい目の幅調整ダイヤルとぬい目のあらかさ調整ダイヤルまたは、調整画面のぬい目の幅調整キーとぬい目のあらかさ調整キーでかえることができます。ぬい目のあらかさをかえると、自動でぬえる最大長さ「1.5 cm」もかわります。
- ※ かんぬき止めが完成する前に押さえ上げをあげたり、模様頭出しキー (111 ページ参照) を押したりすると、記憶したかんぬき止めの長さがキャンセルされます。

ぬい終わると、メッセージ画面が表示されます。ミシンはぬった長さ (サイズ) を記憶しています。

- 別の場所に同じ長さのかんぬきをぬう場合、この画面の状態のまま布の位置をかえてミシンをスタートさせます。返しぬいボタンを押さなくても同じ長さのかんぬきを自動的にぬってミシンは停止します。
- ちがうサイズでぬう場合、閉じるキーを押してメッセージ画面を消すと、記憶している長さは取り消されます。

〔用途選択画面：
ソーイング 4/4〕



〔模様選択画面：
アイレット 1/2〕



〔模様選択画面：
アイレット 2/2〕



調整画面

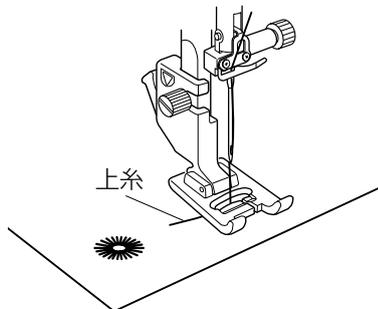
模様.....



押さえ サテン押さえ F

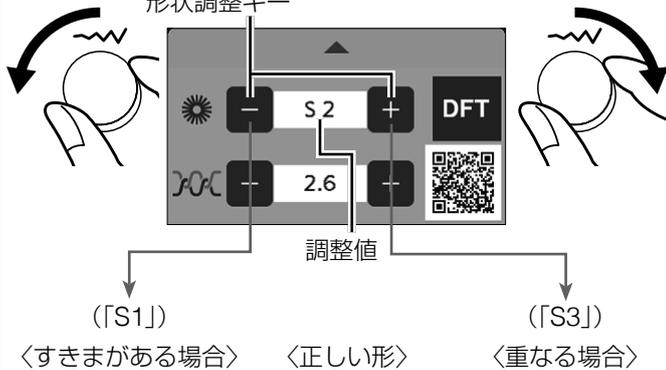


1.2.



〔調整画面〕

形状調整キー



★ アイレット

アイレットはベルトの穴などに使用します。

※ アイレット模様は、模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。

【ぬい方：模様  の例】

ぬい始めの上糸を押さえの下から横に引き出しておきます。

1. ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上下移動ボタンを押して、押さえをさげます。
2. ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。

※ ぬい目の内側は、ポンチ（市販品）などで穴を開けます。ポンチの穴の大きさは、直径 0.25 cm 以下のものを使用してください。

【形の整え方】

布によってアイレットの形がくずれる場合、調整画面の形状調整キー（「-」、「+」）で調整値を変更します。

「S1」と「S3」で調整できます。（「S2」はオート値）

- ぬい目にすきまがある場合、ぬい目の幅調整ダイヤルを反時計回りにまわすか、「-」キーを押して「S1」にします。
- ぬい目が重なっている場合、ぬい目の幅調整ダイヤルを時計回りにまわすか、「+」キーを押して「S3」にします。

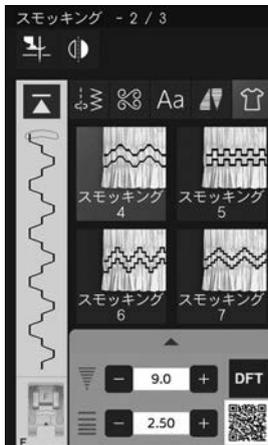
〔用途選択画面：
ソーイング 4/4〕



〔模様選択画面：
スモッキング 1/3〕



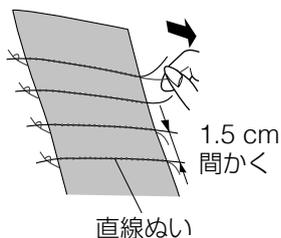
〔模様選択画面：
スモッキング 2/3〕



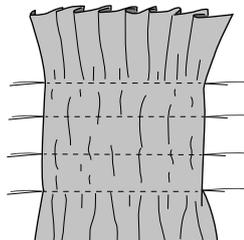
〔模様選択画面：
スモッキング 3/3〕



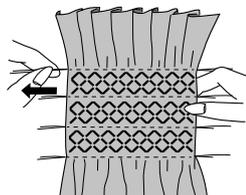
2.



3.



4.



★ スモッキング

やわらかく、うすい生地の布を使用してください。
完成サイズの約 3 倍の幅の布を用意してください。

※ 目飛びを防ぐため、パープル針を使用してください。

【ぬい方：模様  の例】

1. 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約 10 cm 引き出しておきます。

※ 下糸を針板の上に引き出す方法は、43 ページ「下糸を針板の上に引き出す場合」をごらんください。

2. 模様  を選び、1.5 cm の間かくで数本平行に

直線ぬいをします。

※ 糸を切るときは面板の糸切りを使用してください。

3. 上糸と下糸を布の片側で結び、反対側から下糸を引いてひだをよせ、上糸と下糸を結びます。
ギャザーをよせた生地をアイロンで押さえます。

4. 模様  を選んで、直線ぬいと直線ぬいのあいだをぬいます。

模様をぬったあと直線ぬいの糸を抜き取ります。

〔用途選択画面：
ソーイング 4/4〕



〔模様選択画面：
ファゴティング〕



模様.....



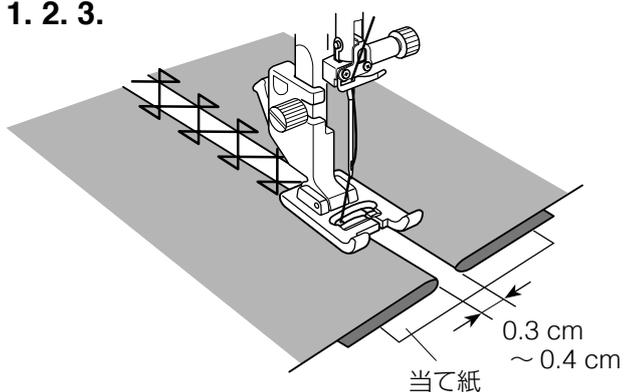
押さえ サテン押さえ F



またはクラフト押さえ F2



1. 2. 3.



★ ファゴティング

布端と布端の間かくをあけて、つなぎ合わせる場合に使用します。

布端から 1.5 cm くらいのところで布を折り、ぬいしろをつけます。

【ぬい方：模様  の例】

1. 布端と布端の間かくを 0.3 cm ~ 0.4 cm あけて、下に当て紙を置きます。
※ 間かくは、模様によって針が布から落ちないように調整してください。
2. 布の表から、間かくの中央を中心にしてぬいます。
3. ぬい終わったら当て紙を取ります。

〔模様選択画面：
〔用途選択画面 キルト (1/2)〕 パッチワーク〕 (1/3 ページ)



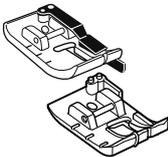
キルトキー



調整キー
ぬい目のあらし調整キー

模様..... 

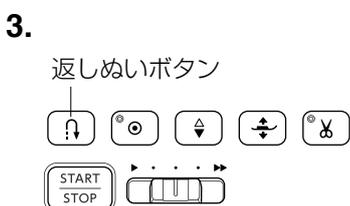
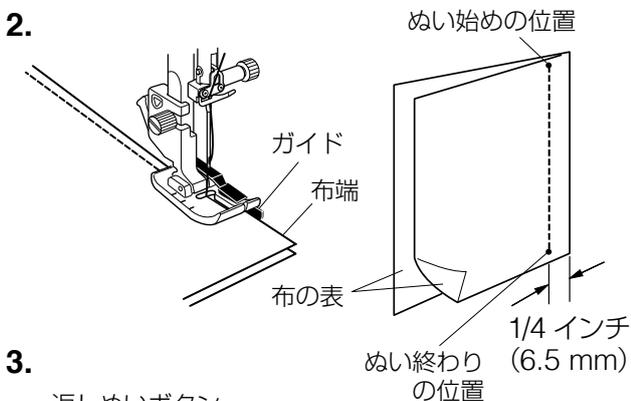
押さえ パッチワーク押さえ O
..... またはパッチワーク
押さえ O (ガイドなし)



1. 〔模様選択画面：
パッチワーク〕 (2/3 ページ) 〔模様選択画面：
パッチワーク〕 (3/3 ページ)



ページキー



● キルト

キルトキーを押すと、キルトの用途選択画面が開きます。

★ パッチワークピースィング

パッチワークのピースィングに適した 6 種類の模様が選べます。

ページキーで画面を切りかえ模様を選択します。

ぬい目のあらしはパッチワークのぬい合わせに最適な 1.8 mm に設定されていますが、ぬい目のあらし調整キー (「+」, 「-」キー) または、ぬい目のあらし調整ダイヤルで変更できます。また調整キーを押して表示される調整画面でも変更できます。

どちらを使用しても同じ設定ができます。

※ パッチワーク押さえ O を使い、6.5 mm (1/4 インチ) または、7 mm のぬいしろを正確にぬうことができます。

※     の模様はぬい始めと終わ

りに返しぬいおよび止めぬいを行います。(55 ページ参照)

※ ピースィング用の模様は、キルトグループにもあります。



※ 模様    (キルト模様 ) は、パッチワーク押さえ O を使うと、1/4 インチのぬいしろを正確にぬうことができます。

※ 模様    (キルト模様 ) は、パッチワーク押さえ O を使うと、7 mm のぬいしろを正確にぬうことができます。

※ 直線ぬい用針板を使用すると、針が布にささるときのばたつきが押さえられ、ぬい目が美しく仕上がります。

【ぬい方：模様 の例】

パッチワーク押さえ O を付けます。

1. パッチワークの模様選択画面を開き、次ページキーで 2/3 ページを表示させます。

「自動止めぬい 1/4」模様が選択されます。

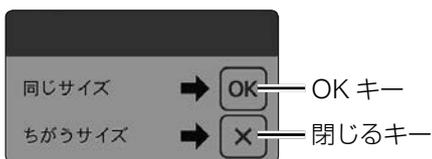
2. 布を中表に合わせ、布を押さえの下へ置き、布端をガイドに沿わせてぬいます。

ぬい始めの位置からミシンをスタートさせ、ぬい終わりの位置でミシンを停止します。

3. 返しぬいボタンを一度押します。

その位置でほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

4. [ぬい完了後のメッセージ画面]



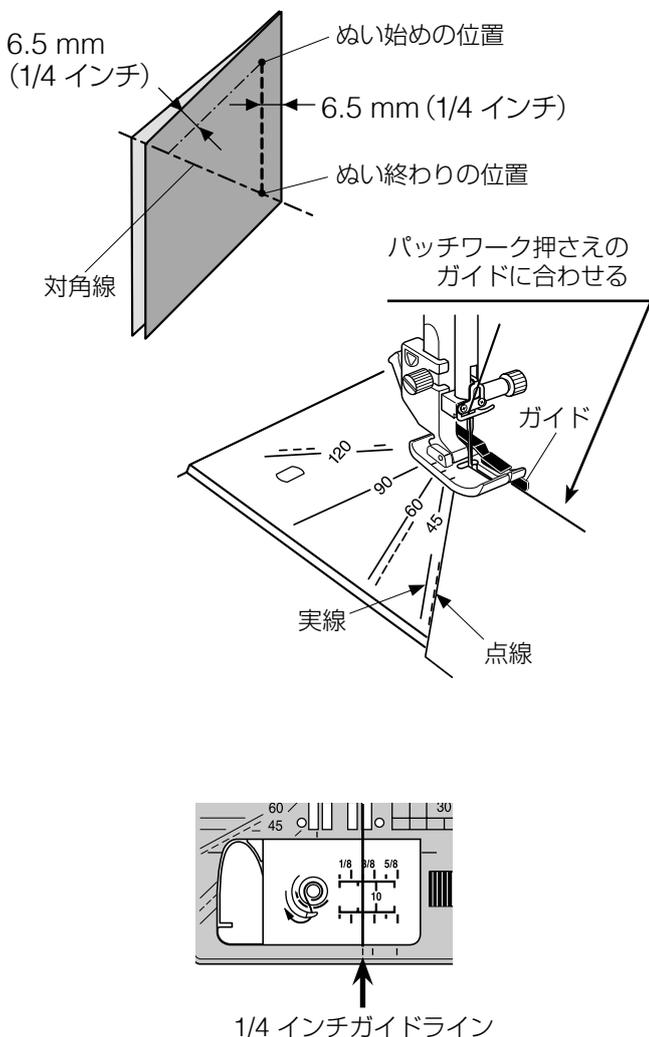
5. [ぬい完了後のメッセージ画面]



4. ミシンを止めると、画面にメッセージが表示されます。OK キーを押します。ぬった長さ（サイズ）が記憶され、ミシンをスタートさせるだけで、返しぬいボタンを押さなくても同じ長さを自動的にぬってミシンは停止します。ちがうサイズでぬう場合、閉じるキーを押します。

5. 記憶した長さでぬったあと、画面にメッセージが表示されます。繰り返し同じ長さでぬう場合、ミシンをスタートさせます。ちがうサイズでぬう場合、閉じるキーを押します。

1. 2. 3.



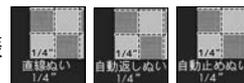
針板角度目盛りの使い方

パッチワーク布（ピース）の角度と同じ角度目盛りに布端を合わせると、しるしなしで 6.5 mm（1/4 インチ）のぬい始めの位置を決めることができます。

例：レモンスター

パッチワーク押さえ O をセットし、用途選択のパッチ

ワークピースの模様



、または

キルトグループの模様



を選びます。

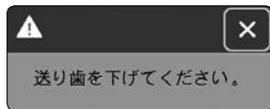
1. ピースの対角線に折り目を付けます。
2. ぬい始めは、布端をパッチワーク押さえのガイドおよび角度目盛り「45」度〈点線〉に合わせて布を置きます。
3. ぬい終わりは対角線までぬいます。

※ パッチワーク押さえ O を使わず基本押さえ A などを使用する場合、キルトグループの模様 （中針位置の直線）を選び、布端を針板の 1/4 インチガイドラインおよび角度目盛り「45」度〈実線〉に合わせて布を置きます。

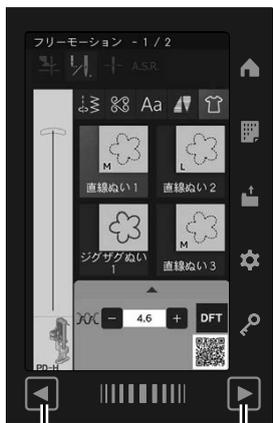
〔用途選択画面 キルト (1/2)〕



〔メッセージ画面〕



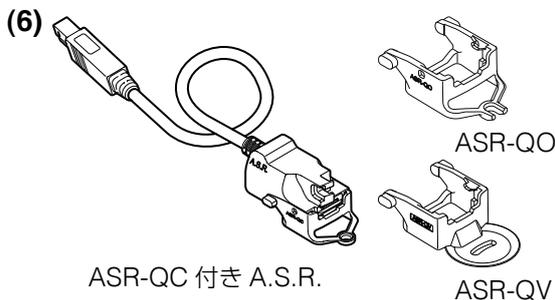
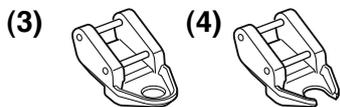
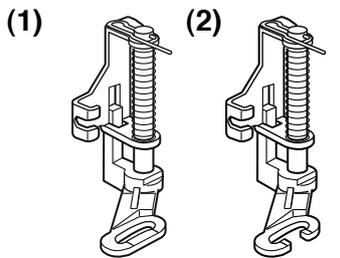
〔模様選択画面：フリーモーション (1/2)〕



〔模様選択画面：フリーモーション (2/2)〕



ページキー



ASR-QC 付き A.S.R.

ASR-QV

★ フリーモーション

6種類のフリーモーション模様が選べます。

ページキーで画面を切りかえ模様を選択します。

- ※ フリーモーションを選択すると、送り歯があがっている場合、メッセージ画面が表示されます。送り歯ドロップつまみで送り歯をさげてください。(36ページ参照)

通常・厚手のキルトの場合、模様  を選択し、フリーキルト押さえ PD-H またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき) を使用します。

平らなところをぬうキルトでは模様  を選択し、フリーキルト押さえ (QC、QO、QV) のいずれかを使用します。

- ※ 模様  には、直線ぬい用針

板の使用をおすすめします。針板の交換方法については 33 ページをごらんください。

- ※ A.S.R. 機能を使用する場合、A.S.R. 押さえを取り付けます。(158 ~ 160 ページ参照)
- ※ フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防ぐため、パール針を使用してください。
- ※ フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っ張らないでください。針折れ、けが、故障の原因となります。

各種フリーキルト押さえの特長

- (1) フリーキルト押さえ PD-H
- (2) フリーキルト押さえ PD-H (前あき)

直線模様、ジグザグ模様に使用します。普通地や厚手のキルトに使用する基本的な押さえです。

- (3) フリーキルト押さえ QC (丸穴)
- (4) フリーキルト押さえ QO (前あき)

直線模様を使用する、フリーキルトの基本的な押さえです。押さえ高さの調整ができ (157 ページ参照)、一定の高さでぬう押さえです。

- (5) フリーキルト押さえ QV (透明)

ジグザグ模様を使用します。押さえ高さの調整ができ (157 ページ参照)、一定の高さでぬう押さえです。手元が見やすく、安定して布を押さえるので、段差のある作品にも適しています。また、ガイド線があるので先にぬったラインにガイド線を合わせて、次のラインを均等にぬうことができます。

- (6) A.S.R. フリーキルト押さえ

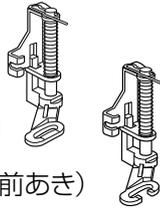
ぬい目のあらさを一定に保ったままフリーモーションをぬうことができます。(158 ~ 160 ページ参照)

- ※ 前あきの押さえは、手元が見やすいので細かな作業に適しています。前あきではない押さえは、布のばたつきが押さえられ、安定してぬうことができます。

模様...

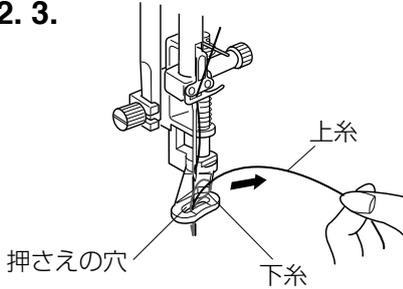


押さえ ... フリーキルト押さえ PD-H
またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき)

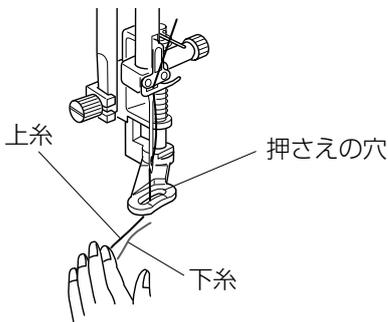


※ 送り歯をさげる (36 ページ参照)

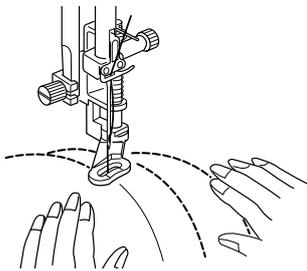
1. 2. 3.



4.



5.



フリーモーション「直線ぬい1」のぬい方

両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。
1 針あたり 3 mm 以上布を動かさないでください。

※ フリーキルト押さえ PD-H またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき) の取り付けは、30 ページをごらんください。

1. 布をセットし、上糸の端を針から離れたところで持ちます。

※ 上糸は押さえの穴に入れないでください。

2. ミシンをスタートさせます。
ミシンは 1 針ぬって停止します。

3. 上糸を上へ引いて、下糸を引き出します。

※ 下糸を布の裏側でぬい込まないために、布の上へ下糸を引き出します。

4. 引き出した上糸と下糸を押さえの穴から下へ通します。

布の上のぬい込まない位置で糸を押さえます。

5. もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。

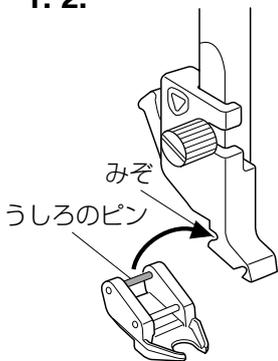
図案に沿って両手で布を案内しながらキルティングします。

※ フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防ぐため、パール針を使用してください。

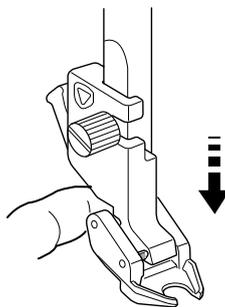
※ フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っばらないでください。針折れ、けが、故障の原因となります。

フリーキルト押さえ QO (前あき) の例

1. 2.



3.



フリーキルト押さえ QC (丸穴) / フリーキルト押さえ QO (前あき) / フリーキルト押さえ QV (透明) の取り付け方

⚠ 注意

フリーキルト押さえの取り外し・取り付けは、必ずロックキーを押してミシンをロックして行ってください。けがの原因となります。

※ イラストはフリーキルト押さえ QO (前あき) の例
1. 電源スイッチを入れた状態で、上下停針ボタンを押して針をあげます。

※ ロックキーを押してミシンをロックして押さえを交換します。

※ 押さえの交換方法は、27 ページをごらんください。

2. 押さえのうしろのピンを、押さえホルダーのうしろのみぞにかけます。

3. 押さえのうしろを軽くささえながら押さえ上げをさげて取り付けます。ロックキーを押して、ロックを解除します。

※ 取り外すときはミシンをロックし、押さえホルダーのレバーを押して、押さえを外します。

模様..



押さえ

..... フリーキルト押さえ QC (丸穴)

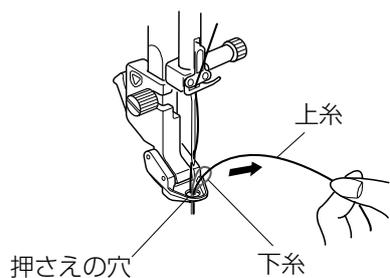


..... フリーキルト押さえ QO (前あき)

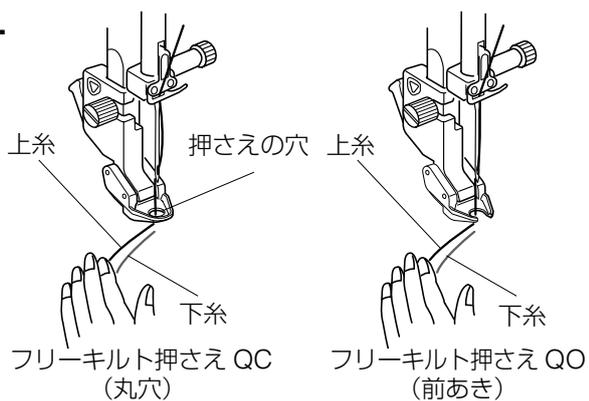


※ 送り歯をさげる (36 ページ参照)

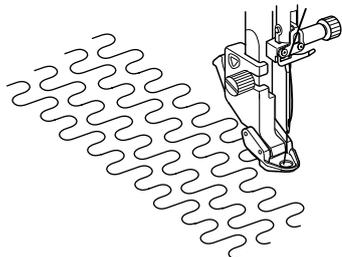
1. 2. 3.



4.



5.



フリーモーション「直線ぬい3」のぬい方

両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。
1 針あたり 3 mm 以上布を動かさないでください。

※ フリーキルト押さえ QC (丸穴) / フリーキルト押さえ QO (前あき) の取り付けは、154 ページをごらんください。

※ 布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さえすぎたりすることがあります。その場合は押さえ高さの調整をしてください。(157 ページ参照)

1. 布をセットし、上糸の端を針から離れたところで持ちます。

上糸は押さえの穴に入れないでください。

2. ミシンをスタートさせます。
ミシンは 1 針ぬって停止します。

3. 上糸を上へ引いて、下糸を引き出します。

※ 下糸を布の裏側でぬい込まないために、布の上に下糸を引き出します。

4. 引き出した上糸と下糸を押さえの穴から下へ通します。

布の上のぬい込まない位置で糸を押さえます。

※ フリーキルト押さえ QO (前あき) は押さえの穴がないので、引き出した上糸と下糸を横にして、押さえおきます。

5. もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。

図案に沿って両手で布を案内しながらキルティングします。

※ フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防ぐため、パール針を使用してください。

※ フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っばらないでください。針折れ、けがや故障の原因となります。

模様....



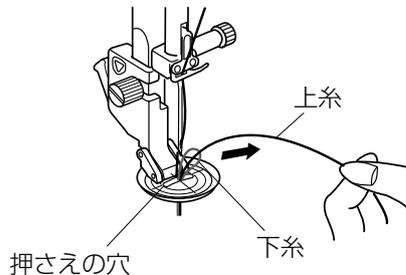
押さえ

.....フリーキルト押さえ QV (透明)

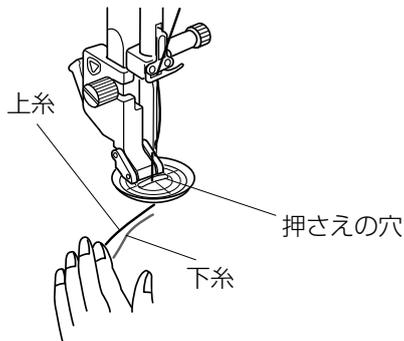


※ 送り歯をさげる (36 ページ参照)

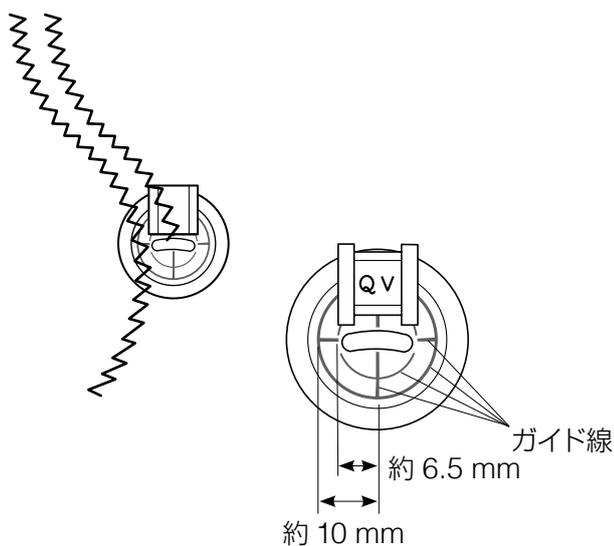
1. 2. 3.



4.



5.



フリーモーション「ジグザグぬい2」のぬい方

両手で布を案内しながら中くらいのスピードでぬいます。
1針あたり3mm以上布を動かさないでください。

- ※ フリーキルト押さえ QV (透明) の取り付けは、154 ページをごらんください。
- ※ 布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さえすぎたりすることがあります。その場合は押さえ高さの調整をしてください。(157 ページ参照)

1. 布をセットし、上糸の端を針から離れたところで持ちます。
※ 上糸は押さえの穴に入れないでください。
 2. ミシンをスタートさせます。
ミシンは1針ぬって停止します。
 3. 上糸を上へ引いて、下糸を引き出します。
※ 下糸を布の裏側でぬい込まないために、布の上へ下糸を引き出します。
 4. 引き出した上糸と下糸を押さえの穴から下へ通します。
布の上のぬい込まない位置で糸を押さえます。
 5. もう一度ミシンをスタートさせてぬい始めます。
図案に沿って両手で布を案内しながら、ガイド線に合わせて等間かくにキルティングします。
- ※ フリーモーションでキルトをぬうときは目とびを防ぐため、パープル針を使用してください。
 - ※ フリーキルト押さえを使用するときは、布を前後に強く引っぱらないでください。針折れ、けが、故障の原因となります。

〔模様選択画面〕

1 針停止キー



1 針停止ぬい

フリーモーション模様を選んだ直後、模様選択画面の1針停止キーの表示は  になっています。

ミシンは1針ぬって停止し、キーの表示が  にかわります。下糸を上引き出し、布の裏側に糸がからまるのを防ぎます。

この表示の状態でミシンを再スタートさせると連続してぬいます。

最初から連続してぬいたい場合、1針停止キーを押してキーの表示を  にかえてください。

1針停止キーは、押すごとに2つの表示が切りかわります。

フリーモーション模様をぬったあと、そのまま同じ模様を別の場所にぬう場合、ミシンをスタートさせてから自動的に1針ぬって停止したいときは、1針停止キーを押してキーの表示を  にかえてください。

1.

〔模様選択画面：直線ぬい3〕



調整キー

フリーキルト押さえ高さの調整

フリーキルト押さえ PD-H またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき) は、ぬい中最適な押さえ高さ (押さえの下面が布に軽く触れる位置) に自動セットされます。

ただし、フリーキルト押さえ QC (丸穴)、フリーキルト押さえ QO (前あき)、フリーキルト押さえ QV (透明) は、布の種類や厚さによってはすきまがあいたり、強く押さえすぎたりすることがあります。その場合は押さえ高さの調整をしてください。

ぬっているときに布が弾む場合、押さえの高さを下げます。押さえが布に引っかかる場合、押さえの高さをあげます。

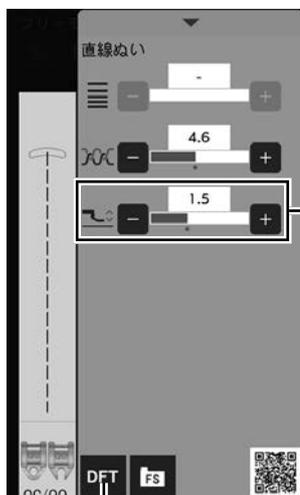
押さえの下に布をしき、押さえを下げます。

1. 調整キーを押し、調整画面を表示させます。
2. 押さえ高さ調整キーの「+」もしくは「-」キーで、設定を変更します。

※ 変更した値をオート値にもどす場合、初期化キーを押します。

2.

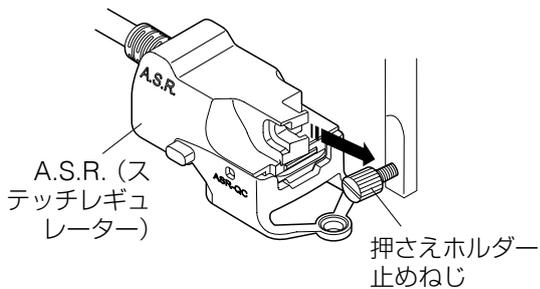
〔押さえ高さ調整画面〕



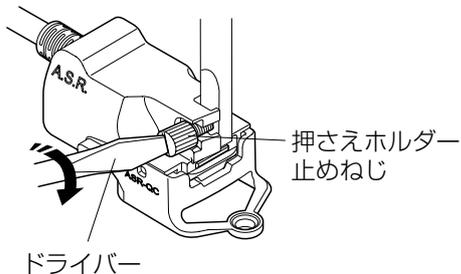
押さえ高さ調整キー

初期化キー

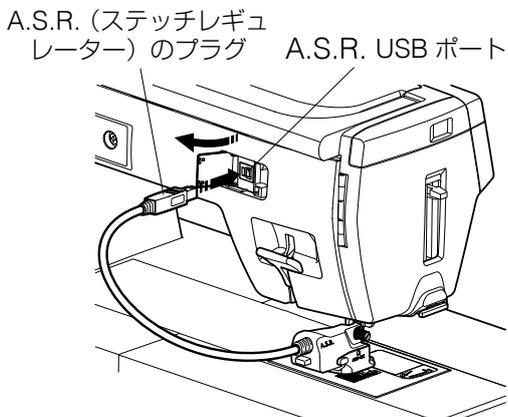
1.



2.

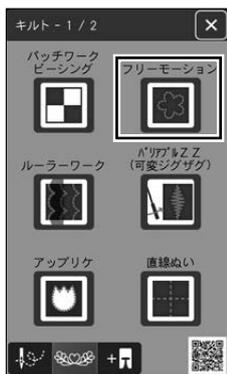


3.

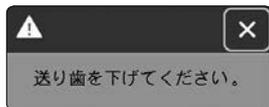


4.

〔用途選択画面 キルト (1/2)〕



〔メッセージ画面〕



5.

〔模様選択画面：フリーモーション (1/2)〕



A.S.R. キー

〔模様選択画面：フリーモーション (2/2)〕



★ A.S.R. 押さえてフリーモーションをぬう

A.S.R. (ステッチレギュレーター) が布の動きに反応し、ぬい目のあらかさを一定に保ったままフリーモーション、ルーラーワーク、バリエブルジグザグをぬうことができます。

※ A.S.R. 押さえは、ルーラーワークまたはバリエブルジグザグでも使用できます。(161、162～163 ページ参照)

1. 押さえホルダーを外します。(28 ページ参照)

A.S.R. (ステッチレギュレーター) を押さえ棒に取り付け、押さえホルダー止めねじを指でしめます。

2. 押さえホルダー止めねじをドライバーでまわし、しっかりとしめます。

3. ミシン背面部の USB ポート端子を開き、A.S.R. (ステッチレギュレーター) のプラグを A.S.R. USB ポートに差し込みます。

4.  を押します。

※ 送り歯があがっている場合、メッセージ画面が表示されます。送り歯ドロップつまみで送り歯をさげてください。(36 ページ参照)

5.  または  または  を選びます。

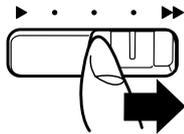
A.S.R. キーを押します。キーが青色で表示されます。

※ 直線ぬいの場合、直線ぬい用針板でぬうことをおすすめします。(33 ページ参照)

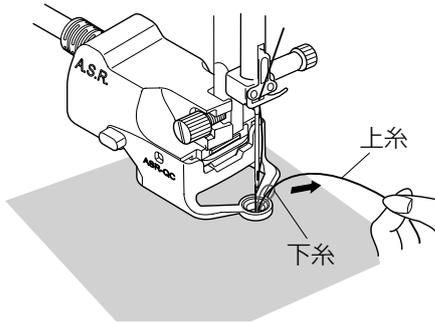
※ A.S.R. キーを押すと、A.S.R. 機能に適さない模様はグレーになり、選択できません。

※ ミシンに A.S.R. (ステッチレギュレーター) のプラグが接続されていない場合、A.S.R. キーはグレーになり、選択できません。

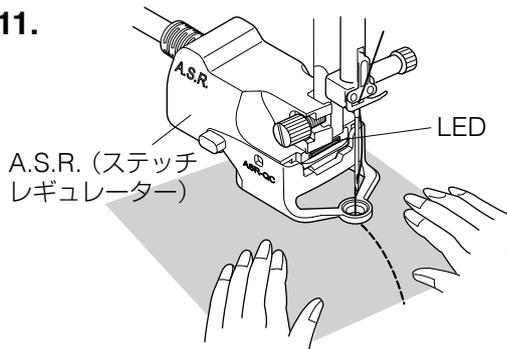
6.



8. 9.

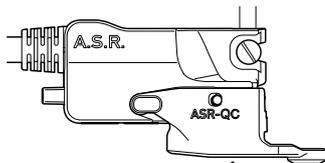


11.



A.S.R. (ステッチレギュレーター)

LED



A.S.R. センサー

6. スピードコントロールつまみを最速に設定します。
7. 布をセットし、上糸の端を針から離れたところで持ちます。

- ※ 上糸は押さえ穴に入れないでください。
- 8. ミシンをスタートさせると、1針ぬって停止します。
- 9. 上糸を上へ引いて、下糸を引き出します。
- ※ 下糸を布の裏側でぬい込まないために、布の上へ下糸を引き出します。

10. 引き出した上糸と下糸をぬいこまないように押さえながら数針ぬい、余った糸をはさみで切ります。

11. 布を両手で動かしながらぬいます。
動作中は LED が赤くなります。
布の動きが速すぎるとブザーが鳴り、設定よりもぬい目があらかくなります。

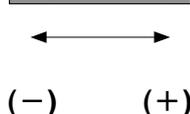
- ※ 布の種類によっては、ぬい上がりには差が出る場合があります。使用する布のはぎれなどで試しぬいをして、確認してください。布を動かしたときに、ぬい目が細くなりすぎる場合は、スピードコントロールつまみを中速に設定してください。
- ※ 布を動かしていないあいだも、低速でぬい続けます。

12. ぬい終わったら、A.S.R. (ステッチレギュレーター) のプラグをミシン背面部の USB ポートから抜き、A.S.R. (ステッチレギュレーター) を外します。

- ※ A.S.R. センサーは、センサーの下の布の動きのみを検出するため、布のうしろ側の端から 2 cm の領域では布の動きを検出できません。布端から 2 cm の領域ではミシンは低速でぬい続けます。

- ※ 定期的に A.S.R. のセンサー部分が汚れていないか確認し、やわらかい布でふいてください。

〔模様選択画面：フリーモーション (1/2)〕



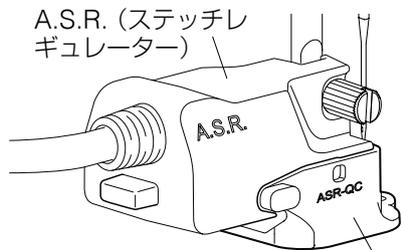
ぬい目のあらかさ調整キー

ぬい目のあらかさの調整方法

ぬい目のあらかさは生地の色や厚さ、押さえ高さで変わります。ぬい目のあらかさ調整キーまたは、ぬい目のあらかさ調整ダイヤルでぬい目のあらかさを調整します。「+」キーを押すまたは、ぬい目のあらかさ調整ダイヤルを時計回りにまわすとぬい目のあらかさがあらかくなります。「-」キーを押すまたは、ぬい目のあらかさ調整ダイヤルを反時計回りにまわすとぬい目のあらかさが細くなります。

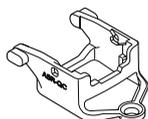
- ※ ぬい目のあらかさの調整可能値は 1.00 mm ~ 4.00 mm です。

A.S.R. (ステッチレギュレーター)

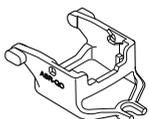


A.S.R. フリーキルト押さえ (丸穴) ASR-QC

(1)



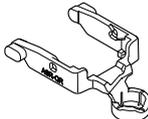
(2)



(3)



(4)



1.

上下停針ボタン



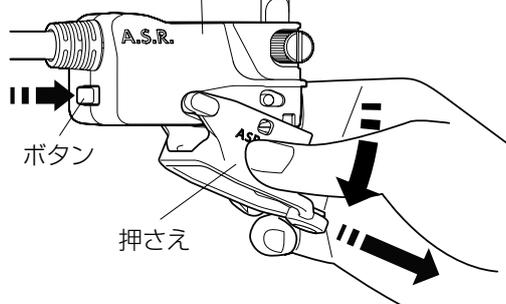
ロックキー

押さえ上下移動ボタン



2.

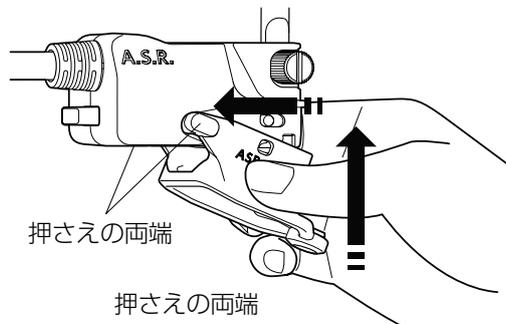
A.S.R. (ステッチレギュレーター)



ボタン

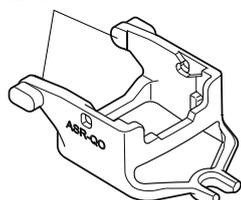
押さえ

3.



押さえの両端

押さえの両端



押さえを交換する

A.S.R. (ステッチレギュレーター) は A.S.R. フリーキルト押さえ (丸穴) ASR-QC が付いた状態で梱包されています。

目的に応じて A.S.R. フリーキルト押さえ (前あき) ASR-QO、A.S.R. フリーキルト押さえ (透明) ASR-QV、A.S.R. ルーラーワーク押さえ ASR-QR に交換できます。

- (1) A.S.R. フリーキルト押さえ (丸穴) ASR-QC
- (2) A.S.R. フリーキルト押さえ (前あき) ASR-QO
- (3) A.S.R. フリーキルト押さえ (透明) ASR-QV
- (4) A.S.R. ルーラーワーク押さえ ASR-QR

ルーラーワークおよびバリエブルジグザグの設定は 161、162 ~ 163 ページをごらんください。

⚠ 注意

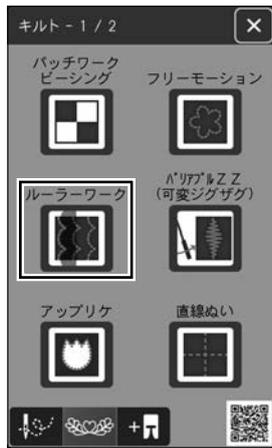
押さえを交換する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。

1. 上下停針ボタンを押して針を上にあげます。
ロックキーを押します。
押さえ上下移動ボタンを押して押さえをあげます。

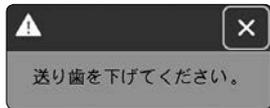
2. 押さえを外すには、A.S.R. (ステッチレギュレーター) 背面部のボタンを押しながら押さえを押し下げ、矢印の方向に引きます。

3. 押さえを取り付けるには、押さえの両端を A.S.R. (ステッチレギュレーター) にセットし、しっかりとハマるまで上に押しあげて取り付けます。

〔用途選択画面 キルト (1/2)〕



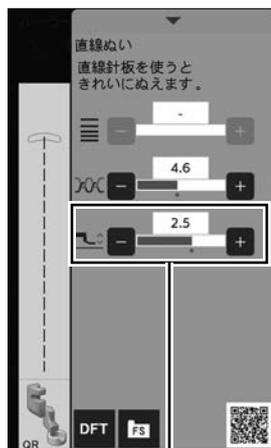
〔メッセージ画面〕



1.

〔模様選択画面：ルーラーワーク〕

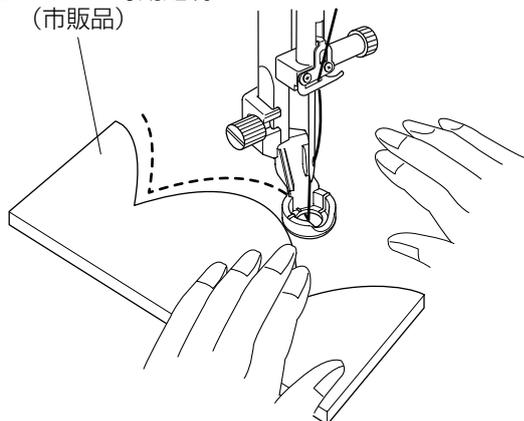
〔調整画面〕



調整キー 押さえ高さ調整キー

2.

ルーラーワーク専用定規 (市販品)



★ ルーラーワーク

ルーラーワーク専用定規 (市販品) に沿って押さえをガイドし、パターンを作成します。

2種類のルーラーワークの様子が選べます。

- ※ 送り歯があがっている場合、メッセージ画面が表示されます。
送り歯ドロップつまみで送り歯をさげてください。(36ページ参照)
- ※ ルーラーワークには、ルーラーワーク専用定規 (市販品) が必要です。(厚さ 4.5 mm ~ 6.35 mm)
- ※ ルーラーワーク時は、目とびを防ぐため、パープル針を使用してください。
- ※ ルーラーワーク時は、直線ぬい用針板でぬうことをおすすめします。(33ページ参照)

ルーラーワークの様式選択画面が表示されたら、ルーラーワーク押さえ QR を取り付けます。(32ページ参照)

布をルーラーワーク押さえ QR の下に置きます。

【ぬい方】

1. 押さえの高さをキルトの厚さに合わせて調整します。

一般的な厚さのキルトの場合、 を、うすいキルトの場合、 を選択します。

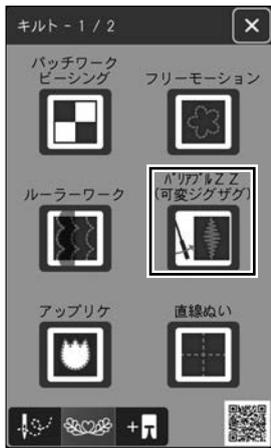
- ※ さらに、押さえの高さを調整したい場合、調整キーを押して調整画面を開きます。
押さえ高さ調整キーの「+」か「-」キーを押して、押さえの高さを微調整することができます。

2. ルーラーワーク押さえ QR の端にルーラーワーク専用定規を当てます。

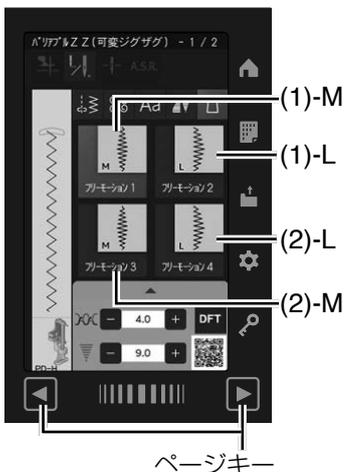
ルーラーワーク専用定規に沿って押さえを当てながら布をガイドし、ぬいます。

- ※ A.S.R. (ステッチレギュレーター) を使用する場合、A.S.R. (ステッチレギュレーター) をミシンに取り付け、押さえを A.S.R. ルーラーワーク押さえ ASR-QR に交換してください。(158 ~ 160 ページ参照)
- ※ A.S.R. 押さえを使用するとき、以下条件でぬい目があらかなる場合があります。
 - ルーラーの表面上側に印刷や刻印、テープなどがある場合。
このときはルーラーの印刷や刻印、テープなどを下側 (布側) にして使用してください。
 - 色のついた定規や透けていない定規の場合。
このときは、色のついていない透明な定規を使用してください。

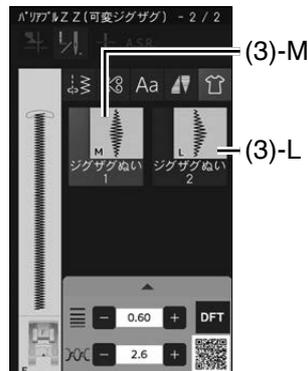
〔用途選択画面 キルト (1/2)〕



〔模様選択画面：
バリアブル ZZ
(可変ジグザグ) (1/2)〕



〔模様選択画面：
バリアブル ZZ
(可変ジグザグ) (2/2)〕



ページキー

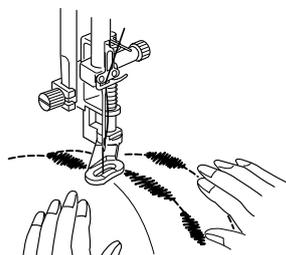
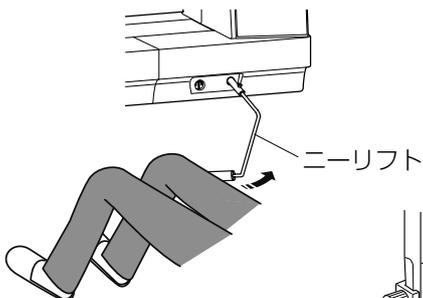
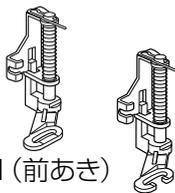
模様....



押さえ

..... フリーキルト押さえ PD-H
またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき)

※ 送り歯をさげる (36 ページ参照)



★ バリアブル ZZ (可変ジグザグ)

ニーリフトを使用して、ひざでぬい目の幅を自由にかえることができるので両手が使えて便利です。ぬいながらニーリフトを右側に押すほどぬい目の幅が大きくなります。

6種類の可変ジグザグぬい模様が選べます。ページキーで画面を切り替え模様を選択します。

【ぬい方】

フリーキルト押さえ PD-H またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき) でぬう場合、(1)-M または (1)-L の模様を選びます。

送り歯をさげ (36 ページ参照)、布を両手で案内してぬいます。

フリーキルト押さえ QV (透明) またはバリアブルジグザグ押さえ QZ (前あき) で、平らなキルトをぬう場合、(2)-M または (2)-L の模様を選びます。

送り歯をさげ (36 ページ参照)、布を両手で案内してぬいます。

サテン押さえ F でぬう場合、(3)-M または (3)-L の模様を選びます。

布は送り歯で送られ、ニーリフトでジグザクのぬい幅を調整できます。

必要であれば、芯地を布の裏に当てます。

布を両手で案内し、ひざでジグザクのぬい幅を調整しながら低速から中速でぬいます。

※ ぬい方は、154 ~ 156 ページと同じです。

※ 1 針停止キーの使い方は、157 ページをごらんください。

※ ミシンが停止しているとき、ニーリフトで押さえをあげることができます。(35 ページ参照)

※ 目とびを防ぐため、パール針を使用してください。

※ A.S.R. (ステッチレギュレーター) のプラグを A.S.R. USB ポートに差し込み、(2)-M または (2)-L の模様を選択すると、A.S.R. キーが使用できる状態になります。A.S.R. キーを押し、A.S.R. フリーキルト押さえ (透明) ASR-QV に交換してください。(158 ~ 160 ページ参照)

※ 模様  (模様 に M と書かれている) は、ぬい目の幅が中央を基準に左右に変化します。

※ 模様  (模様 に L と書かれている) は、ぬい目の幅が左側を基準に右に変化します。

※ 選んだ模様によって使用する押さえが異なります。正しい押さえを使用してください。

フリーキルト押さえ PD-H またはフリーキルト押さえ PD-H (前あき) の取り付けは 30 ページ、フリーキルト押さえ QV (透明) の取り付けは 154 ページをごらんください。

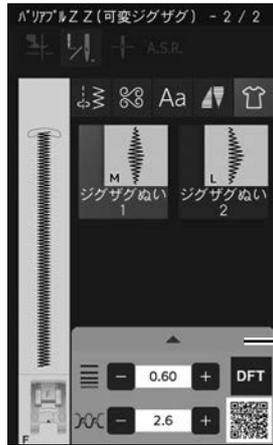
※ ニーリフトの移動量に対する針の振る量 (ぬい目の幅) をかえることができます。(180 ページ「バリアブル ZZ (可変ジグザグ) 感度調整」参照)

〔模様選択画面：
バリエブル ZZ
(可変ジグザグ) (1/2)〕



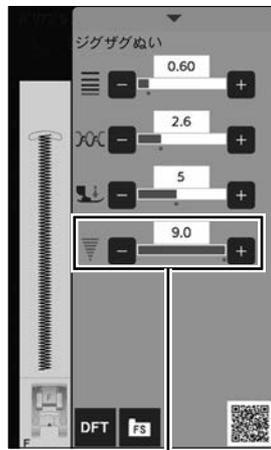
めい目の幅調整キー
(最大幅)

〔模様選択画面：
バリエブル ZZ
(可変ジグザグ) (2/2)〕



調整キー

〔調整画面〕

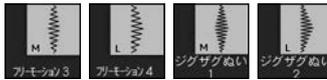


めい目の幅調整キー
(最大幅)

ジグザグのめい幅の上限を設定

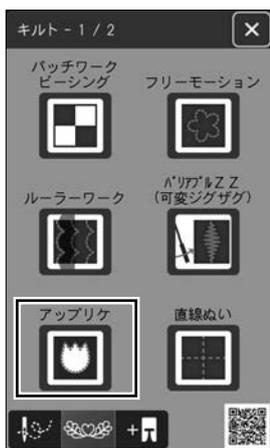
ジグザグめいのめい幅の上限を設定できます。

めい目の幅調整キーの「+」か「-」キーを押してめい目の最大幅を変更します。

模様  でバリエブル ZZ を行

う場合、調整キーを押して調整画面を開き、めい目の幅調整キーの「+」か「-」キーを押し、めい目の最大幅を変更します。

〔用途選択画面 キルト (1/2)〕



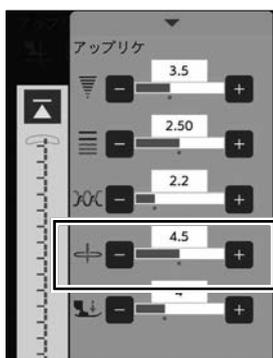
〔模様選択画面：
アプリケーション (1/2)〕

針停止位置切りかえキー



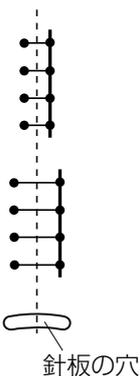
ページキー

〔調整画面〕



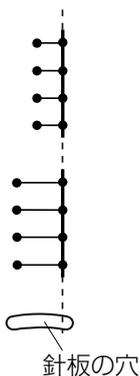
針位置調整キー

M
(中針位置基準)



針板の穴

R
(右針位置基準)



針板の穴

★ アプリケ

6種類の模様が選べます。

ページキーで画面を切りかえ模様を選択します。

針停止位置切りかえキーで、針停止位置を上か下か決められます。

アプリケーションの基準位置は、調整キーを押して表示される調整画面の針位置調整キー（「+」、「-」キー）で調整できます。

ぬい幅は変わりません。

画面の模様選択キーに表示されている「M」、「R」は、ぬい目の幅をかえたときの基準位置です。

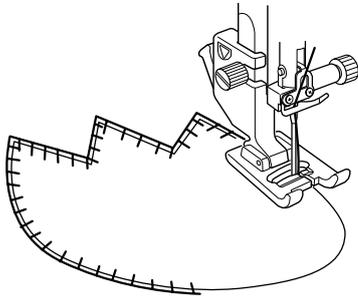
M: ぬい目の幅をかえたときに、中針位置（中央）を基準（固定）に左右に幅が変化します。

R: ぬい目の幅をかえたときに、右針位置を基準（固定）に左に幅が変化します。

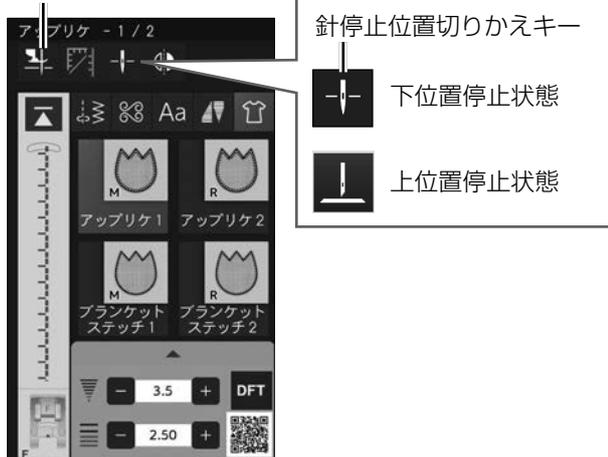
模様.....  アプリケ1

押さえ..... サテン押さえ F 

またはクラフト押さえ F2 

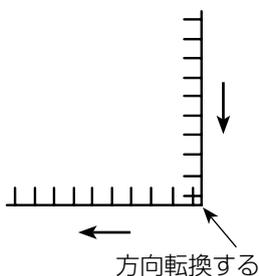
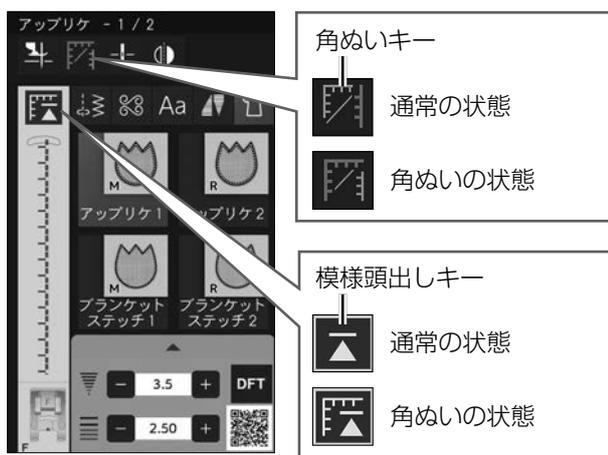


〔模様選択画面：
アプリケ (1/2)〕
ピボットぬい設定キー



1. 2. 3.

〔模様選択画面：
アプリケ (1/2)〕



【ぬい方：模様 の例】

アプリケ1

アプリケ布をのり付けするか、しつけで止めます。
模様の針位置が右のときに、アプリケ布の縁の外側に針が落ちるようにぬいます。

アプリケのコーナーでの回転

カーブのところや方向転換するところでは、アプリケ布の外側に針がささった位置でミシンを停止し、針をさしたまま押さえをあげて方向をかえるときれいに仕上がります。

- ※ ピボットぬい設定キーを押してピボットぬい設定をオンにすると便利です。(49 ページ参照)
- ※ アプリケの外側に針を落としたときにミシンを止めてください。

【針停止位置切りかえキーの使い方】

ミシンの設定で、針停止位置の設定が「上位置停止」に設定されていても、用途ぬいの6種類のアプリケ模様を選択すると、ミシンが停止したときの針位置は下位置になります。

ミシンを停止したときの針位置を上にした場合、模様選択画面の針停止位置切りかえキーを押して「上位置停止」状態にしてください。

- ※ ミシン設定の「針停止位置」は 178 ページをごらんください。

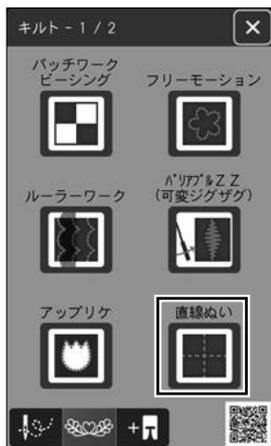
【角ぬいキーの使い方】

模様選択画面の角ぬいキーを利用すると、角の部分で方向転換してから模様頭出しキーによって模様を最初からぬっても、模様のぬい始めにほつれ止めの止めぬいが入らないので、模様をきれいにぬうことができます。

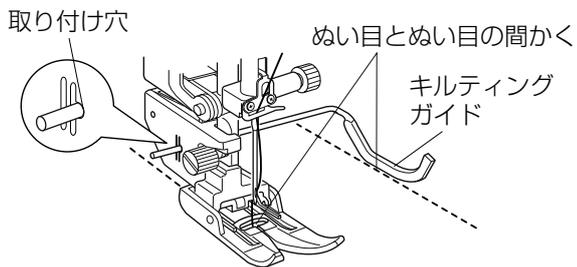
- ※ 模様頭出しキーの使い方は 111 ページをごらんください。

1. 角ぬいキーを押し、角ぬいの状態にします。
角ぬいの状態にすると、模様頭出しキーの表示も角ぬい状態の表示にかわります。
2. 方向転換するところのアプリケ布の外側に針がささった位置でミシンを停止します。
3. 針をさしたまま押さえをあげて布の方向をかえ、模様頭出しキーを押してからミシンをスタートさせます。

〔用途選択画面
キルト (1/2)〕



〔模様選択画面：直線ぬい〕
上送りぬい切りかえキー



★ 直線ぬい

ここで説明する直線ぬいは、上送り押さえを使用して、キルトをぬい合わせるのに適しています。

上送り押さえを取り付け (29 ページ参照)、上送りぬい切りかえキーを押します。

※ 基本押さえ A でキルティングガイドを使う場合は 93 ページをごらんください。

【上送り押さえ使用時のキルティングガイドの使い方】

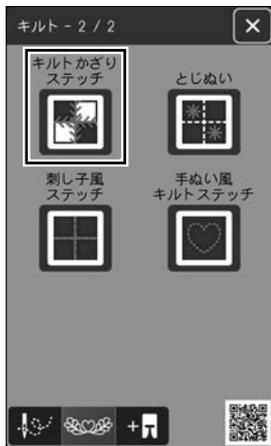
キルティングガイドを使うと、前にぬったぬい目と平行に等間かくでぬうことができます。

上送り押さえホルダーのうしろの取り付け穴に、キルティングガイドを差し込みます。

- 針位置とキルティングガイドのガイド部分までの距離がぬう間かくになります。
- キルティングガイドをスライドさせて、お好みの距離に調整してください。

すでにあるぬい目にキルティングガイドに沿わせながら平行な直線をぬいます。

〔用途選択画面
キルト (2/2)〕



★ キルトかざりステッチ

キルトかざりステッチでは、キルトやパッチワーク生地 のぬい目をかざりぬいでぬうことができます。

6 種類の模様が選べます。

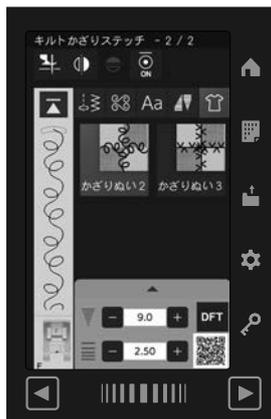
ページキーで画面を切りかえ模様を選択します。

サテン押さえ F を取り付けます。

〔模様選択画面：キルト
かざりステッチ (1/2)〕

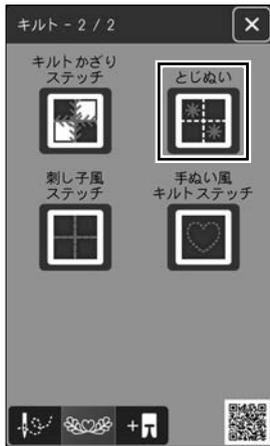


〔模様選択画面：キルトか
ざりステッチ (2/2)〕



ページキー

〔用途選択画面
キルト (2/2)〕



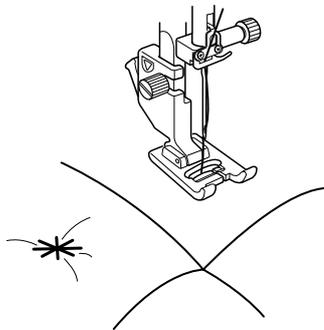
〔模様選択画面：とじぬい〕



模様.....



押さえ サテン押さえ F



★ とじぬい

4種類の模様が選べます。

厚みのあるキルト綿をとじるときに使用します。

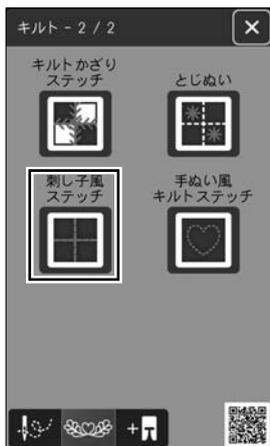
※ とじぬい模様は1つの模様が完成すると、ほつれ止めの止めぬいをしてミシンが自動的に停止します。

サテン押さえ F を使用します。

【ぬい方：模様  の例】

ミシンをスタートさせ、自動的に停止するまでぬいます。

〔用途選択画面
キルト (2/2)〕



〔模様選択画面：
刺し子風ステッチ〕

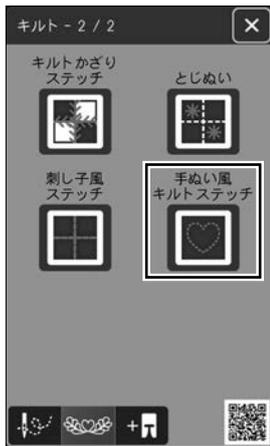


★ 刺し子風ステッチ

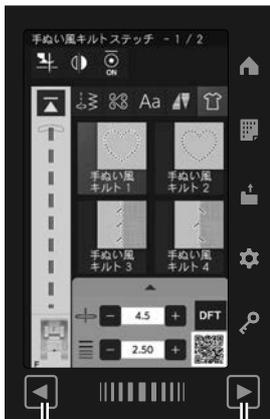
3種類の模様が選べます。

アウトラインを目立たせるためのステッチで、手ぬいの刺し子風キルトになります。

〔用途選択画面
キルト (2/2)〕



〔模様選択画面：手ぬい風
キルトステッチ (1/2)〕



〔模様選択画面：手ぬい風
キルトステッチ (2/2)〕



ページキー

模様..... 

押さえ サテン押さえ F 



★ 手ぬい風キルトステッチ

6種類の模様が選べます。

ページキーで画面を切りかえ模様を選択します。

※ 手ぬい風キルトステッチの模様は、キルトグループ

にもあります。(模様    )

(84 ~ 85、94 ページ参照)

【ぬい方：模様  の例】

上糸に透明なナイロン糸を使用し、下糸には通常の糸を使用します。針は 14 番～ 16 番を使用します。

下糸が布表に引き出されて手ぬいのようなぬい目になります。

〔用途選択画面：
オプション 2/2〕

〔模様選択画面 /
コンシール®ファスナー付け〕



オプション押さえキー

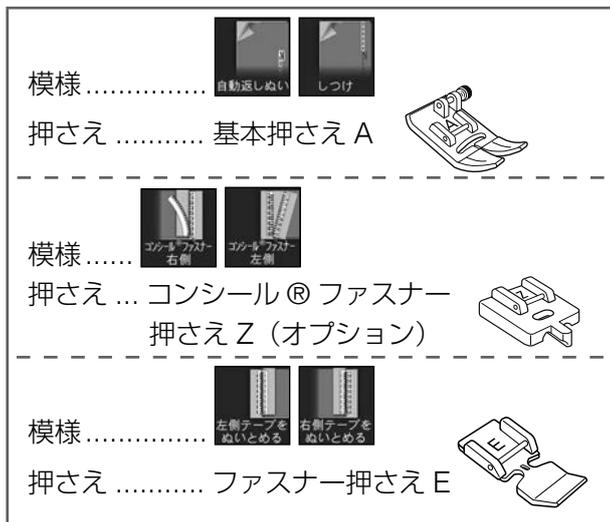


● コンシール®ファスナー付け (オプション)

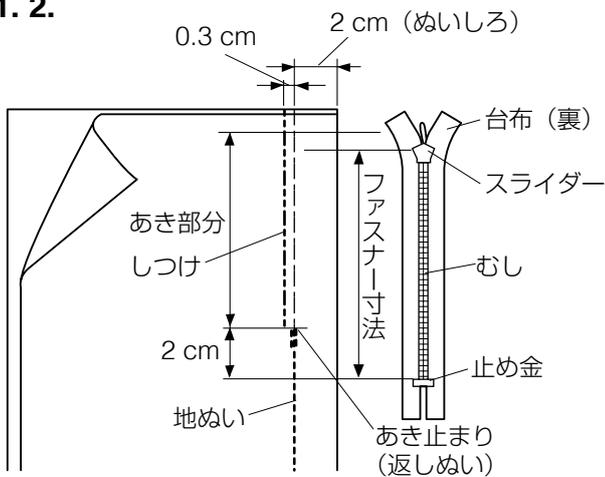
オプション押さえキーを押すと、オプション押さえの用途選択画面が開きます。

コンシール®ファスナー付け画面では、手順ごとに模様選択キーを押すと、手順に合わせて自動的にミシンの設定がかわります。

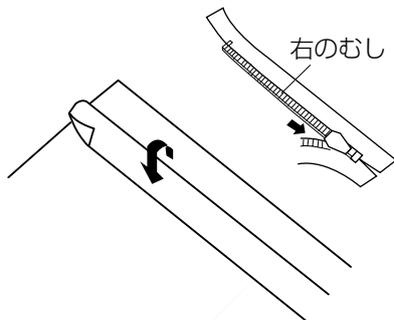
※ 「コンシール」は YKK 株式会社の登録商標です。



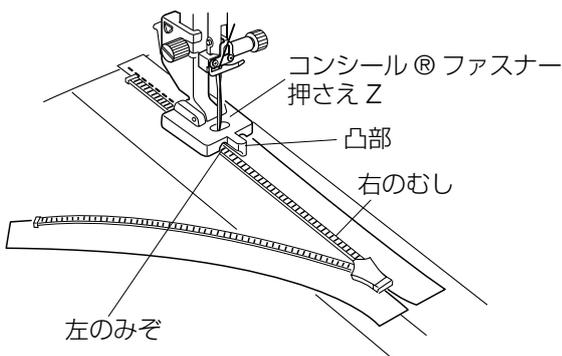
1. 2.



3.



4.



【ぬい方】

コンシール® ファスナーはあき寸法より 2 cm くらい長いものを準備してください。

1. 模様 を選び、基本押さえ A を付けます。

布を中表に合わせ 2 cm のぬいしろで、あき止まり(返しぬい)まで地ぬいをします。

- ※ 模様 は自動返しぬい模様です。

自動返しぬいのぬい方は、55 ページをごらんください。

2. 模様 を選び、あき部分を地ぬいから

0.3 cm 内側にしつけぬいをします。

3. ぬいしろの上側の布を身頃側へ折り返します。

ファスナーを裏返しにセットし、ファスナーを開いて右のむしを折り山に当てておきます。

4. 模様 を選び、コンシール® ファスナー押さえ E

Z を付けます。

右のむしをたてて、押さえの左のみぞにむしが入るように押さえをさげます。

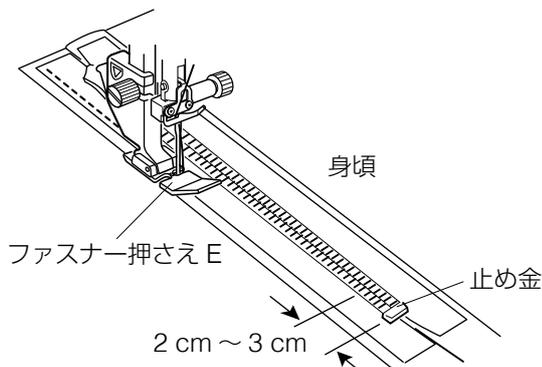
むしの部分を押さえの凸部に当てながら、あき止まりまでぬいます。

- ※ ぬい始め、ぬい終わりのほつれ止めは数針返しぬいをします。

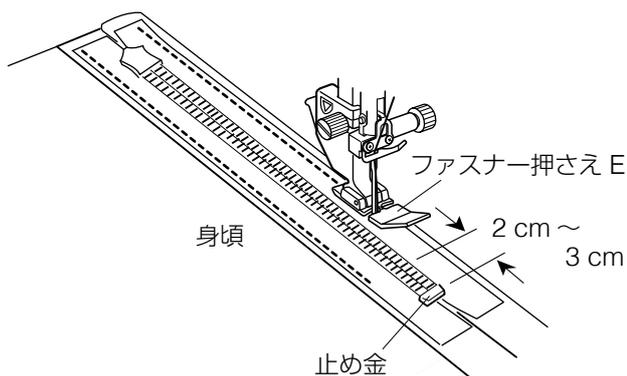
⚠ 注意

ファスナーをぬうときは、針がファスナーや押さえに当たらないように注意してください。
針が当たると、けがの原因となります。

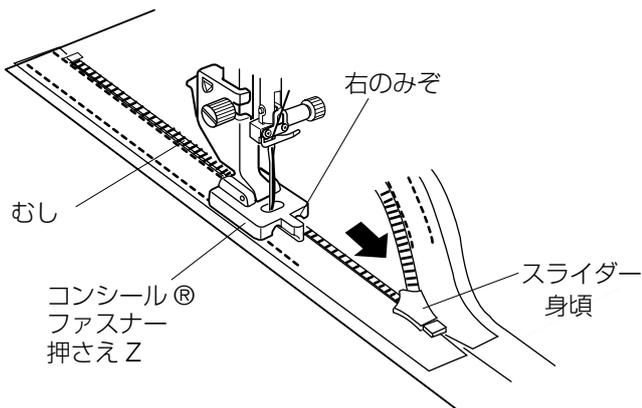
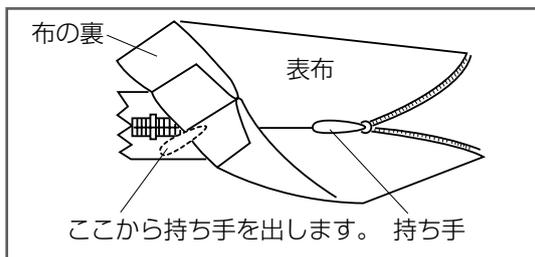
5.



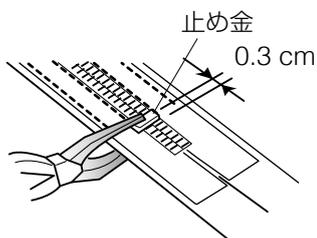
6.



7.



8.



5. 押さえをあげ、ファスナーを閉じます。

模様  を選び、コンシール® ファスナー押さえ Z を外し、ファスナー押さえ E をセットします。

身頃を右側に折り返して、ぬいしろに左側の台布の端を止め金から 2 cm ~ 3 cm のところまでぬい付けます。

※ ぬい始め、ぬい終わりのほつれ止めは数針返しぬいをします。

6. 模様  を選び、身頃を左側に折り返して、ぬい

しろに右側の台布の端を止め金から 2 cm ~ 3 cm のところまでぬい付けます。

※ ぬい始め、ぬい終わりのほつれ止めは数針返しぬいをします。

7. 模様  を選び、コンシール® ファスナー押さえ Z

Z に付けかえます。

手順 2. でぬったしつけ糸をほどき、スライダーを止め金までおろします。

表から持ち手を布とファスナーのあいだに入れるとスライダーは止め金までさがります。

身頃を右側に折り返します。

左のむしを立てて押さえの右のみぞに入れ、手順 4. と同じ方法でぬっていきます。

⚠ 注意

ファスナーをぬうときは、針がファスナーや押さえに当たらないように注意してください。針が当たると、けがの原因となります。

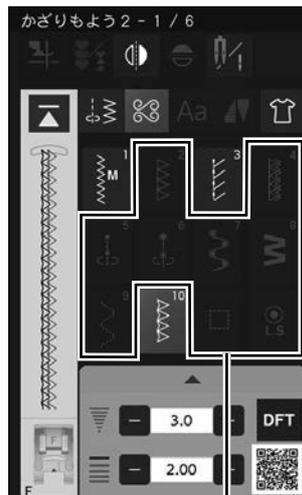
8. 止め金をファスナーのあき止まりの位置より約 0.3 cm 上にペンチで固定します。

1. 〔模様選択画面〕
1本針ぬい設定状態

2本針ぬい切りかえキー



〔模様選択画面〕
2本針ぬい設定状態



2本針ぬいに適さない模様はグレーになります。

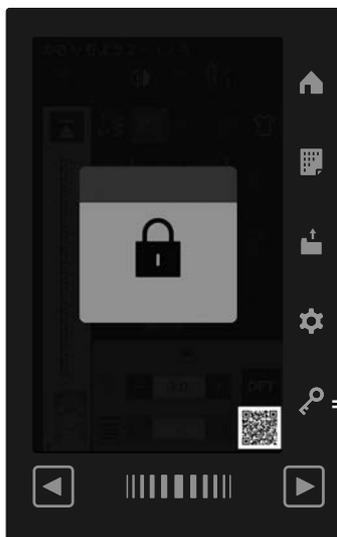
〔画面【A】〕

2本針ぬいに適さない模様が選ばれている場合の画面



グレー

2.



ロックキー

◎ 2本針ぬい

付属の2本針を使用して2本針ぬいを行うと、きれいなかざりぬいができます。

一部のじつようぬいとかざりぬいは、2本針でぬうことができます。

※ 2本針ぬいを行うときは、安全のために、必ず2本針ぬい切りかえキーを押して2本針ぬい設定状態にしてください。

〔準備〕

1. 2本針ぬい切りかえキーを押し、お好みの模様を選

びます。(例では模様 )

 : 1本針ぬい設定状態

 : 2本針ぬい設定状態

※ 1本針ぬい設定状態で2本針ぬいに適さない模様が選ばれているときは、2本針ぬい切りかえキーがグレーになり、押しも受け付けられません。(左図、画面【A】参照)

※ ぬい目の幅が最大3.0mmに制限されます。直線状模様の場合、針位置が3.0～6.0の範囲に制限されます。

※ 2本針ぬいに適さない模様はグレーになり選択できません。

※ ボタンホールグループ、かざりぬい模様の模様組み合わせモード、文字ぬいおよび用途ぬいの一部、テーパリング模様は2本針ぬいできません。

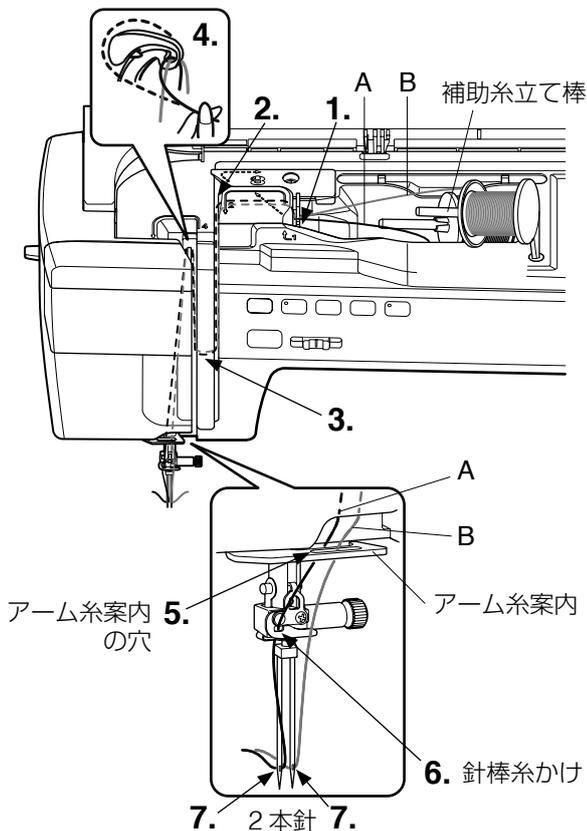
※ ぬい終わりの上糸と下糸はミシンの面板に付いている糸切り/糸押さえで切ってください。糸切りボタンを使用しないでください。(52ページ参照)

※ 2本針ぬいは、試しぬいをして確認してください。

⚠ 注意

- 針を交換する場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてください。けがの原因となります。
- 付属の2本針以外は使わないでください。故障の原因となります。

2. 針を付属の2本針に交換します。(34ページ参照)



【上糸のかけ方】

※ 2本針ぬいを行うときは、補助糸立て棒を使います。
補助糸立て棒を、補助糸立て棒取り付け穴に差し込みます。補助糸立て棒に糸こまを差し込み、糸こま押さえで固定します。
(37 ページ「補助糸立て棒の使い方」参照)

2つの糸こまから引き出した2本の糸は、途中でよじれないように**1. ~ 7.**の手順で正しくかけてください。

1. ~ 4.

糸のかけ方は、針が1本のときの通常の上糸かけの手順**1. ~ 4.**と同じです。

(40 ~ 41 ページ参照)

5. Aの糸をアーム糸案内に右からかけます。

Bの糸をアーム糸案内の穴に通します。

6. Aの糸は針棒糸かけに右からかけます。

Bの糸は針棒糸かけにかけません。

7. Aの糸は左の針に、Bの糸は右の針にそれぞれ通します。

※ 2本針は糸通しが使用できません。

糸を通すときは、手で針の手前から向こう側に通してください。

※ 糸は60番以下の細い糸を使用します。

【ぬい方】

1. めう模様に適した押さえに交換します。

※ 2本針ぬいに使用する押さえは、基本押さえAまたはサテン押さえFです。

画面の押さえ表示にしたがい、押さえを交換します。

2. 使用する押さえによって下記のように上糸を引き出し、押さえ上げをさげてぬい始めます。

- 基本押さえA:

押さえの下から向こう側に引き出す

- サテン押さえF:

押さえの下から横に引き出す

※ めい方向をかえるときは、針をあげてから布の方向をかえます。

3. 2本針ぬいが終了したら通常の針に交換します。

※ 2本針を取り付けた状態で通常のぬいを行うと、針が押さえや針板に当たる場合があります。

※ 2本針ぬい設定を解除する場合、再度2本針ぬい切りかえキーを押すか、電源スイッチを切り、再度電源スイッチを入れます。

2本針ぬい切りかえキーを押した場合、針交換確認のメッセージ画面が表示されます。

OKキーを押すとメッセージ画面が消えます。

1. 2本針ぬい切りかえキー



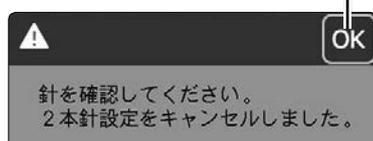
押さえ表示

2.

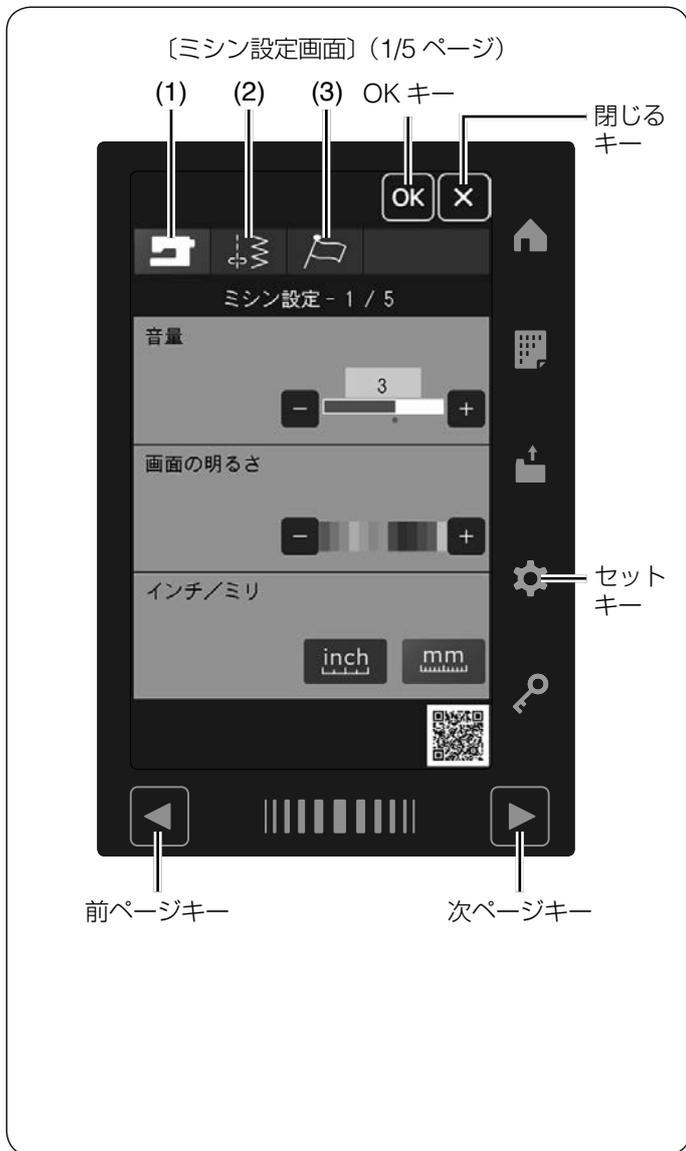


3.

〔メッセージ画面〕



OKキー



◎ ミシンの設定

● ミシン設定モード

セットキーを押し、ミシンの設定を変更します。

ミシンを初期状態（購入時の設定状態）からお好みの状態に設定することができます。

ミシン設定のモードを下記3つのキーから選びます。

(1) ミシン設定キー

ミシンの設定画面を表示させます。

(2) めい設定キー

通常めいの設定画面を表示させます。

(178～181 ページ参照)

(3) 言語設定キー

言語設定画面を表示させます。

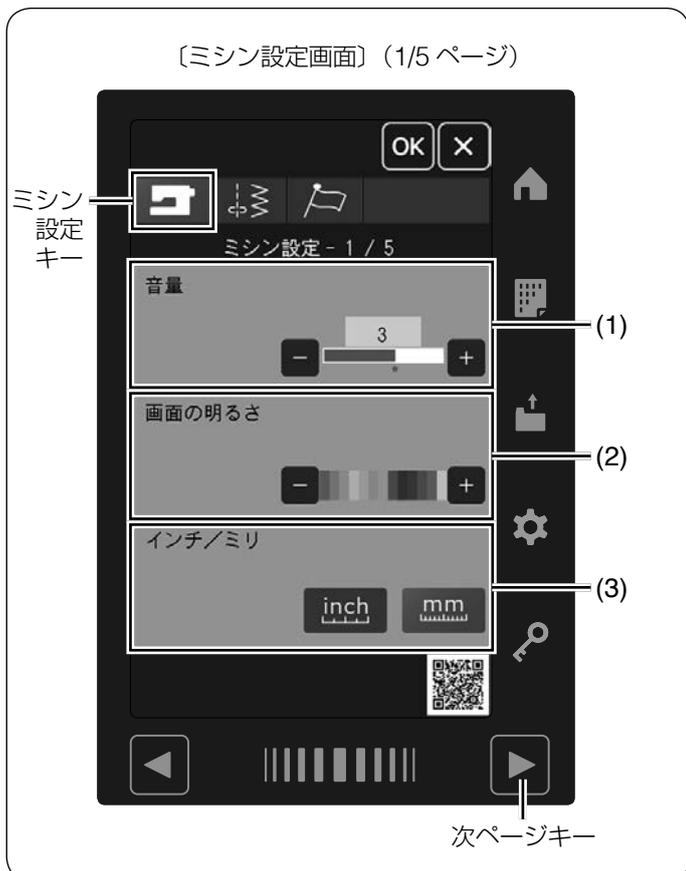
画面に表示される言語を設定します。(182 ページ参照)

各設定画面でページを移るには、次ページキーか、前ページキーを押します。

【設定の登録】

設定を変更した場合、OK キーを押し新しい設定を適用します。

閉じるキーを押すと、変更がキャンセルとなり、設定画面が終了します。



● ミシン設定

(1) 音量

キーを操作したときに鳴るブザーの音量を「+」、「-」キーで調整します。

〈OFF（消音）～5の6段階、初期値：3〉

(2) 画面の明るさ

画面の明るさを「+」、「-」キーで調整します。

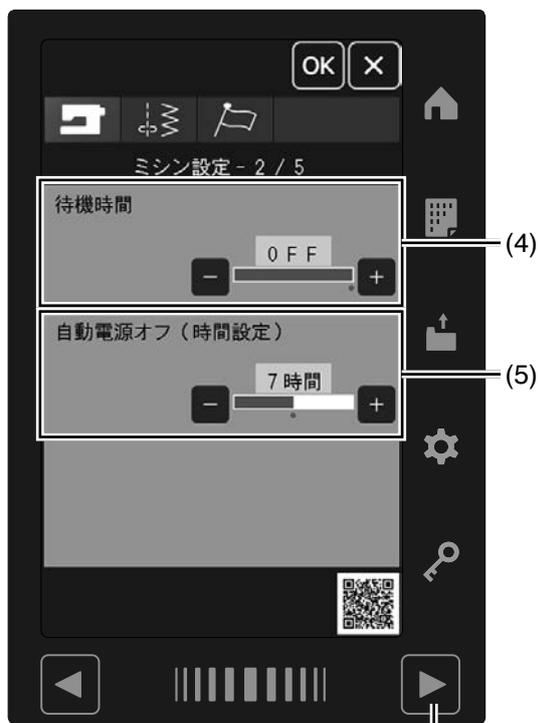
(3) インチ/ミリ

画面に表示される数値の単位（インチ/ミリ）を切りかえます。ただし、調整画面のめい目の幅やあらかの数値は変わりません。

〈初期設定：ミリ〉

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

〔ミシン設定画面〕 (2/5 ページ)



次ページキー

(4) 待機時間

電源を入れたままミシンを使用しない状態が続いた場合、一定時間が経過するとミシンのライトが消え、ミシンは省エネモードとなります。省エネモードに入るまでの時間を設定します。

〈1～30分およびOFF(なし)、初期値：OFF〉

省エネモード中、画面や操作ボタンにさわると元の画面にもどり、ミシンのライトも点灯します。

(5) 自動電源オフ (時間設定)

設定した時間以上ミシンを使用しないと、ミシンの電源が自動的に切れます。

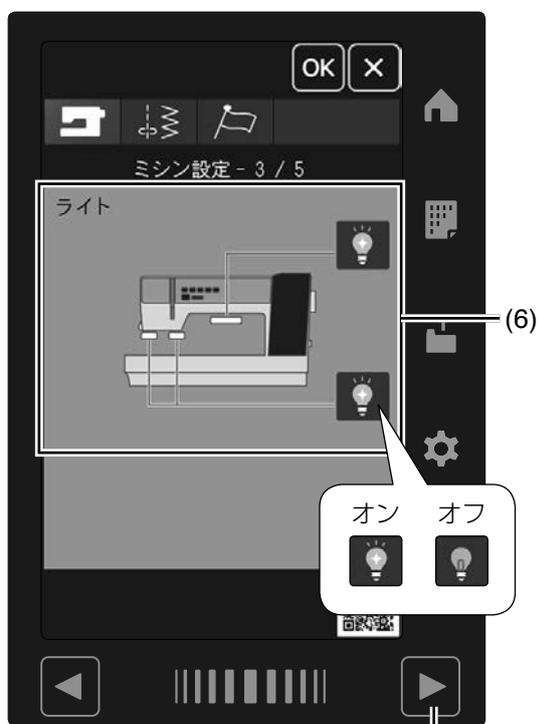
「OFF」に設定したい場合、画面に「OFF」が表示されるまで「+」キーを押します。

電源を再投入するには、電源スイッチをオンにします。

〈1時間～12時間(1時間単位)、OFF(なし)、初期設定：7時間〉

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

〔ミシン設定画面〕 (3/5 ページ)

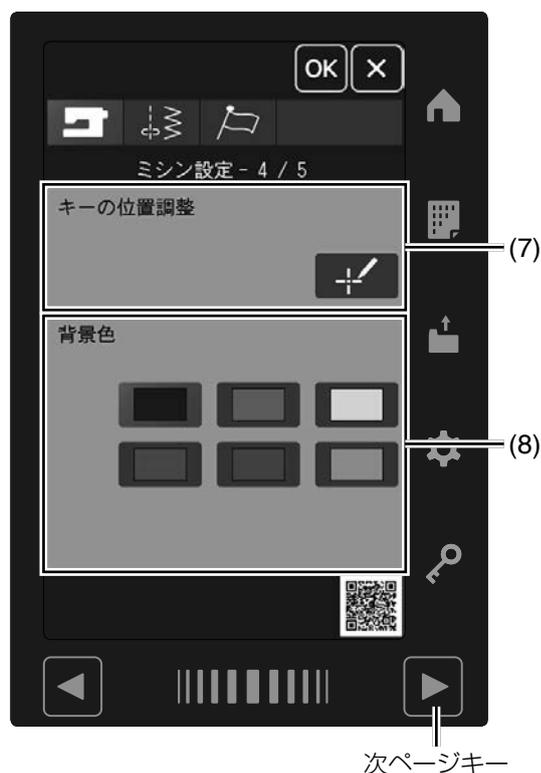


次ページキー

(6) ライト

2カ所のライトのキー  を押し、オンとオフを設定できます。〈初期設定：2カ所ともオン〉

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

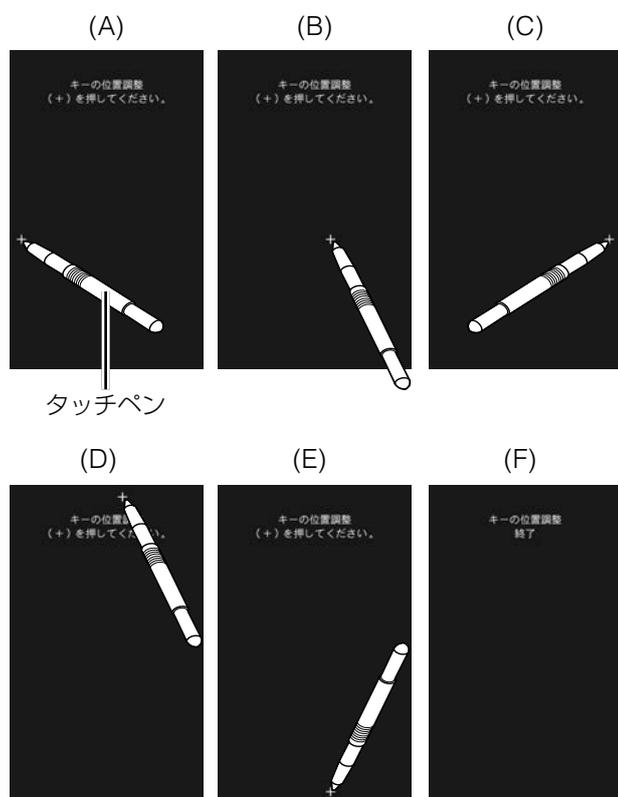


(7) キーの位置調整

画面上のキー表示の位置と実際のキーの位置がずれていて、押しても反応しない場合などに調整します。

調整する場合、 キーを押し調整モードに入ります。

〔キーの位置調整画面〕



付属のタッチペンで「+」の中心を押します。

押すと、次の画面に切りかわるので、順番に (A) ~ (E) の画面の「+」の中心を押します。

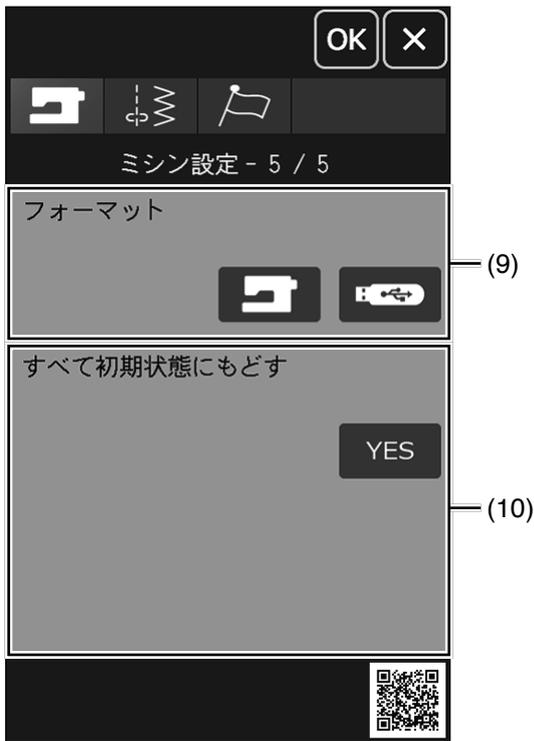
(E) の画面が終了すると (F) の画面が数秒表示され、マシン設定画面にもどります。

(8) 背景色

画面の背景色を6つのパターンから設定します。
〈初期設定：黒〉

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

〔ミシン設定画面〕 (5/5 ページ)



(9) フォーマット

ミシンの内蔵メモリおよび USB メモリをフォーマットします。

内蔵メモリをフォーマットする場合はミシンのアイコン、USB メモリをフォーマットする場合は USB メモリアイコンを押し、フォーマット画面を表示させます。

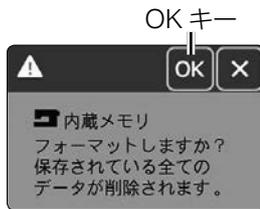
「OK」キーを押しフォーマットします。

- ※ フォーマットすると、現在保存されている模様データがすべて消えます。
- ※ 本機で使用できる USB メモリのファイルシステムは FAT16 および FAT32 のみです。USB メモリが読み込めない場合は、ファイルシステムを確認してください。(191～192 ページ参照)
- ※ USB カードリーダー、および USB ハブは使用しないでください。

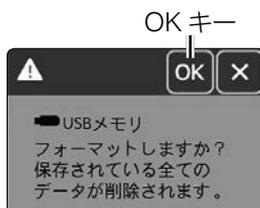
⚠ 注意

画面に警告メッセージが出ているあいだ、電源を切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。データが消えるなど、損傷する恐れがあります。

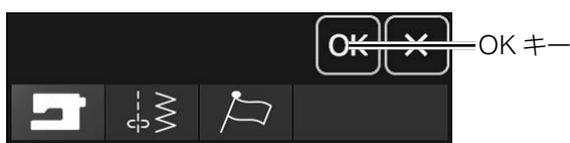
〔内蔵メモリフォーマット画面〕



〔USB メモリフォーマット画面〕



〔ミシン設定画面〕 (5/5 ページ)



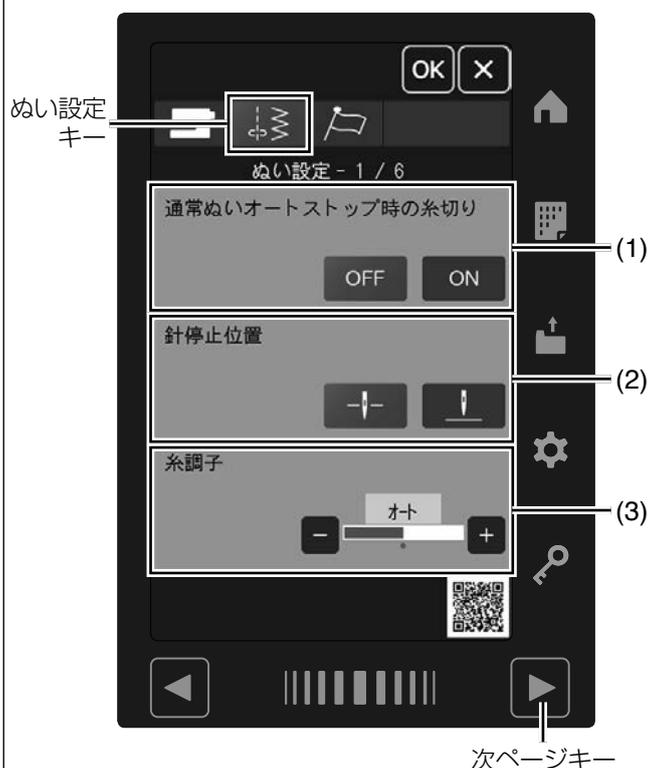
(10) すべて初期状態にもどす

「YES」キーを押し、設定したすべての内容を初期の状態（購入時の設定状態）にもどすことができます。

- ※ ただし、言語設定（182 ページ参照）はもどりません。

設定変更後は、ミシン設定画面の OK キーを押し変更した設定を適用します。

〔ぬい設定画面〕 (1/6 ページ)



● ぬい設定

(1) 通常ぬいオートストップ時の糸切り

「ON」に設定すると、ぬい終わったあと糸切りボタンを押さなくても自動で糸を切ることができます。

〈初期設定：OFF〉

※ 「ON」に設定すると、ボタンホールグループの模様および文字ぬいなど、模様の最後にほつれ止めの止めぬいが入っていて、ぬい終わると自動的にミシンが停止する模様は、ミシンが停止すると同時に自動的に糸を切ります。そのほかの模様も、止めぬいボタンまたは返しぬいボタンでぬい終わりに止めぬいを入れてミシンを停止した場合、ミシンが停止すると同時に自動的に糸を切ります。

(2) 針停止位置

ミシンを止めたときに、針を上位置で停止させるか下の位置(布にささった位置)で停止させるかを設定します。ボタンホール、特殊ぬい、文字ぬいなどを除き、針は下位置で止まりますが、針停止位置を上位置に変更できます。

〈初期設定：下位置停止〉

※ ピボットぬい設定をオンにしていると、「針停止位置」を上停止位置に設定しても針は下位置で止まります。(49 ページ参照)

(3) 糸調子

模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子になるよう自動で設定されますが、自動で設定される値(オート値)をすべての模様に対して全体的に強くしたり(+)、弱くしたり(-)できます。

〈オート-5 ~ オート+5 の 11 段階、初期値：オート〉

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

(4) 押さえ圧

押さえ圧は適切になるよう自動で調整(オート)されますが、「+」、「-」キーで好みの押さえ圧に調整できます。

〈オート-5 ~ オート+4 の 10 段階、初期値：オート〉

(5) 押さえ上げ高さ(ピボット)

ぬいを止めたとき、押さえが自動であがる高さを調整することができます。(49 ページ参照)

数値が大きいくほど、押さえ上げの高さが高くなります。

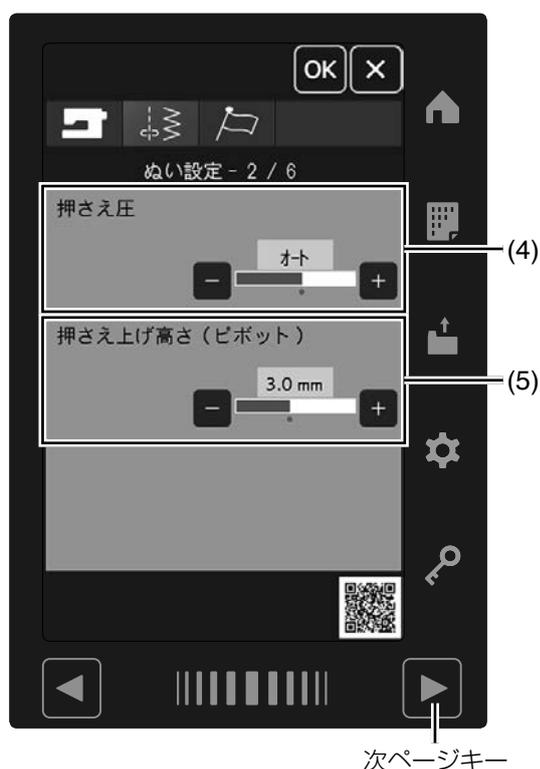
「+」か「-」キーで設定します。

〈0.5 mm ~ 6.0 mm (0.5 mm 単位) 12 段階、

初期値：3.0 mm〉

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

〔ぬい設定画面〕 (2/6 ページ)



〔ぬい設定画面〕 (3/6 ページ)



(6) スロースタート調節

ミシンをスタートさせたとき、ぬい始めの速度はゆっくり動き始めてから、徐々にスピードコントロールつまみで設定した速さになります。

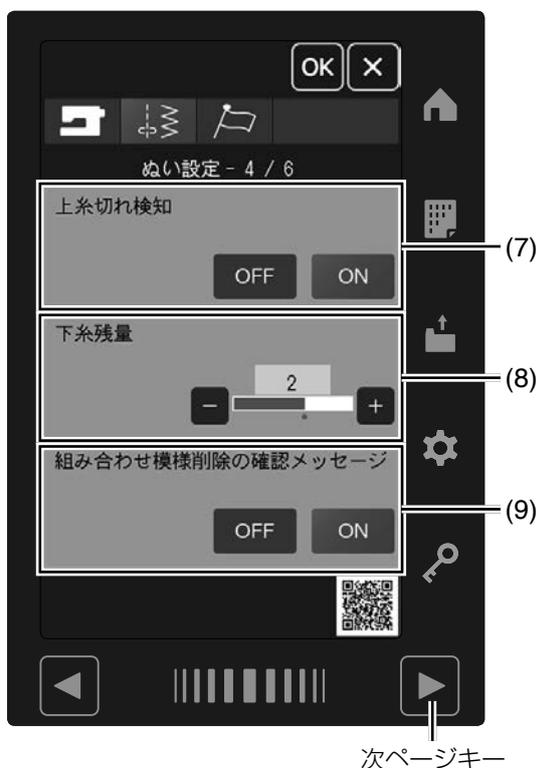
ぬい始めの速度を (遅い)、 (普通)、 (速い) の3段階にかえることができます。

上段はスタート/ストップボタン使用時、下段はフットコントローラー使用時の調節ができます。

〈初期設定：普通〉

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

〔ぬい設定画面〕 (4/6 ページ)



(7) 上糸切れ検知

ぬい途中に上糸が切れた場合、切れたことを知らせてミシンを停止する上糸切れ検知機能の設定をします。

上糸切れ検知あり (「ON」)、なし (「OFF」) を設定します。上糸無しでミシンを動かしたいときは「OFF」に設定してください。

〈初期設定：ON〉

※ 通常は、「ON」に設定してください。途中で上糸が切れてしまったあとの無駄なぬいを防ぎます。

(8) 下糸残量

下糸の残量が少なくなった場合に検出して知らせる機能です。数値が大きいほど、早め (下糸残量が多いとき) に検出されます。「+」/「-」キーで設定します。

「OFF」に設定したい場合、画面に「OFF」が表示されるまで「-」キーを押します。

〈OFF (なし)、0.5、1～4 の6段階、初期値：2〉

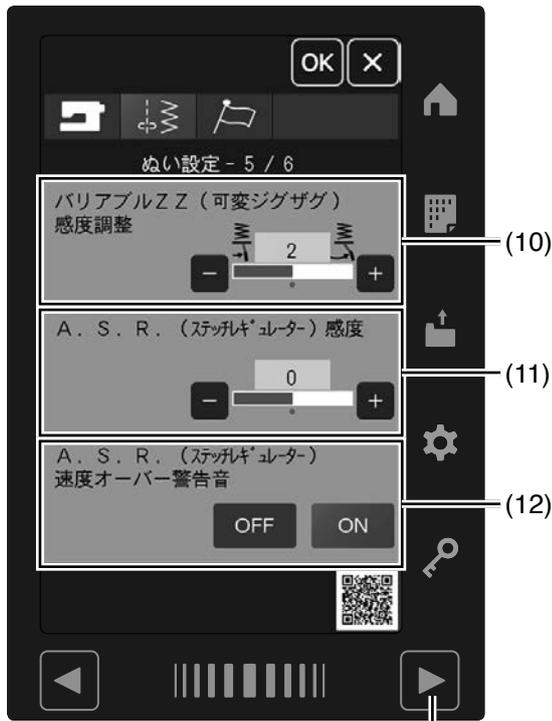
(9) 組み合わせ模様削除の確認メッセージ

模様組み合わせモードを解除すると、模様を削除する前にメッセージが表示されます。

「OFF」に設定すると、組み合わせ模様が削除される前に表示される確認メッセージが表示されなくなります。

〈初期設定：ON〉

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。



次ページキー

(10) バリエブルZZ (可変ジグザグ) 感度調整

バリエブルZZ (可変ジグザグ) をぬうとき、ニーリフトで動く量を調整できます。

「1」に設定すると、ニーリフトを小さく動かすだけで、針棒は動く設定になります。

「3」に設定すると、ニーリフトを大きく動かすと、針棒が動く設定になります。

「-」キーを押して感度をあげます。

「+」キーを押して感度を下げます。

〈1～3の3段階、初期値：2〉

(11) A.S.R. (ステッチレギュレーター) 感度

A.S.R. センサー感度を調整できます。

「+」キーを押して A.S.R. センサー感度をあげます。

例：ぬい目のあらかさが不安定なときや、ぬいの速度の変化が遅いときに「+」キーを押してください。

「-」キーを押して A.S.R. センサー感度を下げます。

例：ぬい速度が速すぎる場合は「-」キーを押します。

〈- 10 ~ 10 の 21 段階、初期値：0〉

(12) A.S.R. (ステッチレギュレーター) 速度オーバー警告音

設定が「ON」で、A.S.R. (ステッチレギュレーター) 感度 (11) で設定したピッチより布を動かすのが速い場合、ブザーが鳴ります。

ブザー音を消すには「OFF」キーを押します。

〈初期設定：ON〉

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

〔ぬい設定画面〕 (6/6 ページ)



(13) ステッチ調整値を保存 (FS)

模様を選ぶと、模様のぬい目の幅やあらかさ、糸調子などはオート値（電源を入れたとき、ミシンに自動的に設定されている値）に設定されますが、本項目を「ON」に設定すると、オート値を模様ごとにお好みの値に変更して保存できます。（50 ページ参照）

オート値をお好みの値に変更し保存すると、その模様を選ぶだけで、設定した値でぬうことができます。

本項目を「OFF」に設定すると、変更した全模様のオート値は初期の状態（購入時の設定状態）にもどります。ただし、変更したオート値は記憶されているので、再度本項目を「ON」に設定すると、変更したオート値にもどすことができます。

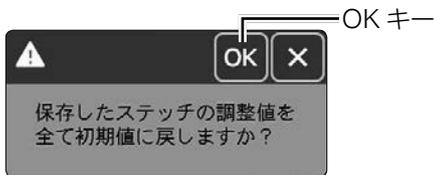
 キーを押すとメッセージ画面が表示されます。

OK キーを押すと全模様のステッチ調整値は削除されます。

〈初期設定：ON〉

※ 本項目は、文字ぬい、ユーザー作成模様以外の模様に適用されます。

〔ステッチの調整値を削除時のメッセージ画面〕



(14) お好み記憶モード (リジューム)

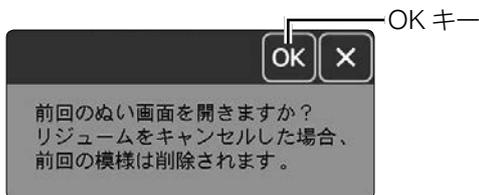
「ON」に設定すると、電源スイッチを入れたとき、前回最後にぬっていた模様の画面が表示され、ぬい目の幅やあらかさ、糸調子などの設定値も前回と同じ条件でぬうことができます。

「ON」に設定し電源スイッチを入れると、メッセージ画面が表示されます。

メッセージ画面の OK キーを押すと前回最後にぬっていた模様の画面になります。

〈初期設定：OFF〉

〔お好み記憶モード (リジューム) オン時のメッセージ画面〕



※ 以下の条件では、最後にぬった模様の記憶が削除されます。

- ユーザー作成模様を読み込みキーで読み込んだとき。
- ユーザー作成模様を削除キーで削除したとき。
- 内蔵メモリをフォーマットしたとき。

〔ぬい設定画面〕 (6/6 ページ)



設定変更後は、ぬい設定画面の OK キーを押して変更した設定を適用します。



● 言語設定

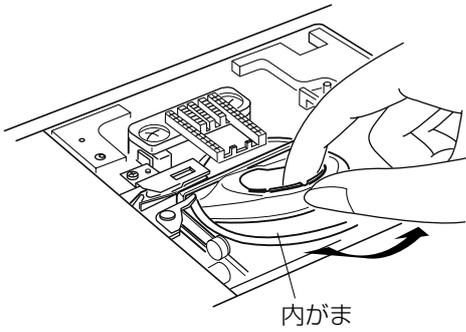
画面に表示されている言語を 16 カ国の中から設定することができます。

お好みの言語を選択して、OK キーを押します。

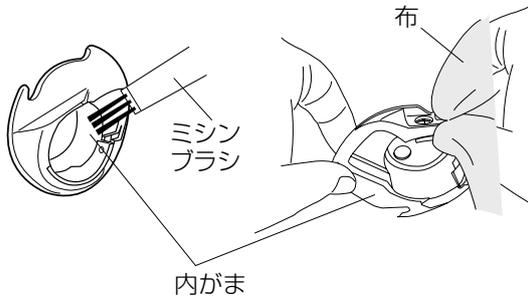
選択した言語でメッセージが表示されます。

〈初期設定：日本語〉

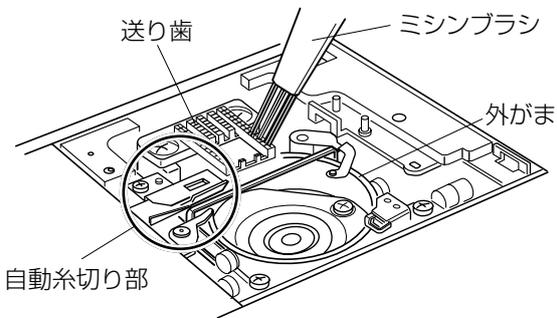
1.



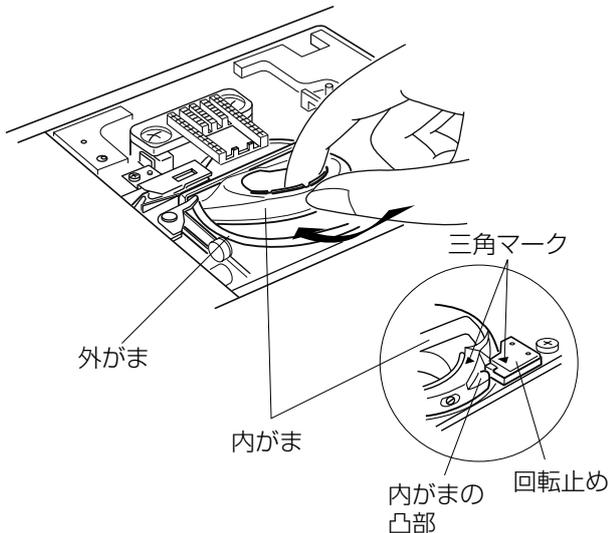
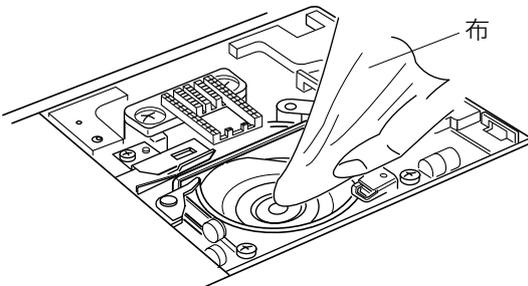
2.



3.



4.



◎ ミシンのお手入れ

● かまと送り歯、糸切り部の掃除

最低月に一度はかまの掃除をしてください。

⚠ 注意

- お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 説明されている場所以外は、分解しないでください。感電・火災・けがの原因となります。

針と押さえホルダーを取り外します。(34、28 ページ参照)
針板を外し (33 ページ参照)、ボビンを取り出します。

1. 内がまの手前を上へ引きながら外します。
2. 内がまを付属のミシンブラシで掃除します。
内がま全体をやわらかい布で軽くふきます。
3. 送り歯と自動糸切り部をミシンブラシで掃除し、さらに外がまを掃除します。
※ ミシンブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、掃除機などで吸い取ってください。

4. 外がまのまわりや内部全体を、やわらかい布で軽くふきます。

お願い

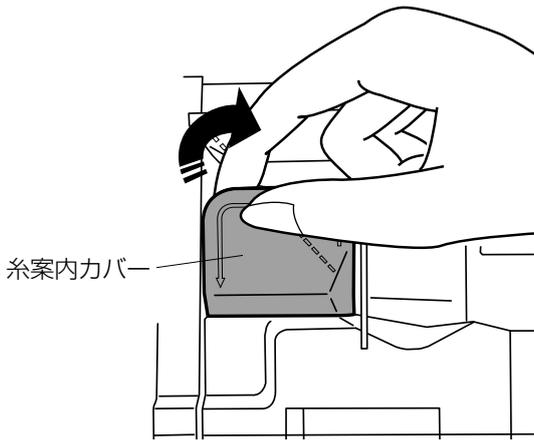
- ミシンの使用頻度が高い場合、上記お手入れでは取りのぞけない部分に糸くずやほこりがたまり、ぬい不良の原因となります。ミシンの使用頻度が高い場合は、定期的にミシン内部の掃除をすることをおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ミシンへの注油は出荷時に十分行っています。ご自身での注油は行わないでください。故障の原因となります。

【内がまの組み付け】

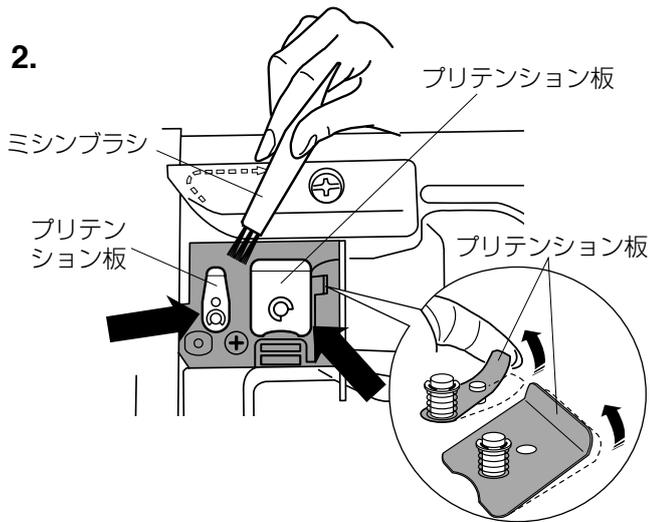
内がまを取り付けます。
内がまの三角マークと回転止めの三角マークを合わせ、内がまの凸部が、回転止めの左側にくるように取り付けます。

- ※ 内がまを取り付けたあと、はずみ車を手でゆっくり手前にまわし、外がまがスムーズにまわることを確認してください。
- ※ お手入れが終わったら、忘れずにボビン、針板、押さえホルダーと針を取り付けてください。

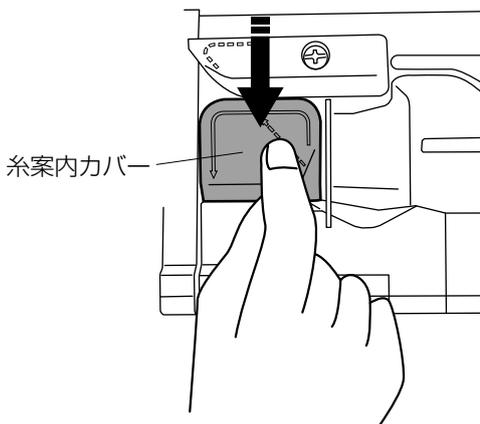
1.



2.



3.



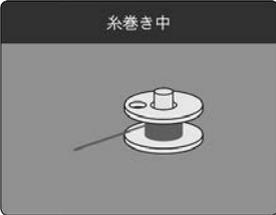
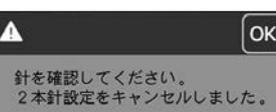
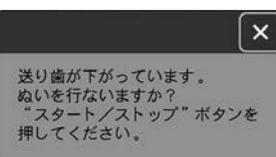
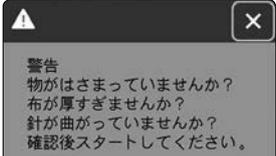
● 糸ガイド内側の掃除

天板内の糸案内カバーの内側を月に一度、掃除してください。

1. 天板を開け、上糸を外します。
糸案内カバーを上へ引いてミシンから外します。
2. プリテンション板の下とまわりを付属のミシンブラシなどで掃除します。
※ プリテンション板の先端を軽く持ち上げて、内側も掃除してください。
3. 糸案内カバーをパチンと音がするまで押しつけ、ミシンに取り付けます。

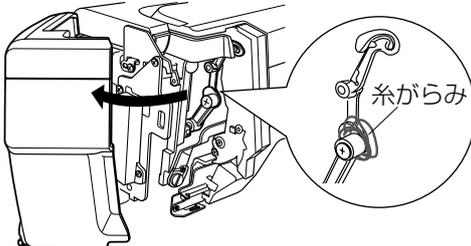
◎ メッセージ画面一覧

警告音とともに画面（タッチパネル）に表示が出た場合、下記の解決法にしたがってください。

メッセージ画面	原因	解決法
	フットコントローラーが接続された状態で、スタート/ストップボタンを使用したときに表示されます。	フットコントローラーを外し、スタート/ストップボタンを使用してください。
	フットコントローラーが故障しているときに表示されます。	お客様相談窓口（巻末に記載）もしくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
	糸巻き軸が右にセットされている場合に表示されます。	糸巻きが終わったら、糸巻き軸を左にセットしてください。（38 ページ参照）
	ボタンホール切りかえレバー（BHレバー）をさげずにミシンをスタートさせると、少しだけぬってミシンが停止し、表示されます。	ボタンホール切りかえレバーをさげ、ミシンを再スタートさせてください。（70 ページ参照）
	2本針設定から1本針設定に変更したときに表示されます。	2本針を1本針に付けかえてあることを確認し、OKキーを押してください。（34 ページ参照）
	送り歯をさげないとぬえない模様るとき、送り歯をさげずにミシンをスタートさせると表示されます。	送り歯をさげてください。（36 ページ参照）
	送り歯をあげないとぬえない模様るとき、送り歯をあげずにミシンをスタートさせると表示されます。	送り歯をあげてください。（36 ページ参照）
	送り歯がさがった状態でぬい始めたときに表示されます。	送り歯をさげてぬいたい場合以外のときは、送り歯をあげてください。（36 ページ参照）
	針板が外れているときに表示されます。	針板を取り付け、このメッセージ画面が消えることを確認してください。（33 ページ参照）消えない場合、もう一度取り付け直してください。
	ミシンのモーターに高い負荷がかかったときに表示されます。	約 15 秒待ち、その後、天びん、外がま、糸切り部などからみついている糸くずを取り除きます。

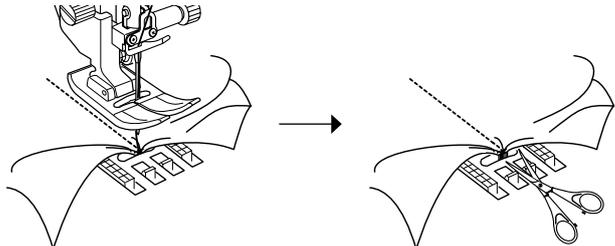
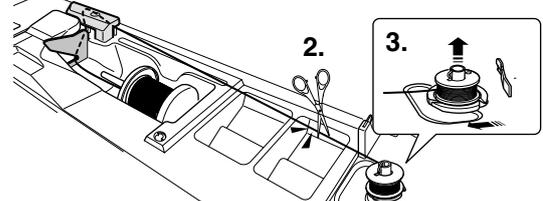
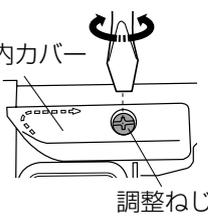
◎ ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
音がうるさい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外がまや内がまに糸くずがたまっている。 2. 糸が外がまにからまっている。 3. 電源投入時、制御モーターからわずかな共鳴音が出る。 4. 送り歯にごみがたまっている。 	183 ページ参照 183 ページ参照 異常ではありません 183 ページ参照
上糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸のかけ方がまちがっているか、糸が必要以外のところからみついている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 4. 針の付け方がまちがっている。 5. 針に対して糸が太すぎるか、細すぎる。 6. 糸がかまなどにからまっている。 7. 糸こまに上糸が引っかかっている。 8. めい始めに上糸を引き出して、押さえで押さえていない。 9. フリーモーションキルトで、布を動かすのが速すぎる。 	40～41 ページ参照 48 ページ参照 34 ページ参照 34 ページ参照 34 ページ参照 183 ページ参照 糸こま押さえを付ける 51 ページ参照 布をゆっくり案内する
下糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下糸の通し方がまちがっている。 2. 内がまの中にゴミがたまっている。 3. ボビンにきずがあり回転がなめらかでない。 	39 ページ参照 183 ページ参照 ボビンを交換する
針が折れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっている。 2. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 3. 針止めねじのしめつけがゆるんでいる。 4. 上糸調子が強すぎる。 5. 布に対して針が細すぎる。 6. めい終わったとき布を手前に引いている。 7. 模様にあった押さえを使用していない。 8. フリーキルト押さえ (QV、QC、QO、PD-H) を使用している場合に布を手前に引っ張っている。 	34 ページ参照 34 ページ参照 34 ページ参照 48 ページ参照 34 ページ参照 布を向こう側に出す 模様にあった押さえに交換する 153 ページ参照
めい目かとぶ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっている。 2. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 3. 布に対して針と糸が合っていない。 4. 伸縮性のある布やうすい生地など、めい目かとぶようなときに、付属のジャノメブルー針やパープル針を使っていない。 5. 上糸のかけ方がまちがっている。 6. 押さえ圧が弱い。 7. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 8. 針が不良品である。(針穴や針先の錆びや、バリがある。) 9. 厚い布をぬうのにパープル針を使用していない。 	34 ページ参照 34 ページ参照 34 ページ参照 34 ページ参照 40～41 ページ参照 49 ページ参照 芯地を貼る 針を交換する 34 ページ参照
めい目がしわになる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が合っていない。 2. 下糸・上糸のかけ方がまちがっているか、糸が必要以外のところからみついている。 3. 布に対して針が太すぎる。 4. 布に対してめい目があらずすぎる。 5. めい幅が大きすぎる。 6. 押さえ圧が合っていない。 7. うすい布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 	48 ページ参照 39、40～41 ページ参照 34 ページ参照 めい目を細かくする めい幅を小さくする 49 ページ参照 芯地を貼る

調子が悪い場合	その原因	直し方
送りがすべる	1. 滑りやすい素材をぬうのに上送り押さえを使用していない。	上送り押さえを使う
布送りがうまくいかない	1. 送り歯に糸くずがたまっている。 2. 滑りやすい素材をぬうのに上送り押さえを使用していない。 3. ぬい目が細かすぎる。 4. 押さえ圧が弱い。 5. 厚手の布のぬい始めに布が送れない。 6. 送り歯があがっていない。	183 ページ参照 上送り押さえを使う ぬい目をあらくする 49 ページ参照 51 ページ参照 36 ページ参照
布地の裏がタオル地のようになる	1. 上糸調子が弱すぎる。 2. 上糸のかけ方がまちがっている。	48 ページ参照 40～41 ページ参照
ミシンが動かない	1. 電源のつなぎ方がまちがっている。 2. かまに糸やごみがたまっている。 3. 上糸が外れ、ボビンにからまっている。(ガチャガチャ音がする) 4. 押さえ上げがさがっていない。 5. 上糸が天びんから外れ、ほかの部品にからまっている。  6. フットコントローラーが故障している。 7. フットコントローラーが接続された状態で、スタート/ストップボタンを使用している。	13 ページ参照 183 ページ参照 上糸かけを確認する (40～41 ページ参照) 21 ページ参照 電源を切り、からまっている糸を取る [からまっている糸の取り方] 1. 電源スイッチを切る 2. 面板を開ける 3. からまっている糸を取る 4. 上糸をかけ直す (40～41 ページ参照) 5. 面板をしめる フットコントローラーを外し、お買い上げの販売店にお問い合わせください 13 ページ参照
フットコントローラーをふんでも動かない	1. フットコントローラーをふんだ状態で電源スイッチを入れた。	電源スイッチを入れてからフットコントローラーをふむ
模様がきれいにぬえない	1. ボビンのセットがまちがっている。(ボビンの入れる方向・下糸が内がまのばねに入っていない) 2. 上糸調子が強すぎる。 3. ぬい目があらずすぎる。 4. 指定の押さえを使用していない。 5. 布の種類や厚さ、ぬい速度などに対してミシンの送り調整が合っていない。 6. うすい布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。	39 ページ参照 48 ページ参照 47 ページ参照 指定の押さえを使用する 190 ページ参照 芯地を貼る
ボタンホールがうまくぬえない	1. 布に対してぬい目のあらかさが合っていない。 2. 送り調整ねじが正しく調整されていない。 3. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 4. ボタンホール切りかえレバーがさがっていない。	72 ページ参照 190 ページ参照 芯地を貼る 70 ページ参照
模様選択キーが反応しない	1. キーの位置が正しく調整されていない。	176 ページ参照
自動糸切りがうまくできない	1. 糸が太すぎる。 2. 糸が自動糸切り部にからまっている。	17 ページ参照 183 ページ参照

調子が悪い場合	その原因	直し方
ぬい目の幅が7.0より大きく設定されているときに、上糸が布の裏に出してしまう	1. 糸調子が合っていない。	48 ページ参照
画面（タッチパネル）が見にくい	1. 画面の明るさが合っていない。	174 ページ参照
画面（タッチパネル）がふくらむ	1. ミシンが高温多湿の場所に置かれている。	ミシンを涼しく乾いた場所に保管する
USB メモリが機能しない	1. USB メモリのデータが壊れている。 2. USB メモリのファイルシステムが本機に対応していない。	フォーマットをする (177 ページ参照) 191 ~ 192 ページ参照
うすい布、伸縮性の布が食い込む	1. 布に対して針と糸が合っていない。 2. 左針位置でぬっていない。	34 ページ参照 左針位置でぬう
上糸が抜ける	1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. ぬい始めに上糸を押さえで押さえしていない。	40 ~ 41 ページ参照 51 ページ参照
かまに糸がからまる	1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. かまにキズがある。 3. 内がまの入れ方がまちがっている。	40 ~ 41 ページ参照 かまを交換する 183 ページ参照
音がして糸がからまる	1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. 天びんの糸穴に糸が入っていない。	40 ~ 41 ページ参照 40 ~ 41 ページ参照
糸通しができない	1. 針が上にあがっていない 2. 糸が糸通しのみぞに入っていない。 3. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。	42 ページ参照 42 ページ参照 34 ページ参照
ぬい終わりに下糸が二重に出てる	1. 針が上まであがっていない。	上下停針ボタンを押して針をあげる
ぬい目に下糸が出る	1. ボビンのセットがまちがっている。 2. 糸こまのセットがまちがっている。 3. 上糸のかけ方がまちがっている。 4. 上糸調子が強すぎる。 5. ジャノメのボビンを使用していない。	39 ページ参照 37 ページ参照 40 ~ 41 ページ参照 48 ページ参照 37 ページ参照
ぬい始めの糸がらみ	1. 上糸のかけ方がまちがっている 2. ぬい始めに上糸を押さえで押さえしていない。	40 ~ 41 ページ参照 51 ページ参照
模様選択キーが選択不可 / グレーになっている	1. 直線ぬい用針板がミシンに取り付けられている。 2. 上送りぬい切りかえキーがオンになっている。 3. フロートモードキーがオンになっている。 4. 2本針ぬい切りかえキーがオンになっている。 5. A.S.R. キーがオンになっている。	54 ページ参照 57 ~ 59 ページ参照 61 ページ参照 172 ~ 173 ページ参照 158 ~ 159 ページ参照
ぬい速度が上がらず、ASR 押さえホルダーを使うと音がる	1. スピードコントローラーつまみが左側（遅い位置）にある。	スピードコントロールつまみをいちばん右に動かす。（最高ぬい速度）

- ※ 静かな部屋で使うと「ウィーン」という小さな音がする場合があります。内部の制御モーターから発生しているもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。
- ※ 長時間使うと操作ボタンやタッチパネル付近の温度が少し高くなります。内部の制御部の発熱によるもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。
- ※ 外観の細い線のように見える部分は、樹脂を形成するときに発生するウェルドラインと呼ばれるものです。場所によっては目立つ場合もありますが、強度上とくに問題はありません。

調子が悪い場合	その原因	直し方
<p>布の裏で糸がからまる</p>	<p>1. 上糸のかけ方がまちがっている。</p>	<p>40～41 ページ参照 [からまっている糸の取り方]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電源スイッチを切る 2. 押さえ上げと針をあげ、ハサミで布の裏の糸を切る  <ol style="list-style-type: none"> 3. 針板を外す (33 ページ参照) 4. ボビン、内がまを外し、からまっている糸を取る (183 ページ参照) 5. 内がま、ボビンをセットし、針板を取り付ける (33、39、183 ページ参照) 6. 上糸をかけ直す (40～41 ページ参照)
<p>糸切りホルダーの下にからまる・ボビンにうまく下糸が巻けない</p>	<p>1. 下糸のかけ方がまちがっている。</p> <p>2. ボビンの上または、下に巻きが片寄っている。</p>	<p>38 ページ参照 [糸切りホルダーの下にからまっている糸の取り方]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ミシンを止める 2. 糸巻糸案内側の糸を切る 3. ボビンを左側に押し、糸巻軸からボビンを外し、ボビンと軸のあいだで糸を切る  <ol style="list-style-type: none"> 4. 左手で糸の端を持ち、右手で糸切りホルダーの近くの糸をゆっくり時計回りにまわして、からまった糸をほどく  <ol style="list-style-type: none"> 5. 下糸を巻き直す (38 ページ参照) 調整ねじをまわす <p>注意： 調整ねじをまわす範囲は 1 回転までにしてください。 部品が外れます。</p>  <p>糸案内カバー</p> <p>調整ねじ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>上に片寄っている</p>  <p>↓</p> <p>調整ねじを時計回りにまわす</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>下に片寄っている</p>  <p>↓</p> <p>調整ねじを反時計回りにまわす</p> </div> </div>

● 模様形の調整（送り調整ねじ）

布の種類や厚さなど、ぬいの条件によって模様形がくずれる場合があります。

ぬうときと同じ条件で試しぬいをし、模様形がくずれる場合は送り調整ねじで調整します。

- ※ 左図のように指示線を垂直にした位置が、標準的な条件での模様を正しくぬえる目安の位置です。
- ※ 送り調整ねじの位置をかえた場合、ぬい終わったあと標準位置（指示線が垂直位置）にもどしてください。

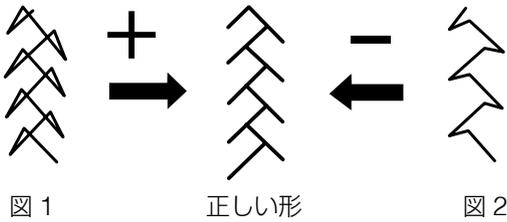
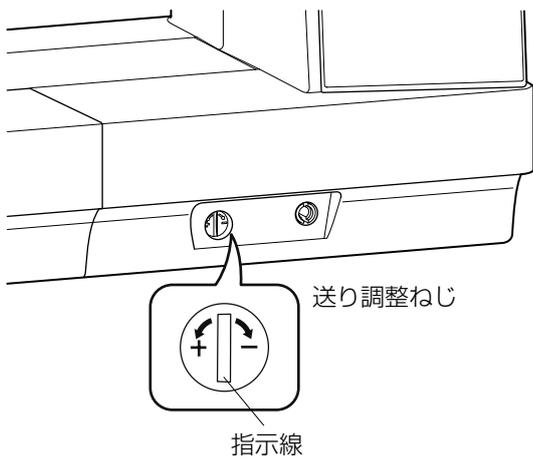


図 1

正しい形

図 2

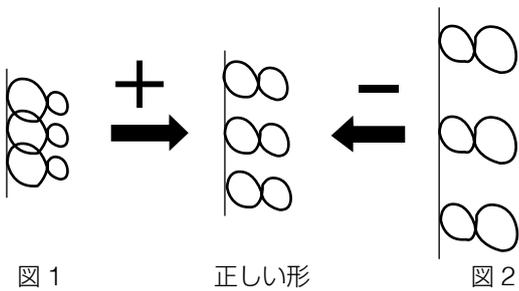


図 1

正しい形

図 2

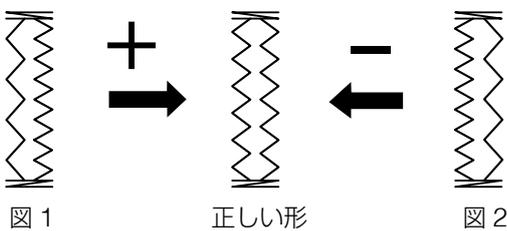


図 1

正しい形

図 2

【模様形の整え方】（キルトグループ：模様 の例）

- 図 1 のように模様がつまっているときは、送り調整ねじを「+」方向にまわします。
- 図 2 のように模様が伸びているときは、送り調整ねじを「-」方向にまわします。

【文字や数字の形の整え方】（数字「8」の例）

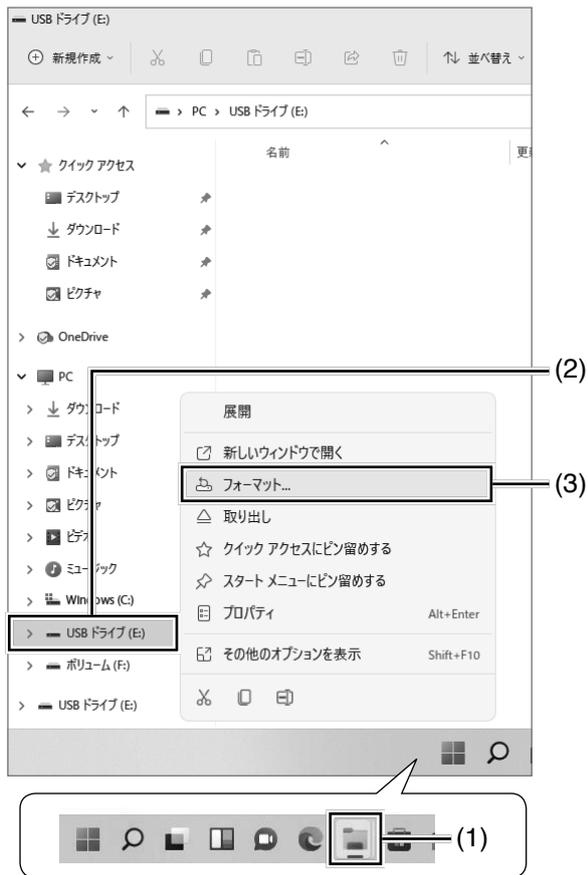
- 図 1 のように数字がつまっているときは、送り調整ねじを「+」方向にまわします。
- 図 2 のように数字が伸びているときは、送り調整ねじを「-」方向にまわします。

【ニットボタンホール の左右のぬい目のあ

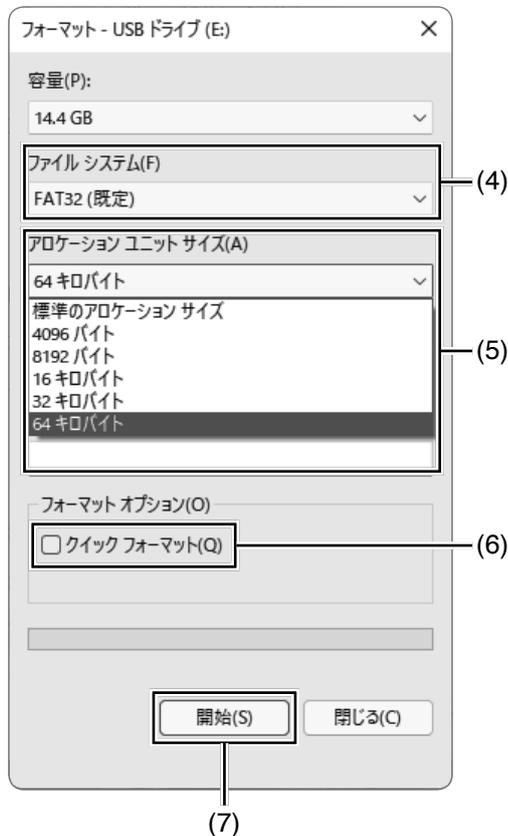
さの整え方】（模様 の例）

- 図 1 のように左側があらいときは、送り調整ねじを「+」方向にまわします。
- 図 2 のように右側があらいときは、送り調整ねじを「-」方向にまわします。

1.



2. 3. 4.



● USB メモリをフォーマットする

本機で使用できる USB メモリのファイルシステムは FAT16 および FAT32 のみです。

使用している USB メモリがミシンで読み込めない場合、Windows 搭載のパソコンでフォーマットするか、読み取り可能なほかの USB メモリを使用してください。

- ※ フォーマットは、必ず Windows 11 もしくは Windows 10 搭載のパソコンで行ってください。
- ※ フォーマットの方法は、Windows 11 を使用して説明しています。

1. タスクバーにある「エクスプローラー」(1)をクリックします。

「USB ドライブ」(2)を右クリックし、「フォーマット...」(3)をクリックします。

2. フォーマットダイアログが表示されます。

「ファイルシステム (F)」(4)から「FAT16」または「FAT32」を選択します。

※ 「FAT16」または「FAT32」が選択できない場合は、ほかのパソコンを使用してください。

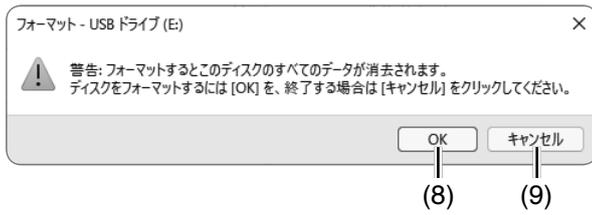
3. 「アロケーション ユニット サイズ (A)」(5)から、64 キロバイト以下のサイズを選択してください。

※ 「クイックフォーマット (Q)」のチェック(6)は外してください。

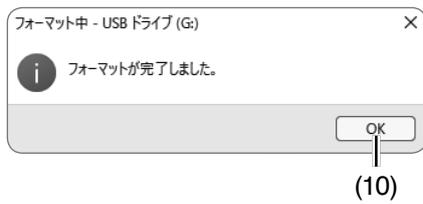
4. 「開始 (S)」(7)をクリックします。

※ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

5.



6.



5. 確認メッセージが表示されます。「OK」(8)をクリックしてフォーマットを開始します。

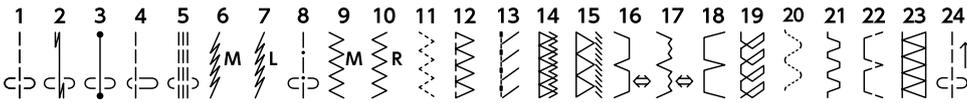
※ USB メモリに重要なデータが残っている場合は、「キャンセル」(9)をクリックします。データをほかの場所に保存し、手順 1. (前ページ参照) からやり直してください。

6. フォーマットが完了するとメッセージが表示されます。

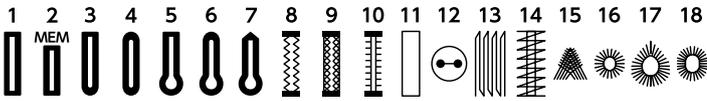
「OK」(10)をクリックします。

◎ 模様一覧表

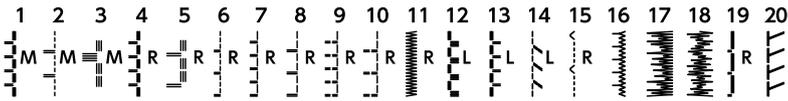
じつようぬい



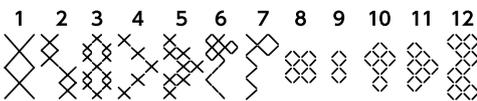
ボタンホール



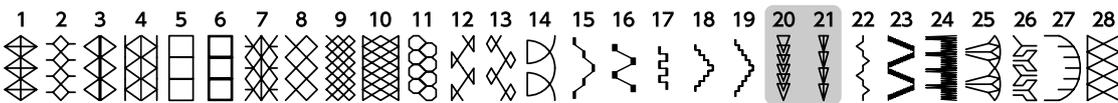
アップリケ



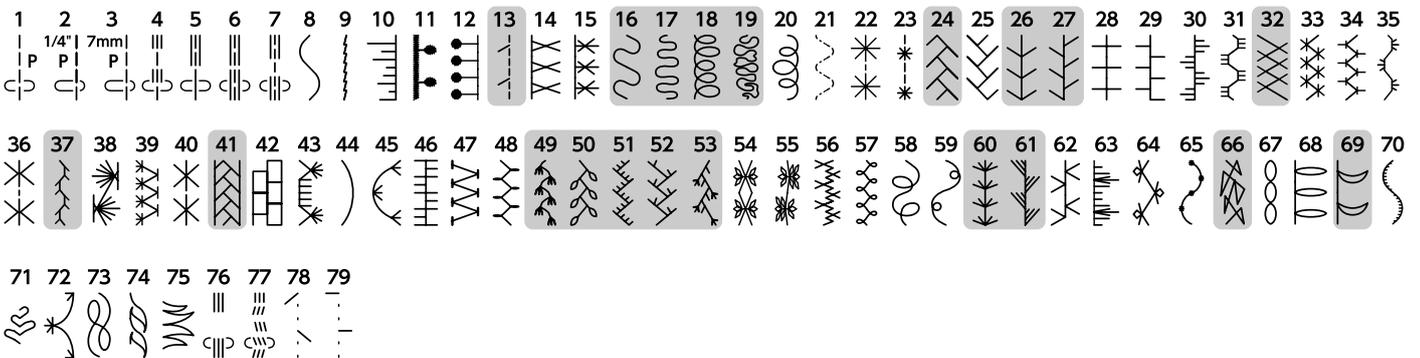
クロスステッチ



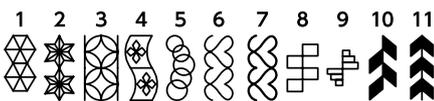
かざりもよう 1



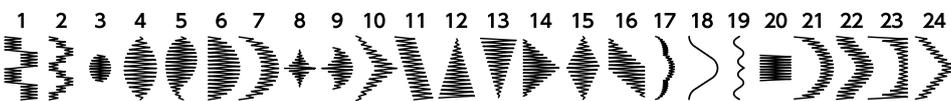
キルト



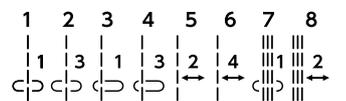
キルトスタイル



サテン



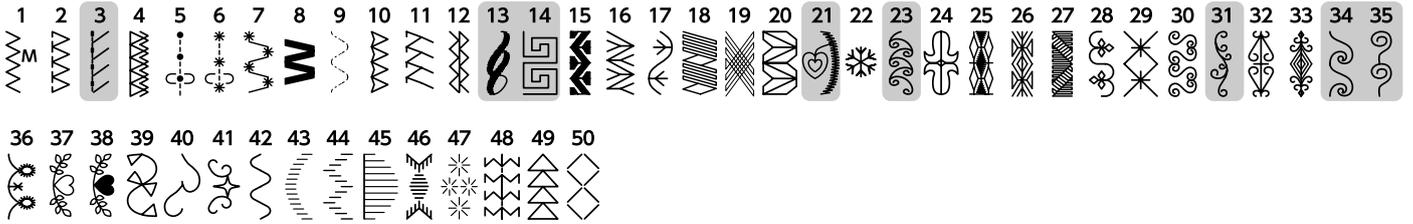
つなぎもよう



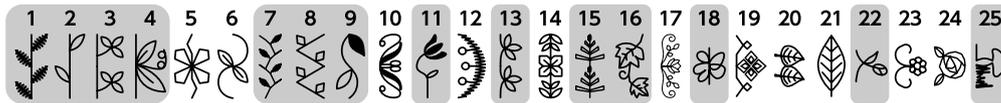
※ うすいグレーで表示している模様は、上下反転ができます。

◎模様一覧表

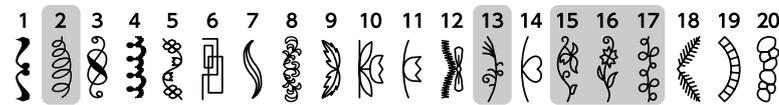
かざりもよう 2



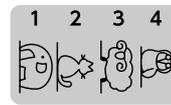
フラワー&リーフ



ロングステッチ



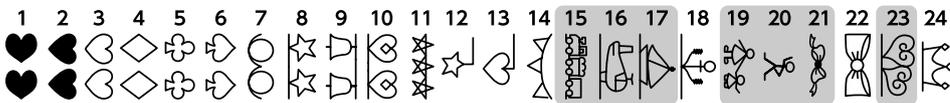
アニマル



ライフスタイル



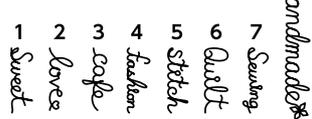
キッズ



シーズン



ワード

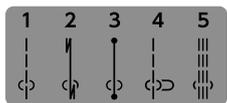


ミラージュ



直線針板

じつようぬい

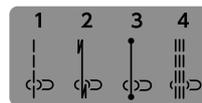


キルト

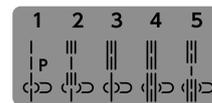


プロフェッショナル直線針板 (HP 針板)

じつようぬい



キルト



※ うすいグレーで表示している模様は、上下反転ができます。

※ 濃いグレーで表示している模様は、上送りぬいができます。

◎模様一覧表

● 文字ぬい

ブロック体

A B C D E F G H I J K L M N
 O P Q R S T U V W X Y Z . □ □ □
 a b c d e f g h i j k l m n
 o p q r s t u v w x y z . □ □ □
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ . ' ,
 ? ˆ ! ; ‘ ’ < > () - + = / // % ~ :
 À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
 Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü Æ Å Ć Č Ę Ğ Ĩ Ĳ
 Ł Ń Ņ Œ Ś Ŝ Š Ÿ Ž ž ž
 à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ñ
 ò ó ô õ ö ø ù ú û ü Æ å Ć č ę ğ ĩ Ĳ
 ł ń ñ œ ś ş š ý ž ž ž

スクリプト体

A B C D E F G H I J K L M N
 O P Q R S T U V W X Y Z . □ □ □
 a b c d e f g h i j k l m n
 o p q r s t u v w x y z . □ □ □
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ . ' ,
 ? ˆ ! ; ‘ ’ < > () - + = / // % ~ :
 A B C D E F G H I J K L M N
 O P Q R S T U V W X Y Z . □ □ □
 a b c d e f g h i j k l m n
 o p q r s t u v w x y z . □ □ □
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ . ' ,
 ? ˆ ! ; ‘ ’ < > () - + = / // % ~ :
 À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
 Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü Æ Å Ć Č Ę Ğ Ĩ Ĳ
 Ł Ń Ņ Œ Ś Ŝ Š Ÿ Ž ž ž
 à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ñ
 ò ó ô õ ö ø ù ú û ü Æ å Ć č ę ğ ĩ Ĳ
 ł ń ñ œ ś ş š ý ž ž ž

◎模様一覧表

●文字ぬい

ブロードウェイ体

A B C D E F G H I J K L M N
 O P Q R S T U V W X Y Z . □ □ □
 a b c d e f g h i j k l m n
 o p q r s t u v w x y z . □ □ □
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ . ' , :
 ? ; ! ; ' ' < > () - + = / // % ~ ~ :
 À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ñ
 Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü Æ Ç Ć Ĉ Ę Ğ Ĩ Ĵ
 Ł Ń Ņ Œ Š Ś Š Ÿ Ž ž ž
 à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ñ
 ò ó ô õ ö ø ù ú û ü Æ ç ć ĉ ċ ě ğ ĩ ĵ
 ł ń ñ œ š ś š Ÿ ž ž ž

ブロック体 (9 mm)

A B C D E F G H I J K L M N
 O P Q R S T U V W X Y Z . □ □ □
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ . ' , :
 ? ; ! ; ' ' < > () - + = / // % ~ ~ :

キリル文字

А Б В Г Г Д Ѓ Ђ Е Є Ё Ж З С
 И І Ї Й Й Ј К Л Љ М Н Њ . □ □ □
 О Ө П Р С Т Ћ У Ў Ф Х Ц Ч Џ
 Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я . □ □ □
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 & _ \$ @ . ' , :
 ? ; ! ; ' ' < > () - + = / // % ~ ~ :
 а б в г г д ѓ ђ е е ё ж з с
 и і ї й й ј к л љ м н њ . □ □ □
 о ө п р с т ћ у ў ф х ц ч џ
 ш щ ѡ ѣ ѥ ю я . □ □ □

◎模様一覧表

●文字ぬい

明朝体 (9 mm)

あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ
ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	☐	☐	ら	り	る	れ	ろ
わ	を	ん	、	。	あ	い	う	え	お	っ	ゃ	ゅ	よ	ー
が	ぎ	ぐ	げ	ご	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	だ	ぢ	づ	で	ど
ば	び	ぶ	べ	ぼ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	う				
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	☐	☐	ラ	リ	ル	レ	ロ
ワ	ヲ	ン	、	。	ア	イ	ウ	エ	オ	ツ	ャ	ュ	ョ	ー
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド
バ	ビ	ブ	ベ	ボ	パ	ピ	プ	ペ	ポ	ヴ				

まるもじ (9 mm)

あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ
ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	☐	☐	ら	り	る	れ	ろ
わ	を	ん	、	。	あ	い	う	え	お	っ	ゃ	ゅ	よ	ー
が	ぎ	ぐ	げ	ご	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	だ	ぢ	づ	で	ど
ば	び	ぶ	べ	ぼ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	う				
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	☐	☐	ラ	リ	ル	レ	ロ
ワ	ヲ	ン	、	。	ア	イ	ウ	エ	オ	ツ	ャ	ュ	ョ	ー
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド
バ	ビ	ブ	ベ	ボ	パ	ピ	プ	ペ	ポ	ヴ				

ワンポイント



ミシンの疑問やジャノメ最新情報はこちらからご確認できます。



ジャノメ HP
FAQ ページ



ジャノメ公式
Instagram



ジャノメ公式
YouTube チャンネル

仕 様	
使用電圧	100 V 50 / 60 Hz
消費電力	64 W
外形寸法	幅 53.5 cm ×奥行 24.3 cm ×高さ 32.6 cm
質量	13.7 kg
使用針	家庭用 HA × 1
最高ぬい速度	毎分 1060 針

仕様および外観は改良のため
予告なく変更することがあり
ますのでご了承ください。

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡する保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後 8 年間の基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書にしたがって、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。
ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
 1. 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 2. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 3. お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 4. お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷したとき。
 5. 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申しつけください。
お問い合わせの際には、ミシン本体の正面、もしくは保証書にある商品名を控えてください。

株式会社ジャノメ

〒 193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地

お客様相談室 TEL. 0120-026-557 (フリーダイヤル)
042-661-2600

受付 平日 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせは、ホームページ <https://www.janome.co.jp>
問合せフォームをご利用ください。

